工　事　設　計　書　等

工事設計書等のダウンロードにあたって

　知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における１次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による２次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省　関東地方整備局
甲府河川国道事務所

鏡

１．工事名

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事
工事地名	山梨県富士吉田市上吉田地先

２．工事内容

１）	発注年月	令和 8年 1月	１２）	設 計 年 月	令和 8年 2月
２）	事務所名	甲府河川国道事務所　工務第二課	１３）	機械損料一括補正	0　　労務費一括割増　　0%
３）	工事番号	2025010020	１４）	単価適用年月	2026年 2月
４）	契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	１５）	歩掛適用年月	2026年 2月
５）	変更回数	0回	１６）	前請負工事費	0
６）	主 工 種	道路改良工事	１７）	前請負代金額	0
７）	工 事 量	一式	１８）	調 整 区 分	0
８）	工　　期	329日間　自　令和 8年 4月 1日	１９）	共通仮設費対象額	
		（当初）　至　令和 9年 2月23日	２０）	現場管理費対象額	
		（ 0回変更）　至　年 月 日	２１）	一般管理費等対象額	
９）	施 工 県	山梨県	２２）	処 分 費 等	2,512,380
１０）	地　　区	富士吉田地区	２３）	公 告 日	令和 8年 1月30日
１１）	河川・路線	一般国道１３８号	２４）	入 札 締 切 日	年 月 日

３．予算科目

1)　予算科目：	2)　目：	3)　目の細分：	4)　事業名：

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路改良 （福地用水路）		式	1		51,338,370			
道路土工		式	1		6,838,624			
掘削工		式	1		218,960			
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3	170	1,288	218,960			単-1号
路体盛土工		式	1		2,207,506			
路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3	260	7,105	1,847,300			単-2号
路体(築堤)盛土	2.5m以上4.0m未満	m3	40	901.3	36,052			単-3号
路体(築堤)盛土	4.0m以上	m3	250	250	62,500			単-4号
土砂等運搬 現場内	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	80	473.7	37,896			単-5号
土砂等運搬 擁壁工～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	20	820	16,400			単-6号
土砂等運搬 道の駅交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	50	1,025	51,250			単-7号
土砂等運搬 上宿交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	50	975.6	48,780			単-8号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土砂等運搬 採取場～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	160	670.8	107,328			単-9号
路床盛土工		式	1		2,738,804			
路床盛土	2.5m未満	m3	290	7,210	2,090,900			単-10号
路床盛土	4.0m以上	m3	320	384	122,880			単-11号
土砂等運搬 上宿交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	270	975.6	263,412			単-12号
土砂等運搬 採取場～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	390	670.8	261,612			単-13号
法面整形工		式	1		65,954			
法面整形(盛土部)	法面締固め無 現場制約無	m2	140	471.1	65,954			単-14号
残土処理工		式	1		1,607,400			
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	190	2,460	467,400			単-15号
残土等処分		m3	190	6,000	1,140,000			単-16号
舗装工		式	1		5,772,098			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工（市道）		式	1		643,356			
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2	161	871	140,231			単-17号
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100mm	m2	161	986	158,746			単-18号
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上3.0m以下	m2	161	2,139	344,379			単-19号
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工（市道）	仮舗装	式	1		505,310			
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2	130	871	113,230			単-20号
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100mm	m2	130	986	128,180			単-21号
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	130	2,030	263,900			単-22号
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工（国道）	仮舗装	式	1		4,623,432			
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2	664	871	578,344			単-23号
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2	664	1,309	869,176			単-24号
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2	664	2,845	1,889,080			単-25号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	664	1,938	1,286,832			単-26号
擁壁工		式	1		5,782,770			
作業土工		式	1		202,310			
床掘り	土砂	m3	50	2,347	117,350			単-27号
埋戻し	土砂	m3	20	4,248	84,960			単-28号
場所打擁壁工(構造物単位)		式	1		5,580,460			
重力式擁壁 ①	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉)	m3	13	80,540	1,047,020			単-29号
重力式擁壁 ②	2m以上5m以下 18-8-40(高炉)	m3	62	73,120	4,533,440			単-30号
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式	1		6,123,406			
作業土工		式	1		1,053,378			
床掘り	土砂	m3	600	635.5	381,300			単-31号
埋戻し		m3	250	2,363	590,750			単-32号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基面整正		m2	151	538.6	81,328			単-33号
場所打函渠工		式	1		1,045,497			
基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 敷厚 0.2m	m2	10	1,833	18,330			単-34号
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(高炉) 敷厚 10ｃｍ	m2	10	3,678	36,780			単-35号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	内空幅 2m 内空高さ 0.6m 24-12-25(20)(高炉) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	m3	10	31,020	310,200			単-36号
鉄筋	SD345 D13	t	0.41	189,000	77,490			単-37号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.76	186,900	142,044			単-38号
鉄筋	機械式継ぎ手　D16×D16	箇所	28	1,578	44,184			単-39号
鉄筋	機械式継ぎ手　D25×D25	箇所	10	2,168	21,680			単-40号
型枠	一般型枠	m2	27	10,730	289,710			単-41号
支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	空m3	5	5,536	27,680			単-42号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
目地板	ｺﾞﾑ発泡体t=20	m2	3	6,660	19,980			単-43号
ｼｰﾙ材		m	8	6,343	50,744			単-44号
ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	D29×600	本	12	556.3	6,675			単-45号
巻立工 2		式	1		340,531			
基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 敷厚 0.2m	m2	8	1,833	14,664			単-46号
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(高炉) 敷厚 10ｃｍ	m2	8	4,070	32,560			単-47号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	m3	4	34,410	137,640			単-48号
鉄筋	SD345 D13	t	0.05	189,000	9,450			単-49号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.23	186,900	42,987			単-50号
型枠	一般型枠	m2	9	10,730	96,570			単-51号
目地板	ｺﾞﾑ発泡体t=20	m2	1	6,660	6,660			単-52号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式	1		3,684,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 1.5m 内高 1.5m	m	10	165,900	1,659,000			単-53号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 2m 内高 0.6m	m	10	202,500	2,025,000			単-54号
排水構造物工		式	1		4,762,088			
作業土工		式	1		89,420			
床掘り	土砂	m3	20	2,347	46,940			単-55号
埋戻し	土砂	m3	10	4,248	42,480			単-56号
側溝工		式	1		1,369,840			
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL形側溝	幅 50ｃｍ 高さ 15ｃｍ 500A 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄL形(665×270×600)	m	2	23,320	46,640			単-57号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 300B	m	21	12,110	254,310			単-58号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	B1500×H2000×L2000mm	m	5	162,000	810,000			単-59号
自由勾配側溝	B300×H400mm	m	2	17,600	35,200			単-60号
自由勾配側溝	B300×H500mm	m	2	19,060	38,120			単-61号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
自由勾配側溝	B300×H600mm	m	2	20,930	41,860			単-62号
自由勾配側溝	B300×H800mm	m	2	25,060	50,120			単-63号
自由勾配側溝	B300×H1000mm	m	2	29,890	59,780			単-64号
側溝蓋	自由勾配側溝蓋 300用	枚	10	3,381	33,810			単-65号
管渠工		式	1		18,756			
暗渠排水管（取付管）	据付 直管 200～400mm	m	0.8	4,933	3,946			単-66号
暗渠排水管（清光院水路）	据付 直管 200～400mm 穴あけ加工	m	2	7,405	14,810			単-67号
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		式	1		269,470			
現場打ち集水桝 1号集水桝	B500×L500×H500 現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	56,030	56,030			単-68号
現場打ち集水桝 2号集水桝	B500×L500×H1100 現場打材 18-8-40(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	111,900	111,900			単-69号
蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ） 500×500用	枚	2	50,770	101,540			単-70号
地下排水工		式	1		133,513			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
地下排水	直管	m	19	7,027	133,513			単-71号
場所打水路工		式	1		941,213			
現場打水路 ①	内幅1500mm 内高2000 mm 24-12-25(20)(高炉)	m	2	234,100	468,200			単-72号
現場打水路 ②	内幅1500mm 内高2000 mm 24-12-25(20)(高炉)	m	2	233,800	467,600			単-73号
足場	安全ネット必要	掛m2	1	5,413	5,413			単-74号
付属施設工		式	1		1,925,650			
ｽﾗｲﾄﾞｹﾞｰﾄ （清光院水路）		基	1	1,686,000	1,686,000			単-75号
取水口ｽｸﾘｰﾝ （清光院水路）	W364×H380mm	基	1	195,500	195,500			単-76号
足掛金物 （清光院水路）		本	5	7,408	37,040			単-77号
場所打ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40 （高炉）	m3	0.1	71,100	7,110			単-78号
ｺﾝｸﾘｰﾄｼｰﾙ		式	1		14,226			
張りｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25 （20） （高炉 ） ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無 厚7cm	m2	3	4,742	14,226			単-79号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
防護柵工		式	1		835,756			
路側防護柵工		式	1		297,280			
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	塗装品 Gr-C-2B 21m未満 曲線部補正無　景観色塗装	m	16	18,580	297,280			単-80号
防止柵工		式	1		538,476			
基礎ﾌﾞﾛｯｸ，鋼管基礎	基礎ブロック 180×180×450mm	基	6	4,331	25,986			単-81号
基礎ﾌﾞﾛｯｸ（現場打），鋼管基礎	基礎ブロック 550×550×700mm	基	2	28,610	57,220			単-82号
ﾌｪﾝｽ･支柱（ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ）	支柱高 1.2m　支柱間隔 2.0m 景観色塗装	m	10	18,770	187,700			単-83号
門扉	片開き 景観色塗装	基	1	228,900	228,900			単-84号
転落(横断)防止柵	柵高 1.1m 土中建込 景観色塗装	m	3	12,890	38,670			単-85号
区画線工		式	1		1,375,797			
区画線工（夜間）		式	1		1,178,747			
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	430	493	211,990			単-86号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	20	530.2	10,604			単-87号
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	7	1,214	8,498			単-88号
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m	31	1,195	37,045			単-89号
区画線消去	削取り式	m	938	970.8	910,610			単-90号
区画線工		式	1		197,050			
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	420	369	154,980			単-91号
溶融式区画線	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	5	694.9	3,474			単-92号
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	14	937.7	13,127			単-93号
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m	31	821.6	25,469			単-94号
道路付属施設工		式	1		336,600			
道路付属物工		式	1		336,600			
場所打地覆		箇所	3	112,200	336,600			単-95号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
構造物撤去工		式	1		4,606,590			
防護柵撤去工		式	1		103,883			
防護柵撤去(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ)		m	61	1,703	103,883			単-96号
構造物取壊し工		式	1		3,140,209			
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物　機械施工	m3	251	11,600	2,911,600			単-97号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3	1	20,920	20,920			単-98号
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　15cm以下	m	33	719.9	23,756			単-99号
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　15cmを超え30cm以下	m	34	1,528	51,952			単-100号
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　舗装版厚 ５ｃｍ	m2	230	226	51,980			単-101号
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　舗装版厚 １８ｃｍ	m2	90	888.9	80,001			単-102号
運搬処理工		式	1		1,362,498			
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	251	1,827	458,577			単-103号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	1	2,270	2,270			単-104号
殻運搬 現場～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	12	3,774	45,288			単-105号
殻運搬 現場～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	17	2,168	36,856			単-106号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	251	[redacted]	[redacted]			単-107号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	1	[redacted]	[redacted]			単-108号
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	28	[redacted]	[redacted]			単-109号
現場発生品運搬 現場～赤池大橋下	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	t	1.18	22,650	26,727			単-110号
仮設工		式	1		14,904,641			
作業土工		式	1		706,440			
床掘り	土砂	m3	120	2,347	281,640			単-111号
埋戻し	土砂	m3	100	4,248	424,800			単-112号
水替工		式	1		1,865,760			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ﾎﾟﾝﾌﾟ排水	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水　設置・撤去	日	48	38,870	1,865,760			単-113号
仮水路工		式	1		7,062,103			
ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型　管径800mm 据付・撤去	m	29	31,840	923,360			単-114号
ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型　管径1000mm 据付・撤去	m	18	35,350	636,300			単-115号
ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型　管径1200mm 据付	m	16	38,420	614,720			単-116号
ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	幅1000×高850mm　撤去	m	4	10,630	42,520			単-117号
ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	各種　φ500mm半割り管 据付	m	192	21,500	4,128,000			単-118号
ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	各種　φ500mm半割り管 撤去	m	49	8,123	398,027			単-119号
現場発生品運搬 現場～赤池大橋下	仮設材（ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ、ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ）	t	3.01	21,490	64,684			単-120号
現場打ち集水桝 G2	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	65,930	65,930			単-121号
蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ）600×600用	枚	1	32,370	32,370			単-122号
土のう積	設置	m2	8	14,030	112,240			単-123号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土のう積	撤去	m2	8	5,494	43,952			単-124号
防護施設工		式	1		3,222,888			
仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	H鋼基礎　設置	m	542	5,270	2,856,340			単-125号
仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	H鋼基礎　撤去	m	266	1,378	366,548			単-126号
交通管理工		式	1		2,047,450			
交通誘導警備員		式	1		1,785,000			内-1号
交通誘導警備員（夜間）		式	1		262,450			内-2号
道路改良（新屋 擁壁工）		式	1		3,079,035			
地盤改良工		式	1		35,134			
安定処理工		式	1		35,134			
安定処理	1mを超え2m以下 固化材100m2あたり使用量5.6t/100m2 ｾﾒﾝﾄ系固化材	m2	11	3,194	35,134			単-127号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
擁壁工		式	1		2,702,630			
作業土工		式	1		466,110			
床掘り	土砂	m3	90	2,347	211,230			単-128号
埋戻し	土砂	m3	60	4,248	254,880			単-129号
場所打擁壁工(構造物単位)		式	1		1,449,720			
重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉)	m3	18	80,540	1,449,720			単-130号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工		式	1		786,800			
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	1.0mを超え2.0m以下	m	7	112,400	786,800			単-131号
構造物撤去工		式	1		26,271			
構造物取壊し工		式	1		18,828			
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3	0.9	20,920	18,828			単-132号
運搬処理工		式	1		7,443			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	0.9	2,270	2,043			単-133号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	0.9	[redacted]	[redacted]			単-134号
仮設工		式	1		315,000			
交通管理工		式	1		315,000			
交通誘導警備員		式	1		315,000			内-3号
道路改良 （道の駅交差点）		式	1		9,706,006			
道路土工		式	1		224,602			
掘削工		式	1		23,562			
掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無 障害無 5,000m3未満	m3	70	336.6	23,562			単-135号
路体盛土工		式	1		56,840			
路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3	8	7,105	56,840			単-136号
路床盛土工		式	1		144,200			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
路床盛土	2.5m未満	m3	20	7,210	144,200			単-137号
舗装工		式	1		2,663,457			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工（夜間）(支道舗装)		式	1		991,287			
路盤(車道･路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 250mm	m2	209	2,553	533,577			単-138号
表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	209	2,190	457,710			単-139号
透水性舗装工（夜間）(歩道一般部)		式	1		82,698			
ﾌｨﾙﾀｰ層	砂 仕上り厚 100mm	m2	14	1,935	27,090			単-140号
路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2	14	1,427	19,978			単-141号
表層	透水性ｱｽｺﾝ 開粒度ｱｽｺﾝ(13) 2.4m以上 舗装厚 40mm	m2	14	2,545	35,630			単-142号
ﾌﾞﾛｯｸ舗装工（夜間）		式	1		1,589,472			
凍上抑制層(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2	144	1,427	205,488			単-143号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2	144	1,427	205,488			単-144号
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装	標準品 直線配置 厚6cm 砂(ｸｯｼｮﾝ用) 敷材厚 30mm 100m2以上	m2	144	8,184	1,178,496			単-145号
排水構造物工		式	1		2,968,615			
作業土工		式	1		6,595			
床掘り	土砂	m3	1	2,347	2,347			単-146号
埋戻し	土砂	m3	1	4,248	4,248			単-147号
側溝工		式	1		2,733,560			
L形側溝	一般部 幅 50ｃｍ 高さ 20ｃｍ 18-8-25(高炉)	m	15	15,890	238,350			単-148号
L形側溝	切下げ部 幅 50ｃｍ 高さ 2ｃｍ 18-8-25(高炉)	m	17	15,470	262,990			単-149号
L形側溝	すり付け部 幅 50ｃｍ 高さ 20ｃｍ～2ｃｍ 18-8-25(高炉)	m	3	17,320	51,960			単-150号
自由勾配側溝	B300×H400mm (横断用)	m	13	32,590	423,670			単-151号
管(函)渠型側溝	円形水路 (横断用-舗装対応型) 幅 30ｃｍ	m	39	40,230	1,568,970			単-152号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
側溝蓋	自由勾配側溝(横断用) 蓋 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 300用	枚	6	31,270	187,620			単-153号
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		式	1		228,460			
現場打ち集水桝 G2	B500×L500×H700 現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	2	63,460	126,920			単-154号
蓋	集水桝蓋 (鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ) 500×500用	枚	2	50,770	101,540			単-155号
防護柵工		式	1		502,740			
路側防護柵工		式	1		502,740			
ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	Gp-Bp-2E 塗装品 20m以上50m未満 曲線部補正無　景観色塗装	m	21	23,940	502,740			単-156号
区画線工		式	1		1,206,402			
区画線工 (夜間)		式	1		76,482			
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	63	1,214	76,482			単-157号
路面標示工 (夜間)		式	1		1,129,920			
矢羽根型路面標示	高輝度反射貼付式 750×1500	箇所	54	18,100	977,400			単-158号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾑ	溶融噴射式(自転車ﾏｰｸ+矢印)	箇所	6	25,420	152,520			単-159号
構造物撤去工		式	1		1,282,760			
構造物取壊し工		式	1		802,095			
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物　機械施工	m3	5	11,600	58,000			単-160号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3	24	20,920	502,080			単-161号
舗装版切断（夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　15cm以下	m	2	931.3	1,862			単-162号
舗装版切断（夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　15cmを超え30cm以下	m	12	1,866	22,392			単-163号
舗装版破砕（夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　舗装版厚　４ｃｍ	m2	56	318.6	17,841			単-164号
舗装版破砕（夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　舗装版厚　18ｃｍ	m2	170	1,176	199,920			単-165号
運搬処理工		式	1		480,665			
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	5	1,827	9,135			単-166号
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	24	2,270	54,480			単-167号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻運搬 （夜間）現場～出張所	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻（15cm以下）	m3	2	3,028	6,056			単-168号
殻運搬 （夜間）現場～出張所	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻（15cm超）	m3	31	1,758	54,498			単-169号
殻運搬 富士吉田(出)～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	33	3,192	105,336			単-170号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	5	[redacted]	[redacted]			単-171号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	24	[redacted]	[redacted]			単-172号
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	33	[redacted]	[redacted]			単-173号
仮設工		式	1		857,430			
交通管理工		式	1		857,430			
交通誘導警備員		式	1		490,000			内-4号
交通誘導警備員 （夜間）		式	1		367,430			内-5号
直接工事費		式	1		64,123,411			
共通仮設費		式	1		9,863,250			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費		式	1		1,230,250			
運搬費		式	1		554,450			
仮設材運搬費		式	1		554,450			内-6号
技術管理費		式	1		7,800			
土質等試験費		式	1		7,800			内-7号
現場環境改善費（率計上）		式	1		668,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		8,633,000			
純工事費		式	1		73,986,661			
現場管理費		式	1		25,571,000			
工事原価		式	1		123,629,911			
一般管理費等		式	1		20,360,089			
工事価格		式	1		143,990,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
消費税相当額		式	1		14,399,000			
工事費計		式	1		158,389,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路改良 （上宿交差点）		式	1		14,674,264			
道路土工		式	1		258,644			
掘削工		式	1		114,444			
掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無 障害無 5,000m3未満	m3	340	336.6	114,444			単-1号
路床盛土工		式	1		144,200			
路床盛土	2.5m未満	m3	20	7,210	144,200			単-2号
舗装工		式	1		9,873,799			
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工 （夜間）		式	1		1,913,749			
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	7cm以下 一層 段差すりつけ無 改質As 密粒Ⅱ型 (20)	m2	487	3,903	1,900,761			単-3号
殻運搬(路面切削) 現場～富士吉田(出)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (切削材)	m3	24	541.2	12,988			単-4号
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 (夜間)(車道)		式	1		7,960,050			
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 350mm	m2	665	2,171	1,443,715			単-5号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 200mm	m2	665	2,229	1,482,285			単-6号
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材(各種) 再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2	665	2,941	1,955,765			単-7号
基層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	665	2,073	1,378,545			単-8号
表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 改質As 密粒Ⅱ型 (20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	665	2,556	1,699,740			単-9号
排水構造物工		式	1		236,707			
作業土工		式	1		15,537			
床掘り	土砂	m3	3	2,347	7,041			単-10号
埋戻し	土砂	m3	2	4,248	8,496			単-11号
側溝工		式	1		221,170			
L形側溝	平坦部 幅 50ｃｍ 高さ 2ｃｍ 18-8-25(高炉)	m	9	15,470	139,230			単-12号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 B300×H300mm	m	5	11,920	59,600			単-13号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
側溝蓋	300 41.2×9.5×50	枚	10	2,234	22,340			単-14号
区画線工		式	1		822,274			
区画線工（夜間）		式	1		822,274			
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 黄色	m	120	573.8	68,856			単-15号
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m	370	493	182,410			単-16号
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m	17	530.2	9,013			単-17号
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m	310	1,214	376,340			単-18号
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m	53	1,195	63,335			単-19号
区画線消去	削取り式	m	126	970.8	122,320			単-20号
道路付属施設工		式	1		765,120			
道路付属物工		式	1		765,120			
車線分離標	H=650mm 可変式(穿孔式･1本脚) 30本以上	本	32	23,910	765,120			単-21号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
構造物撤去工		式	1		1,491,796			
構造物取壊し工		式	1		975,200			
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物　機械施工	m3	48	11,600	556,800			単-22号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3	20	20,920	418,400			単-23号
運搬処理工		式	1		516,596			
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（無筋）	m3	48	1,606	77,088			単-24号
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（鉄筋）	m3	20	1,993	39,860			単-25号
殻運搬 富士吉田(出)～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻　（切削材）	m3	24	3,192	76,608			単-26号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（無筋）	m3	48	[redacted]	[redacted]			単-27号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（鉄筋）	m3	20	[redacted]	[redacted]			単-28号
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻　（切削殻）	m3	24	[redacted]	[redacted]			単-29号
仮設工		式	1		1,225,924			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
防護施設工		式	1		298,494			
仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ		m	103	2,898	298,494			単-30号
交通管理工		式	1		927,430			
交通誘導警備員		式	1		560,000			内-1号
交通誘導警備員（夜間）		式	1		367,430			内-2号
直接工事費		式	1		14,674,264			
共通仮設費		式	1		2,858,986			
共通仮設費		式	1		751,986			
運搬費		式	1		289,986			
建設機械運搬費		式	1		215,200			内-3号
仮設材運搬費		式	1		74,786			内-4号
現場環境改善費（率計上）		式	1		462,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	道路改良

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費（率計上）		式	1		2,107,000			
純工事費		式	1		17,533,250			
現場管理費		式	1		6,539,000			
工事原価		式	1		24,072,250			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

交通誘導警備員

第　1号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	51	18,570	947,070			
交通誘導警備員Ｂ		人日	51	16,430	837,930			
合　計					1,785,000			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

交通誘導警備員
第　2号内訳書　　（夜間）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	5	27,850	139,250			
交通誘導警備員Ｂ		人日	5	24,640	123,200			
合　計					262,450			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

交通誘導警備員

第　3号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	9	18,570	167,130			
交通誘導警備員Ｂ		人日	9	16,430	147,870			
合　計					315,000			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

交通誘導警備員

第　4号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	14	18,570	259,980			
交通誘導警備員Ｂ		人日	14	16,430	230,020			
合　計					490,000			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

交通誘導警備員
第　5号内訳書　　（夜間）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	7	27,850	194,950			
交通誘導警備員Ｂ		人日	7	24,640	172,480			
合　計					367,430			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

仮設材運搬費

第　6号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	関東･中部･近畿 40.5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	85.3	5,750	490,475			
仮設材等の積込み，取卸し費	積込みのみ	t	65.8	750	49,350			
仮設材等の積込み，取卸し費	取卸しのみ	t	19.5	750	14,625			
合　計					554,450			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

土質等試験費

第　7号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土質等試験費（一式入力）	7.8千円							
六価ｸﾛﾑ溶出試験費		式	1		7,800			
合　計					7,800			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

交通誘導警備員

第　1号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	16	18,570	297,120			
交通誘導警備員Ｂ		人日	16	16,430	262,880			
合　計					560,000			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

交通誘導警備員
第　2号内訳書　　（夜間）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	7	27,850	194,950			
交通誘導警備員Ｂ		人日	7	24,640	172,480			
合　計					367,430			

［山梨県富士吉田市上吉田地先　　］

一式当たり内訳書

建設機械運搬費

第　3号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
貨物自動車による運搬（1車1回）	路面切削機(ﾎｲｰﾙ式･廃材積込装置付) 2.0m 38.8km 無 有 20600円	台	2	107,600	215,200			
合　計					215,200			

[山梨県富士吉田市上吉田地先]

一式当たり内訳書

仮設材運搬費

第 4号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	関東･中部･近畿 38.8km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	12.2	5,380	65,636			
仮設材等の積込み，取卸し費	積込みのみ	t	12.2	750	9,150			
合 計					74,786			

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	単位	m3	数量	1	単価	1,288

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	ｍ３	1	1,288	1,288	
計					1,288	
単価					1,288	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	路体(築堤)盛土	2.5m未満	単位	m3	数量	1	単価	7,105

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路体 (築堤) 盛土	2.5m未満	ｍ３	1	7,105	7,105	
計					7,105	
単価					7,105	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	路体(築堤)盛土	2.5m以上4.0m未満	単位	m3	数量	1	単価	901.3

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路体 (築堤) 盛土	2.5m以上4.0m未満	ｍ３	1	901.3	901.3	
計					901.3	
単価					901.3	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	路体(築堤)盛土	4.0m以上	単位	m3	数量	1	単価	250

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路体 (築堤) 盛土	4.0m以上 20,000m3未満 無し	ｍ３	1	250	250	
計					250	
単価					250	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－5号	土砂等運搬 現場内	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	単位	m3	数量	77.9	単価	473.7

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 無し 0.2km以下	ｍ３	14.2	820	11,644	
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 無し 0.3km以下	ｍ３	63.7	396.4	25,250.68	
計					36,894.68	
単価					473.7	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－6号	土砂等運搬 擁壁工～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	820

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 無し 0.2km以下	ｍ３	1	820	820	
計					820	
単価					820	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－7号	土砂等運搬 道の駅交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	1,025

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 無し 1.0km以下	ｍ３	1	1,025	1,025	
計					1,025	
単価					1,025	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－8号	土砂等運搬 上宿交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	975.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 2.0km以下	ｍ３	1	975.6	975.6	
計					975.6	
単価					975.6	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－9号	土砂等運搬 採取場～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	670.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 2.0km以下	ｍ３	1	670.8	670.8	
計					670.8	
単価					670.8	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	路床盛土	2.5m未満	単位	m3	数量	1	単価	7,210

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土	2.5m未満	ｍ３	1	7,210	7,210	
計					7,210	
単価					7,210	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	路床盛土	4.0m以上	単位	m3	数量	1	単価	384

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土	4.0m以上 20,000m3未満 無し	ｍ３	1	384	384	
計					384	
単価					384	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	土砂等運搬 上宿交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	975.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 2.0km以下	ｍ３	1	975.6	975.6	
計					975.6	
単価					975.6	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	土砂等運搬 採取場～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	670.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 2.0km以下	ｍ３	1	670.8	670.8	
計					670.8	
単価					670.8	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－14号	法面整形(盛土部)	法面締固め無 現場制約無	単位	m2	数量	1	単価	471.1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
法面整形	盛土部 無し 無し ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土 全ての費用	ｍ２	1	471.1	471.1	
計					471.1	
単価					471.1	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－15号	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	2,460

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 有り 7.0km以下	ｍ３	1	2,460	2,460	
計					2,460	
単価					2,460	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－16号	残土等処分		単位	m3	数量	1	単価	6,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
残土等処分		ｍ３	1	6,000	6,000	
計					6,000	
単価					6,000	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－17号	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	871

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	150mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	871	871	
計					871	
単価					871	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－18号	上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	986

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	粒度調整砕石 M-40 100mm 1層施工 全ての費用	ｍ２	1	986	986	
計					986	
単価					986	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－19号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上3.0m以下	単位	m2	数量	1	単価	2,139

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,139	2,139	
計					2,139	
単価					2,139	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－20号	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	単位	m2	数量	1	単価	871

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	150mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	871	871	
計					871	
単価					871	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	986

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	粒度調整砕石 M-40 100mm 1層施工 全ての費用	ｍ２	1	986	986	
計					986	
単価					986	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50ｍｍ 3.0m超	単位	m2	数量	1	単価	2,030

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,030	2,030	
計					2,030	
単価					2,030	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－23号	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	871

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	150mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	871	871	
計					871	
単価					871	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－24号	上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,309

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	粒度調整砕石 M-40 150mm 1層施工 全ての費用	ｍ２	1	1,309	1,309	
計					1,309	
単価					1,309	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－25号	上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	単位	m2	数量	1	単価	2,845

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	再生瀝青安定処理材（４０） 3.0m超 80mm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,845	2,845	
計					2,845	
単価					2,845	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	単位	m2	数量	1	単価	1,938

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン（２０） ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4 全ての費用	ｍ２	1	1,938	1,938	
計					1,938	
単価					1,938	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2,347

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,347	2,347	
計					2,347	
単価					2,347	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－28号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	4,248

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,248	4,248	
計					4,248	
単価					4,248	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－29号	重力式擁壁 ①	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉)	単位	m3	数量	1	単価	80,540

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉) 有り 無し 一般養生 延長無し	ｍ３	1	80,540	80,540	
計					80,540	
単価					80,540	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－30号	重力式擁壁 ②	2m以上5m以下 18-8-40(高炉)	単位	m3	数量	1	単価	73,120

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
重力式擁壁	2m以上5m以下 18-8-40(高炉) 有り 無し 一般養生 延長無し	ｍ３	1	73,120	73,120	
計					73,120	
単価					73,120	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－31号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	600	単価	635.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	ｍ３	490	251.2	123,088	
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	110	2,347	258,170	
計					381,258	
単価					635.5	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－32号	埋戻し		単位	m3	数量	250	単価	2,363

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	ｍ３	220	2,105	463,100	
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	30	4,248	127,440	
計					590,540	
単価					2,363	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－33号	基面整正		単位	m2	数量	1	単価	538.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基面整正		m２	1	538.6	538.6	
計					538.6	
単価					538.6	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－34号	基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 敷厚 0.2m	単位	m2	数量	1	単価	1,833

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎砕石	17.5cmを超え20.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	m２	1	1,833	1,833	
計					1,833	
単価					1,833	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－35号	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(高炉) 敷厚 10ｃｍ	単位	m2	数量	10.16	単価	3,678

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 18-8-25(高炉) 10m3以上100m3未満 養生無し 延長無し 全ての費用	ｍ３	1.02	32,740	33,394.8	
型枠	一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｍ２	0.73	5,436	3,968.28	
計					37,363.08	
単価					3,678	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－36号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	内空幅 2m 内空高さ 0.6m 24-12-25(20)(高炉) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	単位	m3	数量	1	単価	31,020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート （場所打函渠）	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 延長無し	ｍ３	1	31,020	31,020	
計					31,020	
単価					31,020	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－37号	鉄筋	SD345 D13	単位	t	数量	1	単価	189,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	1	189,000	189,000	
計					189,000	
単価					189,000	円／t

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－38号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価	186,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	1	186,900	186,900	
計					186,900	
単価					186,900	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－39号	鉄筋	機械式継ぎ手　D16×D16	単位	箇所	数量	1	単価	1,578

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D16×D16	箇所	1	1,578	1,578	
計					1,578	
単価					1,578	円／箇所

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－40号	鉄筋	機械式継ぎ手　D25×D25	単位	箇所	数量	1	単価	2,168

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D25×D25	箇所	1	2,168	2,168	
計					2,168	
単価					2,168	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－41号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,730

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,730	10,730	
計					10,730	
単価					10,730	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－42号	支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	単位	空m3	数量	1	単価	5,536

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
パイプサポート支保・くさび結合支保	ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 V≦40空m3 f≦40kN/m2[t≦120cm]	空ｍ３	1	5,536	5,536	
計					5,536	
単価					5,536	円／空m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－43号	目地板	ｺﾞﾑ発泡体t=20	単位	m2	数量	1	単価	6,660

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
目地板	30m2未満 ｺﾞﾑ発泡体t=20	m２	1	6,660	6,660	
計					6,660	
単価					6,660	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－44号	ｼｰﾙ材		単位	m	数量	1	単価	6,343

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
シール材		m	1	2,543	2,543	
シール材（材料費）		m	1	3,800	3,800	
計					6,343	
単価					6,343	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－45号	ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	D29×600	単位	本	数量	1	単価	556.3

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スリップバー設置	D29×600mm	本	1	556.3	556.3	
計					556.3	
単価					556.3	円／本

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－46号	基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 敷厚 0.2m	単位	m2	数量	1	単価	1,833

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎砕石	17.5cmを超え20.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	1	1,833	1,833	
計					1,833	
単価					1,833	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－47号	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(高炉) 敷厚 10ｃｍ	単位	m2	数量	8	単価	4,070

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 18-8-25(高炉) 10m3以上100m3未満 養生無し 延長無し 全ての費用	ｍ３	0.8	32,740	26,192	
型枠	一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｍ２	1.17	5,436	6,360.12	
計					32,552.12	
単価					4,070	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－48号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	単位	m3	数量	1	単価	34,410

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	ｍ３	1	34,410	34,410	
計					34,410	
単価					34,410	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－49号	鉄筋	SD345 D13	単位	t	数量	1	単価	189,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	1	189,000	189,000	
計					189,000	
単価					189,000	円／t

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－50号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価	186,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	1	186,900	186,900	
計					186,900	
単価					186,900	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－51号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,730

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	m２	1	10,730	10,730	
計					10,730	
単価					10,730	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－52号	目地板	ｺﾞﾑ発泡体t=20	単位	m2	数量	1	単価	6,660

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
目地板	30m2未満 ｺﾞﾑ発泡体t=20	m２	1	6,660	6,660	
計					6,660	
単価					6,660	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－53号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 1.5m 内高 1.5m	単位	m	数量	1	単価	165,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート	据付 2.0m/個 1.25＜B≦2.5 1.25＜H≦2.5 基礎砕石+均しｺﾝｸﾘｰﾄ 無し 標準 全ての費用	m	1	165,900	165,900	
計					165,900	
単価					165,900	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－54号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 2m 内高 0.6m	単位	m	数量	1	単価	202,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート	据付 2.0m/個 1.25＜B≦2.5 0＜H≦1.25 基礎砕石+均しｺﾝｸﾘｰﾄ 無し 標準 全ての費用	m	1	202,500	202,500	
計					202,500	
単価					202,500	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－55号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2,347

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,347	2,347	
計					2,347	
単価					2,347	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－56号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	4,248

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,248	4,248	
計					4,248	
単価					4,248	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－57号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL形側溝	幅 50ｃｍ 高さ 15ｃｍ 500A 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄL形(665×270×600)	単位	m	数量	1	単価	23,320

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャストＬ形側溝（製品長　０．６ｍ／個）	据付 有り 500A 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄL形(665×270×600) 全ての費用	m	1	23,320	23,320	
計					23,320	
単価					23,320	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－58号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 300B	単位	m	数量	1	単価	12,110

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 JIS A 5372 300B 300×300×600 無し 無し 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0	m	1	12,110	12,110	
計					12,110	
単価					12,110	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－59号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	B1500×H2000×L2000mm	単位	m	数量	10	単価	162,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け L=2000mm 2900を越え4000kg/個以下	m	10	49,660	496,600	
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-25(高炉) 一般養生 全ての費用	ｍ３	1.8	42,970	77,346	
型枠	一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｍ２	2	5,436	10,872	
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	18	1,667	30,006	
U型水路（材料費）	B1500×H2000×L2000mm	個	5	201,000	1,005,000	
計					1,619,824	
単価					162,000	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－60号	自由勾配側溝	B300×H400mm	単位	m	数量	1	単価	17,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	m	1	17,600	17,600	
計					17,600	
単価					17,600	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－61号	自由勾配側溝	B300×H500mm	単位	m	数量	1	単価	19,060

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	m	1	19,060	19,060	
計					19,060	
単価					19,060	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－62号	自由勾配側溝	B300×H600mm	単位	m	数量	1	単価	20,930

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	m	1	20,930	20,930	
計					20,930	
単価					20,930	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－63号	自由勾配側溝	B300×H800mm	単位	m	数量	1	単価	25,060

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	m	1	25,060	25,060	
計					25,060	
単価					25,060	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－64号	自由勾配側溝	B300×H1000mm	単位	m	数量	1	単価	29,890

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	m	1	29,890	29,890	
計					29,890	
単価					29,890	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－65号	側溝蓋	自由勾配側溝蓋 300用	単位	枚	数量	1	単価	3,381

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	3,381	3,381	
計					3,381	
単価					3,381	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－66号	暗渠排水管（取付管）	据付 直管 200～400mm	単位	m	数量	1	単価	4,933

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管	据付 直管 200～400mm 全ての費用	m	1	4,933	4,933	
計					4,933	
単価					4,933	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－67号	暗渠排水管（清光院水路）	据付 直管 200～400mm　穴あけ加工	単位	m	数量	2	単価	7,405

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管	据付 直管 200～400mm 全ての費用	m	2	3,054	6,108	
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）	180mm以上200mm以下 50mm以上200mm未満	孔	1	8,701	8,701	
計					14,809	
単価					7,405	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－68号	現場打ち集水桝 1号集水桝	B500×L500×H500 現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	1	単価	56,030

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-25(高炉) 0.28m3を超え0.30m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	56,030	56,030	
計					56,030	
単価					56,030	円／箇所

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－69号	現場打ち集水桝 2号集水桝	B500×L500×H1100 現場打材 18-8-40(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	1	単価	111,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-40(高炉) 0.69m3を超え0.73m3以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設	箇所	1	108,500	108,500	
足掛金物（材料費）		個	2	1,700	3,400	
計					111,900	
単価					111,900	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－70号	蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ） 500×500用	単位	枚	数量	1	単価	50,770

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	50,770	50,770	
計					50,770	
単価					50,770	円／枚

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－71号	地下排水	直管	単位	m	数量	10	単価	7,027

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
暗渠排水管	据付 直管 200～400mm 全ての費用	m	10	5,872	58,720	
フィルター材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ３	1.23	9,385	11,543.55	
計					70,263.55	
単価					7,027	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－72号	現場打水路 ①	内幅1500mm 内高2000mm 24-12-25(20)(高炉)	単位	m	数量	1.766	単価	234,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
-1次施工-						
基礎砕石	17.5cmを超え20.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	4.06	1,833	7,441.98	
コンクリート （均しｺﾝｸﾘｰﾄ）	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-25(高炉) 養生無し 全ての費用	ｍ３	0.41	41,950	17,199.5	
型枠 （均しｺﾝｸﾘｰﾄ）	一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｍ２	0.81	5,436	4,403.16	
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	2.17	43,620	94,655.4	
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	10.58	10,730	113,523.4	
鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	ｔ	0.1	189,000	18,900	
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	ｔ	0.081	186,900	15,138.9	
-二次施工-						
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 人力打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	1.06	37,510	39,760.6	
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	8.26	10,730	88,629.8	

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－72号	現場打水路 ①	内幅1500mm 内高2000mm 24-12-25(20)(高炉)	単位	m	数量	1.766	単価	234,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	0.049	189,000	9,261	
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	0.024	186,900	4,485.6	
計					413,399.34	
単価					234,100	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－73号	現場打水路 ②	内幅1500mm 内高2000mm 24-12-25(20)(高炉)	単位	m	数量	1.548	単価	233,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
-1次施工-						
基礎砕石	17.5cmを超え20.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	3.5	1,833	6,415.5	
コンクリート （均しｺﾝｸﾘｰﾄ）	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-25(高炉) 養生無し 全ての費用	ｍ３	0.35	41,950	14,682.5	
型枠 （均しｺﾝｸﾘｰﾄ）	一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｍ２	0.76	5,436	4,131.36	
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	1.9	43,620	82,878	
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	9.63	10,730	103,329.9	
鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	ｔ	0.085	189,000	16,065	
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	ｔ	0.07	186,900	13,083	
-二次施工-						
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 人力打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	0.89	37,510	33,383.9	
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	7.12	10,730	76,397.6	

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－73号	現場打水路 ②	内幅1500mm 内高2000mm 24-12-25(20)(高炉)	単位	m	数量	1.548	単価	233,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	0.04	189,000	7,560	
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	0.021	186,900	3,924.9	
計					361,851.66	
単価					233,800	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－74号	足場	安全ネット必要	単位	掛m2	数量	1	単価	5,413

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,413	5,413	
計					5,413	
単価					5,413	円／掛m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－75号	ｽﾗｲﾄﾞｹﾞｰﾄ（清光院水路）		単位	基	数量	1	単価	1,686,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スライドゲート設置	清光院水路用	基	1	235,600	235,600	
スライドゲート（材料費）	清光院水路用	基	1	1,450,000	1,450,000	
計					1,685,600	
単価					1,686,000	円／基

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－76号	取水口ｽｸﾘｰﾝ（清光院水路）	W364×H380mm	単位	基	数量	1	単価	195,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクリーン設置	W364×H380mm	基	1	93,490	93,490	
スクリーン（材料費）	W364×H380mm	基	1	102,000	102,000	
計					195,490	
単価					195,500	円／基

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－77号	足掛金物（清光院水路）		単位	本	数量	1	単価	7,408

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足掛け金物設置	後付け用　W400	本	1	3,918	3,918	
足掛け金物（材料費）	後付け用　W400mm	個	1	3,490	3,490	
計					7,408	
単価					7,408	円／本

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－78号	場所打ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40 (高炉)	単位	m3	数量	0.12	単価	71,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-40(高炉) 一般養生 全ての費用	ｍ３	0.12	43,920	5,270.4	
型枠	一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｍ２	0.6	5,436	3,261.6	
計					8,532	
単価					71,100	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－79号	張りｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25 (20)　(高炉)　ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無　厚7cm	単位	m2	数量	1	単価	4,742

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート打設工	防草ｺﾝｸﾘｰﾄ 人力打設 18-8-25 (20)　(高炉)　無し 7m3/100m2 無し	m２	1	3,293	3,293	
養生工	防草ｺﾝｸﾘｰﾄ	m２	1	114.1	114.1	
基礎砕石	7.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	m２	1	1,334	1,334	
計					4,741.1	
単価					4,742	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－80号	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	塗装品 Gr-C-2B 21m未満 曲線部補正無　景観色塗装	単位	m	数量	1	単価	18,580

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵設置工（材料費を除く手間のみ）	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 Gr-C-2B 塗装品 21m未満 無 無 無	m	1	5,595	5,595	
ガードレール　路側用（材料費）	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込　Gr-C-2B　景観色塗装	m	1	12,980	12,980	
計					18,575	
単価					18,580	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－81号	基礎ﾌﾞﾛｯｸ，鋼管基礎	基礎ブロック 180×180×450mm	単位	基	数量	1	単価	4,331

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎ブロック，鋼管基礎	基礎ﾌﾞﾛｯｸ 金網柵 無し 全ての費用	基	1	4,331	4,331	
計					4,331	
単価					4,331	円／基

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－82号	基礎ﾌﾞﾛｯｸ（現場打），鋼管基礎	基礎ブロック 550×550×700mm	単位	基	数量	1	単価	28,610

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎砕石	7.5cmを超え12.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	m２	0.42	1,500	630	
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-40(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	m３	0.21	43,260	9,084.6	
型枠	一般型枠 小型構造物	m２	1.84	9,699	17,846.16	
箱抜き	各種 全ての費用	m	0.6	1,736	1,041.6	
計					28,602.36	
単価					28,610	円／基

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－83号	ﾌｪﾝｽ･支柱（ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ）	支柱高 1.2m　支柱間隔 2.0m 景観色塗装	単位	m	数量	1	単価	18,770

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
支柱・フェンス設置	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ　支柱高1.2m　支柱間隔2.0m	m	1	14,370	14,370	
メッシュフェンス（材料費）	高1200mm	m	1	4,400	4,400	
計					18,770	
単価					18,770	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－84号	門扉	片開き 景観色塗装	単位	基	数量	1	単価	228,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
門扉設置	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ用門扉　片開き　門柱高1.2m　幅2.0m	基	1	39,900	39,900	
メッシュフェンス用門扉（材料費）	片開き　幅2000×高1200mm	基	1	189,000	189,000	
計					228,900	
単価					228,900	円／基

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－85号	転落(横断)防止柵	柵高 1.1m 土中建込 景観色塗装	単位	m	数量	1	単価	12,890

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵（横断・転落防止柵）設置工	土中建込 ﾋﾞｰﾑ式･ﾊﾟﾈﾙ式 3m 無 50m未満 無	m	1	12,890	12,890	
計					12,890	
単価					12,890	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－86号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	493

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	493	493	
計					493	
単価					493	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－87号	溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	530.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	530.2	530.2	
計					530.2	
単価					530.2	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－88号	溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	1,214

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	1,214	1,214	
計					1,214	
単価					1,214	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－89号	溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	1,195

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し 矢印･記号･文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	1,195	1,195	
計					1,195	
単価					1,195	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－90号	区画線消去	削取り式	単位	m	数量	1	単価	970.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線消去	有り 削取り式 無し 無し 全ての費用	m	1	970.8	970.8	
計					970.8	
単価					970.8	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－91号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	369

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	369	369	
計					369	
単価					369	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－92号	溶融式区画線	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	694.9

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 30cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	694.9	694.9	
計					694.9	
単価					694.9	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－93号	溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	937.7

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	937.7	937.7	
計					937.7	
単価					937.7	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－94号	溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	821.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	無し 溶融式手動 無し 矢印･記号･文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	821.6	821.6	
計					821.6	
単価					821.6	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－95号	場所打地覆		単位	箇所	数量	3	単価	112,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	小型構造物 人力打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	1.56	43,900	68,484	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	9.26	9,699	89,812.74	
差し筋アンカー	D13×240mm	本	28	3,104	86,912	
差し筋アンカー	D13×720mm	本	28	3,254	91,112	
計					336,320.74	
単価					112,200	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－96号	防護柵撤去(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ)		単位	m	数量	1	単価	1,703

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵撤去工 （ガードレール撤去工）	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込・標準型 Gr-B-2B 無 無	m	1	1,703	1,703	
計					1,703	
単価					1,703	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－97号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	11,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	11,600	11,600	
計					11,600	
単価					11,600	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－98号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	単位	m3	数量	1	単価	20,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物　機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	20,920	20,920	
計					20,920	
単価					20,920	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－99号	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　15㎝以下	単位	m	数量	1	単価	719.9

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　15㎝以下 全ての費用	m	1	719.9	719.9	
計					719.9	
単価					719.9	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－100号	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	単位	m	数量	1	単価	1,528

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下 全ての費用	m	1	1,528	1,528	
計					1,528	
単価					1,528	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－101号	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 5ｃｍ	単位	m2	数量	1	単価	226

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し 不要 15cm以下 有り 全ての費用	ｍ２	1	226	226	
計					226	
単価					226	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－102号	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 18ｃｍ	単位	m2	数量	1	単価	888.9

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し 必要 15cmを超え35cm以下 有り 全ての費用	ｍ２	1	888.9	888.9	
計					888.9	
単価					888.9	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－103号	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	1,827

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	1,827	1,827	
計					1,827	
単価					1,827	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－104号	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	2,270

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	2,270	2,270	
計					2,270	
単価					2,270	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－105号	殻運搬 現場～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	3,774

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要､舗装版厚15cm以下) 有り 10.5km以下 全ての費用	ｍ３	1	3,774	3,774	
計					3,774	
単価					3,774	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－106号	殻運搬 現場～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	2,168

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要) 有り 7.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	2,168	2,168	
計					2,168	
単価					2,168	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－107号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.35	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－108号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.5	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－109号	殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.35	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－110号	現場発生品運搬 現場～赤池大橋下	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	単位	t	数量	1	単価	22,650

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積､吊能力2.9t 有り 20.0km以下	t	1	12,170	12,170	
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積､吊能力2.9t	t	1	10,480	10,480	
計					22,650	
単価					22,650	円／t

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－111号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2,347

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,347	2,347	
計					2,347	
単価					2,347	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－112号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	4,248

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,248	4,248	
計					4,248	
単価					4,248	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－113号	ﾎﾟﾝﾌﾟ排水	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水　設置・撤去	単位	日	数量	48	単価	38,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ポンプ設置・撤去		箇所	1	98,310	98,310	
ポンプ運転	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水	日	48	36,820	1,767,360	
計					1,865,670	
単価					38,870	円／日

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－114号	ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型　管径800mm　据付・撤去	単位	m	数量	1	単価	31,840

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コルゲートパイプ	据付･撤去 ﾌﾗﾝｼﾞ型 800以上1200以下 全ての費用	m	1	31,840	31,840	
計					31,840	
単価					31,840	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－115号	ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型　管径1000mm　据付・撤去	単位	m	数量	1	単価	35,350

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コルゲートパイプ	据付･撤去 ﾌﾗﾝｼﾞ型 800以上1200以下 全ての費用	m	1	35,350	35,350	
計					35,350	
単価					35,350	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－116号	ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型　管径1200mm　据付	単位	m	数量	1	単価	38,420

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コルゲートパイプ	据付 ﾌﾗﾝｼﾞ型 800以上1200以下 全ての費用	m	1	38,420	38,420	
計					38,420	
単価					38,420	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－117号	ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	幅1000×高850mm　撤去	単位	m	数量	1	単価	10,630

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コルゲートフリューム撤去	幅1000×高850mm	m	1	10,630	10,630	
計					10,630	
単価					10,630	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－118号	ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	各種　φ500mm半割り管　据付	単位	m	数量	1	単価	21,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コルゲートフリューム据付	φ500半割り管	m	1	16,100	16,100	
コルゲートパイプ（半割）（材料費)円型１形 直径						
コルゲートパイプ(半割)(材料費)円形1形 直径500mm	板厚1.6mm 黒皮	m	1	5,400	5,400	
計					21,500	
単価					21,500	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－119号	ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	各種　φ500mm半割り管　撤去	単位	m	数量	1	単価	8,123

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コルゲートフリューム撤去	φ500半割り管	m	1	8,123	8,123	
計					8,123	
単価					8,123	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－120号	現場発生品運搬 現場～赤池大橋下	仮設材（ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ、ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ）	単位	t	数量	1	単価	21,490

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t 有り 20.0km以下	t	1	11,550	11,550	
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t	t	1	9,939	9,939	
計					21,489	
単価					21,490	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－121号	現場打ち集水桝 G2	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	1	単価	65,930

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-25(高炉) 0.36m3を超え0.38m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	65,930	65,930	
計					65,930	
単価					65,930	円／箇所

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－122号	蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ） 600×600用	単位	枚	数量	1	単価	32,370

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	32,370	32,370	
計					32,370	
単価					32,370	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－123号	土のう積	設置	単位	m2	数量	1	単価	14,030

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土のう積工	小口並べ 仕掛･積立	ｍ２	1	14,030	14,030	
計					14,030	
単価					14,030	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－124号	土のう積	撤去	単位	m2	数量	1	単価	5,494

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土のう積工	小口並べ 撤去	ｍ２	1	5,494	5,494	
計					5,494	
単価					5,494	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－125号	仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	H鋼基礎　設置	単位	m	数量	542	単価	5,270

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵設置	無し 無し H鋼基礎	m	542	1,656	897,552	
仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間216日	基	7	49,680	347,760	
仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間141日	基	23	32,430	745,890	
仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間39日	基	32	9,555	305,760	
仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間67日	基	21	15,410	323,610	
仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間41日	基	25	9,430	235,750	
計					2,856,322	
単価					5,270	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－126号	仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	H鋼基礎　撤去	単位	m	数量	1	単価	1,378

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵撤去	無し 無し H鋼基礎	m	1	1,378	1,378	
計					1,378	
単価					1,378	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－127号	安定処理	1mを超え2m以下 固化材100m2あたり使用量 5.6t/100m2 ｾﾒﾝﾄ系固化材	単位	m2	数量	1	単価	3,194

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
安定処理 【固化材の確認中】	ﾊﾞｯｸﾎｳ 構造物基礎 1mを超え2m以下 5.6t/100m2	m２	1	3,194	3,194	
計					3,194	
単価					3,194	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－128号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2,347

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,347	2,347	
計					2,347	
単価					2,347	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－129号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	4,248

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,248	4,248	
計					4,248	
単価					4,248	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－130号	重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉)	単位	m3	数量	1	単価	80,540

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉) 有り 無し 一般養生 延長無し	ｍ３	1	80,540	80,540	
計					80,540	
単価					80,540	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－131号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	1.0mを超え2.0m以下	単位	m	数量	7.34	単価	112,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト擁壁設置	1.0mを超え2.0m以下 有り 有り	m	7.34	13,800	101,292	
プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1650～1700mm 短尺 L=1046mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	192,000	192,000	
プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1554～1650mm 標準 L=2000mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	134,000	134,000	
プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1458～1554mm 標準 L=2000mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	109,000	109,000	
プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1408～1458mm 短尺 L=1046mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	144,000	144,000	
プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1346～1408mm 短尺 L=1227mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	144,000	144,000	
計					824,292	
単価					112,400	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－132号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	20,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	20,920	20,920	
計					20,920	
単価					20,920	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－133号	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	2,270

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	2,270	2,270	
計					2,270	
単価					2,270	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－134号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.5	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－135号	掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無 障害無 5,000m3未満	単位	m3	数量	1	単価	336.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 無し 無し 5,000m3未満	ｍ３	1	336.6	336.6	
計					336.6	
単価					336.6	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－136号	路体(築堤)盛土	2.5m未満	単位	m3	数量	1	単価	7,105

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路体 (築堤) 盛土	2.5m未満	ｍ３	1	7,105	7,105	
計					7,105	
単価					7,105	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－137号	路床盛土	2.5m未満	単位	m3	数量	1	単価	7,210

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土	2.5m未満	ｍ３	1	7,210	7,210	
計					7,210	
単価					7,210	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－138号	路盤(車道･路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 250mm	単位	m2	数量	1	単価	2,553

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	粒度調整砕石 M-40 250mm 2層施工 全ての費用	m２	1	2,553	2,553	
計					2,553	
単価					2,553	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－139号	表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	単位	m2	数量	1	単価	2,190

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	m２	1	2,190	2,190	
計					2,190	
単価					2,190	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－140号	ﾌｨﾙﾀｰ層	砂 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,935

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フィルター層	100mm以上120mm未満	ｍ２	1	1,935	1,935	
計					1,935	
単価					1,935	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－141号	路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,427

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（歩道部）	100mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	1,427	1,427	
計					1,427	
単価					1,427	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－142号	表層	透水性ｱｽｺﾝ 開粒度ｱｽｺﾝ(13) 2.4m以上 舗装厚 40ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,545

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
透水性アスファルト舗装	2.4m以上 40mm 各種(2.10以上2.20t/m3未満)	ｍ２	1	2,545	2,545	
計					2,545	
単価					2,545	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－143号	凍上抑制層(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,427

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（歩道部）	100mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	1,427	1,427	
計					1,427	
単価					1,427	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－144号	路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,427

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（歩道部）	100mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	1,427	1,427	
計					1,427	
単価					1,427	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－145号	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装	標準品 直線配置 厚6cm 砂(ｸｯｼｮﾝ用) 敷材厚 30ｍｍ 100m2以上	単位	m2	数量	1	単価	8,184

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
インターロッキングブロック設置	直線配置 ﾌﾞﾛｯｸ厚 6cm 標準品 砂(ｸｯｼｮﾝ用) 30mm 100m2以上 無有	ｍ２	1	8,184	8,184	
計					8,184	
単価					8,184	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－146号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2,347

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,347	2,347	
計					2,347	
単価					2,347	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－147号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	4,248

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,248	4,248	
計					4,248	
単価					4,248	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－148号	L形側溝	一般部 幅 50ｃｍ 高さ 20ｃｍ 18-8-25(高炉)	単位	m	数量	10	単価	15,890

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	9.7	1,667	16,169.9	
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	0.984	43,260	42,567.84	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	2.7	9,699	26,187.3	
歩車道境界ブロック	設置 各種(600mm以下､50kg以上100kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	10	7,393	73,930	
計					158,855.04	
単価					15,890	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－149号	L形側溝	切下げ部 幅 50ｃｍ 高さ 2ｃｍ 18-8-25(高炉)	単位	m	数量	10	単価	15,470

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	9.7	1,667	16,169.9	
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	0.984	43,260	42,567.84	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	2.7	9,699	26,187.3	
歩車道境界ブロック	設置 各種(600mm以下､50kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	10	6,968	69,680	
計					154,605.04	
単価					15,470	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－150号	L形側溝	すり付け部 幅 50ｃｍ 高さ 20ｃｍ～2ｃｍ 18-8-25(高炉)	単位	m	数量	10	単価	17,320

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	9.7	1,667	16,169.9	
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	0.984	43,260	42,567.84	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	2.7	9,699	26,187.3	
歩車道境界ブロック	設置 各種(600mm以下､50kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	10	8,819	88,190	
計					173,115.04	
単価					17,320	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－151号	自由勾配側溝	B300×H400mm （横断用）	単位	m	数量	1	単価	32,590

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.3m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.6m3/10m	m	1	32,590	32,590	
計					32,590	
単価					32,590	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－152号	管(函)渠型側溝	円形水路 （横断用-舗装対応型） 幅 30ｃｍ	単位	m	数量	1	単価	40,230

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管 （函） 渠型側溝	据付 200mm以上300mm以下 有り 全ての費用	m	1	40,230	40,230	
計					40,230	
単価					40,230	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－153号	側溝蓋	自由勾配側溝(横断用)蓋 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 300用	単位	枚	数量	1	単価	31,270

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	31,270	31,270	
計					31,270	
単価					31,270	円／枚

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－154号	現場打ち集水桝 G2	B500×L500×H700 現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業 補正無	単位	箇所	数量	1	単価	63,460

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-25(高炉) 0.34m3を超え0.36m3以下 人力打設 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1	63,460	63,460	
計					63,460	
単価					63,460	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－155号	蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ） 500×500用	単位	枚	数量	1	単価	50,770

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	50,770	50,770	
計					50,770	
単価					50,770	円／枚

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－156号	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	Gp-Bp-2E 塗装品 20m以上50m未満 曲線部補正無 景観色塗装	単位	m	数量	1	単価	23,940

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵設置工（材料費を除く手間のみ）	土中建込 Gp-Bp-2E 塗装品 ２０m以上５０m未満 無 無 無	m	1	6,832	6,832	
ガードパイプ（材料費）	土中建込 Gp-Bp-2E 景観色塗装	m	1	17,100	17,100	
計					23,932	
単価					23,940	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－157号	溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	1,214

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	1,214	1,214	
計					1,214	
単価					1,214	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－158号	矢羽根型路面標示	高輝度反射貼付式 750×1500	単位	箇所	数量	1	単価	18,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
矢羽根型路面標示設置（夜間施工）	高輝度反射貼付式 750×1500 溶融噴射式紙型枠工法	箇所	1	18,100	18,100	
計					18,100	
単価					18,100	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－159号	ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾑ	溶融噴射式(自転車ﾏｰｸ+矢印)	単位	箇所	数量	1	単価	25,420

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ピクトグラム設置 (夜間施工)	溶融噴射式(自転車ﾏｰｸ+矢印) 白色 750×2200	箇所	1	25,420	25,420	
計					25,420	
単価					25,420	円／箇所

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－160号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	11,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	11,600	11,600	
計					11,600	
単価					11,600	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－161号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	単位	m3	数量	1	単価	20,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物　機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	20,920	20,920	
計					20,920	
単価					20,920	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－162号	舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　15㎝以下	単位	m	数量	1	単価	931.3

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　15㎝以下 全ての費用	m	1	931.3	931.3	
計					931.3	
単価					931.3	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－163号	舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	単位	m	数量	1	単価	1,866

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下 全ての費用	m	1	1,866	1,866	
計					1,866	
単価					1,866	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－164号	舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ４ｃｍ	単位	m2	数量	1	単価	318.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し 不要 15cm以下 有り 全ての費用	ｍ２	1	318.6	318.6	
計					318.6	
単価					318.6	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－165号	舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 18ｃｍ	単位	m2	数量	1	単価	1,176

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し 必要 15cmを超え35cm以下 有り 全ての費用	ｍ２	1	1,176	1,176	
計					1,176	
単価					1,176	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－166号	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	1,827

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	1,827	1,827	
計					1,827	
単価					1,827	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－167号	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	2,270

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	2,270	2,270	
計					2,270	
単価					2,270	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－168号	殻運搬 （夜間）現場～出張所	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (15cm以下)	単位	m3	数量	1	単価	3,028

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要､舗装版厚15cm以下) 有り 3.5km以下 全ての費用	ｍ３	1	3,028	3,028	
計					3,028	
単価					3,028	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－169号	殻運搬 （夜間）現場～出張所	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻（15cm超）	単位	m3	数量	1	単価	1,758

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要) 有り 3.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	1,758	1,758	
計					1,758	
単価					1,758	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－170号	殻運搬 富士吉田(出)～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	3,192

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	1,827	1,827	
積込（アスファルト殻）		ｍ３	1	1,365	1,365	
計					3,192	
単価					3,192	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－171号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.35	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－172号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.5	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－173号	殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.35	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	単位	t	数量	1	単価	189,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１３	t	1.03	110,000	113,300	
鉄筋工	加工・組立共　一般構造物	t	1	75,658.5	75,658	
諸雑費（まるめ）		式	1		42	
計					189,000	
単価					189,000	円／ｔ

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	単位	t	数量	1	単価	186,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１６～２５	t	1.03	108,000	111,240	
鉄筋工	加工・組立共　一般構造物	t	1	75,658.5	75,658	
諸雑費（まるめ）		式	1		2	
計					186,900	
単価					186,900	円／ｔ

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D16×D16	単位	箇所	数量	1	単価	1,578

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ねじ節鉄筋継手 昼間	時間制約無 有機ｸﾞﾗｳﾄ材･ﾛｯｸﾅｯﾄ無 D16×D16	箇所	1	518.16	518	
機械式継手	ねじ節鉄筋継手 D16 土木用	組	1	1,060	1,060	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,578	
単価					1,578	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D25×D25	単位	箇所	数量	1	単価	2,168

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ねじ節鉄筋継手 昼間	時間制約無 有機ｸﾞﾗｳﾄ材･ﾛｯｸﾅｯﾄ無 D25×D25	箇所	1	788.46	788	
機械式継手	ねじ節鉄筋継手 D25 土木用	組	1	1,380	1,380	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					2,168	
単価					2,168	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	パイプサポート支保・くさび結合支保	ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 V≦40空m3 f≦40kN/m2[t≦120cm]	単位	空ｍ３	数量	100	単価	5,536

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	2.9	31,620	91,698	
型わく工		人	5.3	32,130	170,289	
とび工		人	2.5	29,784	74,460	
普通作業員		人	5.7	26,928	153,489	
諸雑費（率＋まるめ） 13%		式	1		63,664	
計					553,600	
単価					5,536	円／空ｍ３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	シール材（材料費）		単位	m	数量	1	単価	3,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
水膨張シール材		m	1	3,800	3,800	
計					3,800	
単価					3,800	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	スリップバー設置	D29×600mm	単位	本	数量	100	単価	556.3

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D29～32 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0.302	184,200	55,628	
諸雑費（まるめ）		式	1		2	
計					55,630	
単価					556.3	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	U型側溝	据付け 無し 無し 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 JIS A 5372 300B 300×300×600 無し 無し 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0	単位	m	数量	10	単価	12,110

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	Ｌ６００　３００ｋｇ以下　昼　無	m	10	7,316.46	73,164	
鉄筋コンクリートU形	３００Ｂ　３００×３００×６００	個	16.5	2,800	46,200	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	0.6	2,770	1,662	
諸雑費（まるめ）		式	1		74	
計					121,100	
単価					12,110	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	U型側溝	据付け L=2000mm 2900を越え4000kg/個以下	単位	m	数量	5	単価	49,660

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.2	31,620	6,324	
特殊作業員		人	2	29,070	58,140	
普通作業員		人	2	26,928	53,856	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	２５ｔ吊	日	2	53,200	106,400	
諸雑費（率＋まるめ） 20%		式	1		23,580	
計					248,300	
単価					49,660	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	U型水路（材料費）	B1500×H2000×L2000mm	単位	個	数量	1	単価	201,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（個）		個	1	201,000	201,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					201,000	
単価					201,000	円／個

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	単位	m	数量	10	単価	17,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	Ｌ２０００　１０００ｋｇ以下　昼　無	m	10	7,033.92	70,339	
自由勾配側溝	幅300×高400×長2000mm　374 (399) kg/個	個	5	15,500	77,500	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.551	25,900	14,270	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.417	25,900	10,800	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	1.116	2,770	3,091	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					176,000	
単価					17,600	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	単位	m	数量	10	単価	19,060

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	Ｌ２０００　１０００ｋｇ以下　昼　無	m	10	7,033.92	70,339	
自由勾配側溝	幅300×高500×長2000mm　426 (450) kg/個	個	5	17,800	89,000	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.551	25,900	14,270	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.536	25,900	13,882	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	1.116	2,770	3,091	
諸雑費（まるめ）		式	1		18	
計					190,600	
単価					19,060	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	単位	m	数量	10	単価	20,930

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	Ｌ２０００　１０００ｋｇ以下　昼　無	m	10	7,033.92	70,339	
自由勾配側溝	幅300×高600×長2000mm　530 (558) kg/個	個	5	21,600	108,000	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.551	25,900	14,270	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.522	25,900	13,519	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	1.116	2,770	3,091	
諸雑費（まるめ）		式	1		81	
計					209,300	
単価					20,930	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	単位	m	数量	10	単価	25,060

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	Ｌ２０００　１０００ｋｇ以下　昼　無	m	10	7,033.92	70,339	
自由勾配側溝	幅300×高800×長2000mm　725 (754) kg/個	個	5	29,100	145,500	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.551	25,900	14,270	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.67	25,900	17,353	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	1.116	2,770	3,091	
諸雑費（まるめ）		式	1		47	
計					250,600	
単価					25,060	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.52m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.93m3/10m	単位	m	数量	10	単価	29,890

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	Ｌ２０００　１０００ｋｇ以下　昼　無	m	10	7,033.92	70,339	
自由勾配側溝	幅300×高1000×長2000mm　910 (995) kg/個	個	5	38,500	192,500	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.551	25,900	14,270	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.721	25,900	18,673	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	1.116	2,770	3,091	
諸雑費（まるめ）		式	1		27	
計					298,900	
単価					29,890	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	3,381

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,060.8	106,080	
自由勾配側溝蓋	300用　車道用（2枚掛）　41kg/枚	枚	100	2,320	232,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		20	
計					338,100	
単価					3,381	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	足掛金物（材料費）		単位	個	数量	1	単価	1,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（個）		個	1	1,700	1,700	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,700	
単価					1,700	円／個

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	50,770

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,060.8	106,080	
集水桝蓋　鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	500×500　ﾎﾞﾙﾄ固定細目　t=25　65.1kg/組	枚	100	49,700	4,970,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		920	
計					5,077,000	
単価					50,770	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	単位	掛m２	数量	100	単価	5,413

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.6	31,620	50,592	
とび工		人	8.5	29,784	253,164	
普通作業員		人	1.3	26,928	35,006	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	２５ｔ吊	日	1.4	53,200	74,480	
諸雑費（率＋まるめ） 31%		式	1		128,058	
計					541,300	
単価					5,413	円／掛m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	スライドゲート設置	清光院水路用	単位	基	数量	1	単価	235,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1	31,620	31,620	
機械設備据付工		人	2	30,906	61,812	
普通作業員		人	2	26,928	53,856	
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
トラック［クレーン装置付］	ベーストラック４ｔ級　吊能力２．９ｔ	日	1	7,050	7,050	
機械器具損料（労務費の）		%	10	1,472	14,720	
諸雑費（率＋まるめ） 20%		式	1		35,636	
計					235,600	
単価					235,600	円／基

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	スライドゲート（材料費）	清光院水路用	単位	基	数量	1	単価	1,450,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スライドゲート	清光院水路用	基	1	1,450,000	1,450,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,450,000	
単価					1,450,000	円／基

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	スクリーン設置	W364×H380mm	単位	基	数量	1	単価	93,490

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.1	31,620	3,162	
特殊作業員		人	0.5	29,070	14,535	
普通作業員		人	2	26,928	53,856	
トラッククレーン［油圧伸縮ジブ型］	4．9ｔ吊	日	0.5	39,600	19,800	
諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		2,137	
計					93,490	
単価					93,490	円／基

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	スクリーン（材料費）	W364×H380mm	単位	基	数量	1	単価	102,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクリーン	W364×H380mm	基	1	102,000	102,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					102,000	
単価					102,000	円／基

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	足掛け金物設置	後付け用　W400	単位	本	数量	1	単価	3,918

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人	0.07	29,070	2,034	
普通作業員		人	0.07	26,928	1,884	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					3,918	
単価					3,918	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	足掛け金物（材料費）	後付け用　W400mm	単位	個	数量	1	単価	3,490

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（個）		個	1	3,490	3,490	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					3,490	
単価					3,490	円／個

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	コンクリート打設工	防草ｺﾝｸﾘｰﾄ 人力打設 18-8-25（20）（高炉） 無し 7m3/100m2 無し	単位	ｍ２	数量	100	単価	3,293

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1	31,620	31,620	
普通作業員		人	2.9	26,928	78,091	
生コンクリート　高炉	１８－８－２５（２０）	ｍ３	8.47	25,900	219,373	
諸雑費（率＋まるめ） 0.2%		式	1		216	
計					329,300	
単価					3,293	円／ｍ２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	養生工	防草ｺﾝｸﾘｰﾄ	単位	ｍ２	数量	100	単価	114.1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.09	31,620	2,845	
普通作業員		人	0.31	26,928	8,347	
諸雑費（率＋まるめ） 2%		式	1		218	
計					11,410	
単価					114.1	円／ｍ２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防護柵設置工（材料費を除く手間のみ）	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 Gr-C-2B 塗装品 21m未満 無 無 無	単位	m	数量	1	単価	5,595

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードレール設置工　コンクリート建込用	Ｇｒ－Ｃ－２Ｂ　塗装	m	1	16,515	16,515	
ガードレール　路側用	コンクリート建込　Ｇｒ－Ｃ－２Ｂ　塗装	m	1	-10,920	-10,920	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					5,595	
単価					5,595	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ガードレール　路側用（材料費）	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込　Gr-C-2B　景観色塗装	単位	m	数量	1	単価	12,980

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（m）		m	1.3	9,980	12,974	
諸雑費（まるめ）		式	1		6	
※20m未満のため、標準材料費×1.3（30%割増）						
計					12,980	
単価					12,980	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	支柱・フェンス設置	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ　支柱高1.2m　支柱間隔2.0m	単位	m	数量	10	単価	14,370

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1	31,620	31,620	
特殊作業員		人	2	29,070	58,140	
普通作業員		人	2	26,928	53,856	
諸雑費（まるめ）		式	1		84	
計					143,700	
単価					14,370	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	メッシュフェンス（材料費）	高1200mm	単位	m	数量	1	単価	4,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（m）		m	1	4,400	4,400	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					4,400	
単価					4,400	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	門扉設置	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ用門扉　片開き　門柱高1.2m　幅2.0m	単位	基	数量	1	単価	39,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.2	31,620	6,324	
普通作業員		人	1	26,928	26,928	
諸雑費（率＋まるめ） 20%		式	1		6,648	
計					39,900	
単価					39,900	円／基

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	メッシュフェンス用門扉（材料費）	片開き　幅2000×高1200mm	単位	基	数量	1	単価	189,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費			1	189,000	189,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					189,000	
単価					189,000	円／基

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防護柵（横断・転落防止柵）設置工	土中建込 ﾋﾞｰﾑ式･ﾊﾟﾈﾙ式 3m 無 50m未満 無	単位	m	数量	100	単価	12,890

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工　土中建込用	ビーム式・パネル式	m	100	2,484.72	248,472	
防護柵（Ｐ種）	縦格子型　土中式　景観色	m	100	10,400	1,040,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		528	
計					1,289,000	
単価					12,890	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	493

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	夜間　豪雪無　実線15cm　制約無	m	1,000	329.46	329,460	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	570	235	133,950	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	25	180	4,500	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	25	485	12,125	
軽油		L	40	130	5,200	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		7,765	
計					493,000	
単価					493	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	530.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	夜間　豪雪無　破線15cm　制約無	m	1,000	366.18	366,180	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	570	235	133,950	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	25	180	4,500	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	25	485	12,125	
軽油		L	44	130	5,720	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		7,725	
計					530,200	
単価					530.2	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	1,214

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	夜間　豪雪無　ゼブラ45cm　制約無	m	1,000	730.32	730,320	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	1,700	235	399,500	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	75	180	13,500	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	75	485	36,375	
軽油		L	89	130	11,570	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		22,735	
計					1,214,000	
単価					1,214	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し 矢印･記号･文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1,000	単価	1,195

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	夜間　豪雪無　矢印・記号・文字　制約無	m	1,200	824.16	988,992	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	684	235	160,740	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	30	180	5,400	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	30	485	14,550	
軽油		L	120	130	15,600	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		9,718	
計					1,195,000	
単価					1,195	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線消去	有り 削取り式 無し 無し 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	970.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線消去	夜間　豪雪無　削取り式　制約無	m	1,000	957.78	957,780	
軽油		L	62	130	8,060	
ガソリン	レギュラー	L	35	140	4,900	
諸雑費（まるめ）		式	1		60	
計					970,800	
単価					970.8	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	369

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　実線15cm　制約無	m	1,000	206.06	206,060	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	570	235	133,950	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	25	180	4,500	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	25	485	12,125	
軽油		L	36	130	4,680	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		7,685	
計					369,000	
単価					369	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 30cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	694.9

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　破線30cm　制約無	m	1,000	372.2	372,200	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	1,130	235	265,550	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	50	180	9,000	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	50	485	24,250	
軽油		L	66	130	8,580	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		15,320	
計					694,900	
単価					694.9	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	937.7

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　ゼブラ45cm　制約無	m	1,000	454.81	454,810	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	1,700	235	399,500	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	75	180	13,500	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	75	485	36,375	
軽油		L	81	130	10,530	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		22,985	
計					937,700	
単価					937.7	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 矢印･記号･文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 有り 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1,000	単価	821.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	昼間　豪雪無　矢印・記号・文字　制約無	m	1,200	514.22	617,064	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	684	235	160,740	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	30	180	5,400	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	30	485	14,550	
軽油		L	109.2	130	14,196	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		9,650	
計					821,600	
単価					821.6	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	差し筋アンカー	D13×240mm	単位	本	数量	1	単価	3,104

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリートアンカーボルト設置	有り	本	1	1,454	1,454	
材料費（本）		本	1	1,650	1,650	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					3,104	
単価					3,104	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	差し筋アンカー	D13×720mm	単位	本	数量	1	単価	3,254

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリートアンカーボルト設置	有り	本	1	1,454	1,454	
材料費（本）		本	1	1,800	1,800	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					3,254	
単価					3,254	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防護柵撤去工（ガードレール撤去工）	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込･標準型 Gr-B-2B 無 無	単位	m	数量	1	単価	1,703

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードレール撤去工　コンクリート建込用	Ｇｒ－Ａ、Ｂ、Ｃ－２Ｂ	m	1	1,703.4	1,703	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,703	
単価					1,703	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	単位	ｍ３	数量	1	単価	11,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物	昼間　機械施工　制約無	ｍ３	1	11,595.1	11,595	
諸雑費（まるめ）		式	1		5	
計					11,600	
単価					11,600	円／ｍ３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	単位	ｍ３	数量	1	単価	20,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間　機械施工　制約無	ｍ３	1	20,920.93	20,920	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					20,920	
単価					20,920	円／ｍ３

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（ｔ）		単位	ｔ	数量	100	単価	1,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費　ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（無筋）	【(株)土手影建設富士河口湖ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾗﾝﾄ】	ｔ	100	1,200	120,000	
計					120,000	
単価					1,200	円／ｔ

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	2,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費　ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（鉄筋）	【(株)土手影建設富士河口湖ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾗﾝﾄ】	t	100	2,400	240,000	
計					240,000	
単価					2,400	円／t

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	1,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費　ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	【(株)土手影建設富士河口湖ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾗﾝﾄ】	t	100	1,200	120,000	
計					120,000	
単価					1,200	円／t

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ポンプ設置・撤去		単位	箇所	数量	1	単価	98,310

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	31,620	15,810	
特殊作業員		人	0.1	29,070	2,907	
普通作業員		人	2	26,928	53,856	
バックホウ運転		日	0.5	51,460	25,730	
諸雑費（まるめ）		式	1		7	
計					98,310	
単価					98,310	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ポンプ運転	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水	単位	日	数量	1	単価	36,820

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人	0.17	29,070	4,941	
工事用水中ポンプ運転	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水	日	1	1,335	1,335	
発動発電機運転	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水	日	1	29,480	29,480	
諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		1,064	
計					36,820	
単価					36,820	円／日

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	コルゲートフリューム撤去	幅1000×高850mm	単位	m	数量	10	単価	10,630

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	31,620	15,810	
特殊作業員		人	1	29,070	29,070	
普通作業員		人	0.5	26,928	13,464	
バックホウ（クローラ）［標準･クレーン機能付き］	山積0.45m3/平積0.35m3 2.9t吊	日	1	47,900	47,900	
諸雑費（まるめ）		式	1		56	
計					106,300	
単価					10,630	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	コルゲートフリューム据付	φ500半割り管	単位	m	数量	10	単価	16,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.1	31,620	3,162	
特殊作業員		人	1	29,070	29,070	
普通作業員		人	3	26,928	80,784	
バックホウ（クローラ）[標準･クレーン機能付き]	山積0.45m3/平積0.35m3 2.9t吊	日	1	47,900	47,900	
諸雑費（まるめ）		式	1		84	
計					161,000	
単価					16,100	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	コルゲートパイプ(半割)(材料費)円形1形 直径500mm	板厚1.6mm 黒皮	単位	m	数量	1	単価	5,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（m）		m	1	5,400	5,400	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					5,400	
単価					5,400	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	コルゲートフリューム撤去	φ500半割り管	単位	m	数量	10	単価	8,123

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	31,620	15,810	
特殊作業員		人	0.5	29,070	14,535	
普通作業員		人	1	26,928	26,928	
バックホウ（クローラ）[標準･クレーン機能付き]	山積0.45m3/平積0.35m3 2.9t吊	日	0.5	47,900	23,950	
諸雑費（まるめ）		式	1		7	
計					81,230	
単価					8,123	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	32,370

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,060.8	106,080	
集水桝蓋　鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	600×600　落し込み細目(鎖付)　t=2　46.1kg/組	枚	100	31,300	3,130,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		920	
計					3,237,000	
単価					32,370	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	土のう積工	小口並べ 仕掏･積立	単位	ｍ２	数量	10	単価	14,030

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土のう積工購入土	流用土のため、0円を入力する。	ｍ３	3.4	0	0	
土のう	６２×４８ｃｍ	袋	170	17	2,890	
普通作業員		人	5.1	26,928	137,332	
諸雑費（まるめ）		式	1		78	
計					140,300	
単価					14,030	円／ｍ２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	土のう積工	小口並べ 撤去	単位	ｍ２	数量	10	単価	5,494

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人	2.04	26,928	54,933	
諸雑費（まるめ）		式	1		7	
計					54,940	
単価					5,494	円／ｍ２

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵設置	無し 無し H鋼基礎	単位	m	数量	1	単価	1,656

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵設置 昼間	H鋼 時間制約無	m	1	1,656.48	1,656	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,656	
単価					1,656	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間216日	単位	基	数量	1	単価	49,680

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費 （基・日）			216	230	49,680	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					49,680	
単価					49,680	円／基

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間141日	単位	基	数量	1	単価	32,430

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費 （基・日）			141	230	32,430	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					32,430	
単価					32,430	円／基

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間39日	単位	基	数量	1	単価	9,555

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（基・日）			39	245	9,555	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					9,555	
単価					9,555	円／基

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間67日	単位	基	数量	1	単価	15,410

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（基・日）			67	230	15,410	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					15,410	
単価					15,410	円／基

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料期間41日	単位	基	数量	1	単価	9,430

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費 （基・日）			41	230	9,430	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					9,430	
単価					9,430	円／基

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵撤去	無し 無し H鋼基礎	単位	m	数量	1	単価	1,378

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵撤去 昼間	H鋼 時間制約無	m	1	1,378.02	1,378	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,378	
単価					1,378	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	18,570

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	18,564	18,564	
諸雑費（まるめ）		式	1		6	
計					18,570	
単価					18,570	円／人日

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	16,430

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	16,422	16,422	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					16,430	
単価					16,430	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	27,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	27,846	27,846	
諸雑費（まるめ）		式	1		4	
計					27,850	
単価					27,850	円／人日

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	24,640

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	24,633	24,633	
諸雑費（まるめ）		式	1		7	
計					24,640	
単価					24,640	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1650～1700mm 短尺 L=1048mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	単位	個	数量	1	単価	192,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（個）		個	1	192,000	192,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					192,000	
単価					192,000	円／個

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1554～1650mm 標準 L=2000mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	単位	個	数量	1	単価	134,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（個）		個	1	134,000	134,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					134,000	
単価					134,000	円／個

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1458～1554mm 標準 L=2000mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	単位	個	数量	1	単価	109,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（個）		個	1	109,000	109,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					109,000	
単価					109,000	円／個

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1408～1458mm 短尺 L=1046mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	単位	個	数量	1	単価	144,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（個）		個	1	144,000	144,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					144,000	
単価					144,000	円／個

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プレキャスト逆L型擁壁（材料費）	H=1346～1408mm 短尺 L=1227mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	単位	個	数量	1	単価	144,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（個）		個	1	144,000	144,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					144,000	
単価					144,000	円／個

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	インターロッキングブロック設置	直線配置 ﾌﾞﾛｯｸ厚 6cm 標準品 砂(ｸｯｼｮﾝ用) 30mm 100m2以上 無 有	単位	ｍ２	数量	100	単価	8,184

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
インターロッキングブロック設置工　一般部	Ｔ＝６ｃｍ　標準品　直線配置	ｍ２	100	8,014.35	801,435	
砂	クッション用	ｍ３	3.87	4,370	16,911	
諸雑費（まるめ）		式	1		54	
計					818,400	
単価					8,184	円／ｍ２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 0.3m3/10m 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 0.6m3/10m	単位	m	数量	10	単価 32,590

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	Ｌ２０００　１０００ｋｇ以下　昼　無	m	10	7,033.92	70,339	
自由勾配側溝（横断用）	幅300×高400×長2000mm　492kg/個	個	5	47,400	237,000	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.318	25,900	8,236	
生コンクリート（高炉）	18-8-25 (20)	ｍ３	0.318	25,900	8,236	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	0.72	2,770	1,994	
諸雑費（まるめ）		式	1		95	
計					325,900	
単価					32,590	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	31,270

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	１７０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	1,060.8	106,080	
自由勾配側溝蓋（横断用）　鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	車道用ﾎﾞﾙﾄ固定式 300用　t-25 長995mm　49.5kg/組	枚	100	30,200	3,020,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		920	
計					3,127,000	
単価					31,270	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防護柵設置工（材料費を除く手間のみ）	土中建込 Gp-Bp-2E 塗装品 ２０m以上５０m未満 無 無 無	単位	m	数量	1	単価	6,832

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードパイプ設置工　土中建込用	Ｇｐ－Ｂｐ－２Ｅ　塗装	m	1	22,332	22,332	
ガードパイプ　歩車道境界用	ＧＰ－ＢＰ－２Ｅ　土中建込　塗装	m	1	-15,500	-15,500	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,832	
単価					6,832	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ガードパイプ（材料費）	土中建込 Gp-Bp-2E 景観色塗装	単位	m	数量	1	単価	17,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費（m）		m	1	17,100	17,100	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					17,100	
単価					17,100	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	矢羽根型路面標示設置（夜間施工）	高輝度反射貼付式 750×1500 溶融噴射式紙型枠工法	単位	箇所	数量	1	単価	18,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
矢羽根型路面標示	高輝度反射貼付式　750×1500溶融噴射式紙型枠工法	箇所	1	18,100	18,100	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					18,100	
単価					18,100	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	ピクトグラム設置（夜間施工）	溶融噴射式(自転車ﾏｰｸ+矢印) 白色 750×2200	単位	箇所	数量	10	単価	25,420

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.4	47,430	18,972	
普通作業員		人	1.6	40,392	64,627	
直進矢印ﾏｰｸ（自転車）	溶融ｼｰﾄ白色317H（加工）	箇所	10	16,900	169,000	
諸雑費（率＋まるめ） 2%		式	1		1,601	
計					254,200	
単価					25,420	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	単位	ｍ３	数量	1	単価	1,827

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	1,827	1,827	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,827	
単価					1,827	円／ｍ３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	積込（アスファルト殻）		単位	ｍ３	数量	10	単価	1,365

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人	0.4	26,928	10,771	
バックホウ（クローラ型）運転	標準型･排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) 山積0.8m3	日	0.038	75,780	2,879	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					13,650	
単価					1,365	円／ｍ３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	関東･中部･近畿 40.5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	単位	t	数量	1	単価	5,750

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分Ａ	製品長12m以内 50kmまで	t	1	5,750	5,750	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					5,750	
単価					5,750	円／ｔ

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等の積込み，取卸し費	積込みのみ	単位	t	数量	1	単価	750

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み費（仮設材等）		t	1	750	750	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					750	
単価					750	円／ｔ

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等の積込み，取卸し費	取卸しのみ	単位	t	数量	1	単価	750

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取卸し費（仮設材等）		t	1	750	750	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					750	
単価					750	円／t

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	土質等試験費（一式入力） 六価ｸﾛﾑ溶出試験費	7.8千円	単位	式	数量	1	単価	7,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土質等試験費		式	1		7,800	
計					7,800	
単価					7,800	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工［市場単価］	SD345 D29～32 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	単位	t	数量	1	単価	184,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ２９～３２	t	1.03	109,000	112,270	
鉄筋工	加工・組立共　一般構造物	t	1	71,908.47	71,908	
諸雑費（まるめ）		式	1		22	
計					184,200	
単価					184,200	円／ｔ

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（個）		単位	個	数量	1	単価	201,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型水路		B1500×H2000×L2000mm	個	1	201,000	201,000		
	計					201,000		
	単価					201,000	円／個	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（個）		単位	個	数量	1	単価	1,700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足掛金物		現場打用　φ19mm	個	1	1,700	1,700		
	計					1,700		
	単価					1,700	円／個	

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	機械器具損料（労務費の）		単位	%	数量	100	単価	1,472

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1	31,620	31,620	
機械設備据付工		人	2	30,906	61,812	
普通作業員		人	2	26,928	53,856	
計					147,288	
単価					1,472	円／%

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（個）		単位	個	数量	1	単価	3,490

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足掛金物	後付け用　φ19mm W=400mm	個	1	3,490	3,490	
計					3,490	
単価					3,490	円／個

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（m）		単位	m	数量	1	単価	9,980

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
標準型ガードレール 路側用	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込　Gr-C-2B　景観色塗装	m	1	9,980	9,980	
計					9,980	
単価					9,980	円／m

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（m）		単位	m	数量	1	単価	4,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
メッシュフェンス	高1200mm	m	1	4,400	4,400	
計					4,400	
単価					4,400	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費		単位		数量	1	単価	189,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
メッシュフェンス用門扉	片開き 幅2000×高1200mm	基	1	189,000	189,000	
計					189,000	
単価					189,000	円／

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	1,650

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
差し筋アンカー	D13×240mm	本	1	1,650	1,650	
計					1,650	
単価					1,650	円／本

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（本）		単位	本	数量	1	単価	1,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
差し筋アンカー	D13×720mm	本	1	1,800	1,800	
計					1,800	
単価					1,800	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ運転		単位	日	数量	1	単価	51,460

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	45	130	5,850	
バックホウ（クローラ）［標準・クレーン機能付き］	山積０．８ｍ３（平積０．６ｍ３）　２．９ｔ吊	日	1.47	10,000	14,700	
諸雑費（まるめ）		式	1		4	
計					51,460	
単価					51,460	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	工事用水中ポンプ運転	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水	単位	日	数量	1	単価	1,335

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
工事用水中モータポンプ［普通型］	潜水ポンプ　口径１５０ｍｍ　全揚程１０ｍ	日	1.1	299	328	
工事用水中モータポンプ［普通型］	潜水ポンプ　口径２００ｍｍ　全揚程１０ｍ	日	2.2	458	1,007	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,335	
単価					1,335	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	発動発電機運転	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水	単位	日	数量	1	単価	29,480

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	204	130	26,520	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	７５ｋＶＡ	日	1.1	2,690	2,959	
諸雑費（まるめ）		式	1		1	
計					29,480	
単価					29,480	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ）[標準･クレーン機能付き]	山積0.45m3/平積0.35m3 2.9t吊	単位	日	数量	1	単価	47,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	59	130	7,670	
バックホウ（クローラ）［標準・クレーン機能付き］	山積０．４５ｍ３（平積０．３５ｍ３）　２．９ｔ吊	日	1.42	6,560	9,315	
諸雑費（まるめ）		式	1		9	
計					47,900	
単価					47,900	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（m）		単位	m	数量	1	単価	5,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コルゲートパイプ（半割）	円形1形 直径500mm 板厚1.6mm 黒皮	m	1	5,400	5,400	
計					5,400	
単価					5,400	円／m

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ）[標準･クレーン機能付き]	山積0.45m3/平積0.35m3 2.9t吊	単位	日	数量	1	単価	47,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	59	130	7,670	
バックホウ（クローラ）［標準・クレーン機能付き］	山積０．４５ｍ３（平積０．３５ｍ３）　２．９ｔ吊	日	1.42	6,560	9,315	
諸雑費（まるめ）		式	1		9	
計					47,900	
単価					47,900	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費 （基・日）		単位		数量	1	単価 230

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設ガードレール賃料	5.0m/基　360日	基・日	1	230	230	
計					230	
単価					230	円／

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費 （基・日）		単位		数量	1	単価 245

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設ガードレール賃料	5.0m/基　180日	基・日	1	245	245	
計					245	
単価					245	円／

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（個）		単位	個	数量	1	単価	192,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト逆L型擁壁		H=1650～1700mm 短尺 L=1046mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	192,000	192,000		
計						192,000		
単価						192,000	円／個	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（個）		単位	個	数量	1	単価	134,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト逆L型擁壁		H=1554～1650mm 標準 L=2000mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	134,000	134,000		
計						134,000		
単価						134,000	円／個	

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（個）		単位	個	数量	1	単価	109,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト逆L型擁壁		H=1458～1554mm 標準 L=2000mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	109,000	109,000		
計						109,000		
単価						109,000	円／個	

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（個）		単位	個	数量	1	単価	144,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト逆L型擁壁		H=1408～1458mm 短尺 L=1046mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	144,000	144,000		
計						144,000		
単価						144,000	円／個	

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（個）		単位	個	数量	1	単価	144,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト逆L型擁壁	H=1346～1408mm 短尺 L=1227mm 天端ｽﾛｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ	個	1	144,000	144,000	
計					144,000	
単価					144,000	円／個

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（m）		単位	m	数量	1	単価	17,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
標準型ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ歩車道境界用	土中建込 Gp-Bp-2E 塗装(景観色)	m	1	17,100	17,100	
計					17,100	
単価					17,100	円／m

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ型）運転	標準型･排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) 山積0.8m3	単位	日	数量	1	単価	75,780

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	102	130	13,260	
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ガス対策型（２０１４年規制）　山積０．８ｍ３	供用日	1.47	21,500	31,605	
諸雑費（まるめ）		式	1		9	
計					75,780	
単価					75,780	円／日

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無 障害無 5,000m3未満	単位	m3	数量	1	単価	336.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 無し 無し 5,000m3未満	ｍ３	1	336.6	336.6	
計					336.6	
単価					336.6	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	路床盛土	2.5m未満	単位	m3	数量	1	単価	7,210

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土	2.5m未満	ｍ３	1	7,210	7,210	
計					7,210	
単価					7,210	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－3号	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	7cm以下 一層 段差すりつけ無 改質As 密粒Ⅱ型 (20)	単位	m2	数量	1	単価	3,903

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切削オーバーレイ	7cm以下 一層 無 50mm 各種 2.35t/m3 各種 43L/100m2	m２	1	3,903	3,903	
計					3,903	
単価					3,903	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－4号	殻運搬(路面切削) 現場～富士吉田(出)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (切削材)	単位	m3	数量	1	単価	541.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬（路面切削）	有り 1.0km以下 全ての費用	m３	1	541.2	541.2	
計					541.2	
単価					541.2	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－5号	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 350ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,171

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（車道・路肩部）	350mm 2層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 全ての費用	ｍ２	1	2,171	2,171	
計					2,171	
単価					2,171	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－6号	上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 200ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,229

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	粒度調整砕石 M-40 200mm 2層施工 全ての費用	ｍ２	1	2,229	2,229	
計					2,229	
単価					2,229	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－7号	上層路盤(車道・路肩部)	路盤材(各種) 再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80ｍｍ	単位	m2	数量	1	単価	2,941

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤 (車道・路肩部)	路盤材(各種) 3.0m超 80mm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 全ての費用	ｍ２	1	2,941	2,941	
計					2,941	
単価					2,941	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－8号	基層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	単位	m2	数量	1	単価	2,073

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基層 (車道・路肩部)	3.0m超 50mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4 全ての費用	ｍ２	1	2,073	2,073	
計					2,073	
単価					2,073	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－9号	表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 改質As 密粒Ⅱ型 (20) 舗装厚 50ｍｍ 3.0m超	単位	m2	数量	1	単価	2,556

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層 (車道・路肩部)	3.0m超 50mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾀｯｸｺｰﾄ(各種) 全ての費用	ｍ２	1	2,556	2,556	
計					2,556	
単価					2,556	円／m2

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2,347

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	ｍ３	1	2,347	2,347	
計					2,347	
単価					2,347	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	4,248

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	ｍ３	1	4,248	4,248	
計					4,248	
単価					4,248	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	L形側溝	平坦部　幅 50ｃｍ 高さ 2ｃｍ 18-8-25(高炉)	単位	m	数量	10	単価	15,470

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	9.7	1,667	16,169.9	
コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	0.984	43,260	42,567.84	
型枠	一般型枠 小型構造物	ｍ２	2.7	9,699	26,187.3	
歩車道境界ブロック	設置 各種(600mm以下､50kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	10	6,968	69,680	
計					154,605.04	
単価					15,470	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 B300×H300mm	単位	m	数量	1	単価	11,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 JIS A 5372 300A 300×300×2000 無し 無し 有り	m	1	11,920	11,920	
計					11,920	
単価					11,920	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－14号	側溝蓋	300 41.2×9.5×50	単位	枚	数量	1	単価	2,234

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 JIS A 5372 300 41.2×9.5×50 無し 無し	枚	1	2,234	2,234	
計					2,234	
単価					2,234	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－15号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 黄色	単位	m	数量	1	単価	573.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 黄　鉛・クロムフリー アスファルト舗装 全ての費用	m	1	573.8	573.8	
計					573.8	
単価					573.8	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－16号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	単位	m	数量	1	単価	493

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	493	493	
計					493	
単価					493	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－17号	溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	単位	m	数量	1	単価	530.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	530.2	530.2	
計					530.2	
単価					530.2	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－18号	溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	単位	m	数量	1	単価	1,214

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	1,214	1,214	
計					1,214	
単価					1,214	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－19号	溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	単位	m	数量	1	単価	1,195

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	有り 溶融式手動 無し 矢印･記号･文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	1,195	1,195	
計					1,195	
単価					1,195	円／m

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－20号	区画線消去	削取り式	単位	m	数量	1	単価	970.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線消去	有り 削取り式 無し 無し 全ての費用	m	1	970.8	970.8	
計					970.8	
単価					970.8	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	車線分離標	H=650mm 可変式(穿孔式･1本脚) 30本以上	単位	本	数量	1	単価	23,910

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
道路付属物設置工 (車線分離標 (ﾗﾊﾞｰﾎﾟｰﾙ) 設置)	可変式(穿孔式･1本脚) 手間＋材料費 本体(柱)径φ80 ﾍﾞｰｽ径φ250 高さ650mm 30本以上(標準) 無 無	本	1	23,910	23,910	
計					23,910	
単価					23,910	円／本

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	11,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	11,600	11,600	
計					11,600	
単価					11,600	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－23号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	単位	m3	数量	1	単価	20,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物　機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	20,920	20,920	
計					20,920	
単価					20,920	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－24号	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	1,606

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 5.7km以下 全ての費用	ｍ３	1	1,606	1,606	
計					1,606	
単価					1,606	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－25号	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	1,993

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 5.7km以下 全ての費用	ｍ３	1	1,993	1,993	
計					1,993	
単価					1,993	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	殻運搬 富士吉田(出)～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (切削材)	単位	m3	数量	1	単価	3,192

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	1,827	1,827	
積込（アスファルト殻）		ｍ３	1	1,365	1,365	
計					3,192	
単価					3,192	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.35	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－28号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.5	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－29号	殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻（切削殻）	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｔ）		t	2.35	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－30号	仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ		単位	m	数量	5	単価	2,898

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵設置	無し 無し H鋼基礎	m	5	1,656	8,280	
仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料日数27日	基	1	6,210	6,210	
計					14,490	
単価					2,898	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	切削オーバーレイ	7cm以下 一層 無 50mm 各種 2.35t/m3 各種 43L/100m2	単位	ｍ２	数量	100	単価	3,903

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.137	47,430	6,497	
特殊作業員		人	0.41	43,605	17,878	
普通作業員		人	0.683	40,392	27,587	
改質アスファルト混合物	改質As 密粒 Ⅱ型 (20) 夜間割増	t	12.573	17,300	217,512	
アスファルト乳剤	ＰＫＲ　ゴム入り	L	43	123	5,289	
路面切削機運転	7cm以下 一層	日	0.137	272,800	37,373	
路面清掃車運転	7cm以下 一層	日	0.137	87,710	12,016	
アスファルトフィニッシャ運転	7cm以下 一層	日	0.137	167,900	23,002	
ロードローラ運転	7cm以下 一層	日	0.137	74,710	10,235	
タイヤローラ運転	7cm以下 一層	日	0.137	72,010	9,865	
諸雑費（率＋まるめ） 16%		式	1		23,046	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	切削オーバーレイ	7cm以下 一層 無 50mm 各種 2.35t/m3 各種 43L/100m2	単位	ｍ２	数量	100	単価	3,903

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計					390,300	
単価					3,903	円／ｍ２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	U型側溝	据付け 無し 無し 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 JIS A 5372 300A 300×300×2000 無し 無し 有り	単位	m	数量	10	単価	11,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	Ｌ２０００　１０００ｋｇ以下　昼　無	m	10	4,624.68	46,246	
道路用鉄筋コンクリート側溝	１種　３００Ａ　３００×３００×２０００	個	5	14,200	71,000	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	ｍ３	0.672	2,770	1,861	
諸雑費（まるめ）		式	1		93	
計					119,200	
単価					11,920	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 JIS A 5372 300 41.2×9.5×50 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	2,234

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	４０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	433.5	43,350	
道路用側溝蓋	１種　３００　４１．２×９．５×５０	枚	100	1,800	180,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		50	
計					223,400	
単価					2,234	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 黄　鉛・クロムフリー アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	573.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	夜間　豪雪無　実線15cm　制約無	m	1,000	329.46	329,460	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　黄　鉛・フリー　溶融	ｋｇ	570	370	210,900	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	25	180	4,500	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	25	485	12,125	
軽油		L	40	130	5,200	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		11,615	
計					573,800	
単価					573.8	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	493

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	夜間　豪雪無　実線15cm　制約無	m	1,000	329.46	329,460	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	570	235	133,950	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	25	180	4,500	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	25	485	12,125	
軽油		L	40	130	5,200	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		7,765	
計					493,000	
単価					493	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	530.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	夜間　豪雪無　破線15cm　制約無	m	1,000	366.18	366,180	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	570	235	133,950	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	25	180	4,500	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	25	485	12,125	
軽油		L	44	130	5,720	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		7,725	
計					530,200	
単価					530.2	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	1,214

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	夜間　豪雪無　ゼブラ45cm　制約無	m	1,000	730.32	730,320	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	1,700	235	399,500	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	75	180	13,500	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	75	485	36,375	
軽油		L	89	130	11,570	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		22,735	
計					1,214,000	
単価					1,214	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し 矢印･記号･文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1,000	単価	1,195

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）	夜間　豪雪無　矢印・記号・文字　制約無	m	1,200	824.16	988,992	
トラフィックペイント	３種１号　ビーズ１５～１８　白　溶融型	ｋｇ	684	235	160,740	
ガラスビーズ	０．１０６～０．８５０ｍｍ	ｋｇ	30	180	5,400	
接着用プライマー	区画線用	ｋｇ	30	485	14,550	
軽油		L	120	130	15,600	
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		9,718	
計					1,195,000	
単価					1,195	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	区画線消去	有り 削取り式 無し 無し 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	970.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線消去	夜間　豪雪無　削取り式　制約無	m	1,000	957.78	957,780	
軽油		L	62	130	8,060	
ガソリン	レギュラー	L	35	140	4,900	
諸雑費（まるめ）		式	1		60	
計					970,800	
単価					970.8	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	道路付属物設置工（車線分離標（ﾗﾊﾞｰﾎﾟｰﾙ）設置）	可変式(穿孔式･1本脚）手間＋材料費 本体(柱)径φ80 ﾍﾞｰｽ径φ250 高さ650mm 30本以上(標準) 無 無	単位	本	数量	1	単価	23,910

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
車線分離標（ラバーポール）設置	可変式　穿孔式　１本脚　φ８０　高さ６５０ｍｍ	本	1	23,906.7	23,906	
諸雑費（まるめ）		式	1		4	
計					23,910	
単価					23,910	円／本

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	単位	ｍ３	数量	1	単価	11,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物	昼間　機械施工　制約無	ｍ３	1	11,595.1	11,595	
諸雑費（まるめ）		式	1		5	
計					11,600	
単価					11,600	円／ｍ３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	単位	ｍ３	数量	1	単価	20,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間　機械施工　制約無	ｍ３	1	20,920.93	20,920	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					20,920	
単価					20,920	円／ｍ３

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	単位	ｍ３	数量	1	単価	1,827

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用	ｍ３	1	1,827	1,827	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,827	
単価					1,827	円／ｍ３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	積込（アスファルト殻）		単位	ｍ３	数量	10	単価	1,365

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人	0.4	26,928	10,771	
バックホウ（クローラ型）運転	標準型･排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) 山積0.8m3	日	0.038	75,780	2,879	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					13,650	
単価					1,365	円／ｍ３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	1,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費　ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（無筋）	【(株)土手影建設富士河口湖ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾗﾝﾄ】	t	100	1,200	120,000	
計					120,000	
単価					1,200	円／t

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	2,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費　ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（鉄筋）	【(株)土手影建設富士河口湖ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾗﾝﾄ】	t	100	2,400	240,000	
計					240,000	
単価					2,400	円／t

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（t）		単位	t	数量	100	単価	1,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費　ｱｽﾌｧﾙﾄ殻（切削殻）	【(株)土手影建設富士河口湖ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾗﾝﾄ】	t	100	1,200	120,000	
計					120,000	
単価					1,200	円／t

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵設置	無し 無し H鋼基礎	単位	m	数量	1	単価	1,656

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設防護柵設置 昼間	H鋼 時間制約無	m	1	1,656.48	1,656	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,656	
単価					1,656	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設防護柵賃料	5.0m/基　賃料日数27日	単位	基	数量	1	単価	6,210

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費 （基・日）			27	230	6,210	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,210	
単価					6,210	円／基

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	18,570

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	18,564	18,564	
諸雑費（まるめ）		式	1		6	
計					18,570	
単価					18,570	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	16,430

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	16,422	16,422	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					16,430	
単価					16,430	円／人日

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	27,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	27,846	27,846	
諸雑費（まるめ）		式	1		4	
計					27,850	
単価					27,850	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	24,640

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	24,633	24,633	
諸雑費（まるめ）		式	1		7	
計					24,640	
単価					24,640	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	貨物自動車による運搬（1車1回）	路面切削機(ﾎｲｰﾙ式･廃材積込装置付) 2.0m 38.8km 無 有 20600円	単位	台	数量	1	単価	107,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車基本運賃	20t車以上30t車まで 50kmまで	台	1	87,000	87,000	
貨物自動車運送料金	運搬中の賃料（損料） K（K'）	台	1	20,600	20,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					107,600	
単価					107,600	円／台

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	関東･中部･近畿 38.8km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	単位	t	数量	1	単価	5,380

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分Ａ	製品長12m以内 40kmまで	t	1	5,380	5,380	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					5,380	
単価					5,380	円／ｔ

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等の積込み，取卸し費	積込みのみ	単位	t	数量	1	単価	750

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み費（仮設材等）		t	1	750	750	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					750	
単価					750	円／ｔ

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	路面切削機運転	7cm以下 一層	単位	日	数量	1	単価	272,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	46,359	46,359	
軽油		L	215	130	27,950	
路面切削機［ホイール式・廃材積込装置付］	排ガス型（第３次）　切削幅２．０ｍ　深さ２３ｃｍ	供用日	1.28	155,000	198,400	
諸雑費（まるめ）		式	1		91	
計					272,800	
単価					272,800	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	路面清掃車運転	7cm以下 一層	単位	日	数量	1	単価	87,710

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人	1	40,086	40,086	
軽油		L	39	130	5,070	
路面清掃車［ブラシ・四輪式・路面切削工事用］	ホッパ容量１．５ｍ３	供用日	1.15	37,000	42,550	
諸雑費（まるめ）		式	1		4	
計					87,710	
単価					87,710	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026．2
歩掛使用年月	2026．2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	アスファルトフィニッシャ運転	7cm以下 一層	単位	日	数量	1	単価	167,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	46,359	46,359	
軽油		L	59	130	7,670	
アスファルトフィニッシャ［ホイール型］	排ガス対策２０１４年規制　舗装幅２．３～６．０ｍ	供用日	1.28	88,900	113,792	
諸雑費（まるめ）		式	1		79	
計					167,900	
単価					167,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	ロードローラ運転	7cm以下 一層	単位	日	数量	1	単価	74,710

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	46,359	46,359	
軽油		L	29	130	3,770	
ロードローラ［マカダム・排ガス型２０１４年規制］	運転質量１０ｔ　締固め幅２．１ｍ	供用日	1.28	19,200	24,576	
諸雑費（まるめ）		式	1		5	
計					74,710	
単価					74,710	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

	タイヤローラ運転	7cm以下 一層	単位	日	数量	1	単価	72,010

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	46,359	46,359	
軽油		L	22	130	2,860	
タイヤローラ［普通型・排ガス対策２０１４年規制］	運転質量１３～１４ｔ	供用日	1.28	17,800	22,784	
諸雑費（まるめ）		式	1		7	
計					72,010	
単価					72,010	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ型）運転	標準型･排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) 山積0.8m3	単位	日	数量	1	単価	75,780

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	102	130	13,260	
バックホウ（クローラ型） ［標準型］	排出ガス対策型（２０１４年規制）　山積０．８ｍ３	供用日	1.47	21,500	31,605	
諸雑費（まるめ）		式	1		9	
計					75,780	
単価					75,780	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費 （基・日）		単位		数量	1	単価 230

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設ガードレール賃料	5.0m/基　360日	基・日	1	230	230	
計					230	
単価					230	円／

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）： 道路改良工事　　合算工事： 0

対象工事費	78,797,675	直接工事費	78,797,675	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	2,512,380	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	148,450	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	148,450	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	78,649,225	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	76,285,295		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	9.99 %	0 %	
施工地域等補正	1.3	ICT施工補正	1
率（補正後）	13.25 %	（12.99% × 週休1.02）	
計上額	10,421,000	0	0

比較結果	当該追加工事	A		
	0	0	調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	76,285,295	直接工事費	78,797,675
非対象額計（－）	2,512,380		
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	0	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	2,512,380	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	0		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	76,285,295	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費					
率（補正前）	1.04 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	1.04 %				
計上額	793,000		0		0

比較結果	当該追加工事	A	調整工事計上額	0
	0	0		

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	852,236				
運搬費	844,436	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	7,800
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計　12,066,236

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）：道路改良工事　　合算工事：0

対象工事費	64,123,411	直接工事費	64,123,411	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	2,189,340	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	265,638	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	265,638	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	63,857,773	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	61,934,071		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	10.19 %	0 %	
施工地域等補正	1.3	ICT施工補正	1
率（補正後）	13.52 %	（13.25% × 週休1.02）	
計上額	8,633,000	0	0

比較結果	当該追加工事	A		
	0	0	調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	61,934,071	直接工事費	64,123,411
非対象額計（－）	2,189,340		
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	0	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	2,189,340	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	0		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	61,934,071	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費							
率（補正前）	1.08	%		0	%	0	%
施工地域等補正	市街地以外						
率（補正後）	1.08	%					
計上額	668,000			0		0	

比較結果	当該追加工事	A	調整工事計上額	0
	0	0		

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	562,250				
運搬費	554,450	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	7,800
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	9,863,250

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）：道路改良工事　　合算工事：0

対象工事費	14,674,264	直接工事費	14,674,264	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	323,040	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	0	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	14,674,264	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	14,351,224		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	11.73 %	0 %	
施工地域等補正	1.2	ICT施工補正	1
率（補正後）	14.36 %	（14.08% × 週休1.02）	
計上額	2,107,000	0	0

比較結果	当該追加工事	A		
	0	0	調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	14,351,224	直接工事費	14,674,264		
非対象額計（－）	323,040				
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	323,040	（直接工事費に含まれる処分費等）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）					
単独（追加工事）	14,351,224	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	3.22　%		0　%		0　%
施工地域等補正	市街地				
率（補正後）	3.22　%				
計上額	462,000		0		0
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	289,986				
運搬費	289,986	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	2,858,986

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	90,863,911	単独（追加工事）直接工事費	78,797,675	単独（追加工事）共通仮設費	12,066,236
非対象額計（－）	156,250				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	7,800	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	148,450	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	90,707,661	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	88,343,731		0		0
現場管理費対象純工事費 （調整工事入力で使用）					
率（補正前）	29.9 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.1				
施工時期補正	0.44 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	34.33 % （33.33% × 週休1.03）		0 %		
計上額	31,139,000		0		0
			5,226,837 （工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）		
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	73,986,661	単独（追加工事）直接工事費	64,123,411	単独（追加工事）共通仮設費	9,863,250
非対象額計（－）	273,438				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	7,800	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	265,638	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	73,713,223	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	71,789,521		0		0
現場管理費対象純工事費　（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	30.22 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.1				
施工時期補正	0.44 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	34.69 %	（33.68% × 週休1.03）	0 %		
計上額	25,571,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	17,533,250	単独（追加工事）直接工事費	14,674,264	単独（追加工事）共通仮設費	2,858,986
非対象額計（－）	0				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	17,533,250	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	17,210,210		0		0
現場管理費対象純工事費　（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	32.52 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.1				
施工時期補正	0.44 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	37.3 %	（36.21% × 週休1.03）	0 %		
計上額	6,539,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名	甲府河川国道事務所　工務第二課			工事番号	2025010020　　第　0　回変更
発注年月	令和08年01月	契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	主工種	道路改良工事

工事原価	122,002,911						
純工事費	90,863,911	現場管理費	31,139,000	工期延長等に伴う現場維持費		0	
非対象額計（－）	156,250						
管理費区分９	7,800	（支給品を除く間接費非対象額）					
管理費区分Ｔ	148,450	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）					
一般管理費等対象工事原価							
単独（追加工事）	121,846,661	現工事	0		合算工事	0	
全処分費等を除く							
一般管理費等対象工事原価	119,482,731	現工事	0		合算工事	0	
（調整工事入力で使用）							
前払金支出割合による補正係数	1	現工事					
財団法人等による補正係数	1						
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	121,846,661						
契約保証に係る補正値	0.04　％						
一般管理費率							
単独（追加工事）	16.67　％	現工事	0　％		合算工事	0　％	
一般管理費	20,360,089						
業務委託料等	0						
調査基準価格	143,682,000						
調査基準価格の100/110	130,620,000	（ 90.71　％）					

Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事

（　当　　初　）　請負工事費計算書

(1)直接工事費	78,797,675		
(2)共通仮設費	12,722,236		
(3)純工事費 (1)+(2)	91,519,911		
(4)現場管理費	32,110,000		
(5)工期延長等に伴う現場維持等の費用	0	(16)工場製作純工事費	0
		(17)工場管理費	0
(6)工事原価 (3)+(4)+(5)+(18)	123,629,911	(18)工場製作原価 (16)+(17)	0
(7')一般管理費等(計上額)	20,360,089	((7)一般管理費等(計算額)	20,360,577)
(8')その他費目計	0		
(9)業務委託料等	0		
(10)工事価格 (6)+(7')+(8')+(9) (万円未満切り捨て)	143,990,000		

(11)消費税相当額	14,399,000
(12)請負工事価格 (10)+(11)	158,389,000
(13)入札書比較価格 (請負工事費の100/110)	143,990,000
(14)調査基準価格	143,682,000
(15)調査基準価格の100/110 (万円未満切り捨て)	130,620,000

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事

国土交通省 関東地方整備局
甲府河川国道事務所　工務第二課

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路改良 （福地用水路）		式		1		
道路土工		式		1		
掘削工		式		1		
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3		170		
路体盛土工		式		1		
路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3		260		
路体(築堤)盛土	2.5m以上4.0m未満	m3		40		
路体(築堤)盛土	4.0m以上	m3		250		
土砂等運搬 現場内	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		80		
土砂等運搬 擁壁工～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		20		
土砂等運搬 道の駅交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		50		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
土砂等運搬 上宿交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		50		
土砂等運搬 採取場～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		160		
路床盛土工		式		1		
路床盛土	2.5m未満	m3		290		
路床盛土	4.0m以上	m3		320		
土砂等運搬 上宿交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		270		
土砂等運搬 採取場～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		390		
法面整形工		式		1		
法面整形(盛土部)	法面締固め無 現場制約無	m2		140		
残土処理工		式		1		
土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		190		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
残土等処分		m3		190		
舗装工		式		1		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工（市道）		式		1		
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		161		
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100mm	m2		161		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上3.0m以下	m2		161		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工（市道）	仮舗装	式		1		
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		130		
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100mm	m2		130		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2		130		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工（国道）	仮舗装	式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		664		
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		664		
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2		664		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2		664		
擁壁工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		
場所打擁壁工(構造物単位)		式		1		
重力式擁壁 ①	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉)	m3		13		
重力式擁壁 ②	2m以上5m以下 18-8-40(高炉)	m3		62		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し		式		1		
基面整正		式		1		
場所打函渠工		式		1		
基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 敷厚 0.2m	m2		10		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(高炉) 敷厚 10ｃｍ	m2		10		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	内空幅 2m 内空高さ 0.6m 24-12-25(20)(高炉) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	m3		10		
鉄筋	SD345 D13	t		0.41		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.76		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
鉄筋	機械式継ぎ手　D16×D16	箇所		28		
鉄筋	機械式継ぎ手　D25×D25	箇所		10		
型枠	一般型枠	式		1		
支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	式		1		
目地板	ｺﾞﾑ発泡体t=20	m2		3		
ｼｰﾙ材		m		8		
ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	D29×600	本		12		
巻立工 2		式		1		
基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 敷厚 0.2m	m2		8		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(高炉) 敷厚 10ｃｍ	m2		8		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	m3		4		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
鉄筋	SD345 D13	t		0.05		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.23		
型枠	一般型枠	式		1		
目地板	ｺﾞﾑ発泡体t=20	m2		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 1.5m 内高 1.5m	m		10		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 2m 内高 0.6m	m		10		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
側溝工		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL形側溝	幅 50ｃｍ 高さ 15ｃｍ 500A 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄL形(665×270×600)	m		2		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 300B	m		21		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	B1500×H2000×L2000mm	m		5		
自由勾配側溝	B300×H400mm	m		2		
自由勾配側溝	B300×H500mm	m		2		
自由勾配側溝	B300×H600mm	m		2		
自由勾配側溝	B300×H800mm	m		2		
自由勾配側溝	B300×H1000mm	m		2		
側溝蓋	自由勾配側溝蓋 300用	枚		10		
管渠工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
暗渠排水管 （取付管）	据付 直管 200～400mm	m		0.8		
暗渠排水管 （清光院水路）	据付 直管 200～400mm　穴あけ加工	m		2		
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
現場打ち集水桝 1号集水桝	B500×L500×H500 現場打材 18-8-25（高炉） 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 2号集水桝	B500×L500×H1100 現場打材 18-8-40(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ） 500×500用	枚		2		
地下排水工		式		1		
地下排水	直管	m		19		
場所打水路工		式		1		
現場打水路 ①	内幅1500mm 内高2000mm 24-12-25(20)(高炉)	m		2		
現場打水路 ②	内幅1500mm 内高2000mm 24-12-25(20)(高炉)	m		2		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
足場	安全ネット必要	式		1		
付属施設工		式		1		
ｽﾗｲﾄﾞｹﾞｰﾄ（清光院水路）		基		1		
取水口ｽｸﾘｰﾝ（清光院水路）	W364×H380mm	基		1		
足掛金物（清光院水路）		本		5		
場所打ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40（高炉）	m3		0.1		
ｺﾝｸﾘｰﾄｼｰﾙ		式		1		
張りｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25（20）（高炉） ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無 厚7cm	m2		3		
防護柵工		式		1		
路側防護柵工		式		1		
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	塗装品 Gr-C-2B 21m未満 曲線部補正無　景観色塗装	m		16		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
防止柵工		式		1		
基礎ﾌﾞﾛｯｸ，鋼管基礎	基礎ブロック 180×180×450mm	基		6		
基礎ﾌﾞﾛｯｸ（現場打），鋼管基礎	基礎ブロック 550×550×700mm	基		2		
ﾌｪﾝｽ・支柱（ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ）	支柱高 1.2m　支柱間隔 2.0m 景観色塗装	m		10		
門扉	片開き 景観色塗装	基		1		
転落(横断)防止柵	柵高 1.1m 土中建込 景観色塗装	m		3		
区画線工		式		1		
区画線工（夜間）		式		1		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		430		
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		20		
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		7		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m		31		
区画線消去	削取り式	m		938		
区画線工		式		1		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		420		
溶融式区画線	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		5		
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		14		
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m		31		
道路付属施設工		式		1		
道路付属物工		式		1		
場所打地覆		箇所		3		
構造物撤去工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
防護柵撤去工		式		1		
防護柵撤去(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ)		m		61		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		251		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		1		
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	式		1		
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	式		1		
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ５ｃｍ	m2		230		
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 18ｃｍ	m2		90		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		251		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		1		
殻運搬 現場～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		12		
殻運搬 現場～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		17		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		251		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		1		
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		28		
現場発生品運搬 現場～赤池大橋下	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	t		1.18		
仮設工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
水替工		式		1		
ﾎﾟﾝﾌﾟ排水	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水 設置・撤去	式		1		
仮水路工		式		1		
ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型　管径800mm　据付・撤去	式		1		
ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型　管径1000mm　据付・撤去	式		1		
ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型　管径1200mm　据付	式		1		
ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	幅1000×高850mm　撤去	式		1		
ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	各種 φ500mm半割り管　据付	式		1		
ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	各種 φ500mm半割り管　撤去	式		1		
現場発生品運搬 現場～赤池大橋下	仮設材（ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ、ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ）	式		1		
現場打ち集水桝 G2	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ） 600×600用	式		1		
土のう積	設置	式		1		
土のう積	撤去	式		1		
防護施設工		式		1		
仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	H鋼基礎　設置	式		1		
仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	H鋼基礎　撤去	式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		式		1		
交通誘導警備員（夜間）		式		1		
道路改良（新屋 擁壁工）		式		1		
地盤改良工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
安定処理工		式		1		
安定処理	1mを超え2m以下 固化材100m2あたり使用量 5.6t/100m2 ｾﾒﾝﾄ系固化材	m2		11		
擁壁工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		
場所打擁壁工(構造物単位)		式		1		
重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉)	m3		18		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	1.0mを超え2.0m以下	m		7		
構造物撤去工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		0.9		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		0.9		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		0.9		
仮設工		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		式		1		
道路改良 （道の駅交差点）		式		1		
道路土工		式		1		
掘削工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無 障害無 5,000m3未満	m3		70		
路体盛土工		式		1		
路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3		8		
路床盛土工		式		1		
路床盛土	2.5m未満	m3		20		
舗装工		式		1		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 (夜間)(支道舗装)		式		1		
路盤(車道･路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 250mm	m2		209		
表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2		209		
透水性舗装工 (夜間)(歩道一般部)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層	砂 仕上り厚 100mm	m2		14		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2		14		
表層	透水性ｱｽｺﾝ 開粒度ｱｽｺﾝ(13) 2.4m以上 舗装厚 40ｍｍ	m2		14		
ﾌﾞﾛｯｸ舗装工（夜間）		式		1		
凍上抑制層(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2		144		
路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2		144		
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装	標準品 直線配置 厚6cm 砂(ｸｯｼｮﾝ用) 敷材厚 30ｍｍ 100m2以上	m2		144		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		
側溝工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
L形側溝	一般部 幅 50ｃｍ 高さ 20ｃｍ 18-8-25(高炉)	m		15		
L形側溝	切下げ部 幅 50ｃｍ 高さ 2ｃｍ 18-8-25(高炉)	m		17		
L形側溝	すり付け部 幅 50ｃｍ 高さ 20ｃｍ～2ｃｍ 18-8-25(高炉)	m		3		
自由勾配側溝	B300×H400㎜（横断用）	m		13		
管(函)渠型側溝	円形水路（横断用-舗装対応型） 幅 30ｃｍ	m		39		
側溝蓋	自由勾配側溝(横断用)蓋 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 300用	枚		6		
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
現場打ち集水桝 G2	B500×L500×H700 現場打材 18-8-25（高炉） 法面作業補正無	箇所		2		
蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ） 500×500用	枚		2		
防護柵工		式		1		
路側防護柵工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	Gp-Bp-2E 塗装品 20m以上50m未満 曲線部補正無　景観色塗装	m		21		
区画線工		式		1		
区画線工（夜間）		式		1		
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		63		
路面標示工（夜間）		式		1		
矢羽根型路面標示	高輝度反射貼付式 750×1500	箇所		54		
ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾑ	溶融噴射式(自転車ﾏｰｸ+矢印)	箇所		6		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		5		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		24		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	式		1		
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	式		1		
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 ４ｃｍ	m2		56		
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 18ｃｍ	m2		170		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		5		
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		24		
殻運搬 （夜間）現場～出張所	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (15cm以下)	m3		2		
殻運搬 （夜間）現場～出張所	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (15cm超)	m3		31		
殻運搬 富士吉田(出)～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		33		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		5		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		24		
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		33		
仮設工		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		式		1		
交通誘導警備員（夜間）		式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
技術管理費		式		1		
土質等試験費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路改良 （上宿交差点）		式		1		
道路土工		式		1		
掘削工		式		1		
掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無 障害無 5,000m3未満	m3		340		
路床盛土工		式		1		
路床盛土	2.5m未満	m3		20		
舗装工		式		1		
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工 （夜間）		式		1		
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	7cm以下 一層 段差すりつけ無 改質As 密粒Ⅱ型（20）	m2		487		
殻運搬(路面切削) 現場～富士吉田(出)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻（切削材）	m3		24		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 (夜間)(車道)		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 350mm	m2		665		
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 200mm	m2		665		
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材(各種) 再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2		665		
基層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2		665		
表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 改質As 密粒Ⅱ型 (20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2		665		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		
側溝工		式		1		
L形側溝	平坦部　幅 50ｃｍ 高さ 2ｃｍ 18-8-25(高炉)	m		9		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 B300×H300mm	m		5		
側溝蓋	300 41.2×9.5×50	枚		10		
区画線工		式		1		
区画線工（夜間）		式		1		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 黄色	m		120		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		370		
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		17		
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		310		
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		53		
区画線消去	削取り式	m		126		
道路付属施設工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路付属物工		式		1		
車線分離標	H=650㎜ 可変式(穿孔式･1本脚) 30本以上	本		32		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		48		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		20		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		48		
殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		20		
殻運搬 富士吉田(出)～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (切削材)	m3		24		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		48		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		20		
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻（切削殻）	m3		24		
仮設工		式		1		
防護施設工		式		1		
仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ		m		103		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		式		1		
交通誘導警備員（夜間）		式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事（上宿交差点）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
運搬費		式		1		
建設機械運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事

特　　記　　仕　　様　　書

令和８年１月

関　東　地　方　整　備　局
甲　府　河　川　国　道　事　務　所

第 1 章 総 則

第１条　適用

１．この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和７年度版)(以下「共通仕様書」という。)でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。

２．この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。

※３．この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。

URL　https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html

３．本工事における「条件明示」については、別紙 － １「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第２条　主任技術者等（契約書第 10 条）

本工事の主任技術者又は監理技術者は、受注者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予の技術者でなければならない。

第３条　主任技術者等の専任期間

１．契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。

２．契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。

３．工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

第４条　コリンズ（CORINS）への登録

１．工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「１－１－１－７コリンズ（CORINS）への登録」によるものとする。

２．受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為(一括下請負等)が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。

３．技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第５条　コリンズ（CORINS）への位置情報の入力

土木工事共通仕様書１－１－１－７コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（JGD2024）に準拠する。

起点　山梨県富士吉田市上吉田東　緯度　３５°２７’４８”　経度　１３８°４８’１２”
終点　山梨県富士吉田市上吉田東　緯度　３５°２７’２３”　経度　１３８°４８’２０”

第６条　コリンズ（CORINS）への工事概要の入力

土木工事共通仕様書１－１－１－７コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

記載例）

本工事は、山梨県富士吉田市上吉田東地先において、一般国道１３８号の福地用水路、上宿交差点、における、道路改良工事を行うものである。

主な工種は掘削工・盛土工・舗装工・区画線工・切削オーバーレイ工・擁壁工・排水構造物工である。

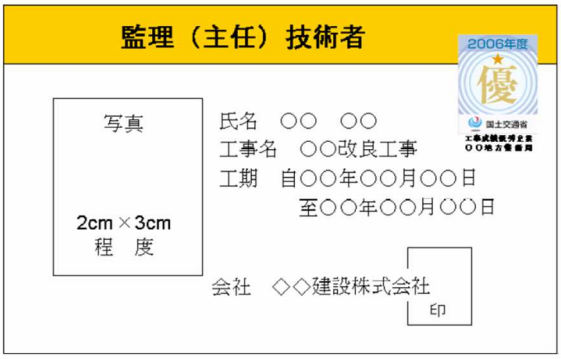
第７条　コリンズ（CORINS）への設計業務名及びテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書１－１－１－７コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

業　務　名	テクリス番号
Ｒ４新屋拡幅道路修正他設計業務	4052153196
Ｒ６富士東部地区道路設計検討業務	4055733729
H30 富士北麓周辺地域道路空間検討その他業務	4033442507

第８条　施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。



注１）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注２）所属会社の写真とする。

第９条　調査・試験に対する協力（低入札価格調査制度調査対象工事について）

１．契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、

検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。

２．予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は「低入札価格調査制度調査対象工事に係る監督体制の強化」の追加として下記の調査に協力しなければならない。

（１）受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。

（２）受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。

（３）工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は甲府河川国道事務所のホームページにより公表する。

（４）低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。

なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了した後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は、以下のとおり。

資　料　名	内　　容
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－１	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－２	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－３	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表
比較表－４	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－５	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－６	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－７	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－８	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査(工事費)	元請、下請の工事費内訳

注）特記仕様書に別紙様式等を添付する場合には必ず（別紙様式 －００の様式）を添付すること

第１０条　低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第１１条　不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

・擁壁工
・カルバート工
・切削オーバーレイ工
・防護柵工
・舗装工

第１２条　不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第１３条　工事書類の作成

１．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和７年３月）」に基づき実施するものとする。

２．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和７年３月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。

３．「工事関係書類一覧表」（別紙 - １５）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。

また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。

４．電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第１４条　設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によるものとする。

第１５条　情報共有システムの活用

１．本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事の情報共有システム活用ガイドライン」（令和７年３月版）に基づき実施すること。

２．受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、監督職員と協議し承諾を得なければならない。使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev５．７）令和７年３月版　国土交通省（国土技術政策総合研究所）

３．監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーＩＤ数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。

４．受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。

（１）情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨

（２）サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏

洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨

（３）（２）の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨

５．受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第１６条　「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」の設置

本工事は、「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（ 以下、「三者会議」という。） の対象工事では無いが、受注者から「三者会議」の開催を要請した場合、明らかに会議開催の必要性が乏しいと判断される場合を除き、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「三者会議」を開催するものとする。

受注者は、「三者会議」の開催を要請する場合、監督職員と協議するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」） 運用方針」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第１７条　設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第１８条　工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第１９条　ワンデーレスポンス

１．この工事はワンデーレスポンス対象工事である。

・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

２．受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

３． 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

４．ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和５年１２月）に基づき、取り組むものとする。

５．効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第２０条　契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

１．本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。

２．受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第２１条　設計図面の変更

設計変更等については、契約書第１８条から第２５条及び共通仕様書共通編１－１－１－１６から１－１－１－１８に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によることとする。

第２２条　スライド条項

工事請負契約書第２６条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不適当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不適当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第２３条　工事現場発生品

１．構造物撤去工から発生する現場発生品の引渡し場所は、赤池資材置き場(運搬距離 L=17.1km)とする。

２．現場発生品は下表のとおりとする。

品目	規格	単位	数量	引渡場所	運搬距離	摘要
ガードレール	Gr―C-２B	m	61	赤池資材置き場	17.1ｋｍ	1.18ｔ
コルゲートパイプ	円形１型直径 800 ㎜ 板厚 1.6 ㎜	m	29			3.01ｔ
	円形１型直径 1000 ㎜ 板厚 1.6 ㎜	m	18			
コルゲートフリューム	幅 1000×高 850ｍｍ	m	4			
	φ500 半割り管	m	49			

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第２４条　公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領(土木)

１．再生資源の活用

受注者は、下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資　材　名	規　　格	備　考
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	RC-40	L 型側溝 逆 L 型側溝 U 型側溝 自由勾配側溝 下層路盤 路盤歩道部 凍上抑制層（歩道部） 現場打ち水路 コンクリートシール メッシュフェンス （門扉付き） 凍上抑制層（歩道部）
再生アスファルト混合物	再生瀝青安定処理剤（４０）	上層路盤
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン（２０）	基層
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（２０）	表層

なお、使用に際し「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

２．特定建設資材の分別解体等の再資源化等

（１）本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成１２年法律第１０４号、最終令和４年６月１７日法律６８号)。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「８解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議するものとする。

１）分別解体等の方法

工程ごと	工　　程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

の作業内容及び解体方法	②土工	土工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 （構造物撤去）	その他の工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

2）再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類		施設の名称	施設の住所又は所在地
コンクリート （無筋）	福地用水路 道の駅交差点 上宿交差点	（株）土手影建設富士河口湖リサイクルプラント処分場	山梨県南都留郡富士河口湖町小立５０６５
コンクリート （有筋）	福地用水路 新屋　擁壁工 道の駅交差点 上宿交差点		
アスファルト殻	福地用水路 道の駅交差点 上宿交差点		

※上記　2）については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

3）受入時間

（株）土手影富士河口湖リサイクルプラント処分場：８時００分～１７時００分

4）その他

本工事において夜間に発生した殻は、仮置場所に仮置きし、昼間処分するものとする。仮置き場所は、富士吉田出張所を想定している。

（２）受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成１４年５月)」に定めた様式１〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び様式２〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。

・再資源化等が完了した年月日

・再資源化等をした施設の名称及び所在地

・再資源化等に要した費用

３．その他

工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第２５条　建設リサイクル法第１１条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律第１０４号）第１１条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第１０条第１項に規定する工事着手をいう。）するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第２６条　コンクリート副産物から再生された資源について

１．コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。

２．受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。

３．受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

４．受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査をJIS A 5022（再生骨材Mを用いたコンクリート）、JIS A 5023（再生骨材Ｌを用いたコンクリート）により実施しなければならない。また、再生骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレストキャストコンクリート製品－検査方法通則）により実施しなければならない。なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。

５．再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第１編３－３－３ 配合」に従うものとする。

第２７条　工事完成図

本工事は、道路工事完成図等作成要領（第２版）（国土技術政策総合研究所資料、平成２０年１２月）に基づく電子納品の対象工事である。http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第２８条　工事完成図書の作成、納品

１．完成図等の作成について

受注者は、「道路工事完成図等作成要領（国土技術政策総合研究所資料、平成２０年１２月）」に基づいて作成した電子データを、電子媒体で提出しなければならない。

受注者は、本要領に基づき、国土技術政策総合研究所がホームページ上に無償で公開している本要領に対応したチェックプログラムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で出力資料を含む（別紙等での提出も可能）電子データを提出しなければならない。

２．提出資料

【電子データ（ＣＤ入り）】

・完成平面図 SXF データ（.P21）

・完成縦断図 SXF データ（.P21）

・完成平面図：属性 XML データ（拡張子 .saf）

【出力資料（道路工事完成図等作成要領Ｐ７３参照）】

・チェック結果記録

・完成平面図

・完成縦断図

・「完成平面図」チェック結果記録

・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ

第２９条　施工管理

１．本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値(令和７年度版)によるものとする。なお、この管理基準により難い場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。

２．本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準(令和７年度版)によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

３．本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ＩＣＴ活用工事実施要領(令和７年３月改定)の関連要領等一覧（ＵＲＬ「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」）によるものとする。

第３０条　デジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事では、以下の１．から４．の全てを実施することとする。

１．対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和７年度版）（以下、写真管理基準）「２-２撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」（URL：https://www.cryptrec.go.jp/list.html」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア，（一社）施工管理ソフトウェア産業協会，〈https://www.jcomsia.org/kokuban〉.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

２．デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、同条１．の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「２-２撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉塵等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

３．小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準（令和５年３月）（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「２-５ 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「６.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

４．小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したものでもよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会〈https://www.jcomsia.org/kokuban〉.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではないなお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第３１条 ＩＣＴ活用工事における適用（用語の定義）について

１．図面

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、工事完成図、３次元モデルを復元可能なデータ（以下「３次元データ」という。）等をいう。

なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

第３２条 ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査

ＩＣＴ活用工事を行った施工者は、活用目的等の把握のための「ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査」の対象であり、別途監督職員より指示される調査票に基づき実施するものとする。

施工者は、工事完了後直ちに調査票を監督職員へ提出・確認後、発注者が指示するメールアドレスまで調

査票を電子メールにより提出すること。また調査票の聞き取り調査等を実施する場合はこれに協力するものとする。

調査費用については当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第３３条　現場環境改善（快適トイレの設置）

１．内 容

受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

（１）洋式（洋風）便器

（２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）

（３）臭い逆流防止機能

（４）容易に開かない施錠機能

（５）照明設備

（６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

（７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

（８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

（９）サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）

（１０）鏡と手洗器

（１１）便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

（１２）室内寸法 900㎜×900㎜ 以上（面積ではない）

（１３）擬音装置（機能を含む）

（１４）着替え台

（１５）臭気対策機能の多重化

（１６）室内温度の調整が可能な設備

（１７）小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

２．快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（11）の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ２基／工事（施工箇所）※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、２基／工事（施工箇所）

※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

３．快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記２．の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

４．その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

３．その他

快適トイレを設置しない場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第３４条　ＢＩＭ/ＣＩＭ適用工事について

本工事は、BIM/CIM 適用工事（発注者指定型）である。

少なくとも以下に示す義務項目について、BIM/CIM を適用する。さらに、発注者が示す課題や効率化等を求める内容を踏まえ、BIM/CIM 取扱要領「附属資料１ 推奨項目一覧」や過去の取組事例等を参考にして、受発注者で実施内容や納品方法について協議し決定する。

受注者が希望する場合、発注者が示す活用内容以外の活用内容を提案することができる。

BIM/CIM 適用工事に要する費用については、当初は計上していない。３次元モデルを作成または加工する場合は、受発注者間の協議に基づき、設計変更を行うものとする。

活用内容	活用内容の詳細
【義務項目】	
施工計画の検討補助	詳細設計等で作成された３次元モデルを閲覧し、施工計画を検討する際の参考にする。
２次元図面の理解補助	詳細設計等で作成された３次元モデルを閲覧し、２次元図面を理解する際の参考にする。
現場作業員への説明	詳細設計で作成された３次元モデルを用いて、現場作業員等に工事の完成イメージ等を説明し、現場作業員等の理解促進を図る。
【推奨項目】（例）	
重ね合せによる確認	３次元モデルに複数の情報を重ね合せて表示することにより位置関係のずれ、干渉等が無いか等を確認する。
現場条件の確認	３次元モデルに建機等を配置し、近接物の干渉等、施工に支障が無いか確認する。
施工ステップの確認	一連の施工工程のステップごとの３次元モデルで施工可能かどうかを確認する。
施工管理での活用	３次元モデル上で施工手順等を区分し、施工範囲の明確化や進捗管理等に活用する。

（参考）［３次元モデル作成の目安］

詳細度	２００～３００程度※１
属性情報	３次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する（BIM/SIM 取り扱い要領「附属資料２ オブジェクト分類」を参照）。

※１ 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル

※２ 発注者は、事業特性や現場条件に応じて活用内容を「義務項目、推奨項目の一覧」を参考に選定し、選定した活用内容に応じて下表を変更すること。

１．BIM/CIM 実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIM の実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、提出する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施（変更）計画書を作成する。

また、作成した BIM/CIM 実施計画書（変更含む）に基づき、本工事を実施する。

１）工事概要

２）整理すべき課題

３）BIM/CIM の実施内容（３次元モデルの活用内容、期待する効果等）

４）３次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された３次元モデルの仕様等）

５）３次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類

６）３次元モデルの閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式

７）３次元モデルの作成担当者

８）３次元モデルの作成・活用に要する費用

２．BIM/CIM 実施報告書の作成

BIM/CIM 実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM 実施報告書を作成する。以下の内容を BIM/CIM 実施計画書に追記して作成する。

９）後段階への引継事項（データ活用時の留意点、更なる検討が必要な内容、２次元図面との整合等）

10）省人化の効果（前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、３次元での検討により省人化した効果等）

３．成果物の納品

以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。

１）BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）

２）BIM/CIM 実施報告書（３次元モデル作成引継書シート、３次元モデル照査時チェックシートを含む）

３）作成した３次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-LandXML 形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等））

４．その他

最新の情報は BIM/CIM ポータルサイト（https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html）で提供されているので、適宜参照すること。

５．DX データセンターの使用

本工事は DX データセンターを使用することで、VDI による専用ソフトの利用及び受発注者間のデータ

共有の円滑化を図る工事である。３次元モデルを活用するにあたり、受注者が希望する場合、国土技術政策総合研究所が運用するDX データセンターにインストールされている専用ソフトウェアを使用することができる。ＤＸデータセンター内の有償ソフトウェアを使用する場合は、受注者が有償ソフトウェアの使用契約手続きを行うものとする。

なお、ＤＸデータセンターの詳細については、ＤＸデータセンターの参考資料（https://dxportal.nilim.go.jp/exonym/reference）及びポータルサイト（https://dxportal.nilim.go.jp/exonym）を参照すること。

第３５条　工事中の安全確保

１．工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。

なお、令和７年度における重点的安全対策項目は以下の７項目である。

Ⅰ架空線等上空施設の損傷事故防止

Ⅱ建設機械等の稼働に関連した人身事故防止

Ⅲ資機材等の下敷による人身事故防止

Ⅳ足場・法面等からの墜落事故防止

Ⅴ地下埋設物の損傷事故防止

Ⅵ第三者の負傷・第三者車両等に対する損害

Ⅶ事故防止

２．受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。

（１）労働安全衛生法第１９条の２に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育

（２）労働安全衛生法第６０条の２に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育

（３）厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育

３．工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要 及び 工事等を行なう場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（案）（令和６年２月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。

４．工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。

５．工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ、道路灯、バリケード等保安施設の保安点検を行うものとする。

６．工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下の通り計上する。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工　　種	作業区分	員　　数	備　　考
福地用水路のすべての工種	昼間作業	102 人（うち有資格誘導員 51 人）	
	夜間作業	10 人（うち有資格誘導員５人）	

新屋擁壁工のすべての工種	昼間作業	18 人（うち有資格誘導員 9 人）	
道の駅交差点のすべての工種	昼間作業 夜間作業	28 人（うち有資格誘導員 14 人） 14 人（うち有資格誘導員　7 人）	
上宿交差点のすべての工種	昼間作業 夜間作業	32 人（うち有資格誘導員 16 人） 14 人（うち有資格誘導員　7 人）	
合　　計		218 人（うち有資格誘導員 109 人）	

第３６条　熱中症対策に資する現場管理費の補正

１．本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。

２．真夏日の考え方は下記のとおりである。

（１）真夏日の定義

日最高気温が３０℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が３０℃以上の場合とする。

（２）試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①　環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高２５℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が２５℃以上となる日を、真夏日とみなす。

②　気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が３０℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が３０℃以上の日を、真夏日とする。

③　夜間工事については、作業時間帯の最高気温が３０℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が３０℃以上、又は WBGT が２５℃以上の場合、真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としては計上しない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

（３）工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

（４）基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

（５）真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

・真夏日率 ＝ 基準日から工期末までの真夏日 ÷ 工期

（６）現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。

なお、補正は変更契約において行うものとする。

・補正値（%） ＝ 真夏日率 × 補正係数※

※ 真夏日補正係数：１．２

第３７条　安全管理推進技術査等認定について

１．概要

関東地方整備局（港湾・空港部・営繕部関係を除く）が発注した工事（以下、「直轄工事」という）において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」（以下、「認定技術者」という）として認定する

２．認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。

・直轄工事にて、認定技術者として過去５回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

３．認定技術者の認証

・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。

・紛失等による認定書の再発行は行わない。

・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

４．認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

５．不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第３８条　交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第２３条に規定する都・県公安委員会の行う１級又は２級検定に合格した者）１名以上を充て、他は経験１年以上の者を配置すること。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第３９条　路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第４０条　交通規制日数の報告

現道上での(改築・維持修繕)工事等により交通規制を実施した場合には、月毎に実交通規制日数を監督職員へ提出するものとする。

第４１条　環境対策（建設機械の使用）

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和６２年３月３０日建設省経機第５８号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第４２条　舗装版切断時に発生する濁水の適正な処理

舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものする。回収された排水については、地方公共団体の取扱規則等に基づき適正に処理しなければならない。

なお、舗装版切断時に発生する濁水の運搬・処理費用については当初見込んでいないが、建設資材廃棄物に該当するため、適正な処理方法について選定し監督職員と協議すること。

なお、濁水の運搬・処理費用等、必要と認められる経費についても契約変更の対象とする。

「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

第４３条　交通安全管理（工事現場管理）

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

（１）積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

（２）さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

（３）過積載車輌、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。

（４）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

（５）建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

（６）以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第４４条　交通安全管理（特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出）

共通仕様書１－１－１－３６交通安全管理第１４項における道路法第４７条の２に基づく通行許可の確認は、下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

（１）当該車両に関する特殊車両通行許可証

（２）現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）

（３）車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書１－１－１－３９官公庁等への手続等第３項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第４５条　通行許可等

１．受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第４７条第１項、車両制限令第３条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。

２．受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第４６条　貸付建設機械への受注者名の標示

発注者所有の建設機械を貸与されて行う作業(工事)及び業務の実施にあたっては、受注者名を貸付建設機械に標示するものとする。

なお、標示方法等の詳細については、監督職員と協議するものとする。

第４７条　現場環境改善

１．現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。

（１）仮設備関係

緑化・花壇等を実施するものとする。

（２）営繕関係

現場事務所、現場休息所を実施するものとする。

（３）安全関係

工事標識・証明休息所の快適化を実施するものとする。

（４）地域連携

デザイン工事看板（各工事ＰＲ看板含む）を実施するものとする。

２．現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。

３．主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の 50%を上限として設計変更の対象とする。

第４８条　工　期

１．工期は、雨天、休日等１１２日を見込むものとする。

なお、休日には、日曜日、国民の祝日、年末年始及び夏季休暇の他、作業期間内のすべての土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に下記の事項を見込んでいる。

① 準備期間	４０日間
② 後片付け期間	２０日間
③雨休率（猛暑日補正あり）） （実働工期日数に休日と悪天候による作業不能日 ※を見込むための係数	0.72

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。

（当該工事の作業不能日ではない。）

１）１日の降雨・降雪量が１０㎜/日以上の日：２４日間

２）８時から１７時までの WBGT 値が３１以上の時間を足し合わせた日数：４日間

（少数第１位を四捨五入（整数止め）し、日数換算した日数）

過去５か年（２０２０年～２０２４年）の気象庁（甲府観測所）及環境省（甲府地点）のデータより年間の平均発生日数を算出（雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、（別紙様式 -１６）により、工事の始期を通知すること。

余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

工 期：工事の始期から 329 日間

（但し、令和８年５月７日（工事着手期限）までに工事を開始すること）

※契約締結後において、工事の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。

なお、低入札価格調査等により、上記の工事着手期限以降に契約締結となった場合には、余裕期間を設定することはできず、工事着手期限から 329 日間で工事を完了させること。

第４９条　工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の（１）～（５）に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

（１）受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
（２）著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
（３）工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
（４）資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
（５）その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第５０条　工事工程表の開示の試行工事

１．本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。
２．工事契約後、設計審査会等において、「前条　工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。
３．設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙 － 5）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。
４．本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第５１条　週休２日制適用工事

１．本工事は、監督職員と受注者双方が工程調整を行うことにより、完全週休２日（土日）を達成するよう工事を実施する「現場閉所による週休２日制適用工事（完全週休２日）（受注者希望方式）」の試行工事である。

受注者は、工事契約後、完全週休２日（土日）の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休２日に取組むものとする。

２．週休２日の考え方は下記のとおりである。

１）週休２日

①完全週休２日（土日）

対象期間内の全ての土日において、現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に土日に代わる現場閉所日（以下、「代替休日」という。）を設定することによって、土日に現場閉所を行ったとみなす。なお、週の定義は月曜日から日曜日までとする。

①　月単位の週休２日

対象期間内の全ての月において、現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が、28.5%（８日/２８日）以上となる現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

２）対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まな

い。

また、工事着手後、受注者の責によらず週休２日の実施が困難な期間が生じる場合は、受発注者間で協議して週休２日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。

３）現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

３．天候等を天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、１年単位の変形労働時間制を活用する場合は、１週４０時間または１日８時間を超える労働時間を設定した月は、週休２日工事の対象期間外とする。また１ 年単位の変形労働時間制の活用について施工計画書に反映し、労働基準監督署へ提出した下記の資料を提出すること。

・１年単位の変形労働時間制を活用する労働者とその使用者が締結した労使協定

・変更した就業規則。

４．技術者及び技能労働者の休日の確認方法等

受注者は、技術者及び技能労働者の休日を確保するための施工体制の内容や休日確保状況を証明する方法を具体的に明示した施工計画書を提出のうえ、工事着手前に監督職員と協議するものとする。

５．施工計画書に基づき、受発注者間で休日確保状況を確認するものとし、受注者側の週休２日の取組状況が十分でない場合は、受発注者双方において要因を分析し、週休２日が確保できるよう改善に取り組むものとする。

６．工事完了後、週休２日の取得結果が確認できる「取得報告書」を作成し、監督職員に提出するものとする。

７．アンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

８．明らかに受注者側に月単位の週休２日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、工事成績評定から内容に応じて、点数を減ずる措置を行うものとする。

９．週休２日に掛かる費用については、当初予定価格から完全週休２日（土日）を達成した場合の補正係数を労務費、市場単価、土木工事標準単価、共通仮設費率、現場管理費率に乗じているが、現場閉所の達成状況を確認後、完全週休２日（土日）が未達成の場合は、月単位の週休２日の補正係数に変更する。月単位の週休２日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

完全週休２日（土日）の取組を希望しない場合は、月単位の週休２日の補正係数に変更する。また、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の週休２日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

第５２条　悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

１．受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近５カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、南部観測所（気象庁のデータ）における１日の降雨・降雪量雨が１０

ｍｍ以上/日の日を想定している。

２．本試行のアンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第５３条　工事支障物件

占用物件等の調整内容（福地用水路）

本工事に関連する占用物件の撤去、移設防護及び復旧工事については、各占用物件の管理者（企業）が処理するものとする。移設時期等については下記によるものとする。

支障物件	管 理 者	管理者との協 議 状 況	移設等の時期	工事方法	立会の要　否
電力柱	東京電力	調整中	令和８年８月末完了予定	先行移設	要

第５４条　概算・概略数量

１．本工事の福地用水路については、概略構造及び概略数量を示したものであり、詳細については、監督職員の指示によるものとする。

２．詳細設計については、現在、別途行われているところであり、この成果の引き渡しについては、令和８年４月中旬とする。

第５５条　新技術の活用（新技術の定義）

１．本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

２．新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

① 技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術

② 公共工事等において実用段階に達している技術

③ 当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術

④ 実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

３．対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

1）新技術情報提供システム（NETIS）登録技術　URL　http://www.netis.mlit.go.jp

2）NETIS のテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術

3）新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術

4）新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「標準化推進技術」「普及促進技術」のいずれかに該当するものとする。

なお、NETIS 掲載期間終了技術は対象外とする。

第５６条　新技術の活用（施工者選択型）

１．本工事は、「新技術の定義」に示す新技術のうち原則１技術以上を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。

２．本工事において、第５５条 「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は、施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。また、活用する新技術がNETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。

３．受注者は、選定した新技術が第５５条「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。

４．当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない。

５．受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたりNETIS 申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用はNETIS 申請者が負担する。

６．試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS 申請者の負担とする。

７．受注者は、活用する新技術が情報種別記号「－ＶＥ」以外のNETIS 登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする

８．受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第５７条　建設現場における遠隔臨場の実施（発注者指定型）

１．建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）とWeb 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）Ｒ５．３」を参考に実施するものとする。　URL　https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf

２．遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

３．実施内容

（１）段階確認・材料確認、立会での確認

① 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声をWeb 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

② 確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用するPC にて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

（２）動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手に持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

（３）機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web会議システム（teams､zoom等）」等、何れのシステムを利用してよい。

（４）遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間　で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

（５）フォローアップ調査

工事完了時に（別紙様式 － １９）を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。

詳細は、監督職員の指示によるものとする。

（６）費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

（７）不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準　令和５年３月３日（国不建第５７８号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

（８）通信環境

遠隔臨場の実施にあたり、現場の通信環境が不良と確認された場合は、対応策を検討の上、監督職員と協議を行うものとする。

第５８条　建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

１．建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）と Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

２．遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例 ○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施状況	出来型		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実施	書類	実施	書類	実施
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完成部分検査	○	○	○	○	○	○	○

３．遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

４．実施内容

（１）技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

（２）機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

（３）遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

（４）効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（５）費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

（６）不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和３年９月３０日（国不建第２７３号）』等に

従い、監督処分を実施する場合がある。

第５９条　契約後ＶＥ方式

１．定義

「ＶＥ提案」とは、契約書第１９条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

２．ＶＥ提案の意義及び範囲

（１）受注者がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。

（２）以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含まないものとする。

１）施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。

２）契約書第１８条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。

３）提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

３．ＶＥ提案書の提出

（１）受注者は、前項のＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書（別紙様式 －**１～４**）に記載し、発注者に提出しなければならない。

１）設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比及び提案理由

２）ＶＥ提案の実施方法に関する事項(当該提案に係る施工上の条件等を含む)

３）ＶＥ提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

４）発注者が別途発注する関連工事との関係

５）工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項

６）その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項

（２）発注者は、提出されたＶＥ提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。

（３）受注者は、前項のＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに、発注者に提出できるものとする。

（４）ＶＥ提案の提出費用は、受注者の負担とする。

４．ＶＥ提案の審査

提出されたＶＥ提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、ＶＥ提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

５．ＶＥ提案の採否等

ＶＥ提案の採否について、原則として、ＶＥ提案の受領後１４日以内に書面（別紙様式 －**５**）により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、ＶＥ提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

６．ＶＥ提案を採用した場合の設計変更等

（１）ＶＥ提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。

（２）前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。

（３）前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の５に相当する金額(以下「ＶＥ管理費」という。)を削減しないものとする。

（４）ＶＥ提案を採用した後、契約書第１８条の条件変更が生じた場合、発注者がＶＥ提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、ＶＥ管理費については、原則として変更しないものとする。

７．ＶＥ提案の活用と保護

評定の結果、当該ＶＥ提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

８．責任の所在

発注者がＶＥ提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第６０条　生産性向上チャレンジ工事

１．試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

２．試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。

本取組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第５５条 新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

３．工事成績評定

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。

４．本試行に要する費用については、原則として受注者の負担とする。

第６１条　出来高部分払方式

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」［国土交通省 HP　https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html　参照］に基づき行うものとする。

第６２条　施工箇所が点在する工事の適用

本工事は、施工箇所が点在する工事であり、上吉田地先（道路改良（上宿交差点）、道路改良（擁壁工）、道路改良（道の駅交差点））、上吉田東地先（道路改良（福地用水路））で施工を行う工事であ

る。

第６３条　低炭素型コンクリート試行工事（プレキャスト）

本工事は、建設関連業界等のカーボンニュートラルに向けた取組を促進するとともに、調達上の課題等を検証するため、セメント置換率の高いコンクリートなどのコンクリート製造時のＣＯ２排出量（コンクリートの材料のＣＯ２排出を含む）を削減した「プレキャスト製品による低炭素型コンクリート」の試行工事である。

①低炭素型コンクリート製品の規定・確認

低炭素型コンクリートはポルトランドセメントの置換率が５５％以上のもの又はこれと同等以上のＣＯ２排出削減効果のあるものとする。受注者は、低炭素型コンクリート製品の購入前に、以下が確認出来る資料を監督職員に提出し、施工数量について監督職員と協議するものとする。

・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場の所在
・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場と施工現場までの運搬距離
・低炭素型コンクリート製品の見積書
・低炭素型コンクリート製品による CO2 排出削減効果（算出可能な場合に限る）

低炭素型コンクリート製品の配合品質証明書等を監督職員に提出し、監督職員は置換率が５５％以上であること又は同等以上のＣＯ２排出削減効果があることを確認するものとする。なお、費用対効果等を考慮し、低炭素型コンクリートを使用しない場合がある。

②試行工事の実施に要する費用

当該試行工事の実施に要する低炭素型コンクリート製品の費用は見積によるものとし、設計変更の対象とする。

③試行結果の検証への協力

試行にあたり受注者は実施状況や結果検証のための調査に協力するものとする。

第６４条　現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を建設コンサルタント等に委託する予定と）している。

第６５条　施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を建設コンサルタント等に委託する予定としている。

また、本工事の施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ＡＳＰ）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第６６条　施工体制の点検

１．受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成１２年法律第１２７号最終改正令和３年９月１日）第１５条３により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。

２．施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。

３．施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
４．当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
５．施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。
６．施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により「閲覧」し、点検する。
７．施工体制調査員は、第１回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。

ただし、立会や打合せ等においてＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第６７条　直轄土木工事における賃金・労働時間等への実態調査（試行）

受注者希望方式）

1. 本工事は、受注者の協力の下、賃金・労働時間・労務費（以下「賃金・労働時間等」という。）の実態を調査する試行工事である。
2. 受注者は、契約締結後、賃金・労働時間等の実態調査に協力する意向がある場合には、実態調査に協力する工種・種別・細別（以下、「工種等」という。）を発注者へ報告するものとする。
3. 発注者は実態調査に協力する工種等の報告を受けた工種等より調査対象を選定するとともに、調査対象工種等の施工が完了した後、受注者は、別途監督職員より通知される実態調査要領に基づき資料を提出するものとする。
4. 発注者は、提出された資料をもとに賃金、労働時間等の実施率・達成率を算出後、積算上の作業時間を示した資料を提出するとともに、賃金、労働時間等の実施率・達成率を工事完成検査後に受注者、下請業者（注文者）、下請業者（使用者）に通知するものとする。

第６８条　相談窓口

本工事は、受注者との相互理解を深めるコミュニケーションの向上を図ることを目的として、作業状況、安全対策、工期設定や必要経費等について相談窓口を設置している。

相談窓口を希望する場合は、以下に問い合わせを行うこと。

・相談窓口担当：道路担当　副所長　　・電話番号：055－252-5491（代）

第 ２ 章　　個人情報の取り扱いについて

第６９条　基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成１５年５月３０日法律第５７号）第６６条第２項第１号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない

第７０条　秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第７１条　取得の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第７２条　利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第７３条　複写等の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第７４条　再委託の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成１５年５月３０日法律第５７号）第６６条第２項第４号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

第７５条　事案発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第７６条　資料等の返却等

１．受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等について、この契約の終了後又は解除後において、速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が廃棄又は消去その他別の方法を指示したときは、その指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合は、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙 － ２）を発注者に提出しなければならない。

２．前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する

第７７条　管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について、適時確認することができる。また、発注者は、必要があると認めるときは、受注者に対し、個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

第７８条　管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

第７９条　従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことその他個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第３章　　土　　工

第８０条　建設発生土の受け入れ地

１．建設発生土の受け入れ条件は次の通りとする。

廃棄物処理	施設の名称	所在地
建設発生土	（株）土手影建設　富士河口湖リサイクルプラント処分場	山梨県南都留郡富士河口湖町小立５０６５

受け入れ時間：８：００～１７：００

受注者は、本工事から建設発生土を１００m3 以上搬出する場合は、（別紙様式 -8）の様式により、搬出前に搬出先区市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土に関する下記の情報を郵送又はＦＡＸ等で提出しなければならない。なお、情報提供後、速やかにその写しを監督職員に提出しなければならない。

（１）　工事件名、工事概要及び工事場所
（２）　工事発注機関名、工事発注機関の監督職員名、連絡先
（３）　工事請負業者名、現場代理人名、連絡先
（４）　建設発生土の運搬業者名
（５）　建設発生土の受入先名（搬出先事業所名等）、住所
（６）　建設発生土の発生場所から受入地までの運搬経路
（７）　建設発生土の搬出時期（搬出期間）
（８）　建設発生土の土質（砂、ローム等）、土量（m3）

第 4 章　　無筋・鉄筋コンクリート

第８１条　レディーミクストコンクリート

１．コンクリートについては、レディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

用　　途	粗骨材の最大寸法	ｽﾗﾝﾌﾟ	水ｾﾒﾝﾄ比	呼び強度	ｾﾒﾝﾄの種　類
場所打管渠工（均しコンクリート） 巻立工２（均しコンクリート） 自由勾配側溝 暗渠排水路 現場打集水桝（１号集水桝） コンクリートシール	25 ㎜	8 ㎝	60％以下	18Ｎ／㎟	高炉ｾﾒﾝﾄ（Ｂ種）
現場打集水桝（２号集水桝） 重力式擁壁 付属物施設 基礎ブロック（現場打）	40 ㎜	8 ㎝	60％以下	18Ｎ／㎟	高炉セメント（B 種）
場所打函渠工（コンクリート） 巻立工２（コンクリート） 場所打水路 場所打地覆	25 ㎜	12 ㎝	60％以下	24Ｎ／㎟	高炉セメント（B 種）

ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

２．コンクリートの耐久性向上の対策については、「コンクリートの耐久性向上」仕様書（土木編）（平成１４年８月一部改正）により行うものとする。

第８２条　配合

水セメント比については、示方配合表により、監督職員の確認を得なければならない。なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記の構造物については、適用除外とする。

・仮設構造物（建設後数年の内に撤去するもの。）
・最大高さ 1.0m 未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物
・管（函）渠等（φ600 ㎜ 未満、600×600 ㎜ 未満）の構造物
・道路照明、標識、防護柵等の構造物
・耐久性を期待しない構造物

第８３条　レディーミクストコンクリート単位水量測定

本工事においては、１日当りレディーミクストコンクリートの使用量が１００ｍ3以上のコンクリート工において、「レディーミクストコンクリートの品質確保について（平成１５年１０月２日付け国官技第１８５号）」、「「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の運用について（平成１５年１０月２日付け国コ企第３号）」及び「レディーミクストコンクリート単位水量測定要領（案）」（この条において、以下「測定要領」という。）（これらについて、受注者が所持しない場合は、工事契約後に受注者から監督職員に通知を求めるものとする。）に基づき、施工管理を行い、その記録及び関係書類を直ちに作成・保管し、完成検査時に提出しなければならない。ただし、それ以外で監督職員から請求があった場合は、直ちに提示しなければならない。測定機器については、測定要領の「２．測定機器」によるものとするが、現場条件により発注者から測定機器を指示する場合がある。また、施工計画書に使用する機器を記載するものとする。

単位水量の測定は、測定要領の「６．測定頻度」及び「７．管理基準値・測定結果と対応」により実施することとする。なお、これらに定められてない場合は、監督職員と協議するものとする。

第 5 章　　土木工事材料

第８４条　目地板

伸縮目地材は、ゴム発泡とし厚さは２０㎜とする

第８５条　区画線

塗装厚については、下表のとおりとする。

（１）溶融式

幅（cm）	厚（㎜）	摘　　要
15	1.5	夜間の視認性が優れたもの。
45		

（２）設置様式については、別添―２のとおりとする。

第 6 章　　共 通 編

第８６条　工事完成図書の納品

１．本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領(令和５年３月)：(以下「要領」という。)」に基づいて作成した電子データを指す。「要領」で特に

記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】（令和６年３月）」を参考とするものとする。

２．本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。

オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお。オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

３．成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第８７条　技術検査

１．本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は２回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。

２．中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分(完済を含む)の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。

３．中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第８８条　書類限定検査

１．本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。

２．書類限定検査とは、検査時に下記の１０書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請取引検査書類含む）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外

・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外

３．実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第８９条　ウィルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウイルス対策を実施した上で提出しなければならない。

また、ウイルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第 7 章　一般施工

第９０条　防護柵設置工における出来形確保対策について

１．受注者は、防護柵設置工の出来形管理方法について、防護柵設置工着手前に監督職員と協議しなければならない。

２．受注者は、支柱の建て込み時において、現地の状況等により建て込みが困難な場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

３．受注者は、防護柵の所定の根入れ長を確保するため、非破壊試験による出来形管理を行うものとする。ただし、次のいずれかに該当する場合は、ビデオカメラによる出来形管理とすることができる。

（１）防護柵が「非破壊試験による鋼製防護柵の根入れ長測定要領（案）」（この条において、以下「測定要領（案）」という。）［国土交通省ＨＰ http://www.mlit.go.jp/tec/sekisan/sekou.html 参照］の適用範囲外の場合。

（２）受注者が測定機器を調達できない場合。

（３）測定機器が測定要領で定める性能基準を満たさない場合。

（４）非破壊試験による出来形管理が妥当でないと判断される場合。

（５）その他非破壊試験によって出来形管理ができない場合。

４．非破壊試験による出来形管理にあたっては、測定要領(案）に従い行う。

５．ビデオカメラによる出来形管理にあたっては、以下の状況をビデオカメラにより全本数分撮影する。

（１）支柱建て込み前の根入れ長測定状況

（２）支柱建て込み直前（機械セット時）から建て込み完了までの連続撮影

なお、撮影したビデオテープ等の記録媒体については、施工確認書（別紙様式 －１３）とともに、監督職員へ提出するものとする。

６．これらに定められていない場合は、監督職員と協議する。

７．非破壊試験費用は当初見込んでいないが、監督職員と協議のうえ、非破壊試験による出来形管理を行うこととした場合は設計変更の対象とする。

第９１条　路側防護柵工

受注者は、既設防護柵の撤去時に支柱の状況を確認するとともに、支柱の切断等が発見された場合は、その内容を監督職員に直ちに報告しなければならない。

第９２条　歩道舗装

１．施工一般について

（１）本工事の施工にあたっては、低騒音・低振動型の建設機械を使用するものとする。

（２）工事を行う際は、舗装切断を行うなど適切な措置を行うものとする。

（３）施工にあたり、横断方向の勾配は、2.0% を標準とする。縦断方向の勾配は、5.0%以下とするが、沿道の状況等によりやむを得ない場合には、8.0% 以下とすることができる。また、交通の支障とな

らないようにするものとする。なお、縦断方向の勾配を設ける箇所には、横断方向の勾配を設けないものとする。段差箇所付近には、「段差あり」の標識を設置しなければならない。

（４）工事着手前に工事区域内及びその周辺の状況を調査し、現状を十分把握しておくこと。

（５）本工事区画内の境界杭・境界鋲について調査を行い、破損等がある場合は監督職員と協議するものとする。

２．歩道舗装について

（１）歩道の施工に際しては、車椅子等の通行を考慮し、極力勾配を少なくするよう段差・切下げ等について配慮しなければならない（別添 - ０３）。

なお、詳細については、監督職員と協議するものとする。

（２）横断勾配箇所は、車椅子等の通行を考慮し、横断勾配の低減を行い配慮すること。

（３）横断歩道等に接続する歩道等の部分の縁端は、車道等の部分より高くするものとし、その段差は２ｃｍを標準とするものとする。

（４）詳細については、監督職員と協議するものとする。

第８章　　舗　　装

第９３条　材料

１．粒状路盤材クラッシャーランは、ＲＣ４０とする。

２．粒度調整路盤材料は、Ｍ４０とする。

３．加熱アスファルト混合物の示方アスファルト量及び骨材の最大粒径については、下記のとおりとする。

呼び名	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の種類	最大粒径	ｱｽﾌｧﾙﾄ量	摘　　要
ＲＡst	再生遷青安定処理（４０）	４０㎜	4.0%	上層路盤
ＲＡ①	再生粗粒度アスコン	２０㎜	5.0%	基層
ＲＡ②	再生密粒度アスコン	２０㎜	5.5%	表層
改Ａ②	改質Ⅱ型密粒度アスコン	２０㎜	5.5%	表層
Ａ⑨	開粒度アスコン	１３㎜	4.5%	表層（歩道部）

第９４条　加熱アスファルト混合物

受注者は、本工事に使用する加熱アスファルト混合物(以下「混合物」という。)で、アスファルト混合物事前審査の認定を受けた混合所の混合物を使用する場合は、「アスファルト混合物事前審査における土木工事仕様書」及び「アスファルト混合物事前審査における品質管理基準」によるものとする。

第９５条　歩行者系舗装

１．配合設計

歩道における透水性舗装の表層に用いる開粒度アスコンは、下表の基準値を満足するものとする。アスファルト量の設定に際しては、施工時に分離がおこらないように慎重に行うものとする。

試 験 項 目	基 準 値	試 験 方 法
安定度 {ｋN(kgf)}	3.5 以上 (350)	マーシャル試験
フロー値(1/100cm)	20 ～40	マーシャル試験
空隙率 (%)	12 以上	舗装調査・試験法便覧
透水係数(cm/sec)	10^{-2}以上	舗装調査・試験法便覧

第９６条　区画線工

作業の実施上消去した区画線は、区画線工で復旧するものとする。

第９章　その他

第９７条　舗装台帳

舗装台帳等の資料作成は、監督職員の指示により作成し、工事完成時に下記の資料を提出するものとする。提出資料 各２部(原稿１部、コピー１部)

１．舗装台帳

２．舗装施工データシート（別紙様式 －１４の様式)

３．舗装施工概略図

４．位置図(1/50,000)

５．平面図(完成平面図)

第９８条　震災対策

１．地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。

２．地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第９９条　地震発生後の建設工事現場の点検について

地震発生後の建設工事現場の点検実施及び報告時期については、以下によることとする。

１．気象庁地震計で震度４の地震が発生した場合。

（１）現場稼働日（開庁日）の夜間に発生した場合には、翌現場稼働日（開庁日）の始業時に点検。異常があった場合は直ちに監督職員に報告。異常が無い場合は、開庁日に速やかに監督職員へ報告。

（２）現場休工日（閉庁日）に発生した場合には、翌現場稼働日（開庁日）の始業時に点検。異常があった場合は直ちに監督職員に報告。異常が無い場合は、開庁日に速やかに監督職員へ報告。

※開庁日に現場が休工であった場合は開庁日を優先して判断し建設工事現場の点検を行うこと。

２．気象庁地震計で震度５弱以上の地震が発生した場合。

夜間・現場休工日（休祭日）に関わらず直ちに点検。点検結果については、速やかに監督職員へ報告。

第１００条　道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、『道路施設基本データ』の内容について、説明を求めることがある。

１．道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付属物および付属施設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	I.T.V
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行車道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自転車駐輪場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐輪場
構造物	D010	橋梁		E150	雪崩防止施設
	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪パイプ
	D040	トンネル		E180	ロードヒーティング
	D050	洞門		E190	除雪ステーション
	D060	スノーシェッド		E200	防災備蓄
	D070	地下横断歩道		E210	共同溝
	D080	道路 BOX 等		E220	CAB 電線共同溝
	D090	横断 BOX 等		E230	植栽
	D100	パイプカルバート		E240	遮音施設
	D120	擁壁		E250	遮光フェンス
	D130	スノーシェルター		E270	流雪溝
付属物	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標(反射式)		E330	光ケーブル施設
	E040	視線誘導標(自光式)		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ビーコン

２．道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル（案）』によるものとする。

３．道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。

４．道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、ＣＯＲＩＮＳ登録時の「工事契約コード番号」とす

る。

５．道路施設基本データに係わる提出物として、以下のものを電子データにて提出すること。

（１）道路施設台帳作成総括表

（２）道路施設基本データ総括表

（３）道路施設基本データ一覧表

（４）道路施設台帳チェックシート

（５）「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果

（６）「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果

（７）工事数量総括表

第１０１条　「問合せ番号」及び「路上規制情報システム」

受注者は、「路上規制情報提供システム」への入力を行うものとし、別途監督職員が通知する「問合せ番号」を工事情報看板及び工事説明看板に掲示するものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第１０２条　工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

別紙－１

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	□ 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 □ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第４８条
公害関係	□ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。	第４１条
建設副産物関係	□ 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。	第７９条
工事支障物件等	□ 地上、地下等の占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合は、支障物件名、管理者、位置、移設時期、工事方法、防護等。 □ 地上、地下等の占用物件工事と重複して施工する場合は、その工事内容及び期間等。	第５３条 第５３条
その他	□ 工事用資機材の保管及び仮置きが必要である場合は、その保管及び仮置き場所、期間、保管方法等。 □ 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等。	第２４条 第２３条

別紙－３

証明書

工事（業務）名：

受 注 業 者：

証　明　者：

個人情報が記録された資料等について、廃棄又は消去したことを証明します。

※以下は、紙により提出する場合において、押印を省略する場合のみ記載すること。
連絡先は２以上記載すること。

本件責任者（会社名・部署名・氏名）：
担当者（会社名・部署名・氏名）：
連絡先１：
連絡先２：

（※証明者について
工事については、「現場代理人」又は「主任（監理）技術者」が行うものとする。
業務については、「管理技術者」が行うものとする。　　）

概略工事工程表

別紙－5

工事名 ： R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事

5/7～

工　種		単位	数 量	30	60	90	120	150	180	210	240	270	300	329	備考
準備		式	1												・40日間
福地用水路															
道路土工		式	1												(1pt)
舗装工		式	1												(1pt)
擁壁工		式	1												(1pt)
カルバート工		式	1												(1pt)
排水構造物工		式	1												(1pt)
構造物撤去工		式	1												(1pt)
仮設工		式	1												(1pt)
新屋 擁壁工															
地盤改良工・擁壁工 ・構造物取壊し工		式	1												(1pt)
道の駅交差点															
道路土工・舗装工		式	1												(1pt)
排水構造物工・構造物取壊し工		式	1												(1pt)
上宿交差点															
道路土工・舗装工		式	1												(1pt)
排水構造物工・構造物取壊し工		式	1												
後片付け		式	1												・20日間
制約条件	年末年始、お盆	－													・12月下旬～1月上旬 ・8月中旬
	路上工事抑制	－													・7月19日～8月17日 ・12月20日～1月4日 ・3月
雨休率の適用		準備・後片付けを除く、雨休率（猛暑日補正有り）を適用													

別紙様式－０－１

【低価格理由とその詳細】

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
①	資材費の低減	生石灰、セメント系固化材を材料納入品協力会社から7%引きで購入。コンクリート2次製品は19%引きで購入。生コンクリートはグループ会社から20%引きで購入
②		
③	機械経費の低減	自社保有の建設機械車両（全100台）を使用。ダンプトラック運搬はグループ会社を中心に使用し運賃を削減。
④		
⑤	作業効率の向上	現場経験豊富な熟練したオペレータによるロスの少ない重機作業。仕上がり精度の高い法面整形。補助労務を必要としない程丁寧な仕上がりの床堀作業。
⑥	下請業者の協力	施工協力会社に植生基材吹付工を外注し、設計想定より10%引きとする。
⑦	経費の低減	冬期間においても会社から現場まで45分程度で到着する。
⑧	現場管理費の低減	パソコン、デジカメ、プリンタ、仮設資材等を所有している。
⑨	安全資機材の低減	安全標識類を所有している。
⑩	本支店経費の低減	役員報酬、事務員給料を未計上。
⑪		
⑫	受注実績の取得	国交省発注工事の受注実績の取得
⑬		
⑭	その他	作業員の雇用確保、重機械の稼働率向上

別紙様式－０－２

【比較表－1】

積 算 内 訳 書 の 比 較 表

記 入 要 領	1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。 2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。 3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。 4) 工事完成時の元請（完成時実績）、官積算（最終）欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。 5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工 事 名	○○道路改良工事

工事区分・工種・種別	単位	入札時					工事完成時					備 考
		官積算（予定価格）※		元請（当初予定）		元請/官積(%)	元請（完成時実績）		官積算（最終）※		元請/官積(%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
道路土工	式	1		1			1		1			
地盤改良工	式	1		1			1		1			
法面工	式	1		1			1		1			
カルバート工	式	1		1			1		1			
排水構造物工	式	1		1			1		1			
構造物撤去工	式	1		1			1		1			
仮設工	式	1		1			1		1			
直接工事費	式	1		1			1		1			
共通仮設費	式	1		1			1		1			
共通仮設費	式	1		1			1		1			
純工事費	式	1		1			1		1			
現場管理費	式	1		1			1		1			
工事原価	式	1		1			1		1			
一般管理費	式	1		1			1		1			
基礎工	式	1		1			1		1			
工事価格	式	1		1			1		1			

別紙様式－０－３

【比較表－2】

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	○○道路改良工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
道路土工	式	1			1			1			1			
掘削工	〃	1			1			1			1			
掘削(土砂)	m3	39,300			39,300			35,800			1			
掘削(軟岩)	〃	2,250			2,250			0			1			
路体盛土工	式	1			1			1			36			
路体(流用土)	m3	4,100			4,100			10,600			14			
法面整形工	式	1			1			1			30			
法面整形(切土部)	m2	5,920			5,920			5,010			9			
法面整形(切土部)	〃	250			250			0			1			
法面整形(盛土)	〃	330			330			160			11			
地盤改良工	式	1			1			1			1			
安定処理工	〃	1			1			1			1			
基礎安定処理 45kg/m3	m2	1,000			1,000			0			1			
〃 53.6kg/m3 t=0.5m	〃	0			0			115			1			
〃 53.6kg/m3 t=0.8m	〃	0			0			785			2			
路体安定処理 30kg/m3	m3	4,100			4,100			0			2			
路体安定処理 33kg/m3	m3	0			0			13,100			200			

別紙様式－０－４

【比較表－３】

手持ち資材の比較表（主要資材）

記入要領	1) 手持ち資材の状況については、主に当該工事で使用予定の資材を記入する。 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入して下さい。 3) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 4) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価欄は、主要資材相当品のみを記入する。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	○○道路改良工事

品名	規格・型式	単位	使用工種等	入札時（当初の予定）				工事完成時（実績）				官単価※（最終）	備考
				手持ち数量	単価	本工事での使用予定量	不足数量の手当方法	手持ち数量	単価	本工事での使用量	不足数量の手当方法		
型枠用合板	1800＊900＊12	枚	排水構造物工	300		70				80		5,594	市場単価
敷鉄板	5尺＊20尺	〃	土工	50		50				100		0	
ロードマット	3000＊2400	〃	〃	54		50				40		0	
〃	1500＊4000	〃	〃	80		50				0		0	
縞鋼板	1350＊5000	〃	〃	60		30				0		0	
再生材	RC-40	m^3	排水構造物工	100		69				55		3,750	

別紙様式－０－５

【比較表－４】

資材購入先一覧(主要資材)の比較表

記入要領	1)「入札者との関係」欄は、購入先予定業者との関係を記入。(例)協力会社、同族会社、資本提携会社等 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入してください。 3) 総額で値引きし、個々の品目の値引き単価が特定できない場合、実績単価欄は契約単価を記入し、総額値引き率を備考欄に記入する。 4) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 5) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要資材(購入価格が工事費の約0.3%以上の資材)とし、軽微な資材は省略する。 6) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	○○道路改良工事

工種種別	品名規格	単位	入札時(当初の予定)					工事完成時(実績)					※官単価(最終)	備考
			数量	単価	購入先名			数量	単価	購入先名				
					業者名	所在地	入札者との関係			業者名	所在地	入札者との関係		
生コンクリート	18－8－40	m^3	61	13,000	○○生コンクリート	○○町△△	同族会社	58	13,000	○○生コンクリート	○○町△△	同族会社	16,100	
生石灰		t	184.5	14,500	△△セメント商事	○○市□□町	協力会社	544	14,500	△△セメント商事	○○市□□町	協力会社	16,500	
セメント系固化剤	タフロック3E	〃	65	9,500	〃	〃	〃	60	9,500	〃	〃	〃	11,400	
コンクリート2次製品	BOX600＊600	本	18	49,500	(株)□□□	○○市△△町	〃	10	49,500	(株)□□□	○○市△△町	〃	80,200	市場単価
〃	BF300＊2000	〃	290	2,100	〃	〃	〃	185	2,100	〃	〃	〃	2,936	
〃	BF400＊2000	〃	59	3,360	〃	〃	〃		0				0	
〃	BF500＊2000	〃	51	4,530	〃	〃	〃	21	4,530	〃	〃	〃	6,040	
〃	BF600＊2000	〃	113	5,520	〃	〃	〃	44	5,520	〃	〃	〃	7,400	

別紙様式－０－６

【比較表－５】

手持ち機械の比較表（主要機械）

記入要領	1) 本様式には、主に当該工事に使用する予定の手持ち機械の状況を記入して下さい。 2) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 3) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要機械相当品(各機械経費が工事費の約0.3%以上の機器)のみでよい。 4) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	○○道路改良工事

機械名称	規格・型式・能力・年式	単位	入札時（当初の予定）				工事完成時（実績）			官単価※（最終）	備考
			数量	単価	メーカ名	現在の利用状況	数量	単価	メーカ名		
掘削機	0.2～0.45m³	台	10		○○○	4台空	2		○○○		
〃	0.7m³	〃	22		〃	8台空	5		〃		
〃	0.7m³	〃	9		□□□	4台空	4		□□□		
〃	1.2m³	〃	1		〃	空	1		〃		
〃	1.6m³	〃	1		〃	空	1		〃		
ブルドーザ	D65px	〃	3		○○○	2台空	1		○○○	25,100	供用日
不整地運搬車	LD1000	〃	7		△△△	3台空	5		△△△	21,600	供用日
掘削機	0.25m³	〃	4		〃	2台空	0		〃	7,320	供用日
〃	0.45m³	〃	1		〃	空	1		〃	13,000	供用日
〃	0.7m³	〃	6		〃	3台空	1		〃	18,100	供用日
不整地運搬車	LD700	〃	1		〃	空	1		〃		

別紙様式－０－７

【比較表－６】

労務者の確保計画の比較表

記入要領	1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は( )なしで記入する。 ・自社労務者は( )内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	○○道路改良工事

工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
道路土工、地盤改良工	オペレーター							17,716	
		(17,000)	(320)	自社		472	自社		
道路土工	運転手	17,000	220	○○運輸(株)		102	○○運輸(株)	17,716	
				同族会社			同族会社		
排水構造物工	オペレーター	(17,000)	(60)	自社			自社	17,716	
	普通作業員	(15,000)	(225)	自社		138	自社	14,626	
植生工	法面工	18,000	225	協力会社			協力会社	18,746	
				○○防災(株)		113	○○防災(株)		
仮設工	普通作業員							14,626	
		(15,000)	(7)	自社		20	自社		

別紙様式－０－８

【比較表－７】

工種別労務者配置計画の比較表

記入要領	1) 職種名は例示したものなので、該当する職種名に変更して記入して下さい。 2) 世話役が、他の工種または他の工事と兼任している場合、正当な人数になるように按分してください。 3) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。

工事名	○○道路改良工事

工種	種別	入札時（当初の予定）						工事完成時（実績）						備考
		配置予定人数					計	配置人数					計	
		世話役	普通作業員（特殊含）	配管工	電工	オペ		世話役	普通作業員（特殊含）	配管工	電工	オペ		
（例）土工事	床掘工・埋戻工・残土処理	1	2			2	5							
土工事	地盤改良工・掘削工・路体盛土工・残土処理工	1	1			8	10	1	1			8	10	
土工事	法面整形工	1	1			2	4	1	1			2	40	
法面工	植生基材吹付工	1	4			1	6	1	5			1	7	
カルバート工	BOX工	1	4			1	6	1	3			1	5	
排水構造物工	側溝工、集水桝工	1	3			1	5	1	3			1	5	
仮設工	仮水路工	1	4			1	6	1	3			2	6	

別紙様式－０－９

【比較表－８】

建設副産物の搬出等の比較表

記入要領	1) 当該工事で発生する、すべての建設副産物について記入してください。 2) 記入してある名称以外の建設副産物がある場合は、名称を追加して記入して下さい。 3) 受け入れ価格は、建設副産物の処分のみに要した価格を記入してください(収集、運搬等に要した費用を除く)。 4) ※印の官積算価格欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。					
工事名	○○道路改良工事					
建設副産物の名称	入札時(当初の予定)		工事完成時(実績)		官積算価格※ (最終)	備考
	受け入れ予定箇所	受け入れ価格	受け入れた箇所	受け入れた価格		
コンクリート塊	○○アスコン	2300／t	○○アスコン	1700／t	2300／t	
アスファルト・コンクリート塊	○○アスコン	2000／t	○○アスコン	1500／t	1500／t	
			○○アスコン	3000／t	2800／t	有筋
建設発生木材	無し					
建設発生土	無し					

別紙様式－０－１０

【諸経費動向調査（工事費）】

工事費内訳　　注）消費税抜きで記入してください　　金額単位：千円

費　目	元請+元請外注	元　請	元請外注合計	1 ○○建設 道路土工	2 □□建設 排水構造物工	3 ○○防災 法面工	4 ○○運輸 道路土工	5 ○○興業 交通誘導	6 ○○地質 地質調査・試験	7 ○○森林 伐採工
① 直接工事費	50,972	17,009	33,963	20,914	1,441	8,600	2,850	0	0	158
(1) 材料費	25,562	13,632	11,930	5,857	137	4,954	982	0	0	0
(2) 労務費	15,232	0	15,232	9,290	1,248	2,826	1,730	0	0	138
(3) 機械機具等損料	9,431	2,643	6,788	5,754	56	820	138	0	0	20
(4) 貸与機械等現場修理・管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5) 直接経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A 特許使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B 光熱電力使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6) 特殊経費	747	734	13	13	0	0	0	0	0	0
② 間接工事費	19,683	11,896	7,787	1,088	759	3,250	1,080	1,009	320	283
(1) 共通仮設費	8,069	4,710	3,359	1,889	120	452	0	898	0	0
イ 運搬費	2,380	70	2,310	1,750	120	440	0	0	0	0
A 器機材	250	70	180	80	60	40	0	0	0	0
1 仮設材①	100	0	100	0	60	40	0	0	0	0
2 仮設材②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 仮設材③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 敷鉄板類	150	70	80	80	0	0	0	0	0	0
5 橋梁等架設支保工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 橋梁用架設タワー等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 橋梁用仮設桁設備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 積み込み取り卸し費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 トンネル用スライドセントル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B 建設機械20t未満	1,120	0	1,120	660	60	400	0	0	0	0
① 自走・貨物自動車等による運搬	1,080	0	1,080	620	60	400	0	0	0	0
② 日々回送による運搬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 現場内小運搬	40	0	40	40	0	0	0	0	0	0
C 建設機械20t以上	1,010	0	1,010	1,010	0	0	0	0	0	0
① 貨物自動車等による運搬	980	0	980	980	0	0	0	0	0	0
② 自走による運搬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 日々回送による運搬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 現場内小運搬	30	0	30	30	0	0	0	0	0	0
ロ 準備費	699	699	0	0	0	0	0	0	0	0
A 準備・測量等	673	673	0	0	0	0	0	0	0	0
B その他	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0
ハ 事業損失防止施設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニ 安全費	1,373	451	922	24	0	0	0	898	0	0
安全留意度「建設工事公衆災害防止対策要綱」について選択		2 通常の安全対策								
A 安全管理費	147	123	24	24	0	0	0	0	0	0
① 工事区域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要した費用（稼働日の保安要員等の費用を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 不稼働日の保安要員等の費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード等の安全施設類の設置、撤去、補修に要した費用及び使用期間中の損料	102	102	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 夜間作業を行う場合における照明に要した費用	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 酸素欠乏症の予防に要した費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 河川、海岸工事における救命艇に要した費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 粉塵作業の予防に要した費用	24	0	24	24	0	0	0	0	0	0
⑧ 長大トンネル等における防災安全対策に要した費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨ 安全用品等の費用	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩ 安全委員会等に要した費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪ 国土交通省（運輸）発注工事における再圧装置設置、撤去、維持管理に要した費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B 交通誘導員等	898	0	898	0	0	0	0	898	0	0
C 鉄道空港安全管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D 美装化等	324	324	0	0	0	0	0	0	0	0
E 高圧作業予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F 航路安全標識・警戒船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G ダム発破・監視費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H その他	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
ホ 役務費	159	159	0	0	0	0	0	0	0	0
A 土地の借上費	159	159	0	0	0	0	0	0	0	0
B 電力用水等基本料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘ 技術管理費	2,700	2,688	12	0	0	12	0	0	0	0
A 品質管理費等	69	69	0	0	0	0	0	0	0	0
B 特別な品質管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C 現場条件等費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D 品質証明(社内検査)に要した費用	300	300	0	0	0	0	0	0	0	0
E 各種調査等	320	320	0	0	0	0	0	0	0	0
F 各種台帳等	12	0	12	0	0	12	0	0	0	0
G その他	1,999	1,999	0	0	0	0	0	0	0	0
ト 営繕費	758	643	115	115	0	0	0	0	0	0
A 建物費	224	224	0	0	0	0	0	0	0	0
B 借上費	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0
C 宿泊費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D 労働者送迎費	115	0	115	115	0	0	0	0	0	0
E 監督員詰所等	65	65	0	0	0	0	0	0	0	0
F 美装化等1	254	254	0	0	0	0	0	0	0	0
G 美装化等2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I 労働者海上輸送費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チ その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リ 技術者間接費(電気工事、光ケーブル工事の場合)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 補償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3) 現場管理費	11,614	7,186	4,428	-803	639	2,798	1,080	111	320	283
イ 労務管理費	528	183	345	20	161	151	0	2	0	11
ロ 安全訓練等費用	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0
A 安全・衛生に要した費用	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0
B 研修訓練等に要した費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハ 租税公課	64	47	17	15	2	0	0	0	0	0
ニ 社員等従業員給料手当	8,367	4,917	3,450	1,001	960	359	792	33	214	91
ホ 退職金	9	0	9	0	0	0	0	0	4	5
ヘ 保険料	208	0	208	102	0	3	93	0	5	5
① 火災保険	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 工事保険	88	0	88	88	0	0	0	0	0	0
③ 自動車保険	109	0	109	8	0	3	93	0	0	5
④ 組立保険	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 法定外の労災保険	10	0	10	6	0	0	0	0	4	0
⑥ その他損害保険	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
ト 法定福利費	2,594	1,168	1,426	624	223	255	172	76	31	45
A 労災保険料	539	497	42	0	0	30	0	0	1	11
B 雇用保険料	189	43	146	70	22	12	30	7	2	3
C 健康保険料	670	135	535	257	79	84	65	26	9	15
D 厚生年金保険料	896	193	703	297	122	129	77	43	19	16
E 建退共制度掛金	300	300								
F 船員保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チ 福利厚生費	285	41	244	185	0	0	48	0	0	11
リ 補償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヌ 通信交通費	394	290	104	12	0	49	0	0	43	0
ル 交際費	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0
ヲ 寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ワ その他	623	504	119	2	0	0	0	0	23	94
カ 外注一般管理費等	-1,494		-1,494	-2,764	-707	1,981	-25	0	0	21
③ 外注費(下請欄は、外注一般管理費等の自動計算値)		41,750	外注一般の計算値=>	-2,764	-707	1,981	-25	0	0	21
④ 一般管理費等　自動計算値 = -1355	-1,355	-1,355								
⑤ 鋼構等工場製作費(電気工事・光ケーブル工事の場合は、機器費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 別途調査等工事価格	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 工事価格	69,300	69,300	41,750	22,000	2,200	11,850	3,930	1,009	320	441
⑧ 消費税相当額（下請欄は、下請工事価格の自動計算値）	3,465	3,465	工事価格の計算値=>	22,000	2,200	11,850	3,930	1,009	320	441
⑨ 工事請負金額	72,765	72,765								
⑩ 営繕費のうち、地代に要した費用	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪ 準備費のうち伐開・除根等に要した費用	441	441	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫ 仮設費（直工）にてイメージアップに要した費用	849	849	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬ 二次下請負者の数	0		0	0	0	0	0	0	0	0
⑭ 二次下請負者の外注一般管理費等の合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0
⑮ 二次下請負者への発注工事価格の合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0
⑯延実人員数と作業日数										
(1) 労働者延人員	896	16	880	492	78	113	106	80	0	11
(2) (1)のうち通勤労働者延人員	896	16	880	492	78	113	106	80	0	11
(3) 技能関係等従事者延人員	393	192	201	70	60	0	48	4	14	5
(4) 技術事務関係社員等従業員延人員	17	0	17	0	0	17	0	0	0	0
(5) 作業日数			222	70	45	16	48	26	14	3
⑰ 現場管理費_その他のうち、事務用品費に要した費用	349	348	1	0	0	0	0	0	1	0
⑱ 現場管理費_その他のうち、動力・用水光熱費に要した費用	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0

別紙様式－1

工事関係電子書類一覧表（作成書類の役割分担・位置付け）

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP（情報共有システム）で電子で管理すること　　**▼不要**

工事関係書類							工事関係書類の標準様式（案）（様式No）	作成書類役割分担		発注者作成書類の位置づけ		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成媒体の事前協議		備考
										指示	通知	提出			提示	監督職員へ連絡	監督職員へ納品			
作成時期	種別			No.	書類名称	書類作成の根拠		発注者	受注者	受注者	受注者	監督職員	契約担当課	発注担当課	受注者保管			電子☆	紙◎	
工事着手前	作成書類の役割分担	設計審査会で確認		1	【事例】 工事のお知らせ（自治会、住民等への周知）	共通仕様書1-1-1-36-7	－		○						○					令和○年○月○日設計審査会で確認
				2	【事例】 関係機関（○○○）協議結果に基づく届出	共通仕様書1-1-1-36-2	－		○						○					令和○年○月○日設計審査会で確認
				3	【事例】 土壌汚染対策法第4条1項に基づく届出	土壌汚染対策法第4条1項	－	○			○									土地の形質の変更に着手する日の30日前までに届け出
				4	【事例 概算概略発注等のため関係機関協議が実施中、未了の場合】 関係機関（○○○）との設計・施工協議	河川法、道路法、道路交通法等の個別法	－	○			○									令和○年○月○日設計審査会で確認
				5	【事例 概算概略発注のため関係機関協議が実施中、未了の場合】 占用物件（○○○）の移設の調整、監督処分	河川法、道路法	－	○			○									令和○年○月○日設計審査会で確認
				6	【事例】 設計図書、条件明示と現地の不整合による協議資料	共通仕様書1-1-1-3-2	－		○			○								令和○年○月○日設計審査会で確認
				7	【事例】 設計図書、条件明示と現地の不整合による設計図修正（構造計算の伴うものや大幅な修正）	共通仕様書1-1-1-15	－	○		○										令和○年○月○日設計審査会で確認 個別の図面修正等について受発注者間で協議し役割分担を決定。 （受注者が実施する場合は、設計費用を発注者が負担する）
	契約図書	契約書		8	工事請負契約書	—	－	○												
		設計図書		9	共通仕様書	—	－	○												
				10	特記仕様書	—	－	○												
				11	発注図面	—	－	○												
				12	現場説明書	—	－	○												
				13	質問回答書	—	－	○												
				14	工事数量総括表	—	－	○												
	契約関係書類			15	現場代理人等通知書	工事請負契約書第10条1項	様式－1		○				○							
				16	請負代金内訳書	工事請負契約書第3条1項 共通仕様書3-1-1-1	様式－2		○				○							契約書を作成する全ての工事
				17	工事工程表	工事請負契約書第3条1項	様式－3		○				○							
				18	掛金収納書（電子申請方式）	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号) 共通仕様書1-1-1-41-6	様式－4		○				○							電子申請を使用しない場合は、「掛金収納書提出用台紙」に掛金収納書を張り付けたうえ、提出する。なお、スキャン、撮影によるデータ化も可とする。
				19	建退共証紙受払簿	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	－		○						○					
				20	工事別共済証紙受払簿	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	－		○						○					
				21	掛金充当実績総括表	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	－		○						○					
				22	被共済者就労状況報告書	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	－		○						○					
				23	掛金充当書	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	－		○						○					
				24	請求書（前払金）	工事請負契約書第34条1項	様式－5		○				○							
				25	VE提案書（契約後VE時）	特記仕様書	様式－6		○					○						契約締結後にVE提案を行う場合に提出する。
	その他			26	品質証明員通知書	共通仕様書3-1-1-6-5	様式－7		○			○								契約図書で規定された場合に提出する。
				27	再生資源利用計画書 -建設資材搬入工事用-	共通仕様書1-1-1-19-4	－		○			○								該当する建設資材を搬入する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。
				28	再生資源利用促進計画書 －建設副産物搬出工事用－	共通仕様書1-1-1-19-5	－		○			○								該当する建設副産物を搬出する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。
				29	建設発生土搬出調書	特記仕様書	－		○			○								
				30	建設発生土搬出のお知らせ	特記仕様書	－		○			○								
	工事書類	1施工計画	①施工計画	31	施工計画書	共通仕様書1-1-1-4-1	－		○			○								工事着手前又は施工方法が確定した時期に監督職員に提出 重要な変更が生じた場合（工期や数量等の軽微な変更以外）には、その都度当該工事に着手する前に、変更施工計画書を監督職員に提出する。
				32	ISO9001品質計画書	特記仕様書	－		○			○								
				33	設計図書の照査確認資料 （契約書18条に該当する事実があった場合）	共通仕様書1-1-1-3-2	－		○			○								
				34	工事測量成果表（仮BM及び多角点の設置）	共通仕様書1-1-1-38-1	－		○			○								
				35	工事測量結果（設計図書との照合） （設計図書と差異有り）		－		○			○								設計図書と差異があった場合にのみ監督職員に提出する。
		2施工体制	②施工体制	36	施工体制台帳	共通仕様書1-1-1-10-1	－		○			○								・「『施工体制台帳に係る書類の提出について』の一部改正について」（令和3年3月5日付け国官技第319号、国営整第16号）に基づき作成する。 ・建設業及び一次下請人の警備業以外は不要
				37	施工体系図	共通仕様書1-1-1-10-2	－		○			○								
				38	作業員名簿	共通仕様書1-1-1-10-1	－		○			○								

工事関係電子書類一覧表（作成書類の役割分担・位置付け）

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP（情報共有システム）で電子で管理すること

▼不要

工事関係書類							工事関係書類の標準様式（案）（様式No）	作成書類役割分担		発注者作成書類の位置づけ		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成媒体の事前協議		備考
作成時期	種別			No.	書類名称	書類作成の根拠		発注者	受注者	指示	通知	提出			提示	監督職員へ連絡	監督職員へ納品	電子☆	紙◎	
										受注者	受注者	監督職員	契約担当課	発注担当課	受注者保管					
施工中	工事書類	3施工状況	③施工管理	39	工事打合せ簿（指示）	共通仕様書1-1-1-2-15	様式－9	○												
				40	工事打合せ簿（協議）	共通仕様書1-1-1-2-17	様式－9		○			○								協議の根拠となる一般的な諸基準類のコピーは添付不要。
				41	工事打合せ簿（承諾）	共通仕様書1-1-1-2-16	様式－9		○			○								
				42	工事打合せ簿（提出）	共通仕様書1-1-1-2-18	様式－9		○			○								
				43	工事打合せ簿（報告）	共通仕様書1-1-1-2-20	様式－9		○			○								
				44	工事打合せ簿（通知）	共通仕様書1-1-1-2-21	様式－9		○			○								
				45	材料確認書	共通仕様書2-1-2-4	様式－10		○			○								設計図書に記載しているもの以外は材料確認願の提出は不要
				46	材料納入伝票	共通仕様書2-1-2-1	－		○						○					設計図書で指定した材料や監督職員から請求があった場合は提出する。
				47	段階確認書	共通仕様書3-1-1-4-6	様式－11		○			○								・契約図書で規定された場合のみ対象 ・段階確認書に添付する資料は新たに作成する必要なし。 ・監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等 は不要。 ・監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる。
				48	確認・立会依頼書	共通仕様書3-1-1-4-1	様式－12		○			○								・確認・立会依頼書添付する資料を新たに作成する必要はない。 ・監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等は不要。 ・監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる。
				49	休日・夜間作業届	共通仕様書1-1-1-37-2	－		○							○				ASP、電子メールなどにより連絡する。 ただし、現道上の工事については「提出」とする。
			④安全管理	50	安全教育訓練実施資料	共通仕様書1-1-1-27-13	－		○						○					監督職員へ実施内容の提示のみで提出不要。
				51	工事事故速報	共通仕様書1-1-1-30	様式－13		○			○				○				事故が発生した場合、直ちに連絡するとともに、事故の概要を書面により速やかに報告する。
				52	工事事故報告書	共通仕様書1-1-1-30	－		○			○								事故報告書はSAS（建設工事事故データベースシステム）により作成して提出するほか、監督職員から請求があった資料を提出する。
			⑤工程管理	53	工事履行報告書	工事請負契約書第11条 共通仕様書1-1-1-25	様式－14		○			○								工程の進捗状況を把握するため、実施工程表の提示を求めることがある。根拠資料の添付不要。
			⑥品質管理	54	品質規格証明資料	共通仕様書2-1-2-1	－		○			○								指定材料のみ提出（設計図書で指定した材料を含む）。
	契約関係書類	中間前払金		55	認定請求書	工事請負契約書第35条4項	様式－15		○				○							
				56	請求書（中間前払金）	工事請負契約書第35条3項	様式－5		○				○							
		完済部分検査		57	指定部分完成通知書	工事請負契約書第39条1項	様式－16		○				○							
				58	指定部分引渡書	工事請負契約書第39条1項	様式－17		○				○							
				59	請求書（指定部分完済払金）	工事請負契約書第39条1項	様式－5		○				○							
				60	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式－18		○			○								
		既済部分検査		61	請負工事既済部分検査請求書	工事請負契約書第38条2項	様式－19		○				○							
				62	出来形報告書 （数量内訳書、出来形図）	共通仕様書3-1-1-7-2	－		○			○								中間技術検査時にも提出する。
				62	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式－18		○			○								
				63	請求書（部分払金）	工事請負契約書第38条5項	様式－5		○				○							
		修補		64	修補完了届	工事請負契約書第32条1項 工事請負契約書第32条6項	様式－21		○				○							
		部分使用		65	部分使用承諾書	工事請負契約書第34条1項	様式－22		○				○							部分使用がある場合に提出する。
		工期延期		66	工期延期願	工事請負契約書第18条～22条	様式－23		○				○							工期延期が発生する場合に提出する。
		支給品	支給品	67	支給品受領書	工事請負契約書第15条3項	様式－24		○			○								支給品を受領した場合に提出する。
				68	支給品精算書	共通仕様書1-1-1-17-3	様式－25		○			○								支給品がある場合に提出する。
			建設機械	69	建設機械使用実績報告書	共通仕様書1-1-1-17-5	様式－26		○			○								建設機械の貸与がある場合に提出する。
				70	建設機械借用・返納書	工事請負契約書第15条3項	様式－27		○			○								建設機械の貸与がある場合に提出する。
		現場発生品		71	現場発生品調書	共通仕様書1-1-1-18	様式－28		○			○								現場発生品がある場合に提出する。
	その他			72	出来形報告書 （数量内訳書、出来形図）	共通仕様書3-1-1-7	－		○			○								既済部分検査等の際に提出する。
				73	産業廃棄物管理表（マニフェスト）	共通仕様書1-1-1-19-2	－		○						○					・産業廃棄物がある場合に監督職員へ提示すればよく、コピーの提出不要。
				74	建設発生土搬出調書	特記仕様書	－		○					○						
				75	建設発生土搬出のお知らせ	特記仕様書	－		○					○						
				76	新技術活用関係資料	特記仕様書	－		○					○						新技術情報提供システム（NETIS）に登録されている技術を活用して工事施工する場合に提出する。

工事関係電子書類一覧表（作成書類の役割分担・位置付け）

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP（情報共有システム）で電子で管理すること

▼不要

工事関係書類					工事関係書類の標準様式（案）（様式No）	作成書類役割分担		発注者作成書類の位置づけ		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成媒体の事前協議		備考
								指示	通知	提出			提示	監督職員へ連絡	監督職員へ納品			
作成時期	種別	No.	書類名称	書類作成の根拠		発注者	受注者	受注者	受注者	監督職員	契約担当課	発注担当課	受注者保管			電子☆	紙◎	
工事完成時	契約関係書類	77	完成通知書	工事請負契約書第32条1項	様式－29		○				○							
		78	引渡書	工事請負契約書第32条4項	様式－30		○				○							
		79	請求書（完成代金）	工事請負契約書第33条1項	様式－5		○				○							
	工事書類	80	出来形管理図表	共通仕様書1-1-1-24-8	様式－31		○			○								・施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 ・出来形の測定位置が分かるように略図を記載する。 ・測定結果総括表、測定結果一覧表、出来形管理図（工程能力図）、度数表（ヒストグラム）については、出来形管理図表にて代用可能なため提出不要。
		81	品質管理図表	共通仕様書1-1-1-24-8	様式－32		○			○								・施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 ・品質の測定位置が分かるように略図を記載する。 ・測定結果総括表、測定結果一覧表、品質管理図（工程能力図）、度数表（ヒストグラム）については、品質管理図表にて代用可能なため提出不要。
		82	品質証明書	特記仕様書	様式－33		○			○								・契約図書で規定された場合に提出する。 ・品質証明に関する添付書類は提出不要
		83	工事写真	共通仕様書1-1-1-24-8	－		○			○						☆		・工事写真の撮影にあたっては、写真管理基準（案）を適用する。 ・電子納品等運用ガイドライン（案）【土木工事編】に基づき提出する。 ・紙の工事写真帳の提出不要 ・不可視部分を含め、監督職員又は現場技術員が臨場して確認した箇所は、出来形管理写真等の撮影は省略 ・監督職員等が確認や立会っている状況写真等も不要。
		84	総合評価実施報告書	特記仕様書	－		○			○								総合評価落札方式を適用して契約した場合に提出する。
		85	創意工夫・社会性等に関する実施状況	特記仕様書 共通仕様書3-1-1-10	様式－34		○			○								自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として、特に評価できる項目を実施すれば提出できる。 1工事につき最大10項目までの提出とする。
	工事完成図書	86	工事完成図	共通仕様書1-1-1-20 共通仕様書3-1-1-7	－		○			○					○	☆		・電子納品等運用ガイドライン（案）【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。
		87	工事管理台帳	共通仕様書3-1-1-7	－		○			○					○	☆		・電子納品等運用ガイドライン（案）【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。
	その他	88	再生資源利用実施書 －建設資材搬入工事用－	共通仕様書1-1-1-19-6	－		○					○						該当する建設資材を搬入した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。
		89	再生資源利用促進実施書 －建設副産物搬出工事用－	共通仕様書1-1-1-19-6	－		○					○						該当する建設副産物を搬出した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。
工事完成後	その他	90	低入札価格調査 （間接工事費等諸経費動向調査票）	共通仕様書1-1-1-13-5-3	－	○	○					○						「低入札価格調査制度」の調査対象工事の場合に完成日から30日以内に提出する。

別紙様式－１

様式－６(1)　　年月日：

Ｖ　Ｅ　提　案　書

（発注者）　殿

（受注者）

工事請負契約書第１９条の２に基づきＶＥ提案書を提出いたします。

工事件名： 契約締結日：	連絡者 氏　名 ＴＥＬ ＦＡＸ
ＶＥ提案の概要	注）記入欄が不足する場合には、様式－６(1)の２として追記して下さい。なお、概算低減額は、提案を審査する上で参考とするものです。

番　号	項　目　内　容	概算低減額：千円
概　算　低　減　額　合　計		

別紙様式－３

様式－６(3)

番　　号		項目内容	

ＶＥ提案による概算低減額及び算出根拠

【 現　状 】					単位：千円	【 改善案 】					単位：千円	摘　　要
名　　称	規　格	単位	数　　量	単　価	金　　額	名　　称	規　格	単位	数　　量	単　価	金　　額	

別紙様式－４

様式－６(1)　　年月日：

Ｖ　Ｅ　提　案　書

（発注者）　殿

（受注者）

工事請負契約書第１９条の２に基づきＶＥ提案書を提出いたします。

工事件名： 契約締結日：	連絡者 氏　名 ＴＥＬ ＦＡＸ
ＶＥ提案の概要	注）記入欄が不足する場合には、様式－６(1)の２として追記して下さい。なお、概算低減額は、提案を審査する上で参考とするものです。

番　号	項　目　内　容	概算低減額：千円
概　算　低　減　額　合　計		

別紙様式－５

様式－６(2)

番　号		項　目　内　容	

（１）設計図書の定める内容と、ＶＥ提案の内容の対比

【現状】　----------略図等	【改善案】　----------略図等

（２）提案理由

（３）ＶＥ提案の実施方法（材料仕様、施工要領等を記入）

（４）品質保証の証明（品質保証書の添付等）

（５）その他

別紙様式－６

様式－６(3)

番　　号		項目内容	

ＶＥ提案による概算低減額及び算出根拠

【 現　状 】					単位：千円	【 改善案 】					単位：千円	摘　　要
名　　称	規　格	単位	数　　量	単　価	金　　額	名　　称	規　格	単位	数　　量	単　価	金　　額	

別紙様式－７

様式－６(4)

番　号		項目内容	

（１）工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項

（２）ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項（提案内容の公表に係る所見等）

別紙様式－８

号
平成　　年　　月　　日

Ｖ　Ｅ　提　案　採　否　通　知　書

○　○　○　○　殿

支出負担行為担当官
○○地方整備局長　　印

特記仕様書「○　ＶＥ提案について」に基づき、平成　年　月　日付けで提出されま　したＶＥ提案に対する審査結果を下記のとおり通知します。

工 事 件 名： 契約締結日：	ＶＥ提案項目数： 採用項目数： 不採用項目数：

ＶＥ提案に対する「採否」及びその理由

番　号	項　　目　　内　　容	概算低減額：千円

（注）採否に関する問い合わせ先

別紙様式－１５

建設発生土搬出のお知らせ

平成　　年　　月　　日

殿

会　社　名：
現場代理人名：

下記のとおり、貴区市町村内への受入れ先に建設発生土を搬出いたしますので、お知らせいたします。

工　事　件　名	
工　事　場　所	
工　事　概　要	
工事発注機関名	
工事監督職員又は担当者名	
連絡先機関・電話番号	ＴＥＬ：

工事受注業者名	
担当者名・電話番号	氏名：　　ＴＥＬ：
建設発生土の運搬業者	
建設発生土の受入先名等	
住所	
建設発生土の運搬経路	（別添図面の通り）
建設発生土の搬出時期	平成　　年　　月　　日 ～ 平成　　年　　月　　日
建設発生土の土質、土量	土質：　　搬出量：　　m3

〈記入例〉

（別紙）

建設発生土搬出のお知らせ

平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

○○○○部　○○○○課　　殿

会　社　名：○○○○建設㈱
現場代理人名：○○　○○○

下記のとおり、貴区市町村内への受入れ先に建設発生土を搬出いたしますので、お知らせいたします。

工事件名	○○○○○○○○○○○工事
工事場所	○○県○○市○○地先
工事概要	土工○○○m3、舗装工○○○m2、法面工○○○m2、仮設工１式 搬出：発生土○○○m3、 搬入：ＡＳ合材○○○ﾄﾝ、砕石○○○m3、
工事発注機関名	国土交通省　関東地方整備局　○○事務所
工事監督職員又は担当者名 連絡先機関・電話番号	主任監督員○○○○○、監督員○○○○○、 ○○事務所○○出張所　ＴＥＬ：○○○○-○○-○○○○
工事受注業者名	○○○○建設㈱
担当者名・電話番号	氏名：○○○○○　　ＴＥＬ：○○○○-○○-○○○○
建設発生土の運搬業者	○○○○興業㈱
建設発生土の受入先名等	○○○○土地改良事業

住　　所	○○県○○市○○番地
建設発生土の運搬経路	（別添図面の通り）
建設発生土の搬出時期	平成　○ 年 ○○月 ○○日 ～ 平成 ○ 年 ○○月 ○○ 日
建設発生土の土質、土量	土質：砂質土　　搬出量：　○○○　　m3

舗装工事データ（データコード：0601）記入シート

別紙様式－１４－１

平成 19 年 3 月

事務所	出張所	作成年月日	整理番号

主任監督員

作成者

◆記入要領◆
・該当コード番号を○で囲む。
・□□欄は数値・コードを記入し、不明の場合は「*」を記入する。

1. 路線名

路線番号　現旧新　枝番号

→1:現道　2:旧道　3:新道

路線名称（枝番がある時、バイパス名等を記入する）

2. 上り下り区分

1：上り　3：上下
2：下り

3. 車線（車線区分＋車線番号）

（車線番号はセンター側から数えた車線位置番号）

コード	車線区分	コード	車線区分
1	本線	5	左折車線
2	登坂車線	6	加減速車線
3	ゆずり車線	7	副道
4	右折車線	ランプコード	連結路（ランプ）

4. 距離標

〔自〕 キロポスト　キロポストからの実距離　k　m　－　〔至〕 キロポスト　キロポストからの実距離　k　m

5. 施工延長　m

6. 施工面積　m²

7. 工事実績・計画区分

1：実績（工事完了）
2：計画（工事計画）

8. 工事発注方式

1：仕様規定
2：性能規定
3：総合評価
9：その他
*：不明

9. 工事種別

10：改築工事
20：維持工事
30：修繕工事
41：占用工事（ガス）
42：占用工事（電気）
43：占用工事（上水道）
44：占用工事（下水道）
50：請願工事
99：その他
**：不明

10. 補修理由（2つまで選択可）

1：舗装破損（ひび割れ）
2：舗装破損（わだち掘れ）
3：舗装破損（平たん性）
4：舗装破損（骨材飛散）
5：舗装破損（その他）
6：占用復旧
7：通報（段差）
8：通報（振動）
9：通報（騒音）
10：通報（その他）
99：その他
**：不明

11. 要求性能（2つまで選択可）

1：一般走行性
2：すべり止め
3：排水性
4：透水性
5：路面温度上昇抑制
6：明色性
7：着色性・色彩機能
8：騒音防止・抑制
9：流動対策
10：摩耗対策
11：支持力強化
12：凍結抑制
13：長寿命対策
14：排気ガス浄化対策
15：温度応力クラック抑制対策
16：リフレクションクラック抑制対策
17：骨材飛散対策
99：その他
**：不明

12. 施工年月

元号　年　月
H

13. 新設・補修・在来区分

1：新設工事
2：補修工事
3：在来

14. 施工方法

10：新設
20：打換え工法
21：上層路盤打換え工法
22：表層・基層打換え工法
23：局部打換え工法
30：オーバーレイ工法
31：薄層オーバーレイ工法
32：わだち部オーバーレイ工法
33：表面処理工法
34：薄層コンクリート舗装工法
35：シール材注入工法
40：切削工法
41：切削オーバーレイ工法
42：切削薄層オーバーレイ工法
43：切削表面処理工法
44：切削薄層コンクリート舗装工法
50：路上表層再生工法(リミックス)
51：路上表層再生工法(リペーブ)
52：路上路盤再生工法
99：その他
**：不明

15-1. 各種舗装の構造別分類

10：サンドイッチ舗装
11：コンポジット舗装
12：フルデプスアスファルト舗装

15-2. 特殊技術を用いた舗装

20：シックリフト工法
21：中温化技術
22：スリップフォーム工法

15-3. 各種舗装の材料別分類

30：半たわみ性舗装
31：ロールドアスファルト舗装
32：フォームドアスファルト舗装
33：砕石マスチック舗装
34：ポーラスアスファルト舗装
35：保水性舗装
36：遮熱性舗装
37：透水性舗装
38：プレキャストコンクリート版舗装
39：薄層コンクリート舗装
40：小粒径骨材露出舗装
41：ポーラスコンクリート舗装
42：連続鉄筋コンクリート舗装
43：プレストレストコンクリート舗装
44：転圧コンクリート舗装

16. 路面種別

1：アスファルト舗装(As)
2：ポーラスアスファルト舗装(Po)
3：コンクリート舗装(Co)

17. 切削（掘削）　.　cm

18. 打換率　.　%

19. 空隙率　.　%

[舗装構成]　（20～23. は下記のコード表より記入する　24. 厚さは1cm単位で記入する）

	表層	中間層	基層	上層路盤		下層路盤	路床	
				レベリング	レベリング		凍上層	遮断層
20.再生材								
21.材料種類								
22.材料名								
23.最大粒径								
24.厚さ(cm)								

20. 再生材

コード	再生材	コード	再生材
0	未使用	2	再々生
1	再生	*	不明

21. 材料種類　（材料種類コードが50～74の場合、材料名は空白とする）

コード	材料種類	適用箇所 表層	基層	路盤	路床	コード	材料種類	適用箇所 表層	基層	路盤	路床
10	粗粒度アスファルト混合物	○	○			32	表面充填材	○			
11	密粒度アスファルト混合物	○	○			33	多孔質弾性舗装材料	○			
12	細粒度アスファルト混合物	○	○			40	瀝青安定処理			○	
13	密粒度ギャップアスファルト混合物	○	○			41	セメント・瀝青安定処理			○	
14	細粒度ギャップアスファルト混合物	○	○			42	セメント安定処理			○	○
15	開粒度アスファルト混合物	○	○			43	石灰安定処理			○	○
16	グースアスファルト混合物		○			50	粒度調整砕石			○	
17	ロールドアスファルト混合物	○	○			51	粒調鉄鋼スラグ			○	
18	大粒径アスファルト混合物	○	○			52	水硬性粒調鉄鋼スラグ			○	
19	半たわみ性アスコン	○	○			60	クラッシャラン			○	
20	ポーラスアスファルト混合物	○	○			61	切込砂利			○	
21	アスファルトモルタル	○				62	砂利			○	○
22	表面処理用アスコン	○				63	クラッシャラン鉄鋼スラグ			○	
23	シート防水	○				64	玉砕			○	○
24	塗り防水	○				65	砂			○	○
25	瀝青材防水	○				70	切土				○
26	マイクロサーフェシング	○				71	盛土				○
27	砕石マスチック(SMA)	○	○			72	置換				○
28	保水性アスコン	○				73	発泡スチロール				○
29	シール材	○				74	ジオテキスタイル				○
30	セメントコンクリート	○	○	○	○	99	その他（　　）	○	○	○	○
31	表面塗布材	○				**	不明	○	○	○	○

22. 材料名

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
01	ストアス	17	アスファルト乳剤	41	セメント
11	改質アスⅠ型	20	樹脂系結合材	42	石灰
12	改質アスⅡ型	21	エポキシアスファルト	99	その他
13	改質アスH型	22	加熱式注入目地・シール材	**	不明
14	その他の改質アス	23	常温式注入目地・シール材		
15	セミブローンアス	30	添加剤		
16	硬質アスファルト	40	乳剤・セメント		

23. 最大粒径

コード	最大粒径(mm)	コード	最大粒径(mm)	コード	最大粒径(mm)
01	2.5	07	2.5F	13	30
02	5	08	5F	14	40
03	8	09	8F	99	その他
04	10	10	10F	**	不明
05	13	11	13F		
06	20	12	20F		

25. T_A　.　cm

26. CBR　.　%

27. 路床改良の有無

1：改良有
2：改良無
*：不明

28. 路床構築の有無

1：構築有
2：構築無
*：不明

29. 舗装設計法

1：経験に基づく設計法（TA法）
2：経験に基づく設計法（TA法以外）
3：理論設計法（多層弾性理論）
4：理論設計法（その他）
5：コンクリート（土木研究所式）
9：その他
*：不明

30. 疲労破壊輪数

設計期間　年
舗装計画交通量　台／日
疲労破壊輪数　千回
確認方法　1：促進載荷装置による繰り返し載荷試験
2：供試体による繰り返し載荷試験
3：過去の実績
4：舗装の構造に関する技術基準・同解説　別表1
5：舗装の構造に関する技術基準・同解説　別表2

31.塑性変形輪数

道路の区分　1：第1種、第2種、第3種第1級及び第2級並びに第4種第1級
2：その他
舗装計画交通量　台／日
塑性変形輪数　回／mm
確認方法　1：促進載荷装置による繰り返し載荷試験
2：供試体による繰り返し載荷試験
3：ホイールトラッキング試験
4：過去の実績

32. 平たん性

測定方法　1：3mプロフィルメータによる方法
2：3m直線定規による方法
3：路面性状測定車による方法
9：その他
凹凸量の標準偏差1　.　mm
凹凸量の標準偏差2　.　mm
(標準偏差1:平たん性の障害となるマンホール等の部分のデータを除外しない値)
(標準偏差2:平たん性の障害となるマンホール等の部分のデータを除外した値)

33. 浸透水量

測定方法　1：現場透水量試験器
9：その他
道路の区分　1：第1種、第2種、第3種第1級及び第2級並びに第4種第1級
2：その他
浸透水量
わだち部（OWP）　ミリリットル／15秒
非わだち部（BWP）　ミリリットル／15秒

34. 舗装工事名（全角・2バイト文字）

35. 施工業者名（全角・2バイト文字）

36. プラント名（全角・2バイト文字）

性能規定データ（データコード：0602）記入シート

事務所		出張所		作成年月日		整理番号	

平成 19 年 3 月

別紙様式－１４－２

◆記入要領◆
・該当コード番号を○で囲む。
・□□欄は数値・コードを記入し、不明の場合は「*」を記入する。

主任監督員
作成者

1．路線名

路線番号　現旧新　枝番号

→1:現道　2:旧道　3:新道

路線名称（枝番がある時、バイパス名等を記入する）

2．上り下り区分

1：上り　3：上下

2：下り

3．車線（車線区分＋車線番号）

（車線番号はセンター側から数えた車線位置番号）

コード	車線区分	コード	車線区分
1	本線	5	左折車線
2	登坂車線	6	加減速車線
3	ゆずり車線	7	副道
4	右折車線	ランプコード	連結路（ランプ）

4．距離標

〔自〕 キロポスト　キロポストからの実距離　k　m　－　〔至〕 キロポスト　キロポストからの実距離　k　m

5．施工年月

元号　年　月

H

6．性能確認時期

1：施工直後

2：1年後

9：その他

7．平たん性　元号　年　月

測定年月　H

測定方法　1：3mプロフィルメータによる方法
2：3m直線定規による方法
3：路面性状測定車による方法
9：その他

凹凸量の標準偏差1　．　mm

凹凸量の標準偏差2　．　mm

(標準偏差1:平たん性の障害となるマンホール等の部分のﾃﾞｰﾀを除外しない値)
(標準偏差2:平たん性の障害となるマンホール等の部分のﾃﾞｰﾀを除外した値)

8．浸透水量　元号　年　月

測定年月　H

測定方法　1：現場透水量試験器
9：その他

道路の区分　1：第1種、第2種、第3種第1級及び第2級並びに第4種第1級
2：その他

浸透水量
わだち部（OWP）　ミリリットル／15秒
非わだち部（BWP）　ミリリットル／15秒

9．すべり抵抗　元号　年　月

測定年月　H

測定方法　1：すべり抵抗測定車
2：回転式すべり抵抗試験機（ＤＦテスタ）
3：振り子式スキッドレジスタンステスタ
9：その他

路面温度　℃

速度1　km／h　すべり摩擦係数1　．

速度2　km／h　すべり摩擦係数2　．

速度3　km／h　すべり摩擦係数3　．

10．路面騒音　元号　年　月

測定年月　H

測定方法　1：関東地方整備局所有の路面騒音測定車
2：近畿地方整備局所有の路面騒音測定車
3：九州地方整備局所有の路面騒音測定車
4：中国地方整備局所有の路面騒音測定車
5：道路建設業協会所有の路面騒音測定車
9：その他

測定車両の平均速度　．　km／h

気温　℃

路面温度　℃

路面騒音値　．　デシベル

11．わだち掘れ　元号　年　月

測定年月　H

測定方法　1：横断プロフィルメータによる方法
2：直線定規による方法
3：水糸による方法
4：路面性状測定車による方法
9：その他

わだち掘れ量（最大値）　mm

わだち掘れ量（平均値）　mm

別紙様式－15

工事関係電子書類一覧表（作成書類の役割分担・位置付け）

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP（情報共有システム）で電子で管理すること　　**▼不要**

工事関係書類						工事関係書類の標準様式（案）（様式No）	作成書類役割分担		発注者作成書類の位置づけ		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成媒体の事前協議		備考
作成時期	種別		No.	書類名称	書類作成の根拠		発注者	受注者	指示	通知	提出			提示	監督職員へ連絡	監督職員へ納品	電子☆	紙◎	
									受注者	受注者	監督職員	契約担当課	発注担当課	受注者保管					
工事着手前	作成書類の役割分担	設計審査会で確認	1	【事例】 工事のお知らせ（自治会、住民等への周知）	共通仕様書1-1-1-36-7	ー		○						○					令和○年○月○日設計審査会で確認
			2	【事例】 関係機関（○○○）協議結果に基づく届出	共通仕様書1-1-1-36-2	－		○						○					令和○年○月○日設計審査会で確認
			3	【事例】 土壌汚染対策法第4条1項に基づく届出	土壌汚染対策法第4条1項	－	○			○									土地の形質の変更に着手する日の30日前までに届け出
			4	【事例 概算概略発注等のため関係機関協議が実施中、未了の場合】 関係機関（○○○）との設計・施工協議	河川法、道路法、道路交通法等の個別法	－	○			○									令和○年○月○日設計審査会で確認
			5	【事例 概算概略発注のため関係機関協議が実施中、未了の場合】 占用物件（○○○）の移設の調整、監督処分	河川法、道路法	－	○			○									令和○年○月○日設計審査会で確認
			6	【事例】 設計図書、条件明示と現地の不整合による協議資料	共通仕様書1-1-1-3-2	－		○			○								令和○年○月○日設計審査会で確認
			7	【事例】 設計図書、条件明示と現地の不整合による設計図修正（構造計算の伴うものや大幅な修正）	共通仕様書1-1-1-15	－	○		○										令和○年○月○日設計審査会で確認 個別の図面修正等について受発注者間で協議し役割分担を決定。 （受注者が実施する場合は、設計費用を発注者が負担する）
	契約図書	契約書	8	工事請負契約書	―	ー	○												
		設計図書	9	共通仕様書	―	ー	○												
			10	特記仕様書	―	ー	○												
			11	発注図面	―	ー	○												
			12	現場説明書	―	ー	○												
			13	質問回答書	―	ー	○												
			14	工事数量総括表	―	ー	○												
	契約関係書類		15	現場代理人等通知書	工事請負契約書第10条1項	様式－1		○				○							
			16	請負代金内訳書	工事請負契約書第3条1項 共通仕様書3-1-1-1	様式－2		○				○							契約書を作成する全ての工事
			17	工事工程表	工事請負契約書第3条1項	様式－3		○				○							
			18	掛金収納書（電子申請方式）	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号) 共通仕様書1-1-1-41-6	様式－4		○				○							電子申請を使用しない場合は、「掛金収納書提出用台紙」に掛金収納書を張り付けたうえ、提出する。なお、スキャン、撮影によるデータ化も可とする。
			19	建退共証紙受払簿	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	ー		○						○					
			20	工事別共済証紙受払簿	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	ー		○						○					
			21	掛金充当実績総括表	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	ー		○						○					
			22	被共済者就労状況報告書	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	ー		○						○					
			23	掛金充当書	現説時指導事項(R3.3.31付国会公契第71号)	ー		○						○					
			24	請求書（前払金）	工事請負契約書第34条1項	様式－5		○				○							
			25	VE提案書（契約後VE時）	特記仕様書	様式－6		○					○						契約締結後にVE提案を行う場合に提出する。
	その他		26	品質証明員通知書	共通仕様書3-1-1-6-5	様式－7		○			○								契約図書で規定された場合に提出する。
			27	再生資源利用計画書 －建設資材搬入工事用－	共通仕様書1-1-1-19-4	ー		○			○								該当する建設資材を搬入する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。
			28	再生資源利用促進計画書 －建設副産物搬出工事用－	共通仕様書1-1-1-19-5	ー		○			○								該当する建設副産物を搬出する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。
			29	建設発生土搬出調書	特記仕様書	ー		○			○								
			30	建設発生土搬出のお知らせ	特記仕様書	ー		○			○								
	工事書類	1施工計画 ①施工計画	31	施工計画書	共通仕様書1-1-1-4-1	ー		○			○								工事着手前又は施工方法が確定した時期に監督職員に提出 重要な変更が生じた場合（工期や数量等の軽微な変更以外）には、その都度当該工事に着手する前に、変更施工計画書を監督職員に提出する。
			32	ISO9001品質計画書	特記仕様書	ー		○			○								
			33	設計図書の照査確認資料 （契約書18条に該当する事実があった場合）	共通仕様書1-1-1-3-2	ー		○			○								
			34	工事測量成果表（仮BM及び多角点の設置）	共通仕様書1-1-1-38-1	ー		○			○								
			35	工事測量結果（設計図書との照合） （設計図書と差異有り）		ー		○			○								設計図書と差異があった場合にのみ監督職員に提出する。
		2施工体制 ②施工体制	36	施工体制台帳	共通仕様書1-1-1-10-1	－		○			○								・「『施工体制台帳に係る書類の提出について』の一部改正について」（令和3年3月5日付け国官技第319号、国営整第16号）に基づき作成する。 ・建設業及び一次下請人の警備業以外は不要
			37	施工体系図	共通仕様書1-1-1-10-2	－		○			○								
			38	作業員名簿	共通仕様書1-1-1-10-1	－		○			○								
施工中		3施工状況 ③施工管理	39	工事打合せ簿(指示)	共通仕様書1-1-1-2-15	様式－9	○												
			40	工事打合せ簿(協議)	共通仕様書1-1-1-2-17	様式－9		○			○								協議の根拠となる一般的な諸基準類のコピーは添付不要。
			41	工事打合せ簿(承諾)	共通仕様書1-1-1-2-16	様式－9		○			○								
			42	工事打合せ簿(提出)	共通仕様書1-1-1-2-18	様式－9		○			○								
			43	工事打合せ簿(報告)	共通仕様書1-1-1-2-20	様式－9		○			○								
			44	工事打合せ簿(通知)	共通仕様書1-1-1-2-21	様式－9		○			○								
			45	材料確認書	共通仕様書2-1-2-4	様式－10		○			○								設計図書に記載しているもの以外は材料確認願の提出は不要
			46	材料納入伝票	共通仕様書2-1-2-1	ー		○						○					設計図書で指定した材料や監督職員から請求があった場合は提出する。

工事関係電子書類一覧表（作成書類の役割分担・位置付け）

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP（情報共有システム）で電子で管理すること　　**▼不要**

工事関係書類						工事関係書類の標準様式（案）（様式No）	作成書類役割分担		発注者作成書類の位置づけ		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成媒体の事前協議		備考
作成時期	種別			No.	書類名称	書類作成の根拠	発注者	受注者	指示	通知	提出			提示	監督職員へ連絡	監督職員へ納品	電子☆	紙◎	
									受注者	受注者	監督職員	契約担当課	発注担当課	受注者保管					
施工中	工事書類	3施工状況	③施工管理	47	段階確認書	共通仕様書3-1-1-4-6	様式－11		○		○								・契約図書で規定された場合のみ対象 ・段階確認書に添付する資料は新たに作成する必要なし。 ・監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等 は不要。 ・監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる。
				48	確認・立会依頼書	共通仕様書3-1-1-4-1	様式－12		○		○								・確認・立会依頼書添付する資料を新たに作成する必要はない。 ・監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等は不要。 ・監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる。
				49	休日・夜間作業届	共通仕様書1-1-1-37-2	－			○					○				ASP、電子メールなどにより連絡する。 ただし、現道上の工事については「提出」とする。
			④安全管理	50	安全教育訓練実施資料	共通仕様書1-1-1-27-13	－		○					○					監督職員へ実施内容の提示のみで提出不要。
				51	工事事故速報	共通仕様書1-1-1-30	様式－13		○		○				○				事故が発生した場合、直ちに連絡するとともに、事故の概要を書面により速やかに報告する。
				52	工事事故報告書	共通仕様書1-1-1-30	－		○		○								事故報告書はSAS（建設工事事故データベースシステム）により作成して提出するほか、監督職員から請求があった資料を提出する。
			⑤工程管理	53	工事履行報告書	工事請負契約書第11条 共通仕様書1-1-1-25	様式－14		○		○								工程の進捗状況を把握するため、実施工程表の提示を求めることがある。根拠資料の添付不要。
			⑥品質管理	54	品質規格証明資料	共通仕様書2-1-2-1	－		○		○								指定材料のみ提出（設計図書で指定した材料を含む）。
		契約関係書類	中間前払金	55	認定請求書	工事請負契約書第35条4項	様式－15		○			○							
				56	請求書（中間前払金）	工事請負契約書第35条3項	様式－5		○			○							
			完済部分検査	57	指定部分完成通知書	工事請負契約書第39条1項	様式－16		○			○							
				58	指定部分引渡書	工事請負契約書第39条1項	様式－17		○			○							
				59	請求書（指定部分完済払金）	工事請負契約書第39条1項	様式－5		○			○							
				60	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式－18		○		○								
			既済部分検査	61	請負工事既済部分検査請求書	工事請負契約書第38条2項	様式－19		○			○							
				62	出来形報告書 （数量内訳書、出来形図）	共通仕様書3-1-1-7-2	－		○		○								中間技術検査時にも提出する。
				62	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式－18		○		○								
				63	請求書（部分払金）	工事請負契約書第38条5項	様式－5		○			○							
			修補	64	修補完了届	工事請負契約書第32条1項 工事請負契約書第32条6項	様式－21		○			○							
			部分使用	65	部分使用承諾書	工事請負契約書第34条1項	様式－22		○			○							部分使用がある場合に提出する。
			工期延期	66	工期延期願	工事請負契約書第18条～22条	様式－23		○			○							工期延期が発生する場合に提出する。
			支給品 支給品	67	支給品受領書	工事請負契約書第15条3項	様式－24		○		○								支給品を受領した場合に提出する。
			支給品 支給品	68	支給品精算書	共通仕様書1-1-1-17-3	様式－25		○		○								支給品がある場合に提出する。
			支給品 建設機械	69	建設機械使用実績報告書	共通仕様書1-1-1-17-5	様式－26		○		○								建設機械の貸与がある場合に提出する。
			支給品 建設機械	70	建設機械借用・返納書	工事請負契約書第15条3項	様式－27		○		○								建設機械の貸与がある場合に提出する。
			現場発生品	71	現場発生品調書	共通仕様書1-1-1-18	様式－28		○		○								現場発生品がある場合に提出する。
		その他		72	出来形報告書 （数量内訳書、出来形図）	共通仕様書3-1-1-7	－		○		○								既済部分検査等の際に提出する。
				73	産業廃棄物管理表（マニフェスト）	共通仕様書1-1-1-19-2	－		○					○					・産業廃棄物がある場合に監督職員へ提示すればよく、コピーの提出不要。
				74	建設発生土搬出調書	特記仕様書	－		○				○						
				75	建設発生土搬出のお知らせ	特記仕様書	－		○				○						
				76	新技術活用関係資料	特記仕様書	－		○				○						新技術情報提供システム（NETIS）に登録されている技術を活用して工事施工する場合に提出する。
工事完成時	契約関係書類			77	完成通知書	工事請負契約書第32条1項	様式－29		○			○							
				78	引渡書	工事請負契約書第32条4項	様式－30		○			○							
				79	請求書（完成代金）	工事請負契約書第33条1項	様式－5		○			○							
		工事書類		80	出来形管理図表	共通仕様書1-1-1-24-8	様式－31		○		○								・施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 ・出来形の測定位置が分かるように略図を記載する。 ・測定結果総括表、測定結果一覧表、出来形管理図（工程能力図）、度数表（ヒストグラム）については、出来形管理図表にて代用可能なため提出不要。
				81	品質管理図表	共通仕様書1-1-1-24-8	様式－32		○		○								・施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 ・品質の測定位置が分かるように略図を記載する。 ・測定結果総括表、測定結果一覧表、品質管理図（工程能力図）、度数表（ヒストグラム）については、品質管理図表にて代用可能なため提出不要。
				82	品質証明書	特記仕様書	様式－33		○		○								・契約図書で規定された場合に提出する。 ・品質証明に関する添付書類は提出不要
				83	工事写真	共通仕様書1-1-1-24-8	－		○		○						☆		・工事写真の撮影にあたっては、写真管理基準（案）を適用する。 ・電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき提出する。 ・紙の工事写真帳の提出不要 ・不可視部分を含め、監督職員又は現場技術員が臨場して確認した箇所は、出来形管理写真等の撮影は省略 ・監督職員等が確認や立会っている状況写真等も不要。
				84	総合評価実施報告書	特記仕様書	－		○		○								総合評価落札方式を適用して契約した場合に提出する。
				85	創意工夫・社会性等に関する実施状況	特記仕様書 共通仕様書3-1-1-10	様式－34		○		○								自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として、特に評価できる項目を実施すれば提出できる。 1工事につき最大10項目までの提出とする。
		工事完成図書		86	工事完成図	共通仕様書1-1-1-20 共通仕様書3-1-1-7	－		○		○					○	☆		・電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。
				87	工事管理台帳	共通仕様書3-1-1-7	－		○		○					○	☆		・電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。
		その他		88	再生資源利用実施書 -建設資材搬入工事用-	共通仕様書1-1-1-19-6	－		○				○						該当する建設資材を搬入した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。
				89	再生資源利用促進実施書 －建設副産物搬出工事用－	共通仕様書1-1-1-19-6	－		○				○						該当する建設副産物を搬出した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。
工事完成後	その他			90	低入札価格調査 （間接工事費等諸経費動向調査票）	共通仕様書1-1-1-13-5-3	－	○	○				○						「低入札価格調査制度」の調査対象工事の場合に完成日から30日以内に提出する。

別紙様式－１６

工　期　通　知　書

平成○○年○○月○○日

（分任）支出負担行為担当官
○○　○○　様

住所
商号又は名称
氏名　　印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工　事　名	○○○○工事
工　事　場　所	○○県○○市○○
契約予定年月日	平成　　年　　月　　日
工 事 の 始 期	平成　　年　　月　　日
工　　期	工　事　の　始　期　か　ら （○○○日間） 平成　　年　　月　　日　まで

※工事の締結までに提出すること。
※契約書には本通知書により通知した工期（工期の始期及び終期）を記載する。

【遠隔臨場に関する基礎調査様式】

●基本情報

工事名	
会社名	
担当者名	
連絡先	
アドレス	

●遠隔臨場を適用した項目

No.	適用種別 （選択）	工　種 （自由記述）	細　別 （自由記述）	確認時期 （自由記述）	確認項目 （自由記述）	適用理由 （自由記述）	その他意見 （自由記述）
記入例	段階確認	矢板工	鋼矢板	打込時	長さ	・検尺及び目視確認が可能だったため ・確認頻度が多くあり、現場作業の調整の効率化を図るために実施	

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

●遠隔臨場を適用せず、従来の現場臨場とした項目

No.	適用種別 （選択）	工　種 （自由記述）	細　別 （自由記述）	確認時期 （自由記述）	確認項目 （自由記述）	適用理由 （自由記述）	その他意見 （自由記述）
記入例	段階確認	掘削工		土質の変化した時	土質、変化位置	・土(岩)質の確認は映像では困難のため	

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

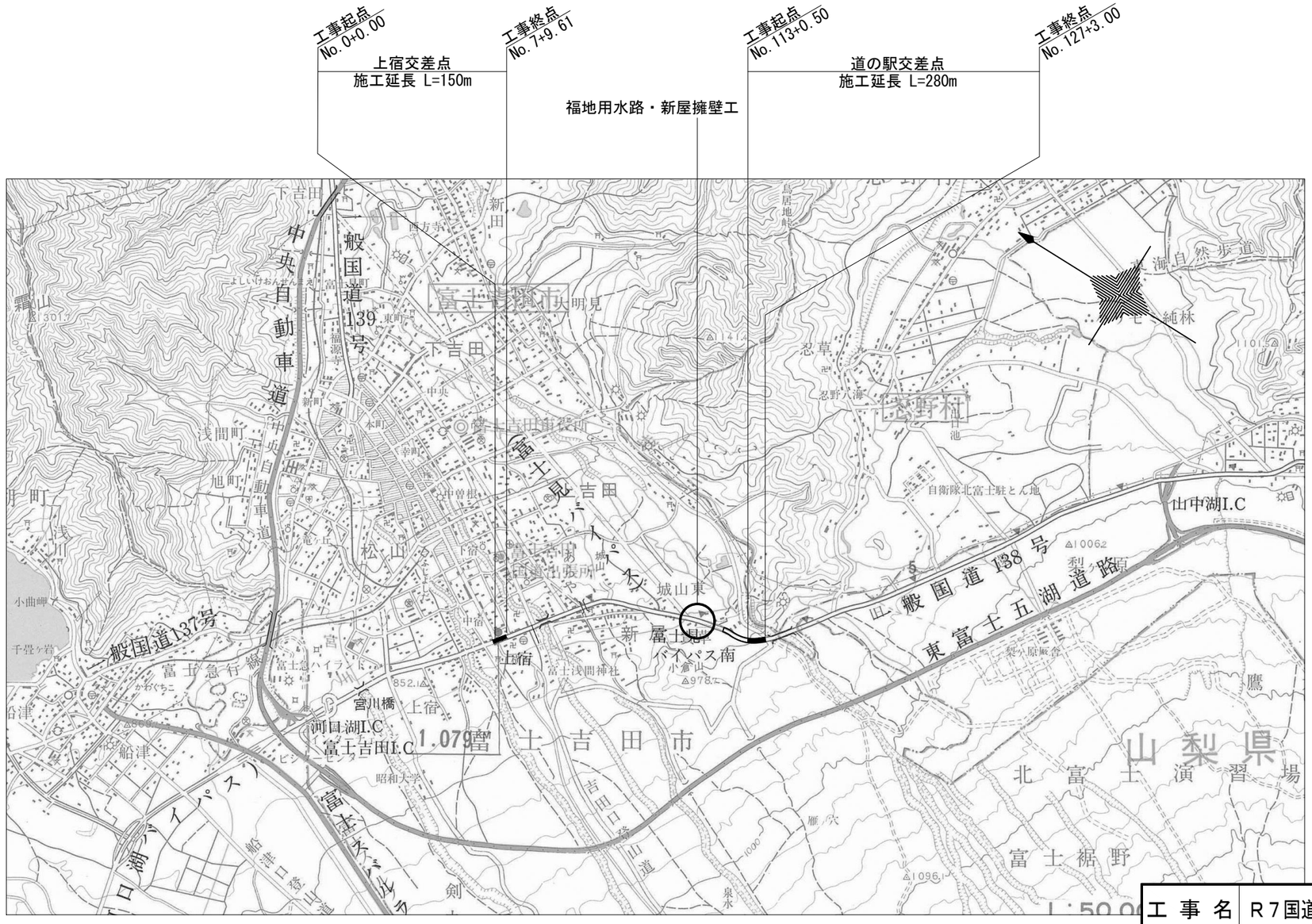
●遠隔臨場に使用した機器

No.	機器構成 （選択）	遠隔臨場システムの名称 （自由記述）	遠隔臨場システムのメーカー名 （自由記述）	監督職員ＰＣとのセキュリティ上の通信可否 （つながる or つながらない）
記入例	パッケージシステム	Generation-eye	（株）Atos	つながらない

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

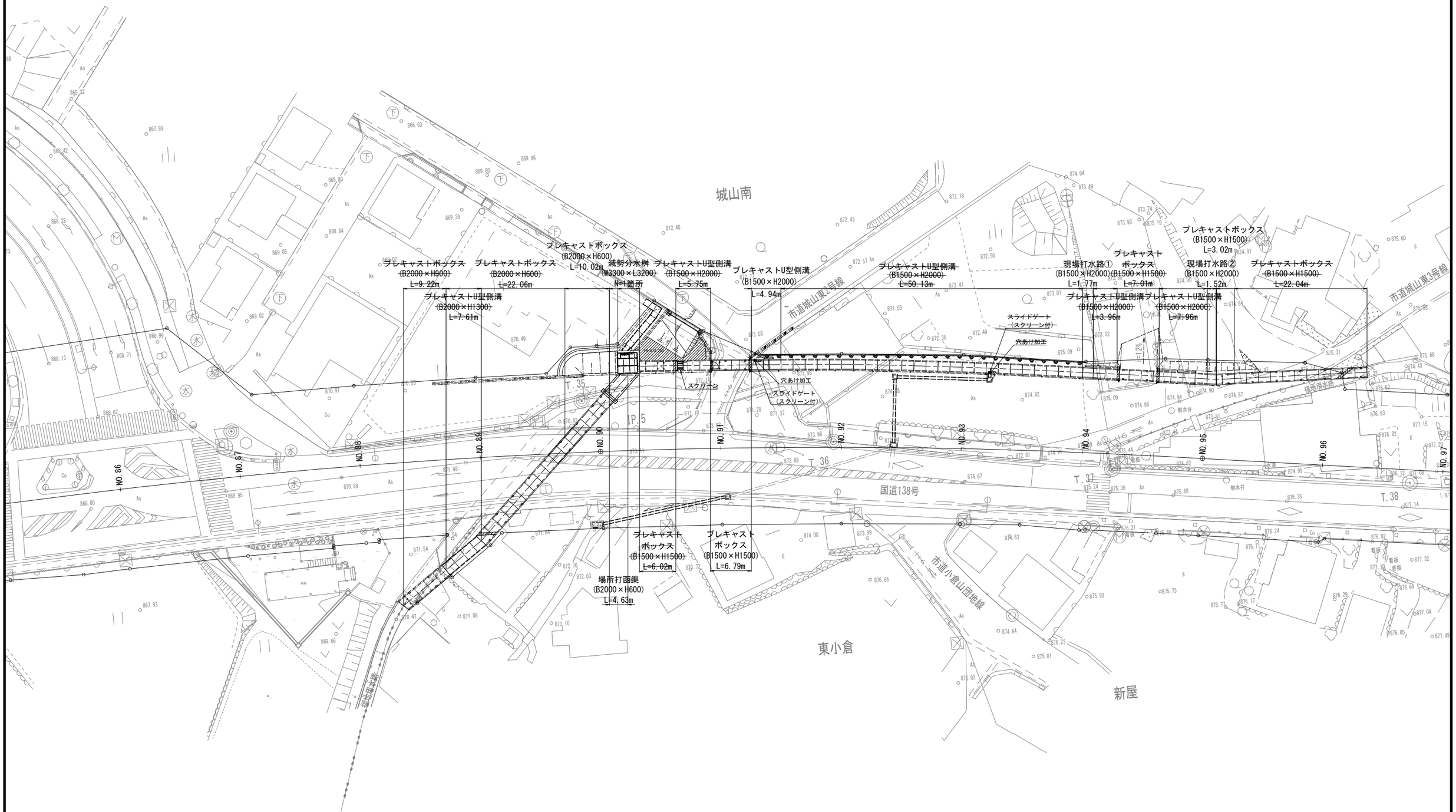
一三八号国道平面図（富士吉田市～山中湖村）

位　置　図
S=1/50,000



工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事						
図面名	位　置　図						
縮尺	1/50,000	図面番号	73 の 1				
年月日	令和　８年　１月　　日						
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント 株式会社 建設技術研究所 株式会社 片平新日本技研 中央コンサルタンツ 株式会社						
所長		副所長		課長		係長		担当	
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所						

福地用水路 平面図 S=1:300



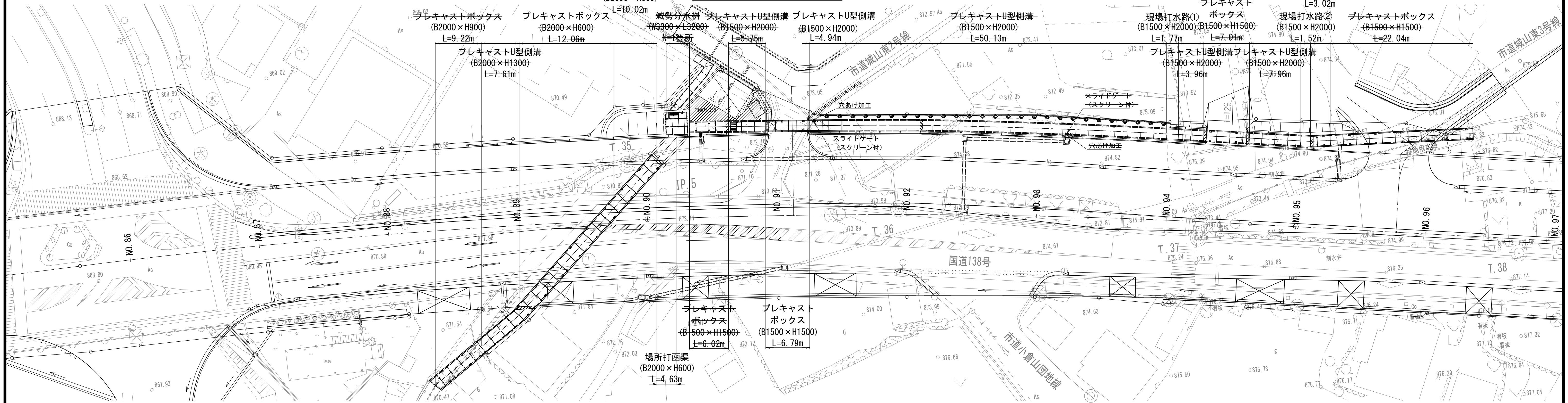
（福地用水路）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 平面図		
縮 尺	1/300	図面番号	73 の 2
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

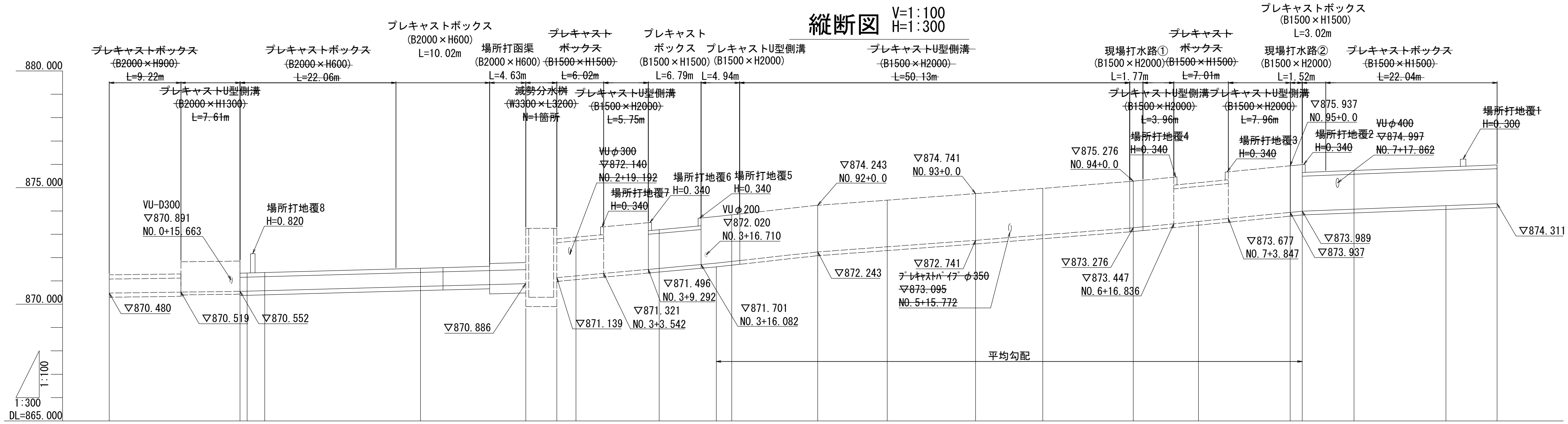
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

福地用水路 一般図（１）

平面図 S=1:300



縦断図 V=1:100 H=1:300



勾配	870.480	i=0.428% L=16.825	870.552	i=0.910% L=36.707	870.886	871.139	i=3.031% L=20.490	871.760	i=2.960% L=75.310	873.989	i=1.285% L=25.060	874.311

測点	計画高	追加距離	単距離
NO.0	870.480	0.000	0.000
+16.825	870.552	16.825	16.825
NO.1	870.581	20.000	3.175
NO.2	870.763	40.000	20.000
+13.532	870.886	53.532	13.532
+17.532	871.139	57.532	4.000
NO.3	871.214	60.000	2.468
+18.022	871.760	78.022	18.022
NO.4	871.833	80.000	1.978
NO.5	872.413	100.000	20.000
NO.6	873.009	120.000	20.000
NO.7	873.604	140.000	20.000
+13.332	874.311	153.332	13.332
NO.8	874.200	160.000	6.668
+18.392	874.311	178.392	18.392

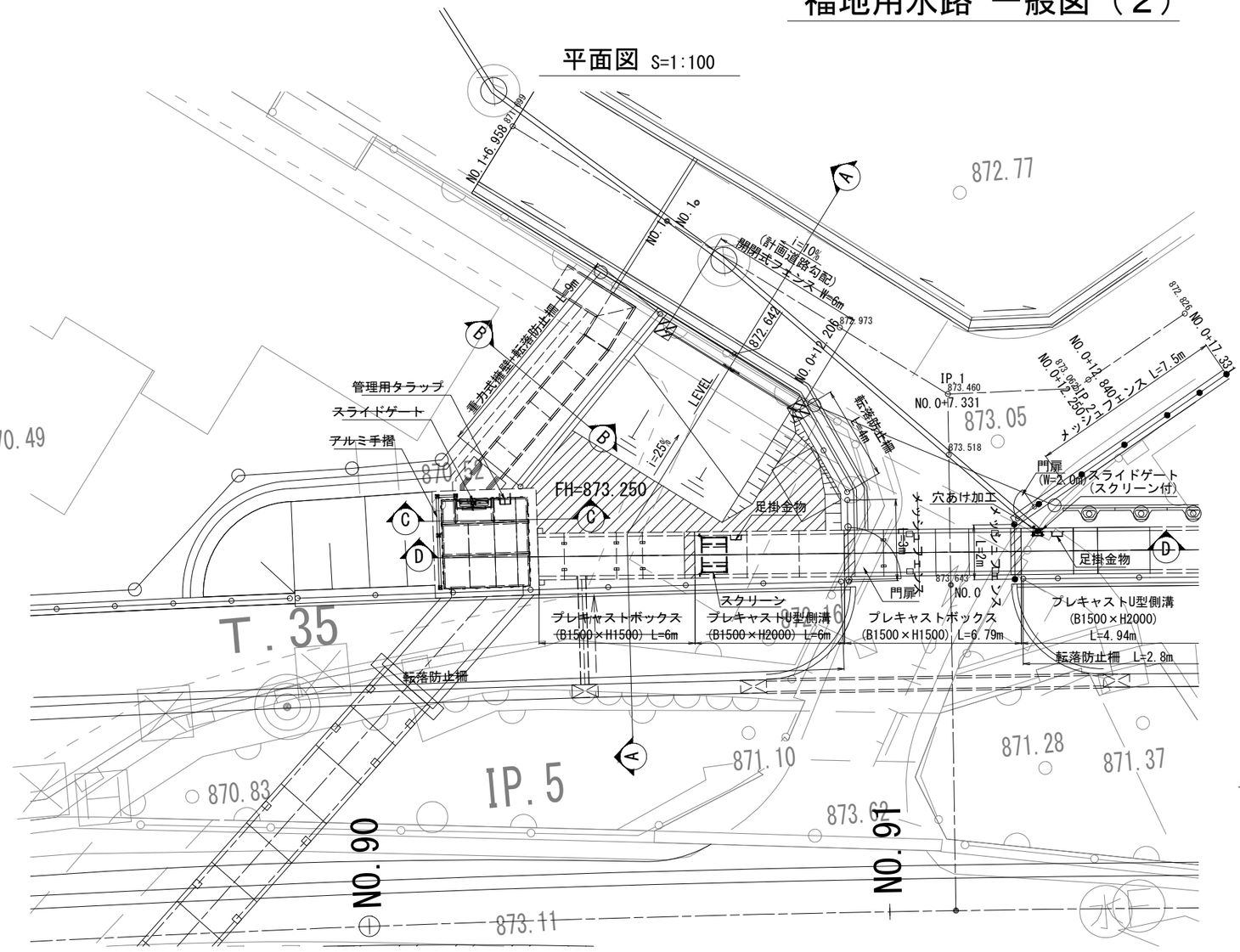
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

(福地用水路)

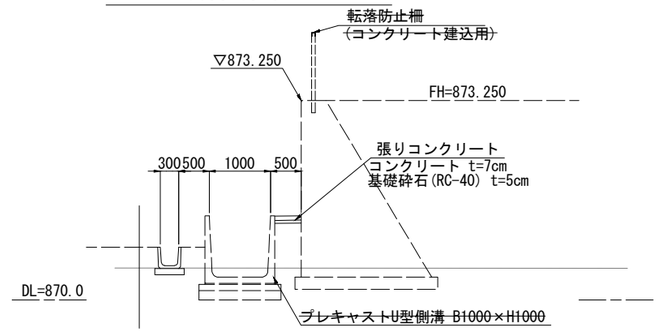
工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 一般図（１）		
縮尺	図示	図面番号	73 の 3
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 一般図（２）

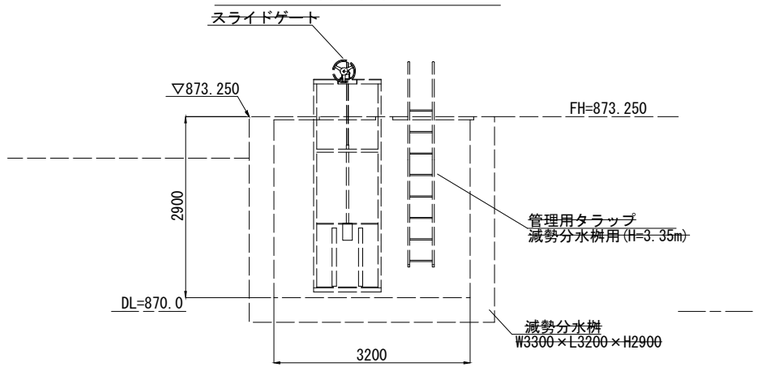
平面図 S=1:100



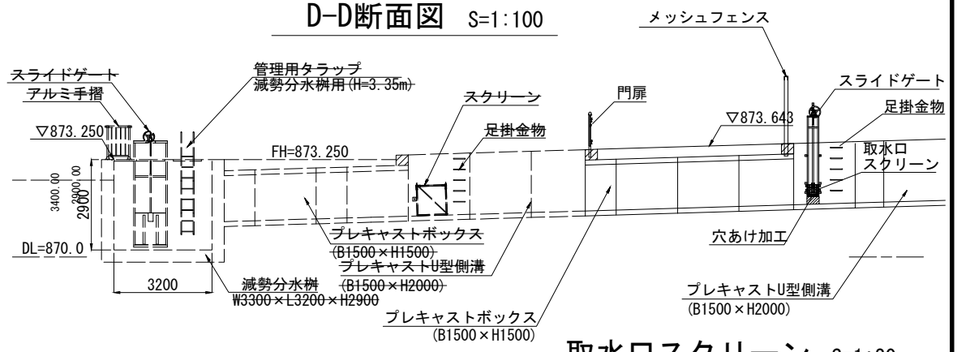
B-B断面図 S=1:50



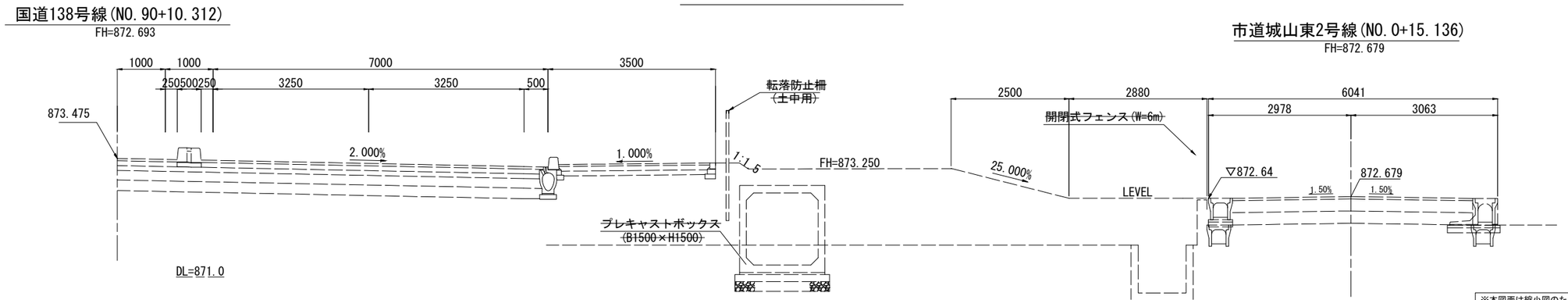
C-C断面図 S=1:50



D-D断面図 S=1:100

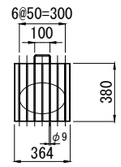


A-A断面図 S=1:50



取水口スクリーン S=1:20

断面図



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

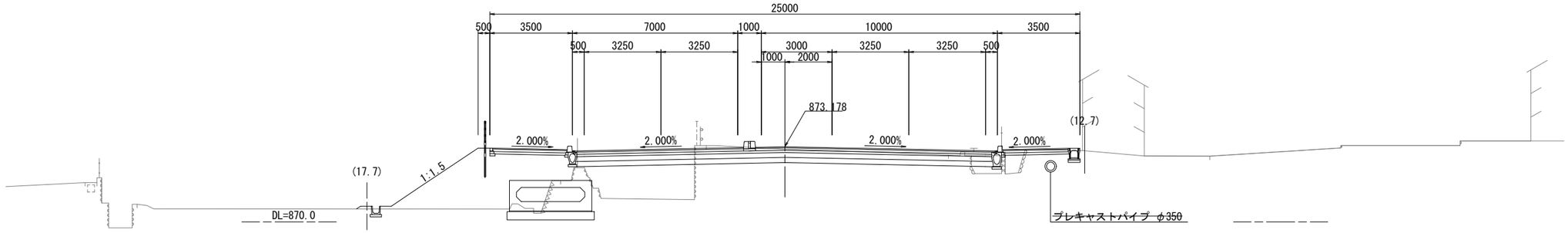
（福地用水路）

工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 一般図（２）		
縮尺	図示	図面番号	73 の 4
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 横断図（１） S=1:100

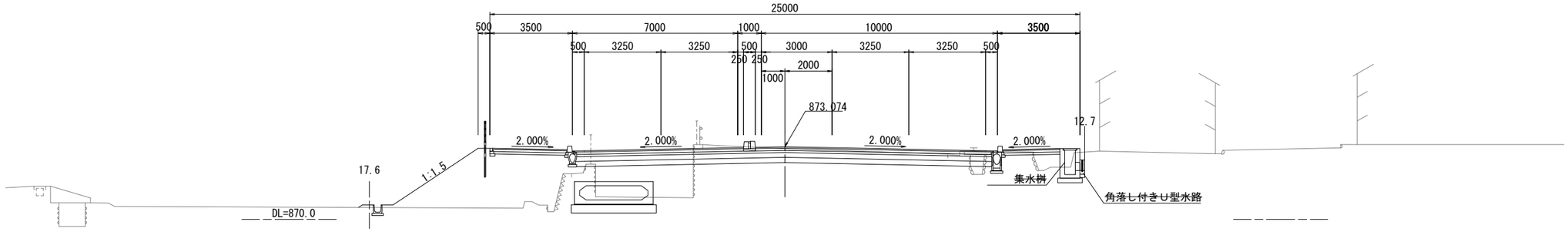
SP.5 (NO.90+2.559)

GH=873.07
FH=873.178



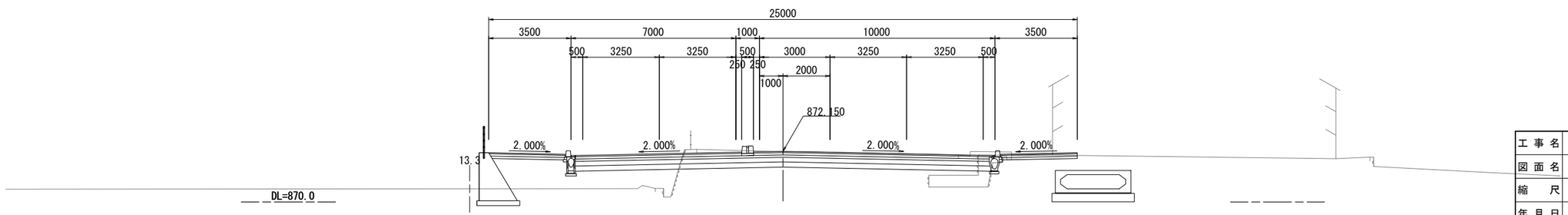
NO.90+00

GH=872.98
FH=873.074



NO.89+00

GH=872.13
FH=872.150



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

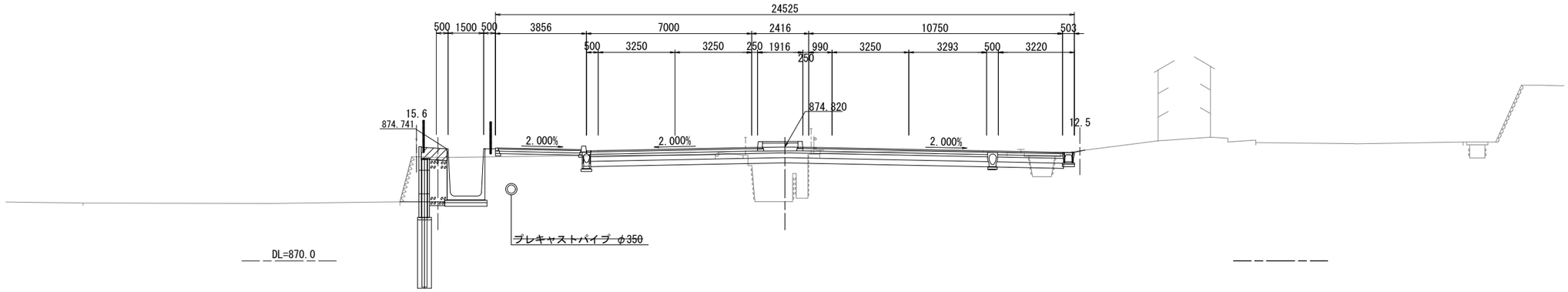
（福地用水路）

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 横断図（１）		
縮尺	1/100	図面番号	73 の 5
年月日	令和 8 年 1月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 横断図（２） S=1:100

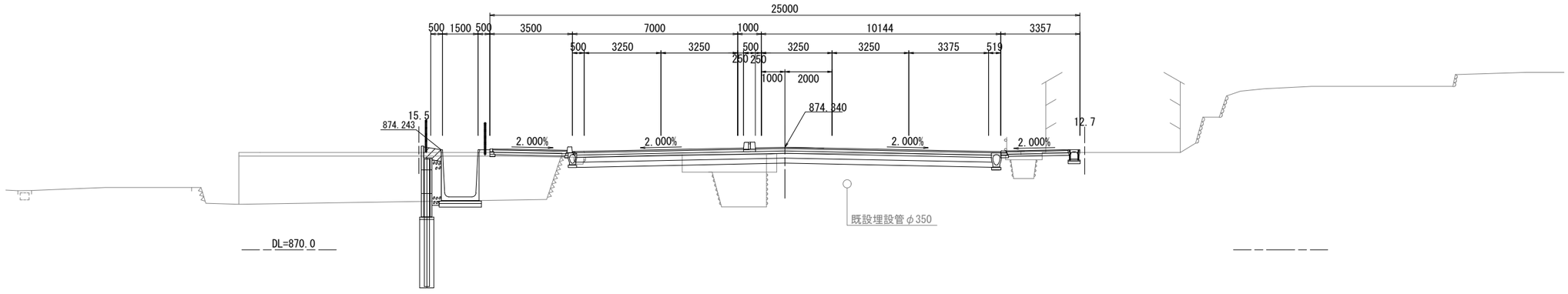
NO.93+00

GH=872.50



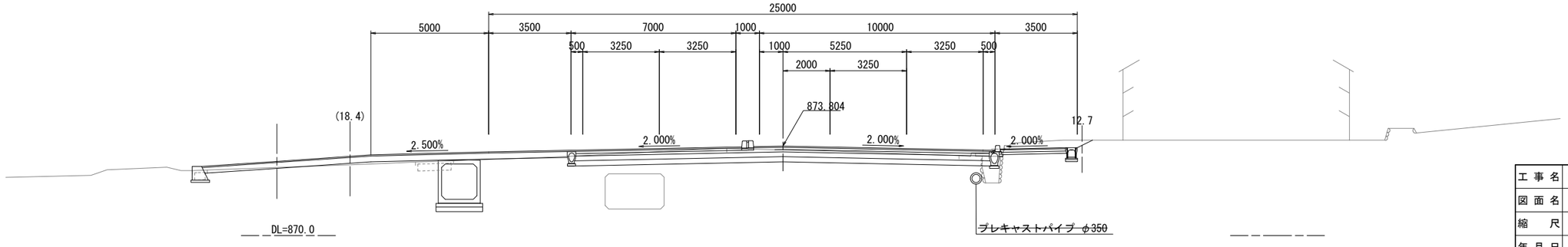
NO.92+00

GH=874.08
FH=874.340



NO.91+00

GH=873.64
FH=873.804



（福地用水路）

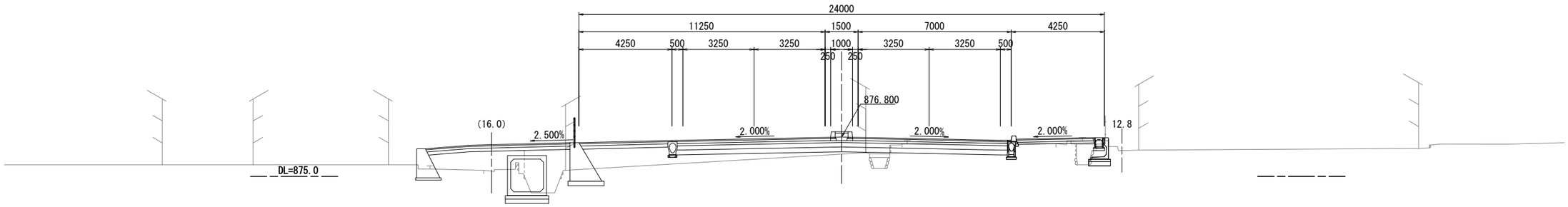
工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 横断図（２）		
縮尺	1/100	図面番号	73 の 6
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

福地用水路 横断図（３） S=1:100

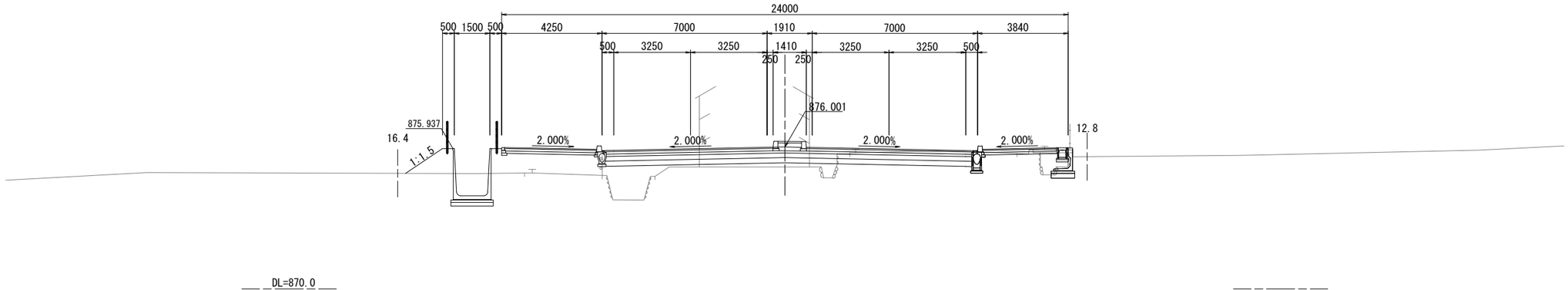
NO.96+00

GH=876.02
FH=876.800



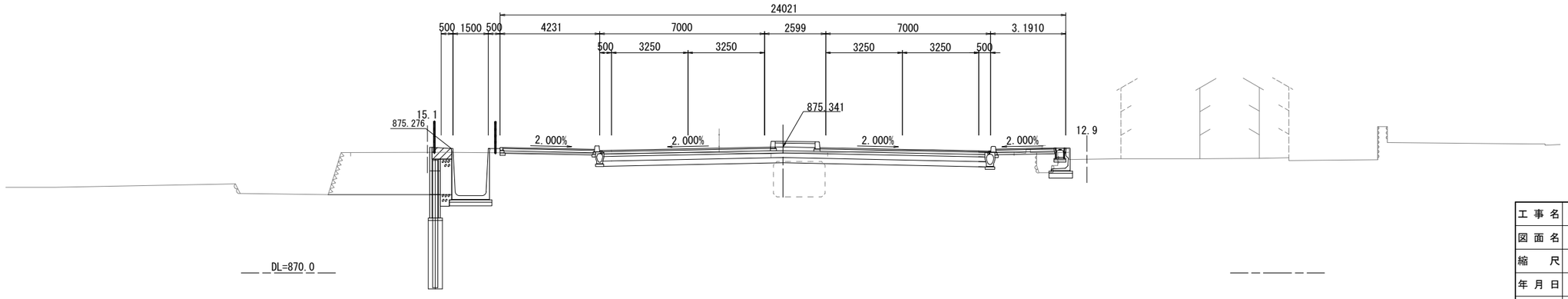
NO.95+00

GH=875.17



NO.94+00

GH=875.08
FH=875.341



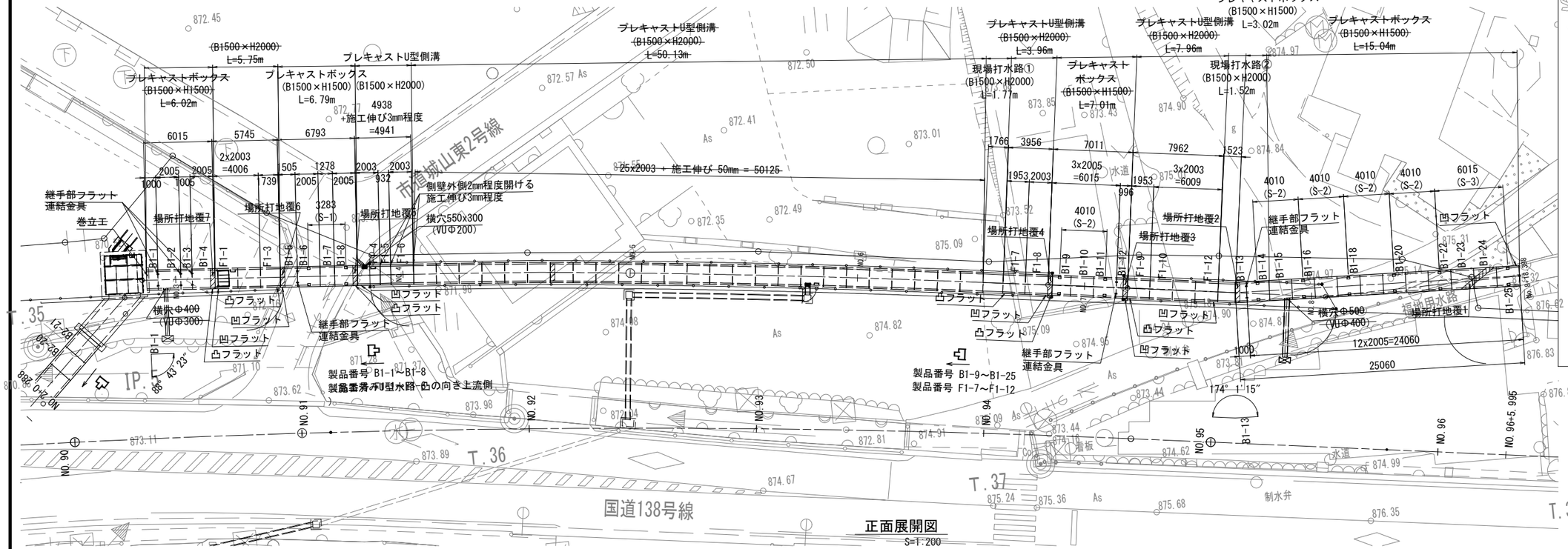
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

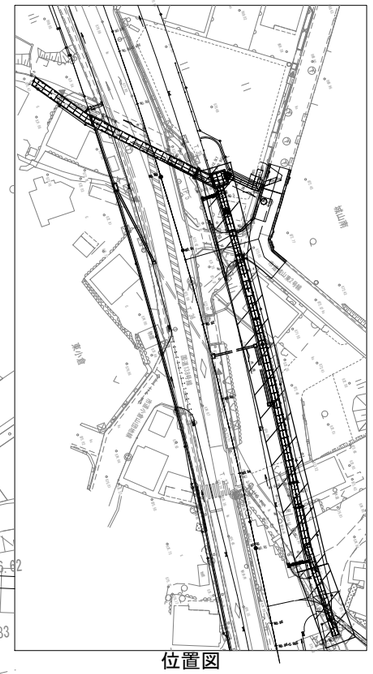
（福地用水路）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 横断図（３）		
縮 尺	1/100	図面番号	73 の 7
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 割付図（１）

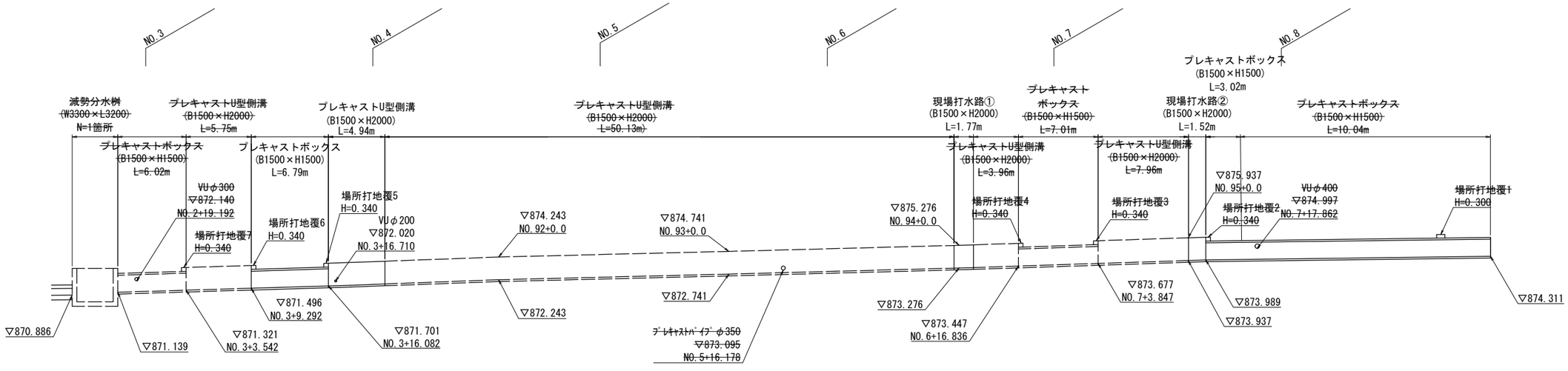
平 面 図
S=1:200



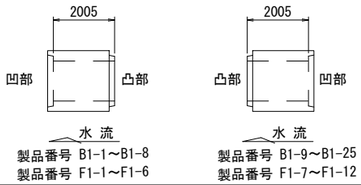


位置図

正面展開図
S=1:200



寸法旗揚げ位置図



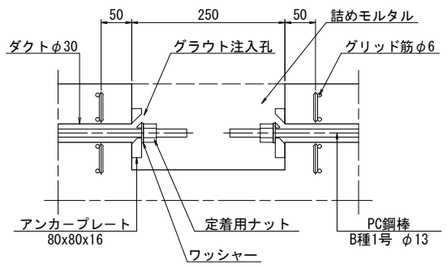
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 割付図（１）		
縮 尺	図 示	図面番号	73 の 8
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 割付図（２）

定着部詳細図 S=1:5



PC材料表(B1500xH1500)

一式当り

名　称	規　格	単 位	数 量	緊張力(kN)
PC鋼棒 B種1号 φ13 （ねじ切り長 L=200mm）	L=3.21m (S-1)	本	4	60
	~~L=3.94m (S-2)~~	~~本~~	~~20~~	~~60~~
	~~L=5.95m (S-3)~~	~~本~~	~~4~~	~~80~~
	~~L=115.4m (合計)~~			
アンカープレート	80x80x16	枚	8	
定着用ナット,ワッシャー	M14用 H=21,t=3.2	組	8	

（２点同時緊張）

PC材料表(B2000xH 600)

一式当り

名　称	規　格	単 位	数 量	緊張力(kN)
PC鋼棒 B種1号 φ13 （ねじ切り長 L=200mm）	L=3.94m (S-4)	本	4	60
	L=1.94m (S-5)	本	4	60
	~~L=118.08m (合計)~~			
アンカープレート	80x80x16	枚	16	
定着用ナット,ワッシャー	M14用 H=21,t=3.2	組	16	

（２点同時緊張）

PC材料表(B2000xH 900)

一式当り

名　称	規　格	単 位	数 量	緊張力(kN)
PC鋼棒 B種1号 φ13 （ねじ切り長 L=200mm）	L=3.94m (S-4)	本	4	60
	L=1.94m (S-5)	本	4	60
	L=23.52m (合計)			
アンカープレート	80x80x16	枚	16	
定着用ナット,ワッシャー	M14用 H=21,t=3.2	組	16	

（２点同時緊張）

プレキャストボックス　製品数量表

一式当り

形 状 (BxHxL)	規 格	数量	製品番号	摘　要
~~1500x1500x2000~~	~~標 準~~	~~3~~	~~B1-10,B1-17,B1-19,B1-21~~	~~参考質量；5170 kg~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B1-2~~	~~凸凹フラット,連結金具x8,横穴Φ400　ダクト無し~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B1-4~~	~~凸凹フラット,連結金具x4,アンカーD13x14　ダクト無し~~
〃 x2000	標 準	1	B1-6,~~B1-11~~	凹フラット,連結金具x4,定着部付
〃 x2000	標 準	1	B1-8,~~B1-9~~	凸フラット,定着部付,アンカーD13x14
〃 x2000	標 準	1	B1-14	凸フラット,連結金具x4,定着部付
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B1-15~~	~~横穴Φ500~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~4~~	~~B1-16,B1-18,B1-20,B1-22~~	~~定着部付~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B1-23~~	~~アンカーD13x10~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B1-24~~	~~アンカーD13x16~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B1-25~~	~~凹フラット,定着部付~~
~~〃 x1000~~	~~短 切~~	~~1~~	~~B1-3~~	~~凸凹フラット,連結金具x8　ダクト無し~~
〃 x1500	短 切	1	B1-5	凸凹フラット,連結金具x4,アンカーD13x14　ダクト無し
〃 x1273	短 切	1	B1-7	
~~〃 x 991~~	~~短 切~~	~~1~~	~~B1-12~~	~~凸凹フラット,連結金具x4,アンカーD13x14　ダクト無し~~
~~〃 x 995~~	~~斜 切~~	~~1~~	~~B1-1~~	~~凸フラット,連結金具x4,アンカーD13x21　ダクト無し~~
〃 x 995	斜 切	1	B1-13	凹フラット,連結金具x4,アンカーD13x14　ダクト無し
~~2000x 900x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B2-3~~	~~参考質量；6020 kg~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B2-2~~	~~凸フラット,連結金具x4,定着部付~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B2-4~~	~~定着部付~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B2-5~~	~~凹フラット,定着部付~~
~~〃 x1190~~	~~斜 切~~	~~1~~	~~B2-1~~	~~凹フラット,連結金具x4　ダクト無し~~
2000x 600x2000	標 準	1	~~B2-9,B2-11,B2-13,B2-15,~~B2-17,B2-19	参考質量；5540 kg
〃 x2000	標 準	1	~~B2-8,B2-10,B2-12,B2-14,B2-16,~~B2-18,B2-20	定着部付
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B2-6~~	~~凸フラット,定着部付,アンカーD13x20~~
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~1~~	~~B2-7~~	~~アンカーD13x8~~
〃 x2000	標 準	1	B2-21	凹フラット,定着部付,アンカーD13x17

プレキャストU型側溝　製品数量表

一式当り

形 状 (BxHxL)	規 格	数量	製品番号	摘　要
1500x2000x2000	標 準	1	~~F1-2,~~F1-6,~~F1-10,F1-11~~	参考質量；3920 kg
~~〃 x2000~~	~~標 準~~	~~3~~	~~F1-1,F1-8,F1-12~~	~~凹フラット~~
〃 x2000	標 準	1	F1-4	凹フラット,横穴550x300
~~〃 x1950~~	~~標 準~~	~~2~~	~~F1-7,F1-9~~	~~凸フラット~~
~~〃 x1736~~	~~短 切~~	~~1~~	~~F1-3~~	~~凸フラット~~
〃 x 929	短 切	1	F1-5	
~~2000x1300x2000~~	~~標 準~~	~~2~~	~~F2-2,F2-3~~	~~参考質量；2430 kg~~
~~〃 x1950~~	~~標 準~~	~~1~~	~~F2-1~~	~~凸フラット~~
~~〃 x1650~~	~~斜 切~~	~~1~~	~~F2-4~~	~~横穴Φ400~~
	合 計	3		

設計条件(プレキャストボックス)

活荷重		―	T-25
土被り		m	0.2 ～ 3.0
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	アスファルト舗装	kN/m3	22.5
	土	kN/m3	19.0
コンクリート設計基準強度		N/mm2	36
鉄筋の種類		―	SD295
土圧係数		鉛直	1.0
		水平	0.5

設計条件(プレキャストU型側溝)

隣接荷重		kN/m2	10.0
土の内部摩擦角		―	φ＝30°
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	土	kN/m3	19.0
コンクリート設計基準強度		N/mm2	30
鉄筋の種類		―	SD295

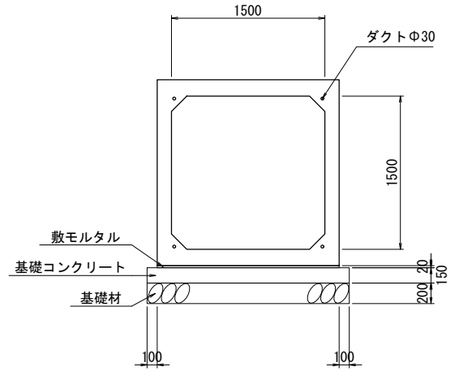
（福地用水路）

工 事 名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 割付図（２）		
縮　　尺	1/5	図面番号	73 の 9
年 月 日	令和 8 年 1 月　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

福地用水路 プレキャストボックス・プレキャストU型側溝　標準断面図 S=1:30

プレキャストボックス
B1500xH1500xL2000 標準断面図

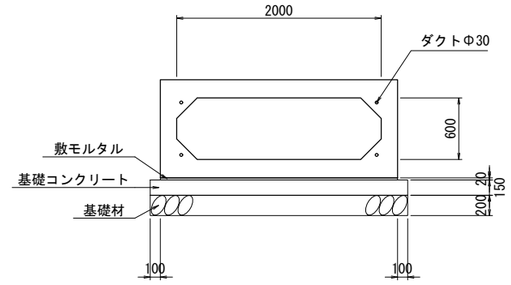


プレキャストボックス　材料表

10m当り

種　別	規　格	単位	数 量	摘　要
基礎材（t=200mm）	RC-40	式	1	t=200
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	式	1	t=150
同上型枠		式	1	
敷モルタル	1:3	式	1	t=20
プレキャストボックス	T-25 B1500xH1500xL2000	本	5.0	10.0/2.0

プレキャストボックス
B2000xH600xL2000 標準断面図



プレキャストボックス　材料表

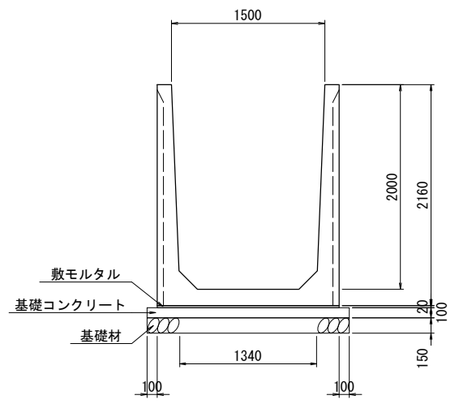
10m当り

種　別	規　格	単位	数 量	摘　要
基礎材（t=200mm）	RC-40	式	1	t=200
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	式	1	t=150
同上型枠		式	1	
敷モルタル	1:3	式	1	t=20
プレキャストボックス	T-25 B2000xH600xL2000	本	5.0	10.0/2.0

設計条件（プレキャストボックス）

活荷重		──	T-25
土被り		m	0.2 ～ 3.0
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	アスファルト舗装	kN/m3	22.5
	土	kN/m3	19.0
コンクリート設計基準強度		N/mm2	36
鉄筋の種類		──	SD295
土圧係数		鉛直	1.0
		水平	0.5

プレキャストU型側溝
B1500xH2000xL2000　標準断面図



プレキャストU型側溝　材料表

10m当り

種　別	規　格	単位	数 量	摘　要
基礎材（t=150mm）	RC-40	式	1	t=150
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	式	1	t=100
同上型枠		式	1	
敷モルタル	1:3BB	式	1	t=20
プレキャストU型側溝	B1500xH2000xL2000	本	5.0	10.0/2.0

設計条件（プレキャストU型側溝）

隣接荷重		kN/m2	10.0
土の内部摩擦角		──	φ＝30°
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	土	kN/m3	19.0
コンクリート設計基準強度		N/mm2	30
鉄筋の種類		──	SD295

（福地用水路）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 プレキャストボックス・プレキャストU型側溝　標準断面図		
縮　尺	1/30	図面番号	73 の 10
年 月 日	令和 8 年 1 月　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

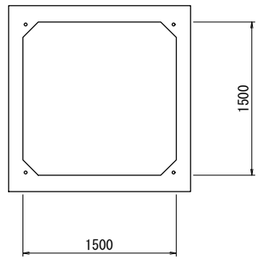
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

福地用水路 プレキャストボックス・プレキャストU型側溝　詳細図（１）S=1:30

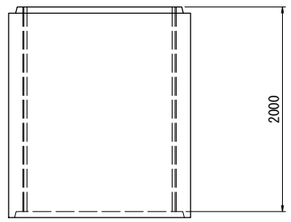
標 準 図

プレキャストボックス B1500xH1500

断 面 図

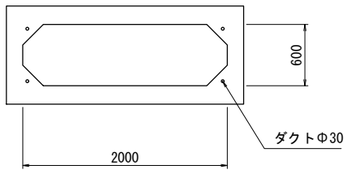


平 面 図

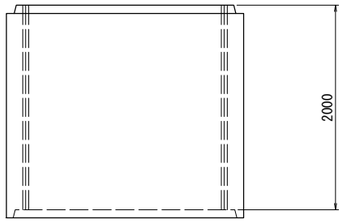


プレキャストボックス B2000xH 600

断 面 図

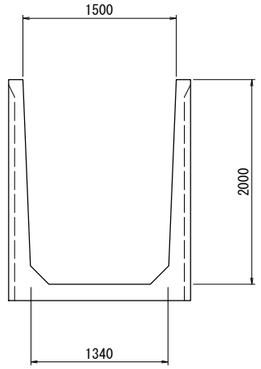


平 面 図

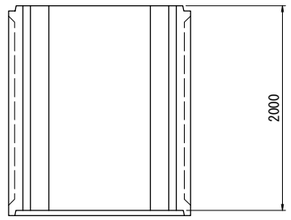


プレキャストU型側溝 B1500xH2000

断 面 図



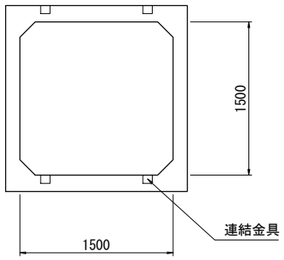
平 面 図



連結金具 取付図

断 面 図

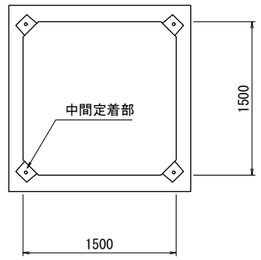
プレキャストボックス B1500xH1500



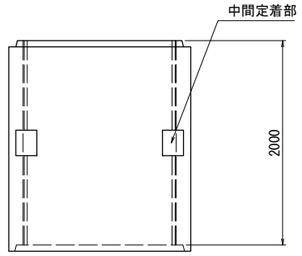
定着部 取付図

プレキャストボックス B1500xH1500

断 面 図

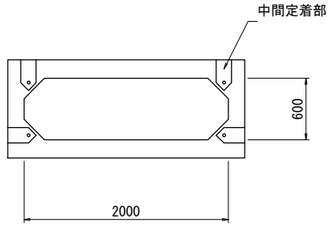


平 面 図

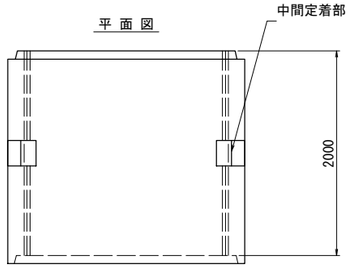


プレキャストボックス B2000xH 600

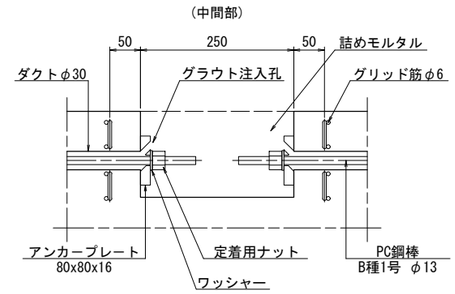
断 面 図



平 面 図



定着部詳細図　S=1:5



PC材料表(B1500xH1500)　　一式当り

名　称	規　格	単 位	数 量	緊張力(kN)
PC鋼棒 B種1号 φ13 （ねじ切り長 L=200mm）	L=3.21m (S-1)	本	4	60
	L=3.94m (S-2)	本	16	60
	L=5.95m (S-3)	本	4	80
	L=99.68m (合計)			
アンカープレート	80x80x16	枚	48	
定着用ナット,ワッシャー	M14用 H=21, t=3.2	組	48	

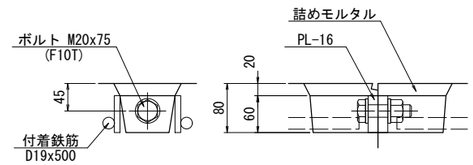
（２点同時緊張）

PC材料表(B2000xH 600)　　一式当り

名　称	規　格	単 位	数 量	緊張力(kN)
PC鋼棒 B種1号 φ13 （ねじ切り長 L=200mm）	L=3.94m (S-4)	本	28	60
	L=1.94m (S-5)	本	4	60
	L=118.1m (合計)			
アンカープレート	80x80x16	枚	64	
定着用ナット,ワッシャー	M14用 H=21, t=3.2	組	64	

（２点同時緊張）

連結金具詳細図　S=1:5



（福地用水路）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事
図 面 名	福地用水路 プレキャストボックス・プレキャストU型側溝　詳細図（１）
縮　尺	図 示　　図面番号　73 の 11
年 月 日	令和 8 年 1 月　日
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

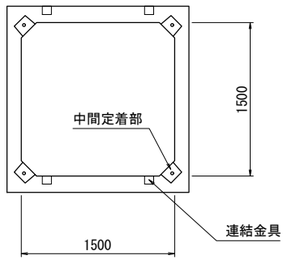
福地用水路 プレキャストボックス・プレキャストU型側溝　詳細図（２）S=1:30

定着部・連結金具 取付製品

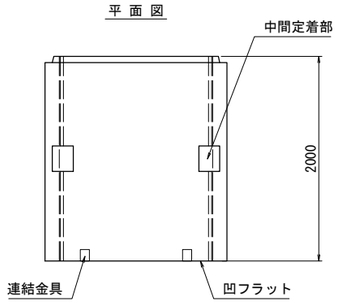
プレキャストボックス B1500xH1500

製品番号 B1-6, ~~B1-11~~, B1-14

断 面 図



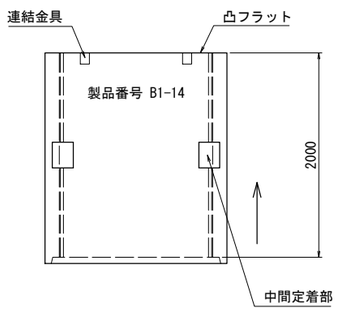
平 面 図



※ 凸の向き

・製品番号 B1-6：上流側

・~~製品番号 B1-11：下流側~~

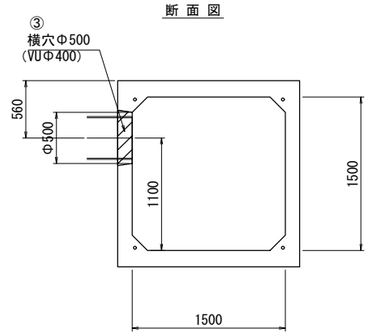


横穴 取付図

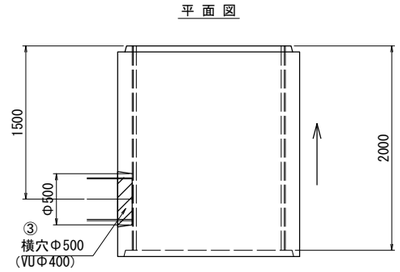
プレキャストボックス B1500xH1500

製品番号 B1-15

断 面 図



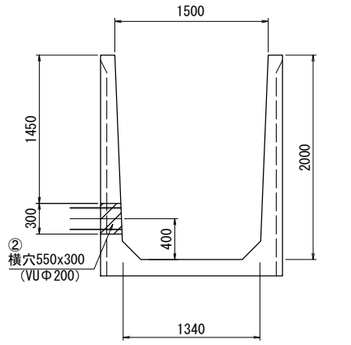
平 面 図



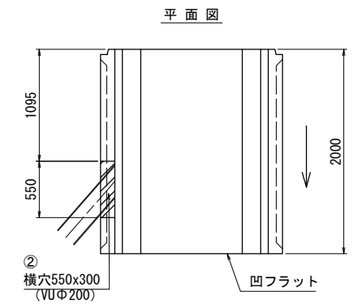
プレキャストU型側溝 B1500xH2000

製品番号 F1-4

断 面 図



平 面 図



※凸の向き：上流側

（福地用水路）

工 事 名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 プレキャストボックス・プレキャストU型側溝　詳細図（２）		
縮　　尺	1/30	図面番号	73 の 12
年 月 日	令和　8 年　1 月　　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

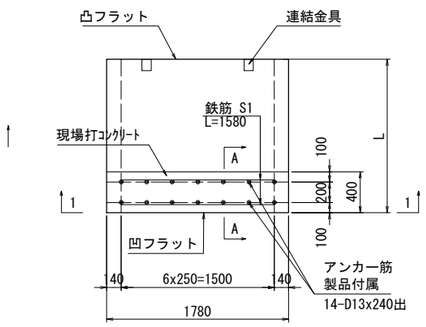
福地用水路 プレキャストボックス・プレキャストU型側溝　詳細図（３）S=1:30

場所打地覆 詳細図

場所打地覆 6,3
プレキャストボックス B1500xH1500

製品番号 B1-5,B1-12
（ダクト無し）

平 面 図



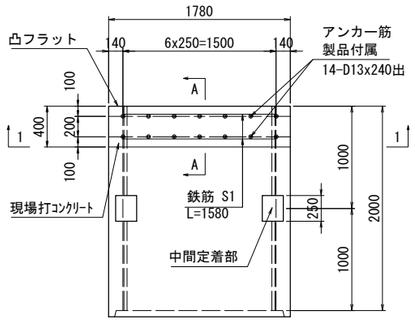
※ 凸の向き
・製品番号 B1-5：上流側
~~・製品番号 B1-12：下流側~~

製品番号	L
B1-5	1500
~~B1-12~~	~~991~~

場所打地覆 5,4
プレキャストボックス B1500xH1500

製品番号 B1-8,B1-9

平 面 図

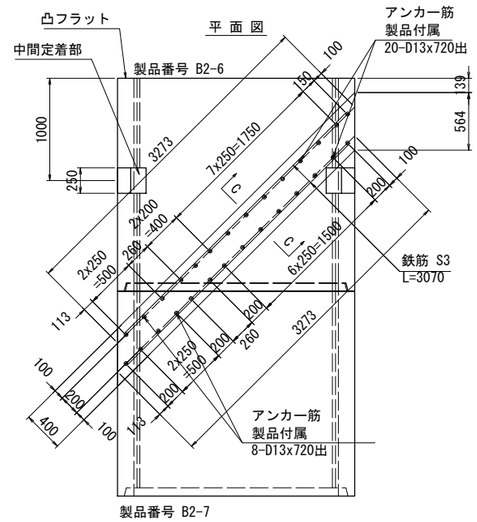


※ 凸の向き
・製品番号 B1-8：上流側
~~・製品番号 B1-9：下流側~~

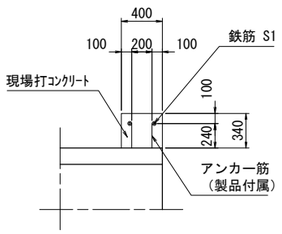
場所打地覆 8
プレキャストボックス B2000xH 600

製品番号 B2-6,B2-7

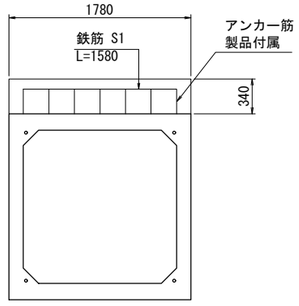
平 面 図



A-A 図

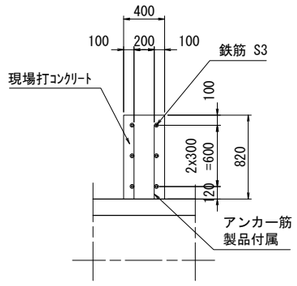


1-1 図



製品番号 B1-4,B1-5,B1-12はダクト無し

C-C 図



場所打地覆 7,6,5,~~4,3~~　材料表

1箇所当り

種　別	規　格	単位	数 量	摘　要
コンクリート	σck=24N/mm2	m3	0.242	1.780x0.400x0.340
同上型枠		式	1	
鉄筋	SD345,D13	kg	3.1	1.580x2x0.995

※ 製品付属のアンカー筋は製品に含む。

場所打地覆 8　材料表

1箇所当り

種　別	規　格	単位	数 量	摘　要
コンクリート	σck=24N/mm2	m3	1.074	3.273x0.400x0.820
同上型枠		式	1	
鉄筋	SD345,D13	kg	18.3	3.070x6x0.995

※ 製品付属のアンカー筋は製品に含む。

（福地用水路）

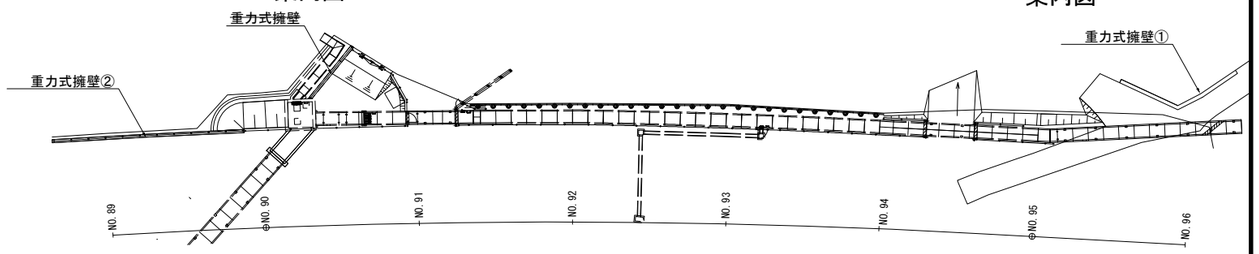
工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 プレキャストボックス・プレキャストU型側溝　詳細図（３）		
縮　尺	1/30	図面番号	73 の 13
年 月 日	令和　8 年　1 月　　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

福地用水路 重力式擁壁展開図 V=1:50 H=1:100

（ステップ6,7,11）

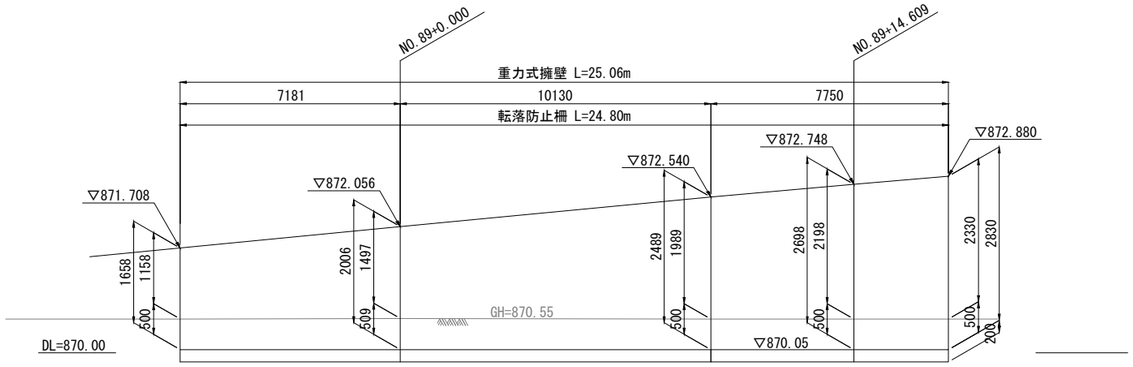
案内図



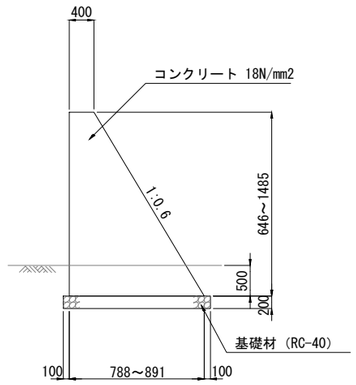
案内図

展 開 図 ②

NO.88+12.91～NO.89+17.65(左)



重力式擁壁 S=1:50

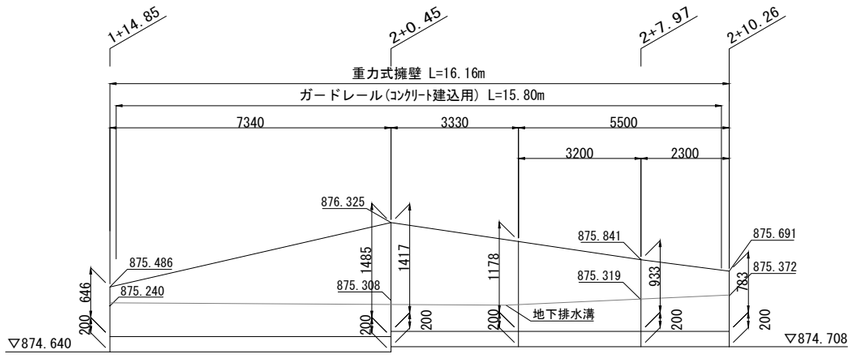


重力式擁壁② 材料表　　62m3当り

名　称	規　格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=20cm	－	有り	
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	13.16	
型枠		式	1.00	
伸縮目地	樹脂発泡体t=20mm(30倍)	－	有り	
水抜きﾊﾟｲﾌﾟ	2m2/1箇所	－	有り	
吸出し防止材	点在	－	有り	

展 開 図 ①

NO.1+14.85～NO.2+10.26(左)



重力式擁壁① 材料表　　13m3当り

名　称	規　格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m2	20.20	
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	13.16	
型枠		式	1.00	
伸縮目地	樹脂発泡体t=20mm(30倍)	m2	1.26	

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

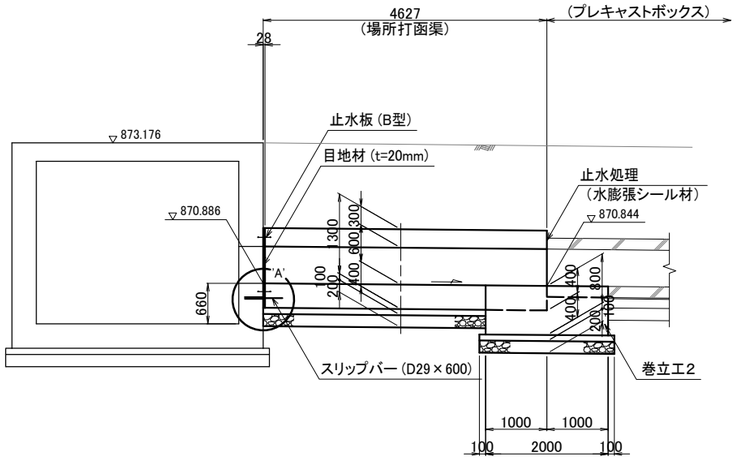
（福地用水路）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 重力式擁壁展開図		
縮　尺	図 示	図面番号	73 の 14
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

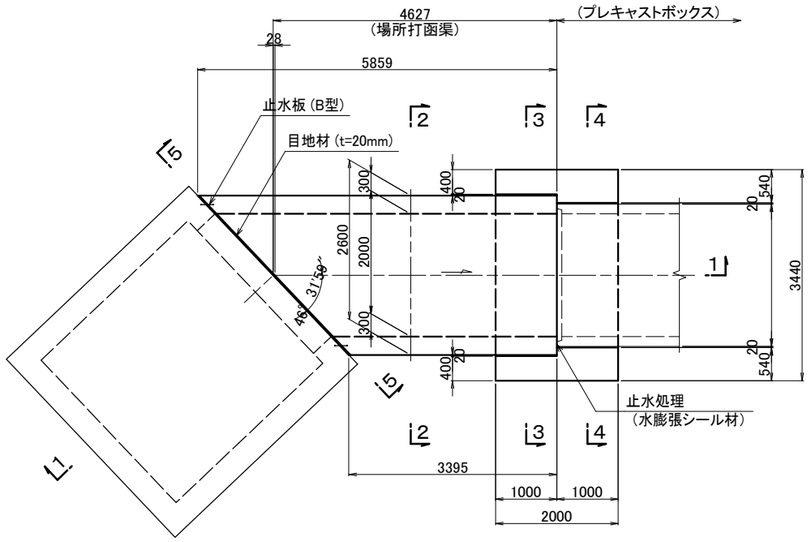
福地用水路 場所打函渠一般図 S=1:50

（ステップ11）

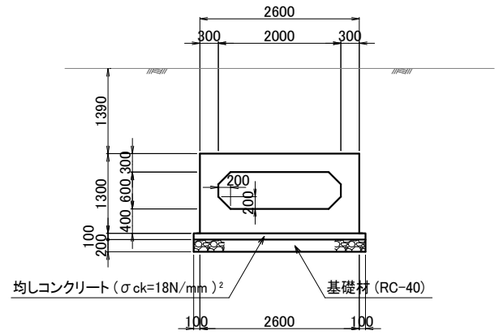
縦 断 図
1－1



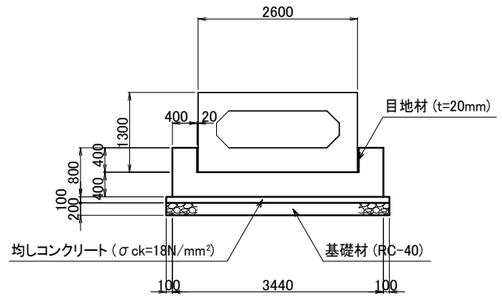
平 面 図



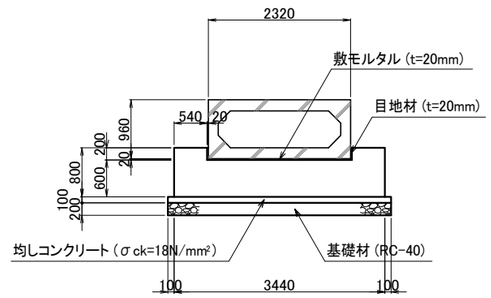
断 面 図
2－2



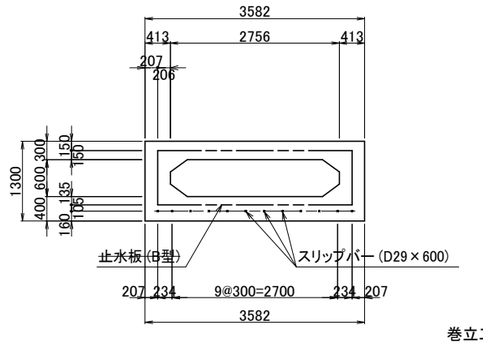
3－3



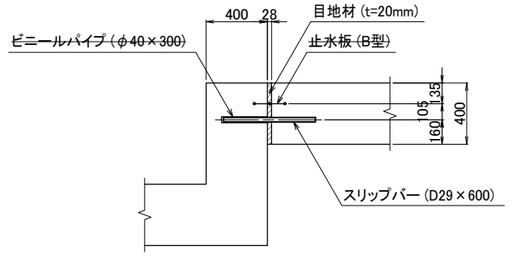
4－4



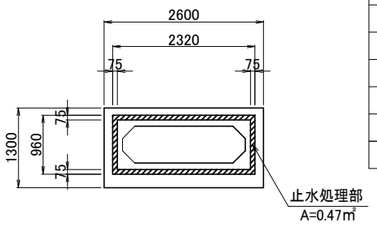
継手部詳細
5－5



'A'部詳細 S=1/20



止水処理部詳細



場所打函渠 材料表　　1式当り

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m2	10.20	
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2 t=10cm	m2	10.20	
均し型枠		式	1.00	
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=24N/mm2	m3	10.46	
型枠		式	1.00	
鉄筋	SD345 D13	t	0.41	
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.76	
鉄筋継ぎ手	機械式 D16×D16	箇所	28.00	
鉄筋継ぎ手	機械式 D25×D25	箇所	10.00	
ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	SD345 D29×600	本	12.00	
ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	ﾋﾞﾆｰﾙﾊﾟｲﾌﾟ φ40×300	本	12.00	
止水板	B型	m	8.10	
目地板	ｺﾞﾑ発泡体 t=20mm	m2	3.10	
ｼｰﾙ材	水膨張ｼｰﾙ材	m	8.00	
支保工	ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 40KN/m2以下	式	1.00	

巻立工２ 材料表　　1ヶ所当り

種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40, t=20cm	m2	8.01	
均しコンクリート	σck=18N/mm2, t=10cm	m2	8.01	
均し型枠		式	1	
コンクリート	σck=24N/mm2	m3	3.98	
型枠		式	1	
鉄筋	SD345 D13	t	0.048	
鉄筋	SD345 D16	t	0.23	
目地材	ｺﾞﾑ発泡体 t=20mm	m^2	1.20	

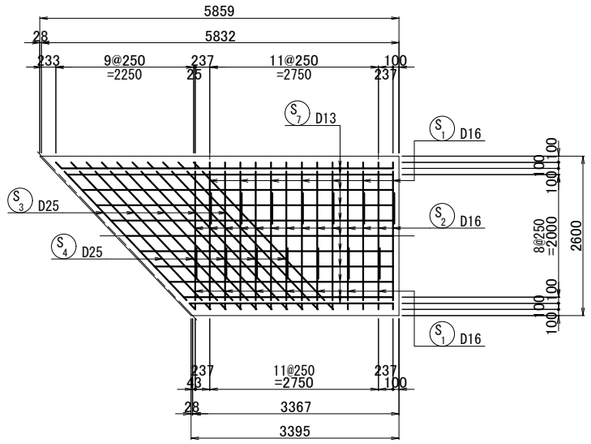
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

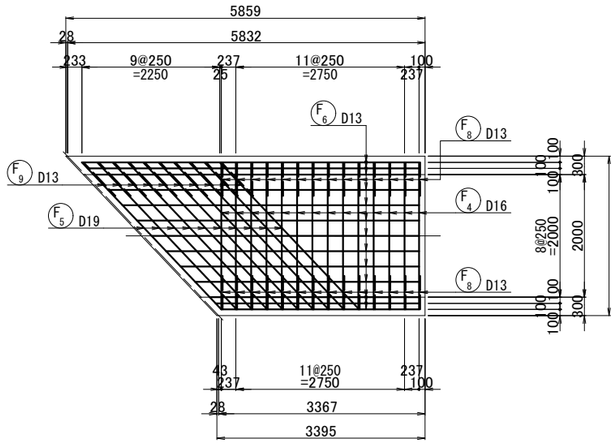
工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 場所打函渠一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	73 の 15
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 場所打函渠配筋図（１） S=1:50

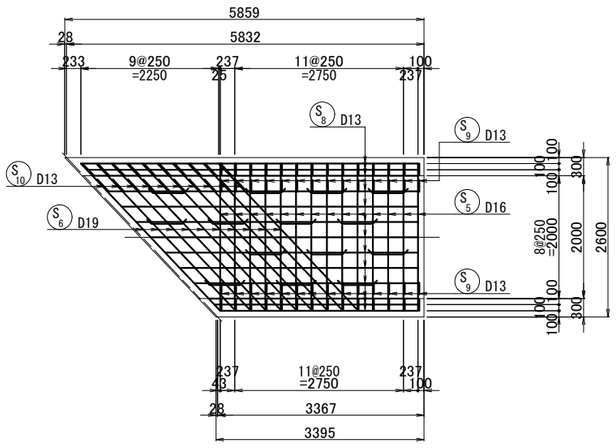
１－１



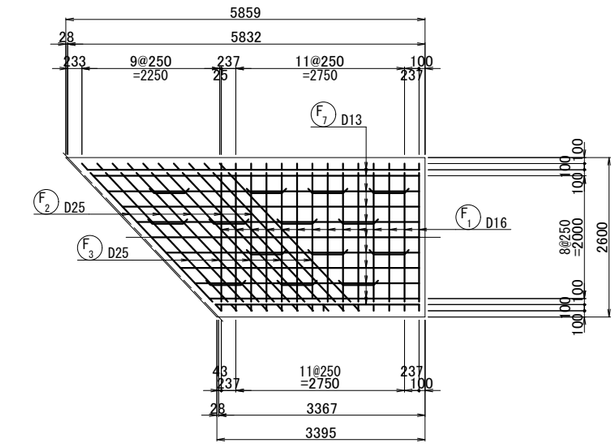
３－３



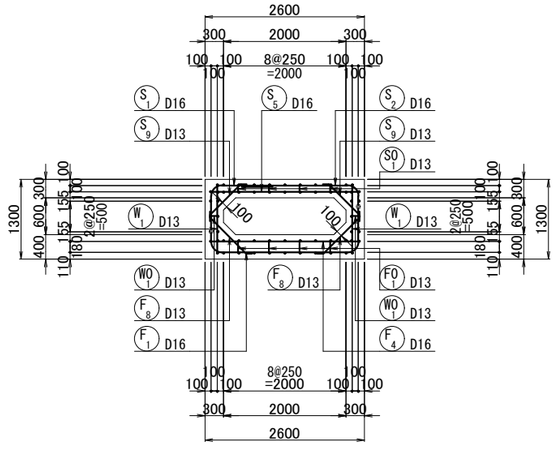
２－２



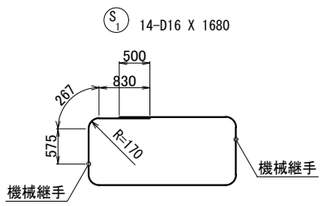
４－４



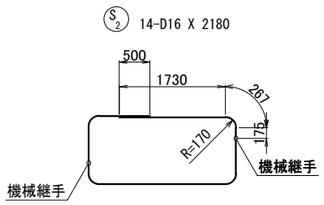
断 面 図



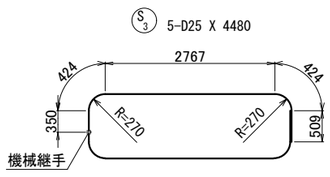
S1 14-D16 X 1680



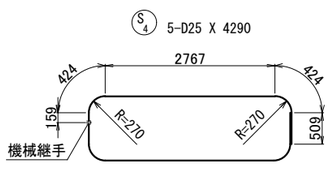
S2 14-D16 X 2180



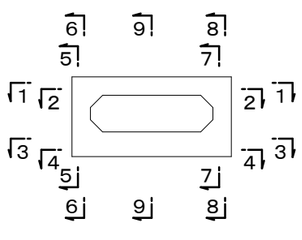
S3 5-D25 X 4480



S4 5-D25 X 4290

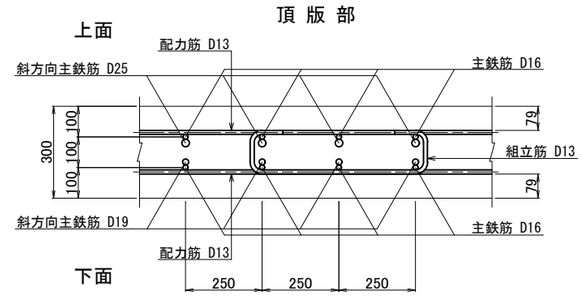


位 置 図

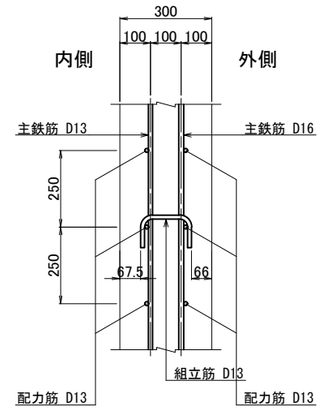


組 立 図 S=1:10

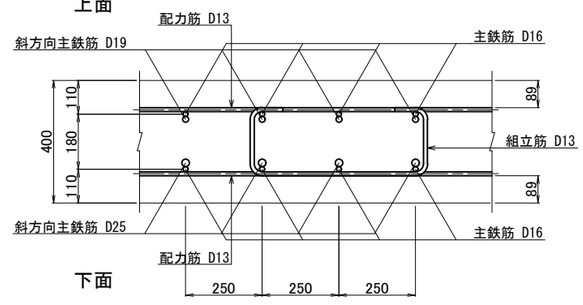
頂 版 部



側 壁 部



底 版 部



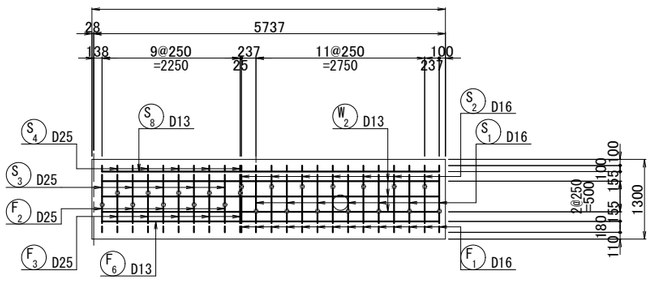
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

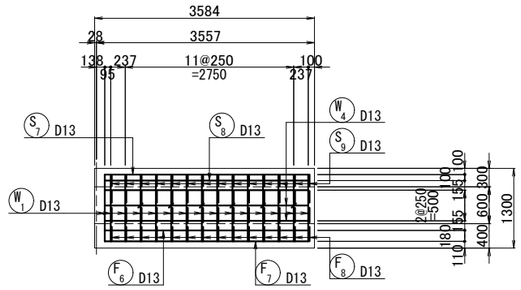
工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 場所打函渠配筋図（１）		
縮尺	図示	図面番号	73 の 16
年月日	令和 ８ 年 １ 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 場所打函渠配筋図（２） S=1:50

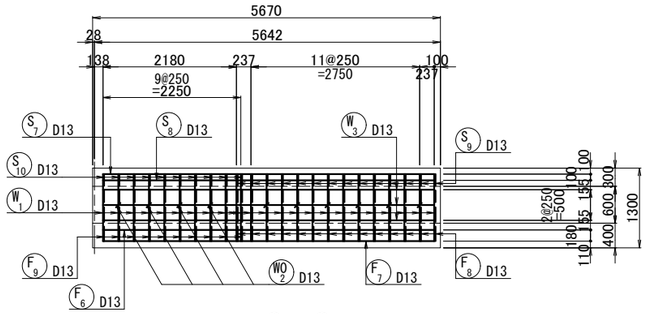
５－５



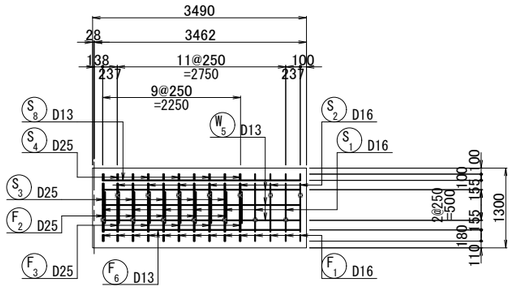
７－７



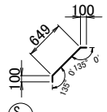
６－６



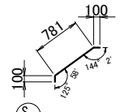
８－８



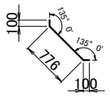
９－９



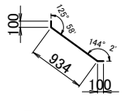
S9 28-D13 X 850



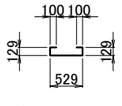
S10 10-D13 X 990



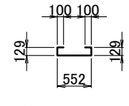
F8 28-D13 X 980



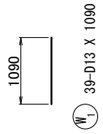
F9 10-D13 X 1140

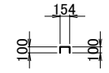


SO1 10-D13 X 990

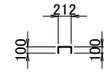


SO2 4-D13 X 1010

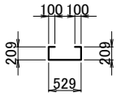




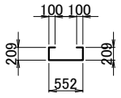
WO1 12-D13 X 360



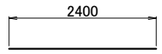
WO2 4-D13 X 420



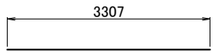
FO1 10-D13 X 1150



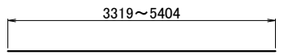
FO2 4-D13 X 1170



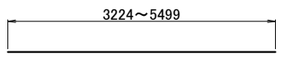
S5 14-D16 X 2400



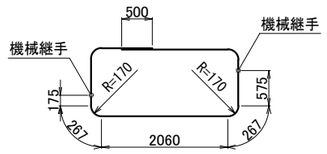
S6 10-D19 X 3310



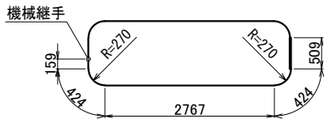
S7 11-D13 X 4370（平均長）



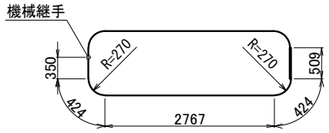
S8 13-D13 X 4370（平均長）



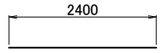
F1 14-D16 X 3350



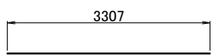
F2 5-D25 X 4290



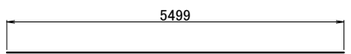
F3 5-D25 X 4480



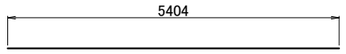
F4 14-D16 X 2400



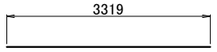
F5 10-D19 X 3310



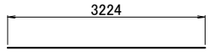
W2 3-D13 X 5500



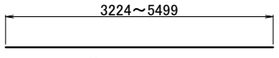
W3 3-D13 X 5410



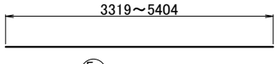
W4 3-D13 X 3320



W5 3-D13 X 3230



F6 13-D13 X 4370（平均長）



F7 11-D13 X 4370（平均長）

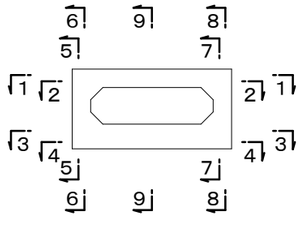
鉄筋質量表（SD345）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S1	D16	1680	14	1.56	2.62	37	(14)
S2	D16	2180	14	1.56	3.40	48	(14)
S3	D25	4480	5	3.98	17.83	89	(5)
S4	D25	4290	5	3.98	17.07	85	(5)
S5	D16	2400	14	1.56	3.74	52	
S6	D19	3310	10	2.25	7.45	75	
S7	D13	4370	11	0.995	4.35	48	（平均長）
S8	D13	4370	13	0.995	4.35	57	（平均長）
S9	D13	850	28	0.995	0.85	24	
S10	D13	990	10	0.995	0.99	10	
						525 kg	
S'1	D13	990	10	0.995	0.99	10	
S'2	D13	1010	4	0.995	1.00	4	
						14 kg	
W1	D13	1090	39	0.995	1.08	42	
W2	D13	5500	3	0.995	5.47	16	
W3	D13	5410	3	0.995	5.38	16	
W4	D13	3320	3	0.995	3.30	10	
W5	D13	3230	3	0.995	3.21	10	
						94 kg	
W'1	D13	360	12	0.995	0.36	4	
W'2	D13	420	4	0.995	0.42	2	
						6 kg	
F1	D16	3350	14	1.56	5.23	73	
F2	D25	4290	5	3.98	17.07	85	
F3	D25	4480	5	3.98	17.83	89	
F4	D16	2400	14	1.56	3.74	52	
F5	D19	3310	10	2.25	7.45	75	
F6	D13	4370	13	0.995	4.35	57	（平均長）
F7	D13	4370	11	0.995	4.35	48	（平均長）
F8	D13	980	28	0.995	0.98	27	
F9	D13	1140	10	0.995	1.13	11	
						517 kg	
F'1	D13	1150	10	0.995	1.14	11	
F'2	D13	1170	4	0.995	1.16	5	
						16 kg	

機械継手

合計	D25	348 kg	（ 10 箇所）
	D19	150 kg	
	D16	262 kg	（ 28 箇所）
	D13	412 kg	
総質量		1172 kg	

位置図



（福地用水路）

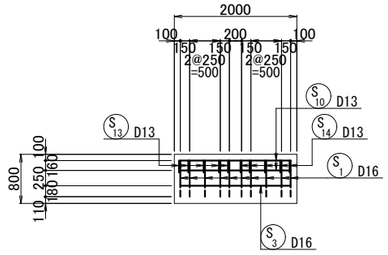
工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 場所打函渠配筋図（２）		
縮尺	1/50	図面番号	73 の 17
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

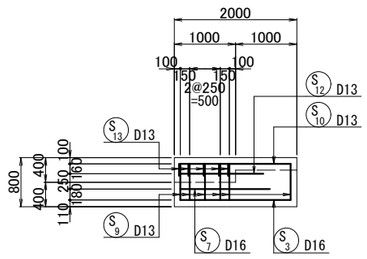
福地用水路 場所打函渠配筋図（３） S=1:50

（巻立工２）

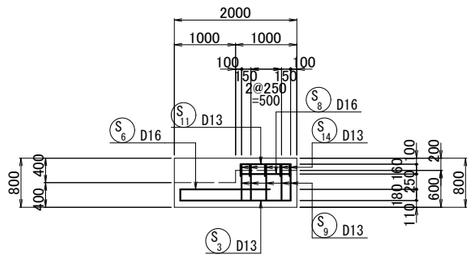
１－１



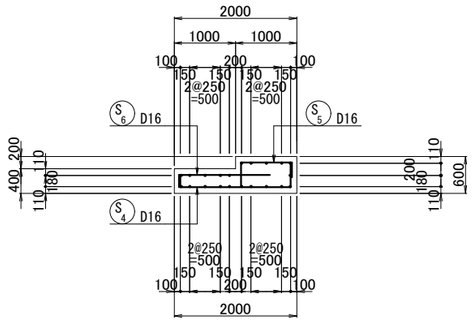
２－２



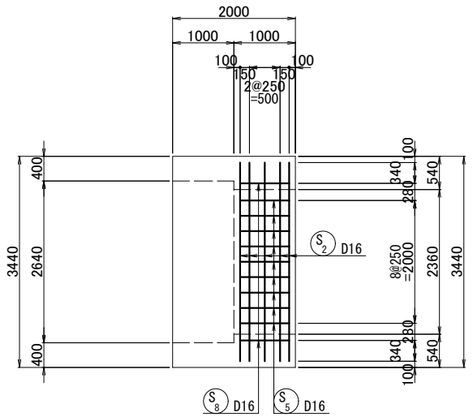
３－３



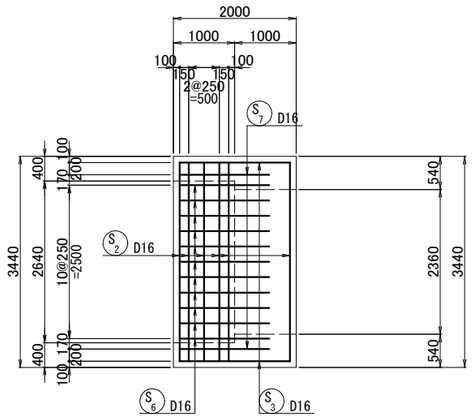
４－４



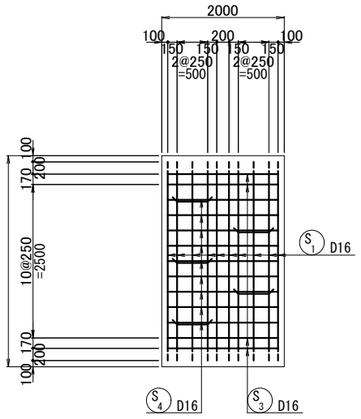
５－５



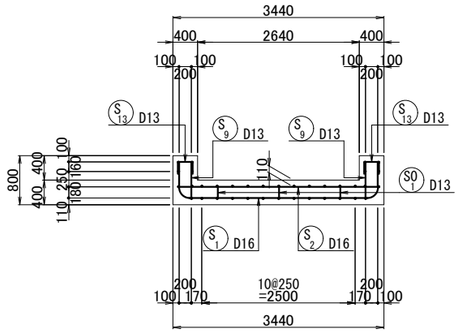
６－６



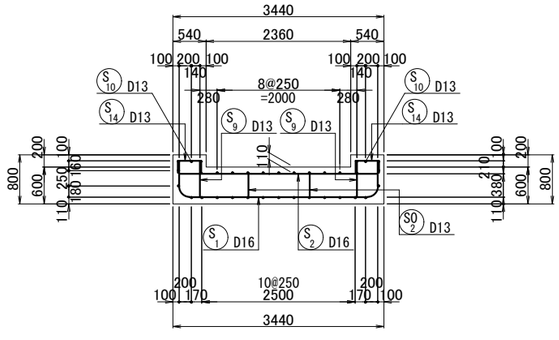
７－７

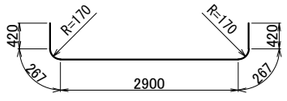


８－８

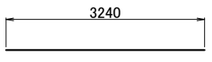


９－９

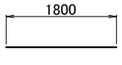




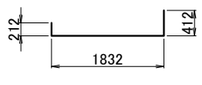
S1 10-D16 X 4280



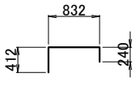
S2 11-D16 X 3240



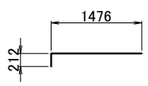
S3 6-D16 X 1800



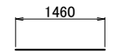
S4 9-D16 X 2460



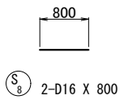
S5 9-D16 X 1490



S6 11-D16 X 1690



S7 2-D16 X 1460



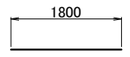
S8 2-D16 X 800



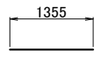
S9 22-D13 X 590



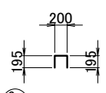
S11 2-D13 X 800



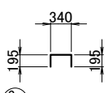
S10 6-D13 X 1800



S12 2-D13 X 1360



S13 10-D13 X 590



S14 10-D13 X 730

鉄筋質量表（SD345）

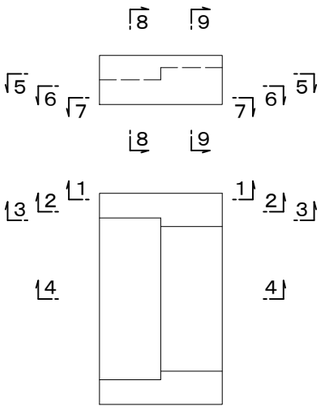
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S1	D16	4280	10	1.56	6.68	67	
S2	D16	3240	11	1.56	5.05	56	
S3	D16	1800	6	1.56	2.81	17	
S4	D16	2460	9	1.56	3.84	35	
S5	D16	1490	9	1.56	2.32	21	
S6	D16	1690	11	1.56	2.64	29	
S7	D16	1460	2	1.56	2.28	5	
S8	D16	800	2	1.56	1.25	3	
S9	D13	590	22	0.995	0.59	13	
S10	D13	1800	6	0.995	1.79	11	
S11	D13	800	2	0.995	0.80	2	
S12	D13	1360	2	0.995	1.35	3	
S13	D13	590	10	0.995	0.59	6	
S14	D13	730	10	0.995	0.73	7	
						275 kg	
S01	D13	1150	3	0.995	1.14	3	
S02	D13	1550	2	0.995	1.54	3	
						6 kg	

合計	D16	233 kg
	D13	48 kg
総質量		281 kg

S01 3-D13 X 1150

S02 2-D13 X 1550

位置図



（福地用水路）

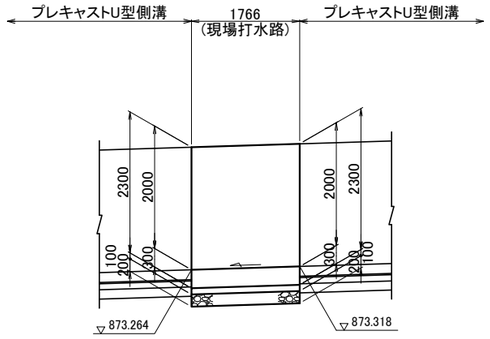
工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 場所打函渠配筋図（３）		
縮尺	1/50	図面番号	73 の 18
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

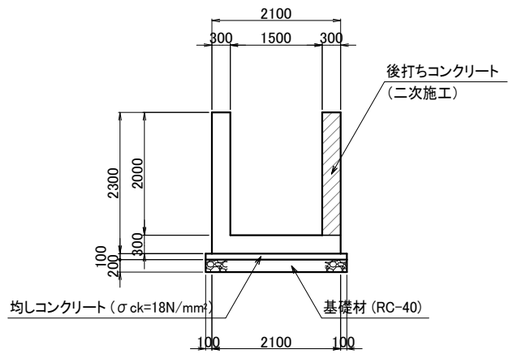
福地用水路 現場打水路構造図 S=1:50

現場打水路①

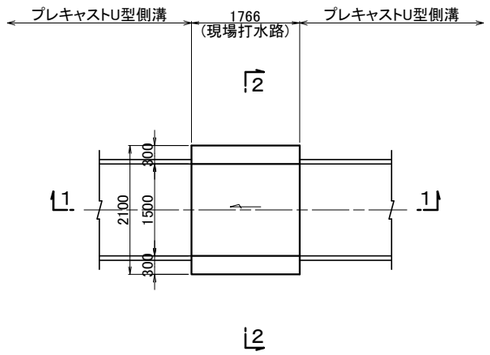
縦 断 図
1－1



断 面 図
2－2



平 面 図

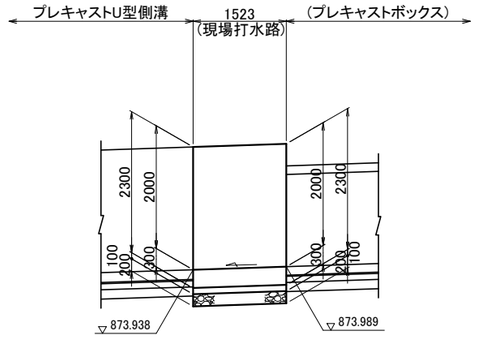


現場打水路① 材料表　　1.76m当り

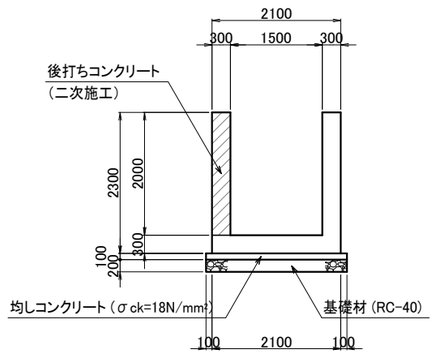
名 称	規 格	単位	数量 一次施工	数量 二次施工	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m2	4.06	-	
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	0.41	-	
均し型枠		式	1.00	-	
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=24N/mm2	m3	2.17	1.06	
型枠		式	1.00	1.00	
鉄筋	SD345 D13	t	0.100	0.049	
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.081	0.024	
足場工		式	1.00	1.00	

現場打水路②

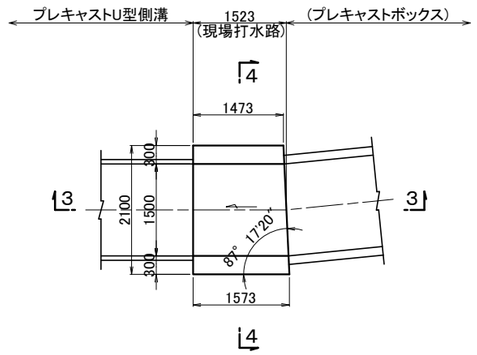
縦 断 図
3－3



断 面 図
4－4



平 面 図



現場打水路② 材料表　　1.6m当り

名 称	規 格	単位	数量 一次施工	数量 二次施工	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m2	3.50	-	
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	0.35	-	
均し型枠		式	1.00	-	
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=24N/mm2	m3	1.90	0.89	
型枠		式	1.00	1.00	
鉄筋	SD345 D13	t	0.085	0.040	
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.070	0.021	
足場工		式	1.00	1.00	

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

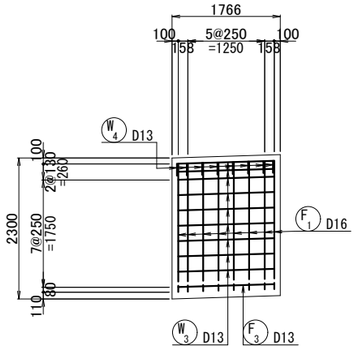
(福地用水路)

工 事 名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 現場打水路構造図		
縮 尺	1/50	図面番号	73 の 19
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

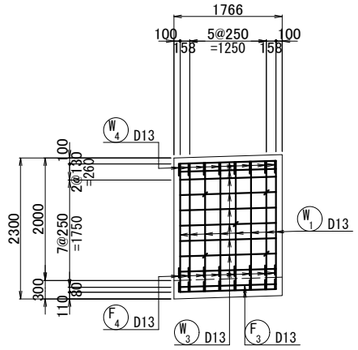
福地用水路 現場打水路配筋図（１） S=1:50

〔現場打水路①〕

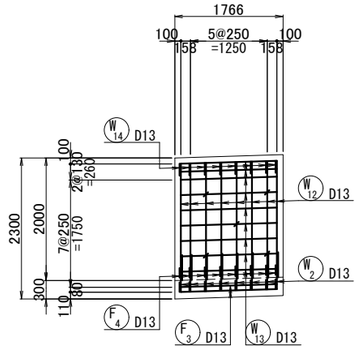
３－３



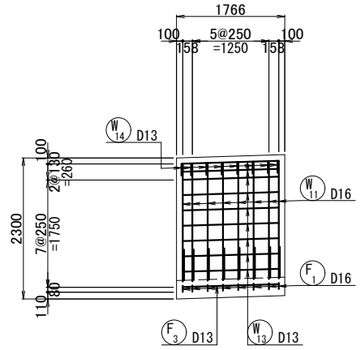
４－４



５－５

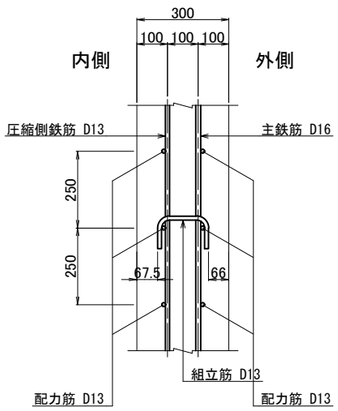


６－６

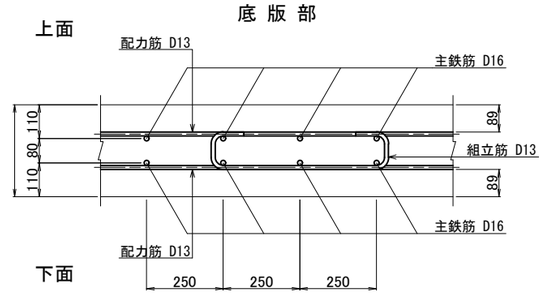


組 立 図 S=1:10

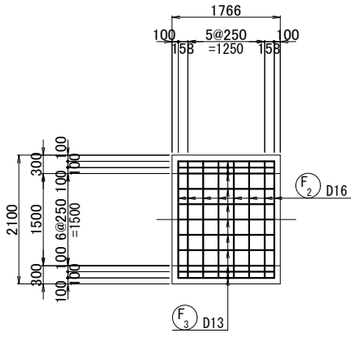
側 壁 部



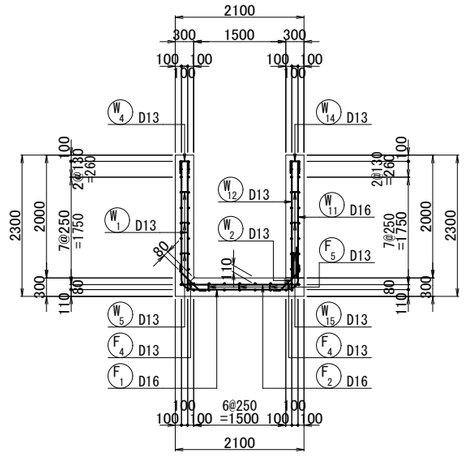
底 版 部



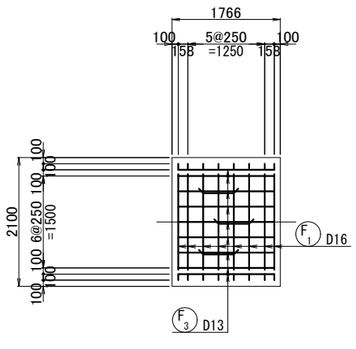
１－１

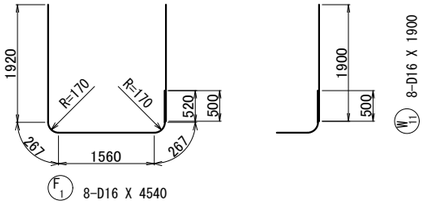


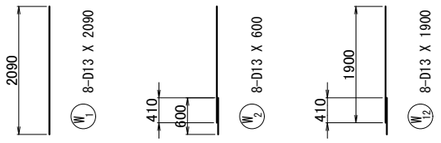
断 面 図

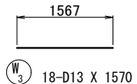


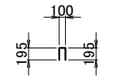
２－２

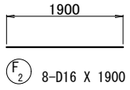


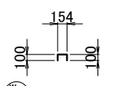


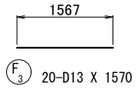


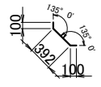


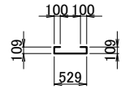




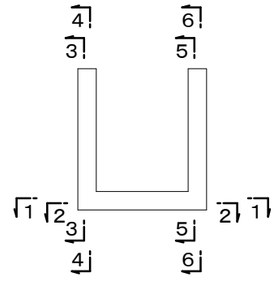








位 置 図



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

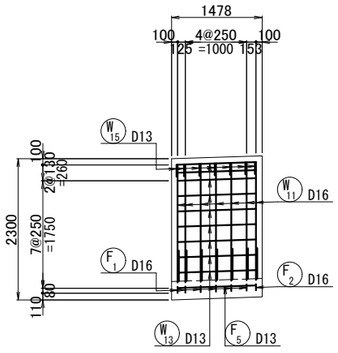
（福地用水路）

工 事 名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 現場打水路配筋図（１）		
縮 尺	図 示	図面番号	73 の 20
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

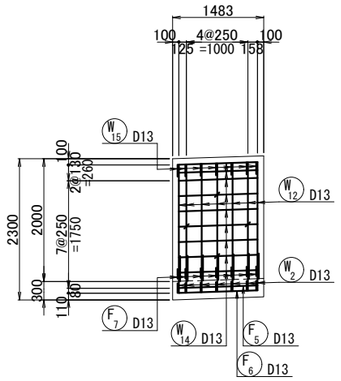
福地用水路 現場打水路配筋図（２） S=1:50

〔現場打水路②〕

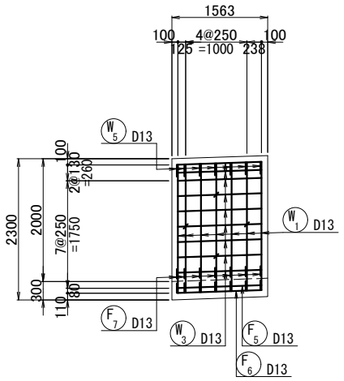
９－９



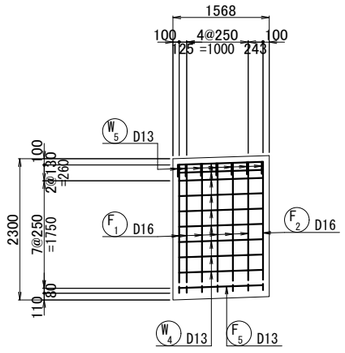
10－10



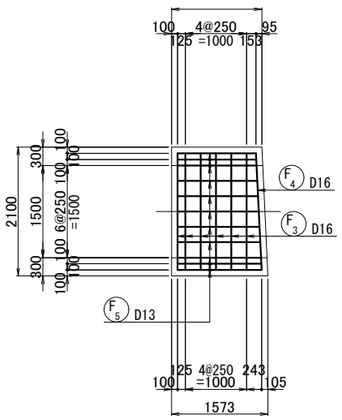
11－11



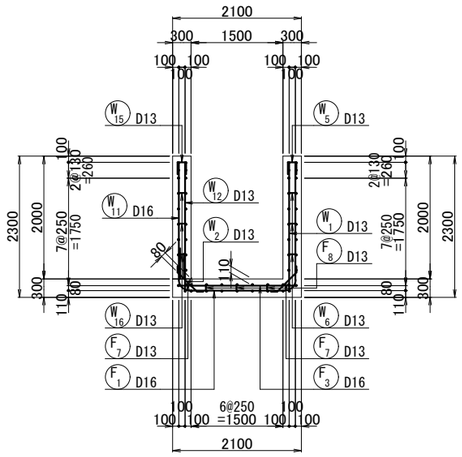
12－12



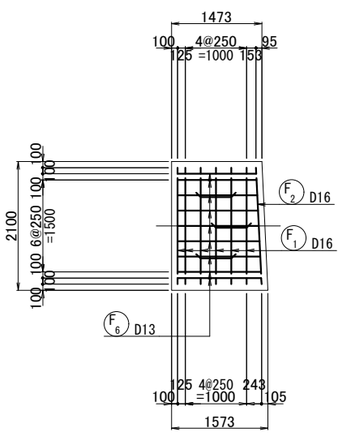
７－７

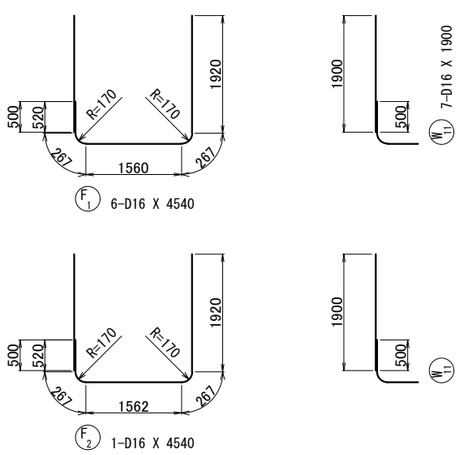


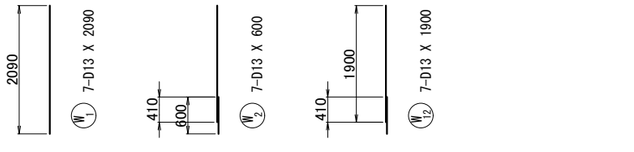
断 面 図

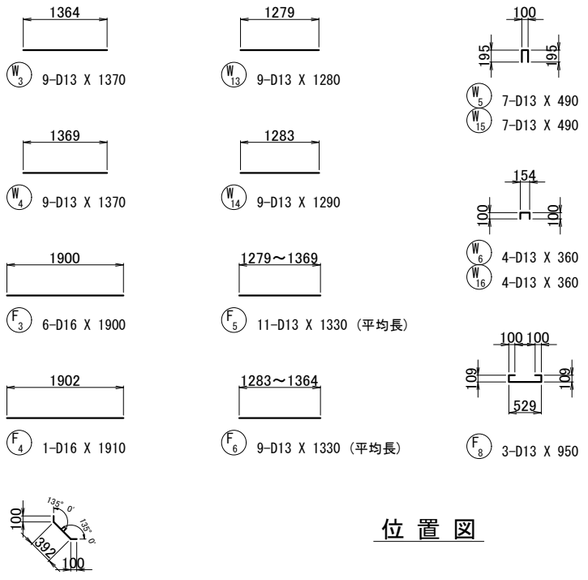


８－８

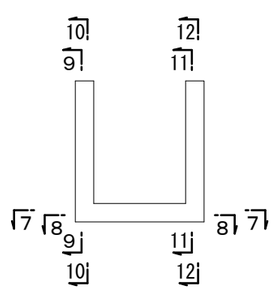








位 置 図



鉄筋質量表（SD345）

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
〔現場打水路①〕							
（一次施工）							
W 1	D13	2090	8	0.995	2.08	17	丨
W 2	D13	600	8	0.995	0.60	5	丨
W 3	D13	1570	18	0.995	1.56	28	一
W 4	D13	490	8	0.995	0.49	4	⁼
W 5	D13	360	5	0.995	0.36	2	⁼
						56 kg	
F 1	D16	4540	8	1.56	7.08	57	L
F 2	D16	1900	8	1.56	2.96	24	一
F 3	D13	1570	20	0.995	1.56	31	一
F 4	D13	600	16	0.995	0.60	10	㇔
F 5	D13	950	3	0.995	0.95	3	ㄴ
						125 kg	
（二次施工）							
W 11	D16	1900	8	1.56	2.96	24	丨
W 12	D13	1900	8	0.995	1.89	15	丨
W 13	D13	1570	18	0.995	1.56	28	一
W 14	D13	490	8	0.995	0.49	4	⁼
W 15	D13	360	5	0.995	0.36	2	⁼
						73 kg	

	（一次施工）	（二次施工）	（合 計）
D16	81 kg	24 kg	105 kg
D13	100 kg	49 kg	149 kg
総質量	181 kg	73 kg	254 kg

〔現場打水路②〕							
（一次施工）							
W 1	D13	2090	7	0.995	2.08	15	丨
W 2	D13	600	7	0.995	0.60	4	丨
W 3	D13	1370	9	0.995	1.36	12	一
W 4	D13	1370	9	0.995	1.36	12	一
W 5	D13	490	7	0.995	0.49	3	⁼
W 6	D13	360	4	0.995	0.36	1	⁼
						47 kg	
F 1	D16	4540	6	1.56	7.08	42	L
F 2	D16	4540	1	1.56	7.08	7	L
F 3	D16	1900	6	1.56	2.96	18	一
F 4	D16	1910	1	1.56	2.98	3	一
F 5	D13	1330	11	0.995	1.32	15	一（平均長）
F 6	D13	1330	9	0.995	1.32	12	一（平均長）
F 7	D13	600	14	0.995	0.60	8	㇔
F 8	D13	950	3	0.995	0.95	3	ㄴ
						108 kg	
（二次施工）							
W 11	D16	1900	7	1.56	2.96	21	丨
W 12	D13	1900	7	0.995	1.89	13	丨
W 13	D13	1280	9	0.995	1.27	11	一
W 14	D13	1290	9	0.995	1.28	12	一
W 15	D13	490	7	0.995	0.49	3	⁼
W 16	D13	360	4	0.995	0.36	1	⁼
						61 kg	

	（一次施工）	（二次施工）	（合 計）
D16	70 kg	21 kg	91 kg
D13	85 kg	40 kg	125 kg
総質量	155 kg	61 kg	216 kg

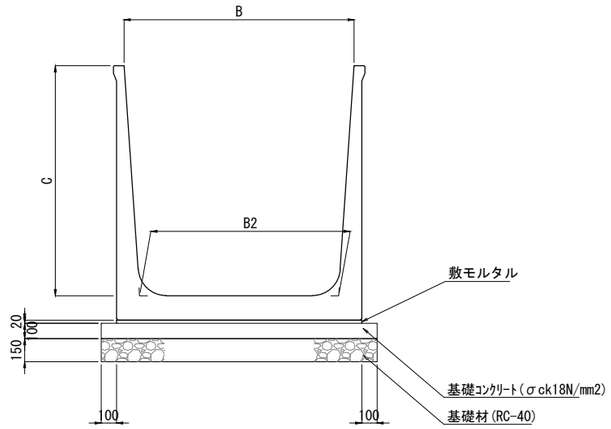
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 現場打水路配筋図（２）		
縮 尺	1/50	図面番号	73 の 21
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 小構造物詳細図（１）

プレキャストＵ型側溝 S=1:20



寸 法 表 （単位:mm）

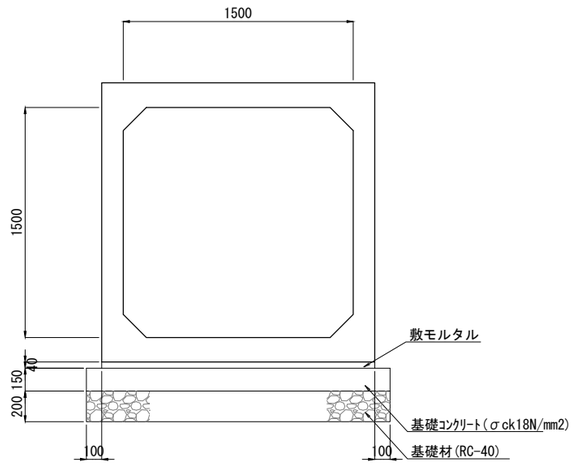
種 別	B	C	B2
~~1000×1000~~	~~1000~~	~~1000~~	~~900~~
1500×2000	1500	2000	1300
~~2000×1300~~	~~2000~~	~~1300~~	~~1870~~

材 料 表 10m当り

種 別	規格・寸法	単位	数 量			摘 要
			~~1000×1000~~	1500×2000	~~2000×1300~~	
基 礎 材	RC-40, t=150	式	｢	1	｢	
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²	式	｢	1	｢	
基礎型枠		式	｢	1	｢	
敷モルタル	1 ： 3	式	｢	1	｢	
Ｕ型側溝	L=2000	個	~~5.0~~	5.0	~~5.0~~	

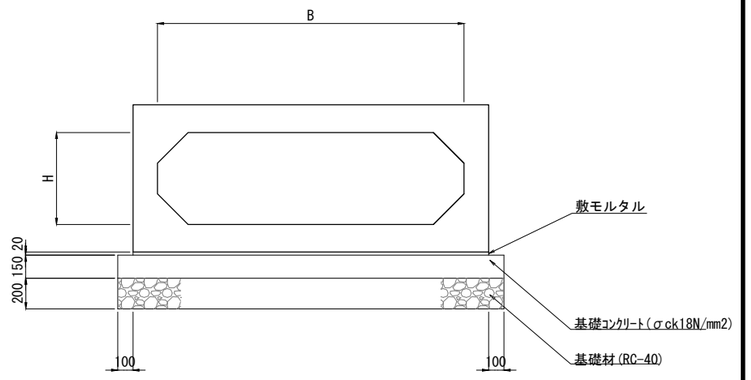
プレキャストボックス S=1:20

B1500×H1500



材 料 表 10m当り

種 別	規格・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40, t=200	式	1	
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²	式	1	
基礎型枠		式	1	
敷モルタル	1 ： 3	式	1	
プレキャストボックス	B1500×H1500 L=2000	個	5.0	



寸 法 表 （単位:mm）

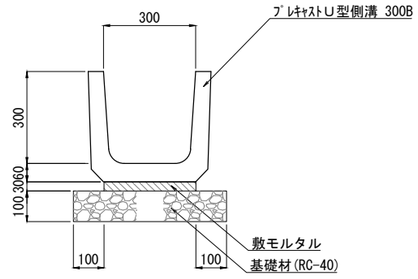
種 別	B	H
2000×600	2000	600
~~2000×900~~	~~2000~~	~~900~~

材 料 表 10m当り

種 別	規格・寸法	単位	数 量		摘 要
			2000×600	~~2000×900~~	
基 礎 材	RC-40, t=200	式	1	｢	
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²	式	1	｢	
基礎型枠		式	1	｢	
敷モルタル	1 ： 3	式	1	｢	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	L=2000	個	5.0	~~5.0~~	

プレキャストU型側溝 S=1:10

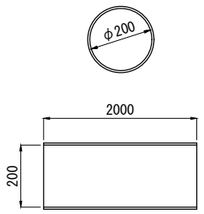
300B



材 料 表 10m当り

種 別	規格・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40, t=100	式	1	
敷モルタル	1 ： 3	式	1	
プレキャストU型側溝	300B	個	16.5	L=600

暗渠排水管（取付管）(VPφ200)S=1:10



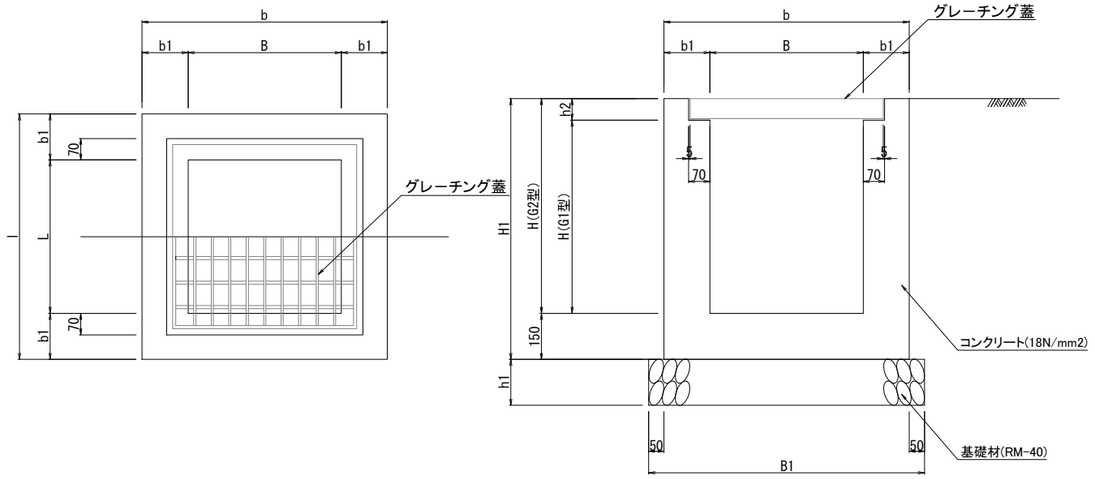
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

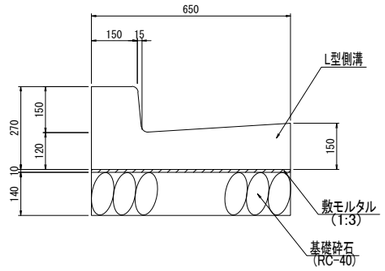
工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 小構造物詳細図（１）		
縮 尺	図 示	図面番号	73 の 22
年 月 日	令和 ８ 年 １ 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 小構造物詳細図（２）

現場打ち集水桝G1型、G2型 S=1:10



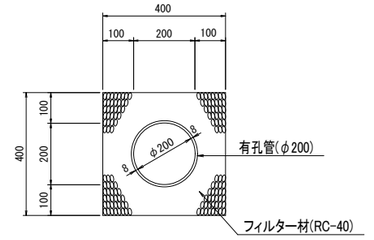
プレキャストL型側溝 S=1:10



プレキャストL型側溝 材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
基礎砕石	RC-40 t=14cm	m2	6.50	
敷モルタル	1:3	式	1	
L型側溝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ	個	16.5	L=600

地下排水 S=1:10

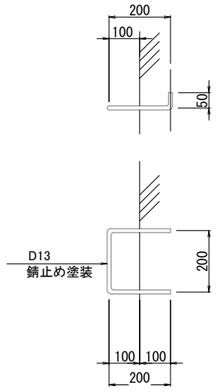


地下排水溝 材料表　10m当り

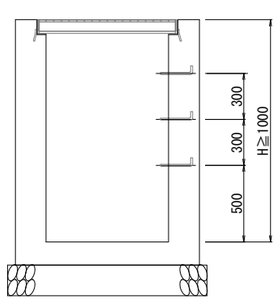
名　称	規　格	単位	数　量	備　考
有孔管	φ200	m	10.0	
フィルター材	RC-40	m3	1.23	

足掛金物

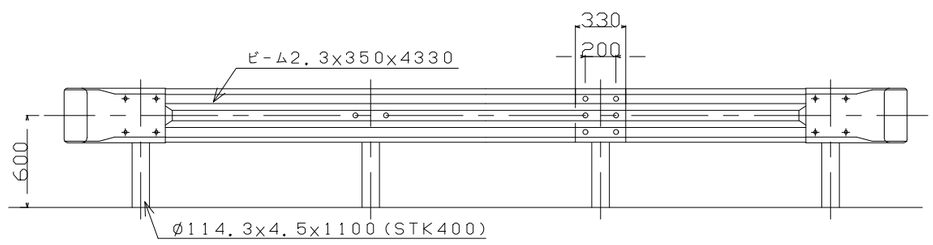
S=1:10

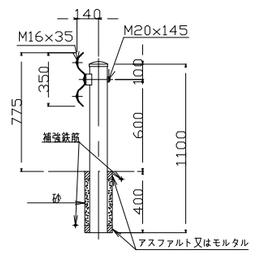


S=1:20



ガードレール (Gr-C-2B 景観色塗装) S=1:20





寸法表

種別＼記号	B	L	H	b	l	B1	b1	H1	h1	h2	摘要
G1型											
1号集水桝 G1-B500-L500-H500	500	500	500	800	800	900	150	750	150	100	T-25
2号集水桝 G1-B500-L500-H1100	500	500	1100	900	900	900	200	1350	200	100	T-25
~~G1-B600-L1000-H2000~~	~~600~~	~~1000~~	~~2000~~	~~1000~~	~~1400~~	~~1100~~	~~200~~	~~2300~~	~~200~~	150	~~T-25~~
G2型											
G2-B600-L600-H600	600	600	600	900	900	1000	150	750	150	50	T-2
~~G2-B600-L600-H1800~~	~~600~~	~~600~~	~~1800~~	~~1000~~	~~1000~~	~~1100~~	~~200~~	~~1950~~	~~200~~	~~50~~	~~〃~~
~~G2-B600-L600-H2200~~	~~600~~	~~600~~	~~2200~~	~~1000~~	~~1000~~	~~1100~~	~~200~~	~~2350~~	~~200~~	~~50~~	~~〃~~

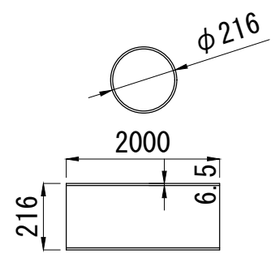
材料表　現場打ち集水桝 G1型　1箇所当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量		
			G2-B500-L500-H500（ステップ6）	G2-B500-L500-H1100（ステップ6）	~~G1-B600-L1000-H2000（ステップ9）~~
基礎材	RC-40 t=200	m^2	0.81	0.81	~~1.7~~
コンクリート	σck=18N/mm^2	m^3	0.30	0.71	~~1.9~~
型　枠		式	1	1	~~1~~
グレーチング蓋	T-25	枚	1.0	1.0	~~2.0~~
足掛金物	D13	個	－	2	~~5.0~~

材料表　現場打ち集水桝 G2型　1箇所当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量		
			G2-B600-L600-H600（ステップ12）	~~G2-B600-L600-H1800（ステップ9）~~	~~G2-B600-L600-H2200（ステップ9）~~
基礎材	RC-40 t=200	m^2	1.00	~~1.2~~	~~1.2~~
コンクリート	σck=18N/mm^2	m^3	0.37	~~1.3~~	~~1.6~~
型　枠		式	1	~~1~~	~~1~~
グレーチング蓋	T-2	枚	1.0	~~1.0~~	~~1.0~~
足掛金物	D13	個	－	~~4.0~~	~~5.0~~

暗渠排水管（VUφ200）（清光院水路） S=1:10



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

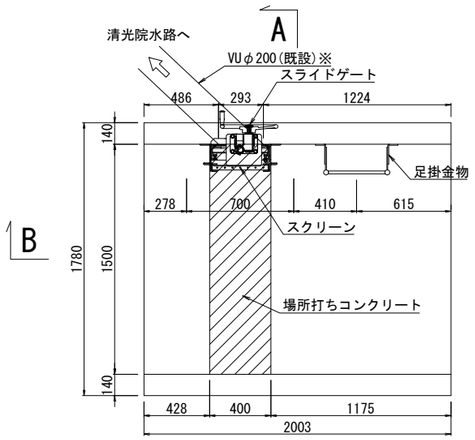
（福地用水路）

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 小構造物詳細図（２）		
縮　尺	図 示	図面番号	73 の 23
年月日	令和 8 年 1 月　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

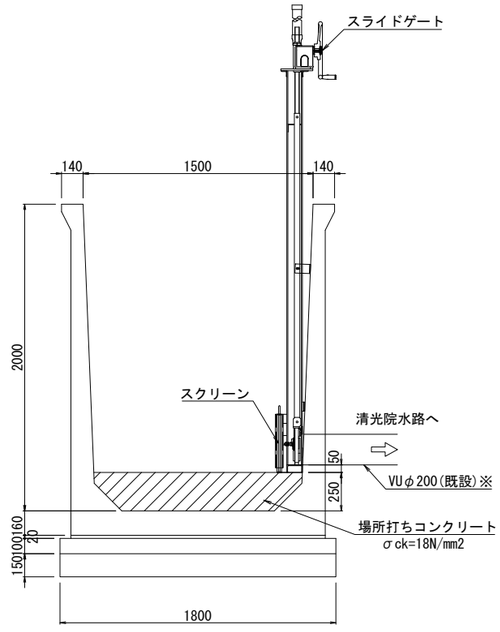
福地用水路 小構造物詳細図（３）

プレキャストＵ型側溝B1500-H2000　S=1/20

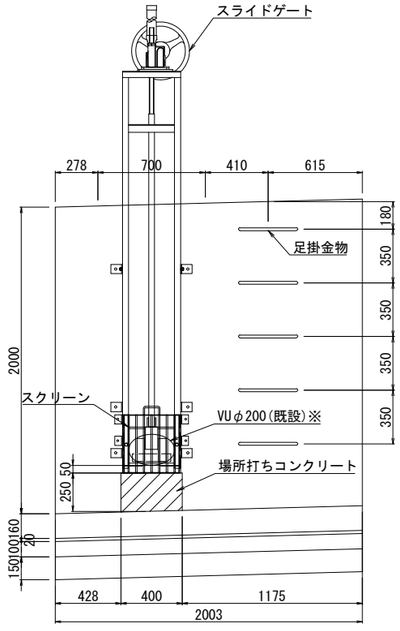
スライドゲート付(清光院水路の分水)



A-A’ 断面



B-B’ 断面



場所打ちｺﾝｸﾘｰﾄ　　1式当り

名　称	規　格	単位	数 量	摘 要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	0.12	
型枠		式	1.00	

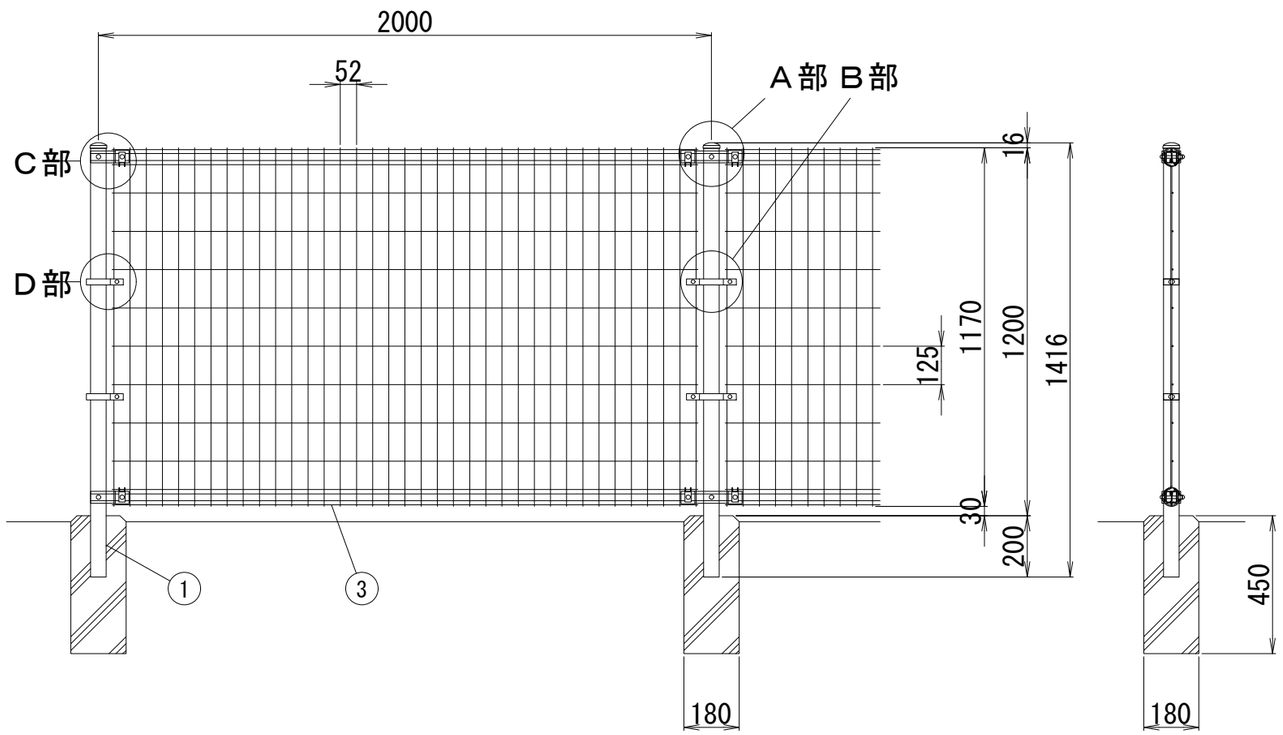
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

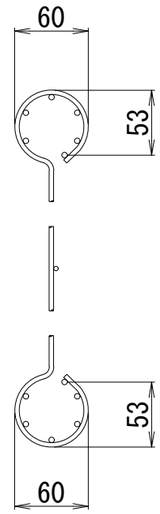
工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 小構造物詳細図（３）		
縮　尺	1/20	図面番号	73 の 24
年月日	令和　8 年　1 月　　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

福地用水路 小構造物詳細図（４）

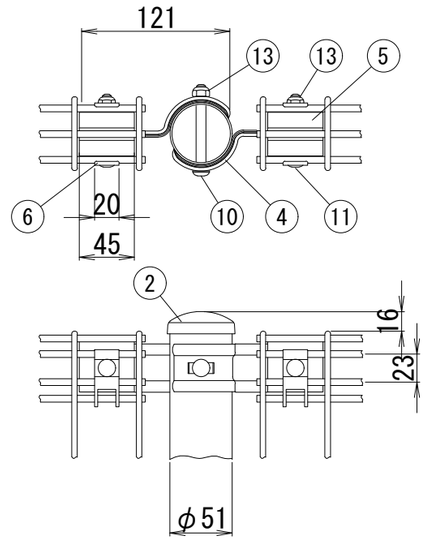
メッシュフェンス S=1:10
（景観色塗装）



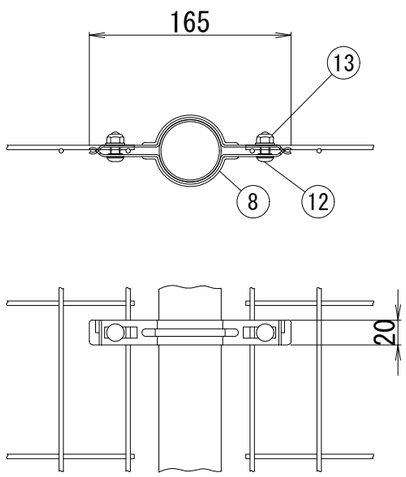
本体パネル詳細図 S=1:5



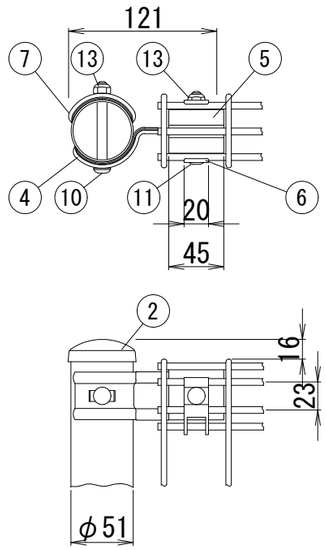
A部詳細図 S=1:5



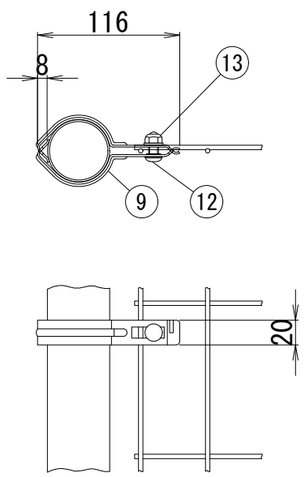
B部詳細図 S=1:5



C部詳細図 S=1:5



D部詳細図 S=1:5



部番	部材名	形格（mm）	材質	摘要
1	支柱 #1200	φ50.8× t1.6	STK 400	静電粉体塗装（下地 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき）
2	支柱キャップ	t1.6	SPCC・K27	〃
3	本体 #1200	φ3.6、φ4.5	亜鉛めっき鉄線	流動浸漬塗装（下地亜鉛めっき）
4	固定金具	t2.3	SGH・Z27	静電粉体塗装（下地亜鉛めっき）
5	インサート金具	t1.6	SGH・Z27	静電粉体塗装（下地亜鉛めっき）
6	押え金具	t1.6	SGH・Z27	静電粉体塗装（下地亜鉛めっき）
7	支柱カバー	t2.3	SGH・Z27	静電粉体塗装（下地亜鉛めっき）
8	中間金具	t1.6	SGH・Z27	静電粉体塗装（下地亜鉛めっき）
9	中間金具端末用	t1.6	SGH・Z27	静電粉体塗装（下地亜鉛めっき）
10	角根ボルト	M8×67	4.6相当	溶融亜鉛めっき
11	〃	M8×57	4.6相当	溶融亜鉛めっき
12	〃	M8×20	4.6相当	溶融亜鉛めっき
13	ナット	M8	4.6相当	溶融亜鉛めっき

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

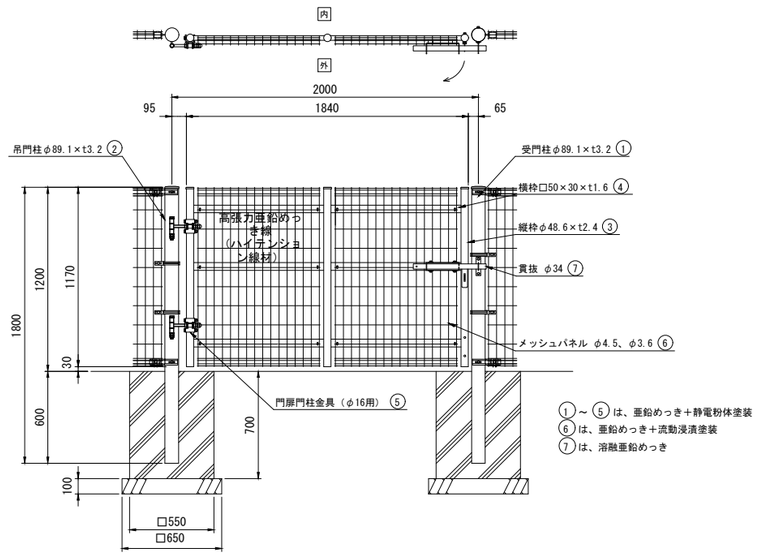
（福地用水路）

工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 小構造物詳細図（４）		
縮尺	図示	図面番号	73 の 25
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 小構造物詳細図（５）

片開き門扉 S=1:20

（景観色塗装）



門扉(片開) 材料表　　1基当り

名　称	規　格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	0.85	2箇所
基礎ﾌﾞﾛｯｸ	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ □650×650	基	2.00	
門扉	片開き 景観色塗装	基	1.00	

（福地用水路）

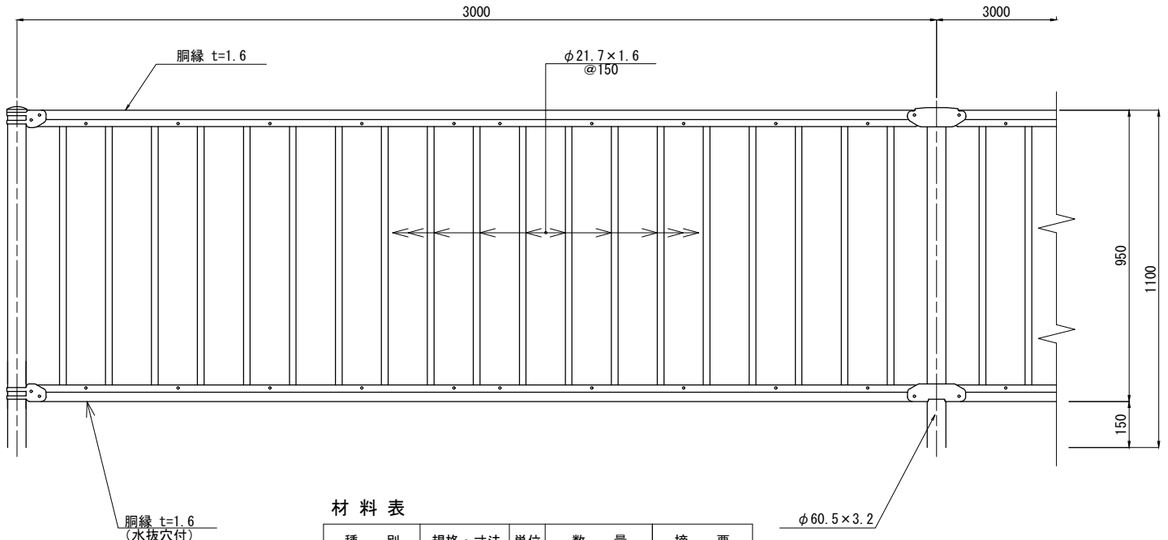
工 事 名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 小構造物詳細図（５）		
縮　　尺	1/20	図面番号	73 の 26
年 月 日	令和　8 年　1 月　　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

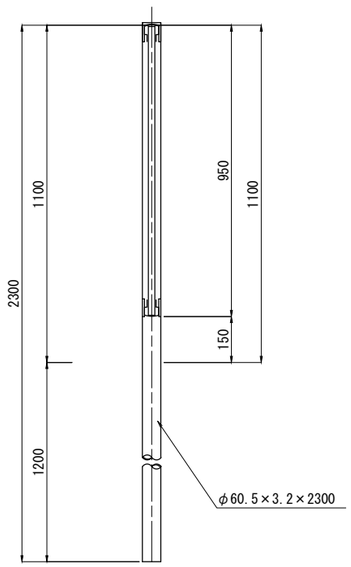
福地用水路 小構造物詳細図（６）

転落防止柵 S=1:10

（景観色塗装）



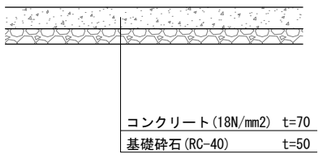
土中用



材 料 表

種　別	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
転落防止柵	P種	m	10.0	景観色塗装

コンクリートシール S=1:20



材 料 表

10m2当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
基礎砕石	RC-40, t=50	m2	10.00	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.70	

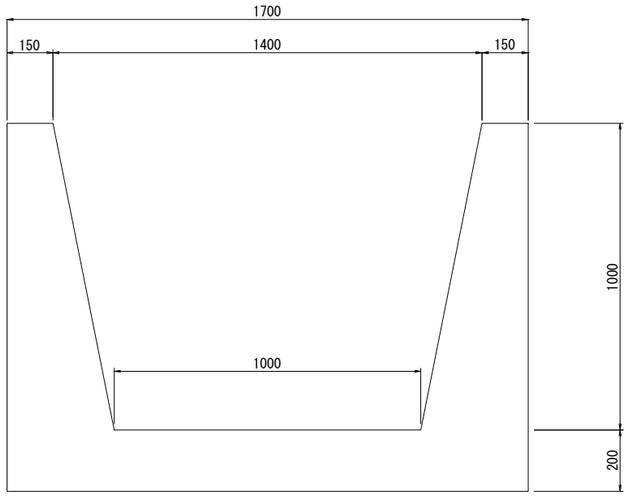
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 小構造物詳細図（６）		
縮　尺	図 示	図面番号	73 の 27
年 月 日	令和　8 年　1 月　　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

福地用水路 撤去構造物詳細図

プレキャストU型側溝(B1000×H1000) S=1:10



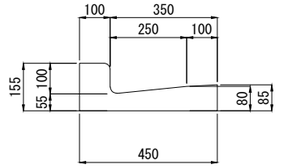
無筋コンクリート 0.840 m2

撤去数量表

10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	m3	8.40	

L型側溝(L250B) S=1:10



鉄筋コンクリート 0.041 m2

撤去数量表

10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)	m3	0.41	

舗装版取り壊し S=1:20

アスファルト舗装



撤去数量表

100m2当り

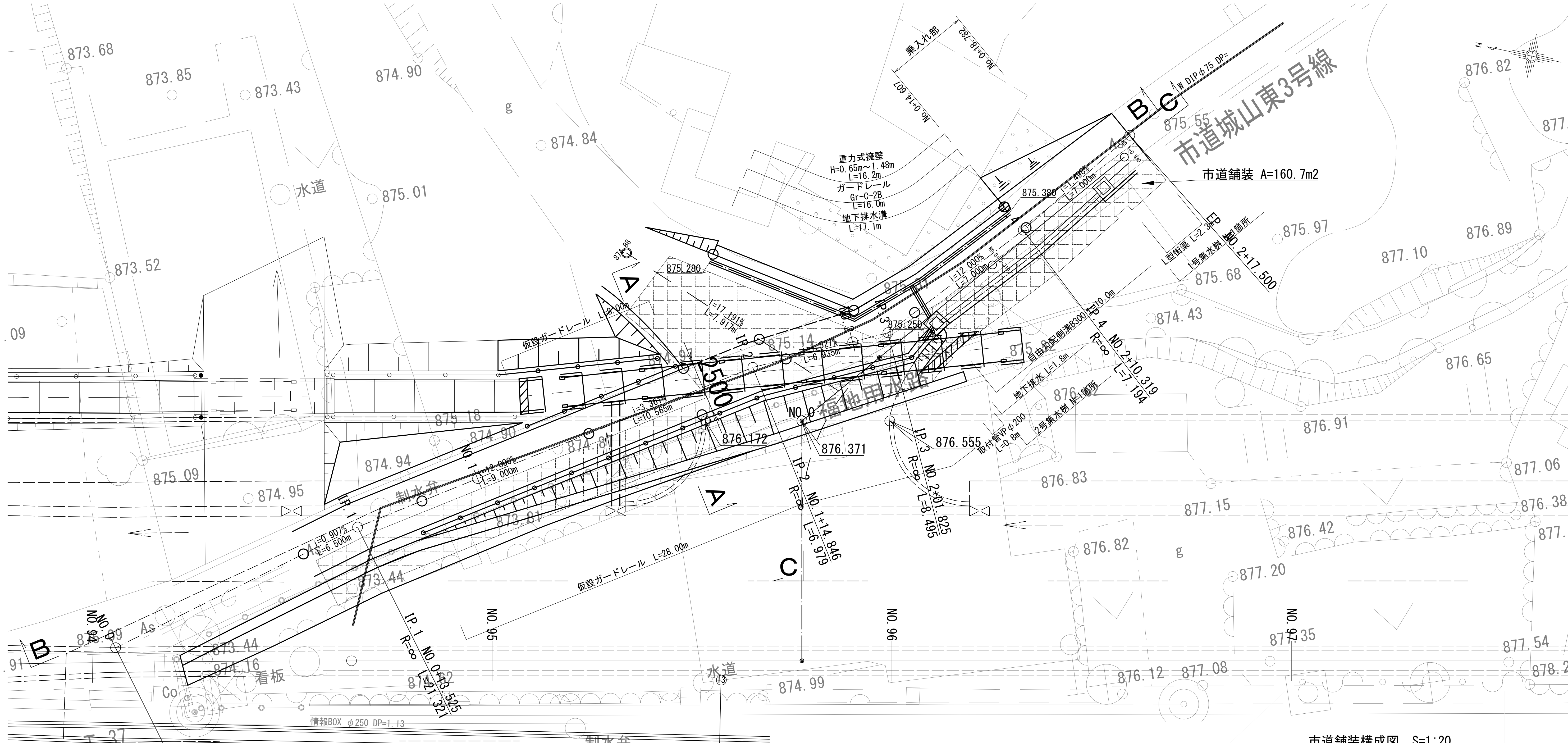
種　別	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
構造物取壊し	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 t=4cm	m3	4.00	

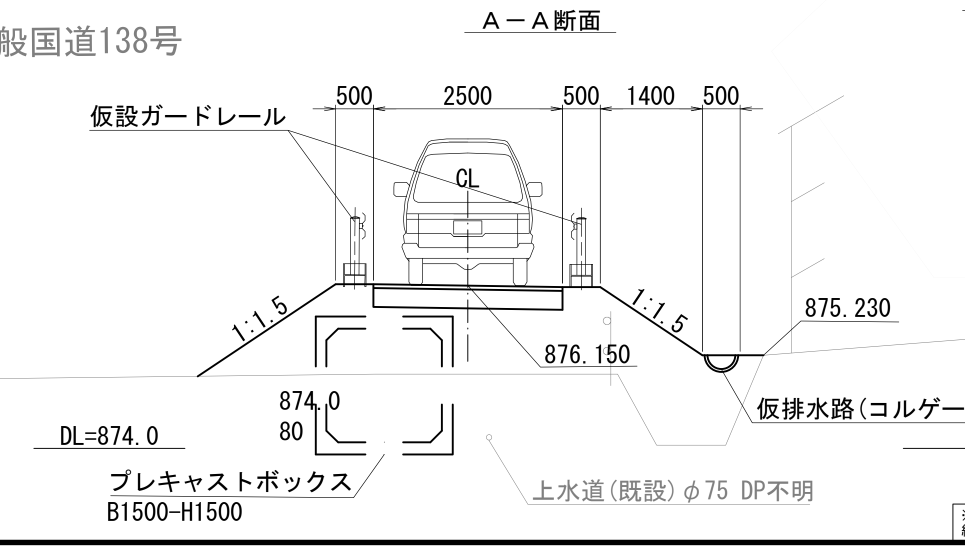
(福地用水路)

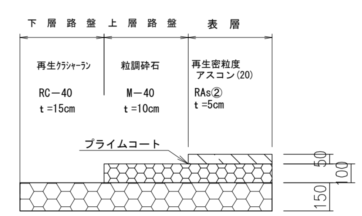
工 事 名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 撤去構造物詳細図		
縮　尺	図 示	図面番号	73 の 28
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

福地用水路 市道城山東３号線平面図 S=1:100





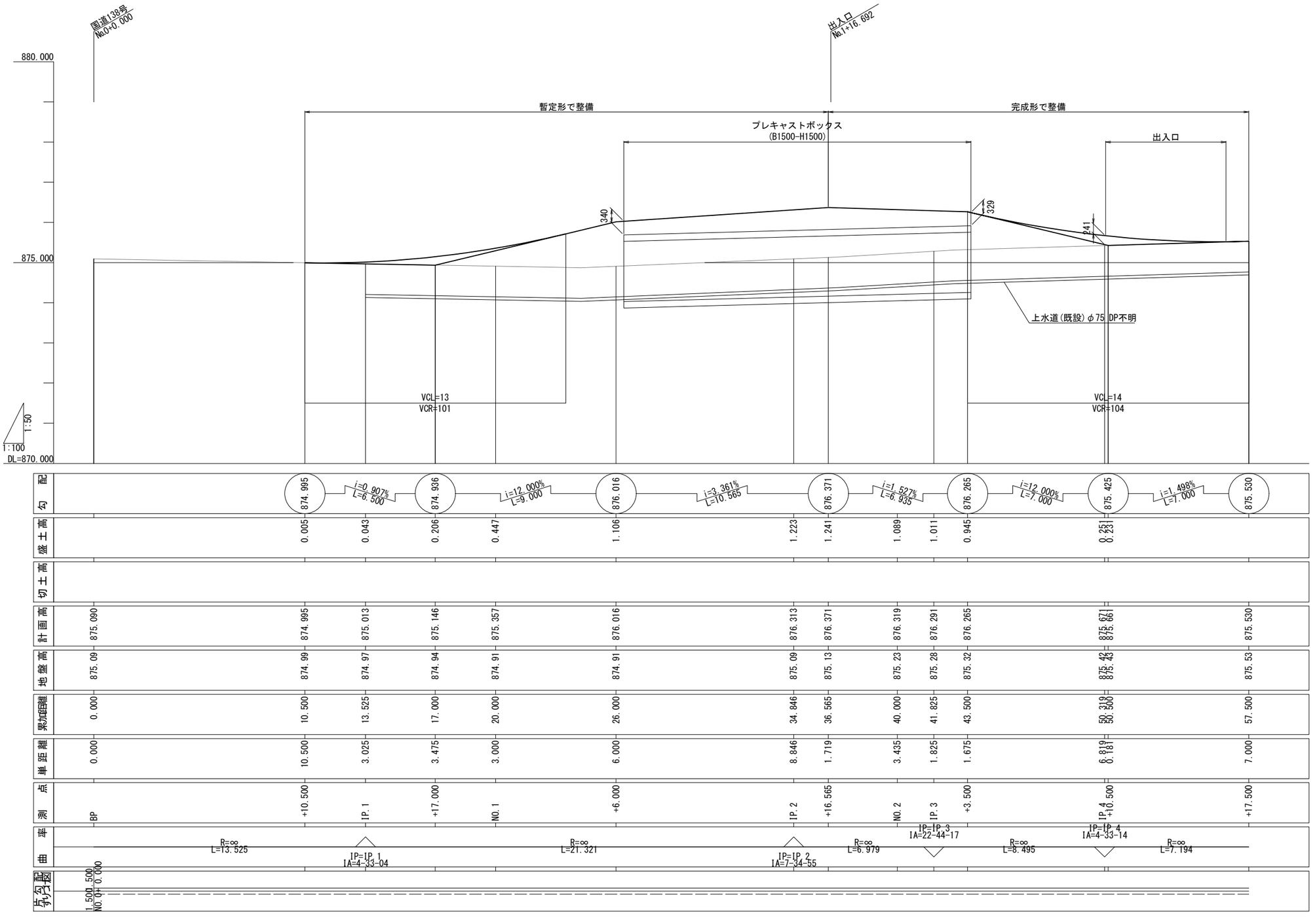


(福地用水路)

工 事 名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 市道城山東３号線平面図		
縮 尺	1/100	図面番号	73 の 29
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

福地用水路 市道城山東３号線縦断図 V=1: 50 H=1:100



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

(福地用水路)

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 市道城山東３号線縦断図		
縮尺	V=1/ 50 H=1/100	図面番号	73 の 30
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 市道城山東３号線横断図 S=1:40

A-A
No.0+18.782
GH=875.462
FH=875.528

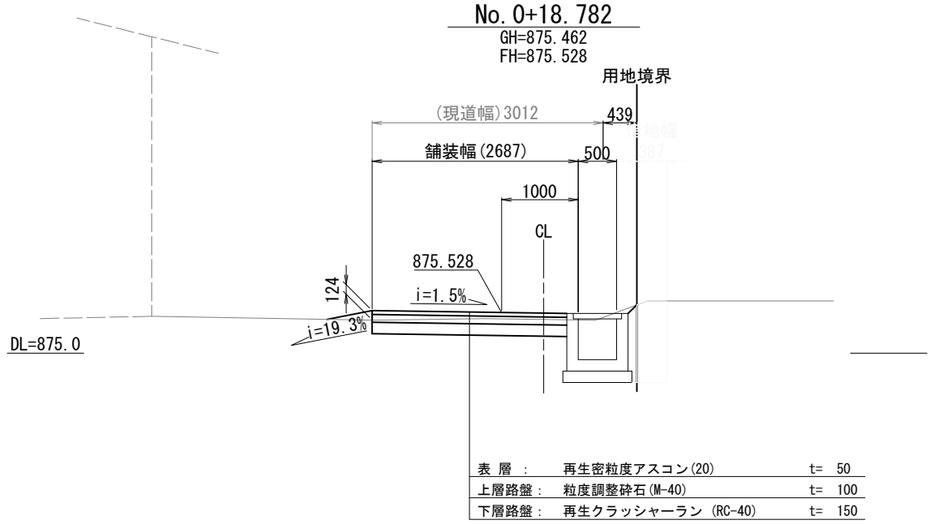
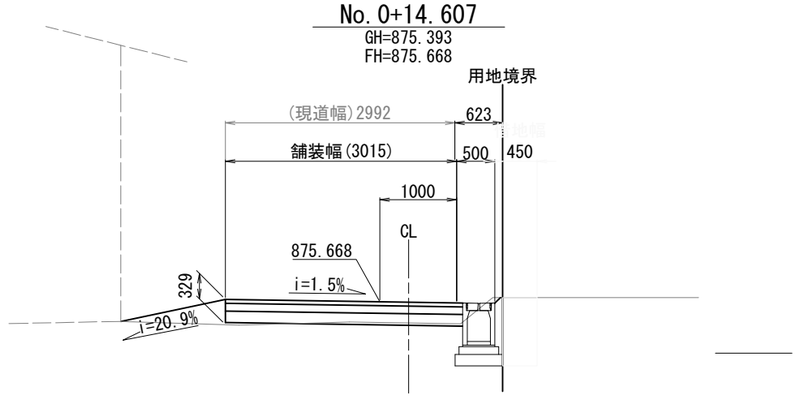
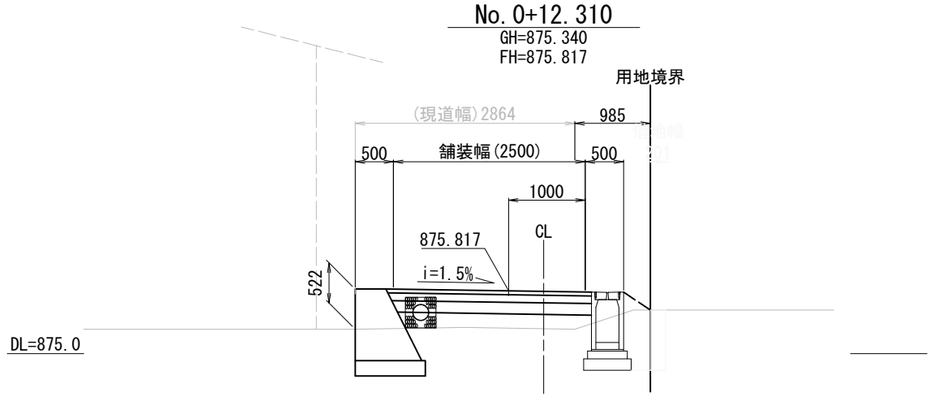


表 層 ：	再生密粒度アスコン(20)	t= 50
上層路盤：	粒度調整砕石(M-40)	t= 100
下層路盤：	再生クラッシャーラン (RC-40)	t= 150

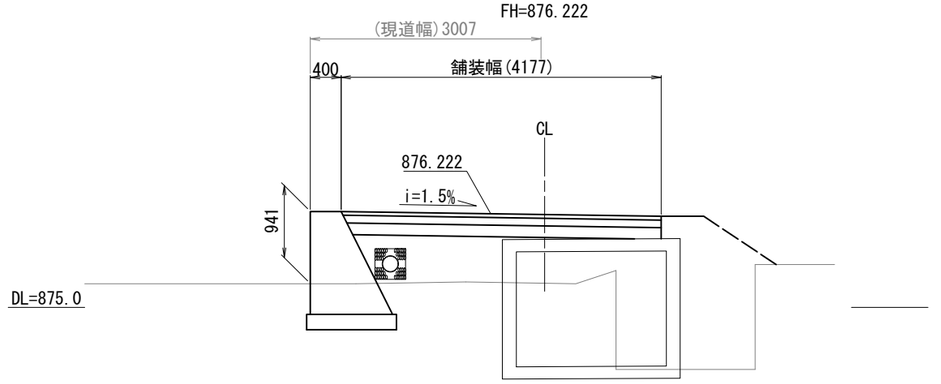
B-B
No.0+14.607
GH=875.393
FH=875.668



C-C
No.0+12.310
GH=875.340
FH=875.817



D-D
No.0+5.949
GH=875.327
FH=876.222



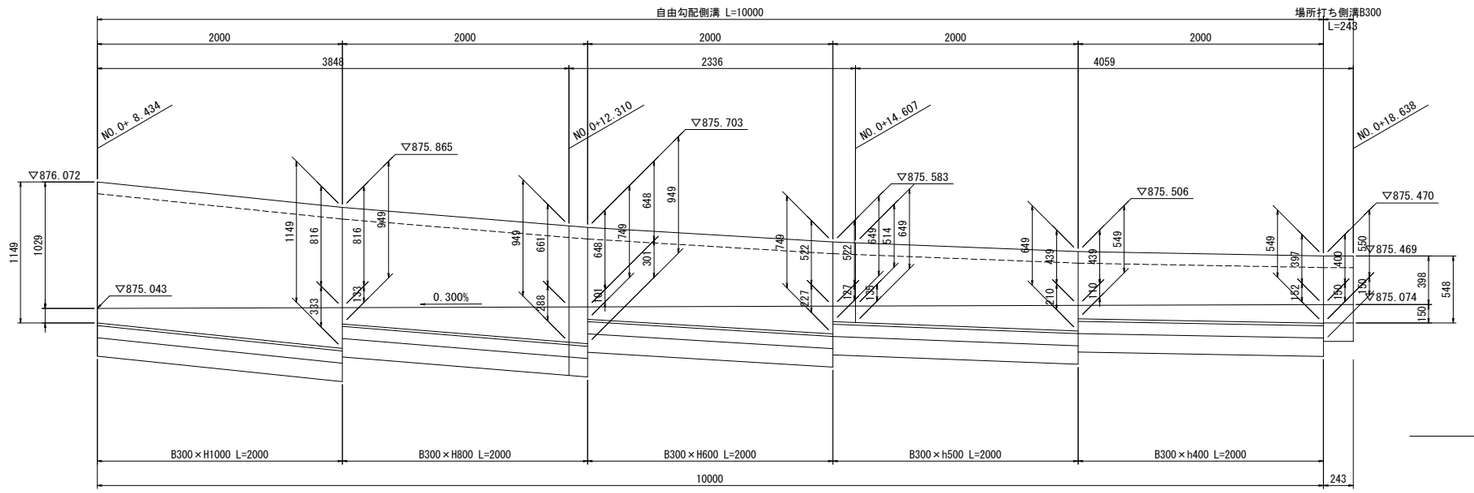
(福地用水路)

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 市道城山東３号線横断図		
縮 尺	1/40	図面番号	73 の 31
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

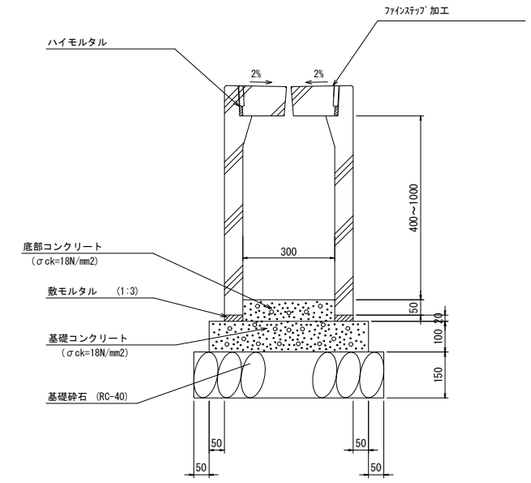
福地用水路 城山東３号線自由勾配側溝一般図

自由勾配側溝側面図 S=1:25



断 面 図 S＝1：10

自由勾配側溝



自由勾配側溝 材料表 10m当り

名 称	規 格	単位	数 量					摘 要
			B300×H400	B300×H500	B300×H600	B300×H800	B300×H1000	
基礎砕石	RC-40 t=15cm	式	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2 t=10cm	式	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
基礎型枠		式	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3	式	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
底部ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	0.393	0.506	0.492	0.632	0.680	
自由勾配側溝	B300×H400×L2000	個	5.00	－	－	－	－	
自由勾配側溝	B300×H500×L2000	個	－	5.00	－	－	－	
自由勾配側溝	B300×H600×L2000	個	－	－	5.00	－	－	
自由勾配側溝	B300×H800×L2000	個	－	－	－	5.00	－	
自由勾配側溝	B300×H800×L2000	個	－	－	－	－	5.00	
側溝蓋	B300用	枚	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	

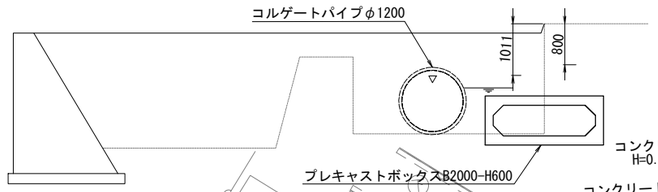
（福地用水路）

工 事 名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	福地用水路 城山東３号線自由勾配側溝一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	73 の 32
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

福地用水路 切廻し道路平面図（１）S=1:300

Ｂ－Ｂ断面



コンクリート擁壁撤去(t=35cm) H=0.90 L=4.34m V=1.37m3
コンクリート擁壁撤去(t=50cm) H=1.5～2.7 L=5.47m V=5.74m3
コンクリート擁壁撤去(t=35cm) H=0.90 L=12.90m V=4.06m3
コンクリート擁壁撤去(t=50cm) H=2.0～2.8 L=19.30m V=23.16m3
ブロック積み擁壁撤去 L=33.62m
防護柵撤去(ガードレール) L=60.50m
区画線消去(W=15cm左) L=12.3+30.3+53.2=95.8m （中央）L=48.1+108.3=156.4m （右）L=30.0+16.1+128.6=174.7m
重力式擁壁(GW36) L=25.06m
仮設ガードレール設置 L=63.0m
現場打函渠 B2000-H600 L=4.63m
プレキャストU型側溝設置(300B) L=20.80m
重力式擁壁H=1.7～2.8m L=25.06m

アスファルト舗装 A=130.00m2
排水溝撤去(U1000×1000) L=26.42m
舗装版破砕(t=5cm) A=130.00m2
舗装版切断(t=5cm) L=4.98m
舗装版切断(t=5cm) L=5.67m
メッシュフェンス L=7.50m
舗装版切断(t=5cm) L=11.23m
溶融式区画線 車道外側線(白 実線 W=15cm) L=137.90m
張りコンクリート(t=7cm) A=1.33m2
張りコンクリート(t=7cm) A=2.15m2
片開き門扉 N=1

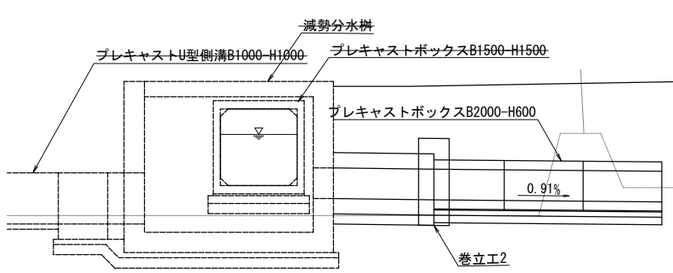
アスファルト舗装 A=160.7m2
舗装版破砕(t=5cm) A=51.30m2
舗装版切断(t=5cm) L=3.40m
舗装版破砕(t=5cm) A=50.13m2
舗装版切断(t=5cm) L=5.50m
舗装版切断(t=5cm) L=2.50m
L型側溝撤去(B450) L=19.50m
既設水路取壊し コンクリート擁壁 t=35cmφ830 V=0.19m3

プレキャストボックス (B2000×H600) L=6.02m
転落防止柵 (土中式) L=2.80m

溶融式区画線 車道中央線(白 実線 W=15cm) L=133.80m
溶融式区画線 進行方向矢印 右折 N=2箇所
溶融式区画線 車線境界線（白 実線 W=15cm） L=30.00m
溶融式区画線 車線境界線（白 破線 W=15cm） L=20.00m
溶融式区画線 進行方向矢印 直進 N=2箇所
溶融式区画線 停止線(白 実線 W=45cm) L=6.50m
溶融式区画線 車道外側線(白 実線 W=15cm) L=128.70m



Ａ－Ａ断面



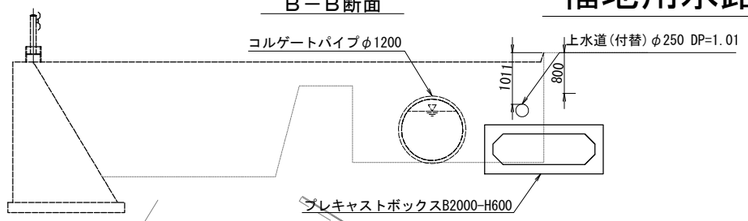
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

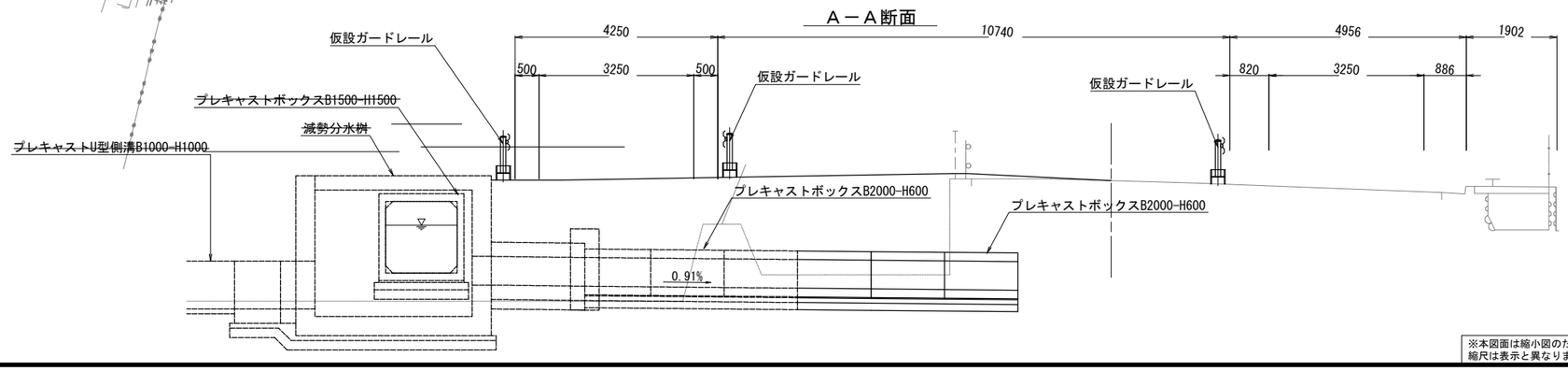
工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 切廻し道路平面図（１）		
縮尺	1/300	図面番号	73 の 33
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 切廻し道路平面図（２） S=1:300

Ｂ－Ｂ断面



Ａ－Ａ断面



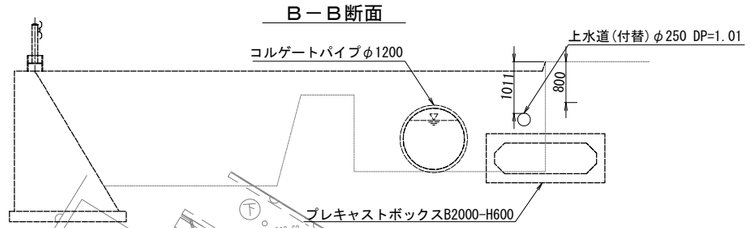
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

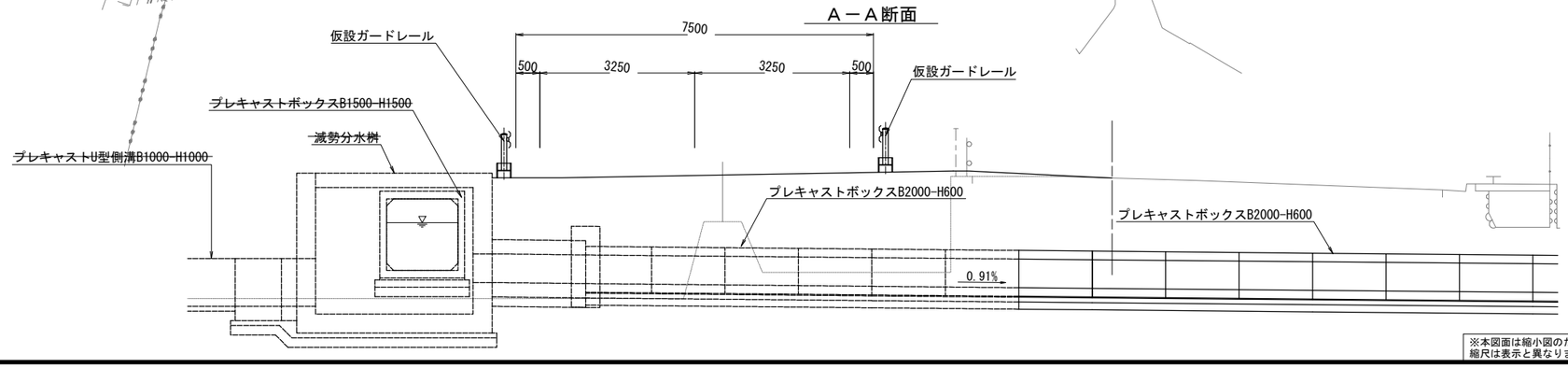
工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 切廻し道路平面図（２）		
縮尺	1/300	図面番号	73 の 34
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

福地用水路 切廻し道路平面図（３） S=1:300

Ｂ－Ｂ断面



Ａ－Ａ断面



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（福地用水路）

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	福地用水路 切廻し道路平面図（３）		
縮尺	1/300	図面番号	73 の 35
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

新屋擁壁 平面図　S=1:500

工事起点　NO.87+0.00
工事終点　NO.88+1.96

N

上吉田市
上吉田
城山南
東小倉
新屋
福地用水路
国道139号（富士見バイパス）
国道139号線
市道城山東2号線
市道城山東3号線
市道小泉地区1号線

NO.1
NO.2
NO.3
NO.4
NO.85
NO.86
NO.87
NO.88
NO.89
NO.90
NO.91
NO.92
NO.93
NO.94
NO.95
NO.96
NO.97
NO.98
NO.99
NO.100

重力式擁壁⑳ 逆L型擁壁
H=1.3～2.0 L=14.46m L=7.50m

滞留長 100.00m
テーパー長 30.00m
本線シフト長 40.00m

都市型側溝桝 D300 N=1
都市型側溝 D300
(始部) L=16.80m
都市型側溝 D300
(終部) L=10.40m
歩車道境界ブロック
(切下げ部) L=9.70m
(すり付け部) L=0.60m
WU-D300 L=5.40m
都市型側溝桝 D300 N=1
横断勾配側溝 自由勾配側溝
B600×H700 B300×H250
L=16.80m L=10.40m
集水桝G2 B500×L500×H1200
集水桝G2 B800 L800 H1800

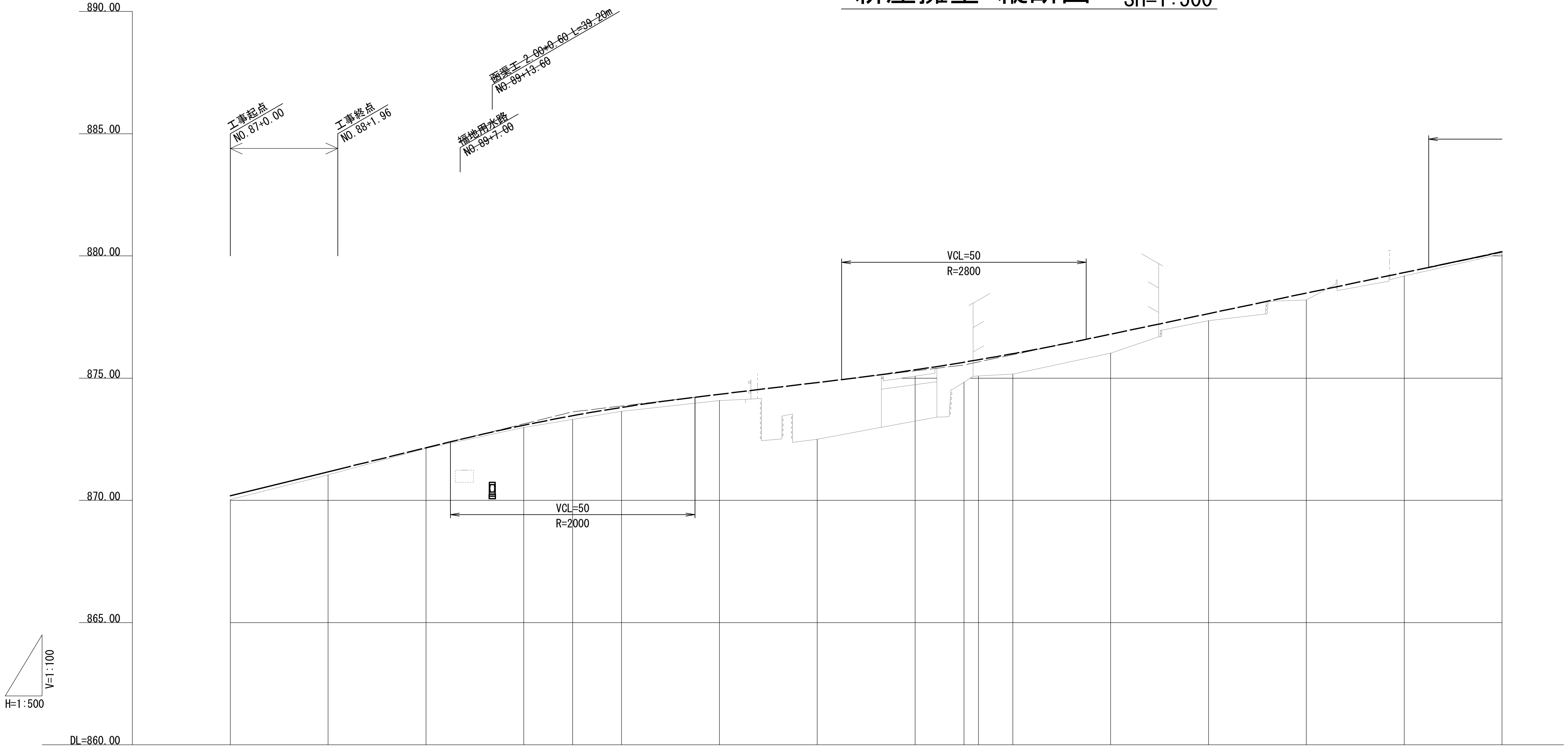
U型水路
B2000×H1300
L=16.80m
ボックスカルバート
B2000×H900
転落防止柵 L=9.22m
（コンクリート建込用）
L=9.30m

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	新屋擁壁 平面図		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 36
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

（新屋擁壁工）

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

新屋擁壁 縦断図 SV=1:100 SH=1:500



勾配	870.190	i=4.900% L=350.000			873.620		i=2.400% L=80.000			875.540				i=4.200% L=120.000			880.160
盛土	0.150	0.130	0.020	0.094	0.154	0.164	0.260	2.320	0.261	0.823	0.661	0.831	0.780	0.290	0.280	0.140	0.085
切土																	
計画高	870.190	871.170	872.150	873.074	873.464	873.804	874.340	874.820	875.341	875.653	875.751	876.001	876.800	877.640	878.480	879.320	880.175
地盤高	870.04	871.04	872.13	872.98	873.31	873.64	874.08	872.50	875.08	874.83	875.09	875.17	876.02	877.35	878.20	879.18	880.09
追加距離	1740.000	1760.000	1780.000	1800.000	1810.000	1820.000	1840.000	1860.000	1880.000	1890.000	1892.964	1900.000	1920.000	1940.000	1960.000	1980.000	2000.000
単距離	20.000	20.000	20.000	20.000	10.000	10.000	20.000	20.000	20.000	10.000	2.964	7.036	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000
測点	NO.87	NO.88	NO.89	NO.90	+10	NO.91	NO.92	NO.93	NO.94	+10	EC5	NO.95	NO.96	NO.97	NO.98	NO.99	NO.100
曲線方向					R=1000 L=180.809									R=∞ L=165.499			
片勾配すりつけ図	-2.0%																
拡幅すりつけ図																	

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（新屋擁壁工）

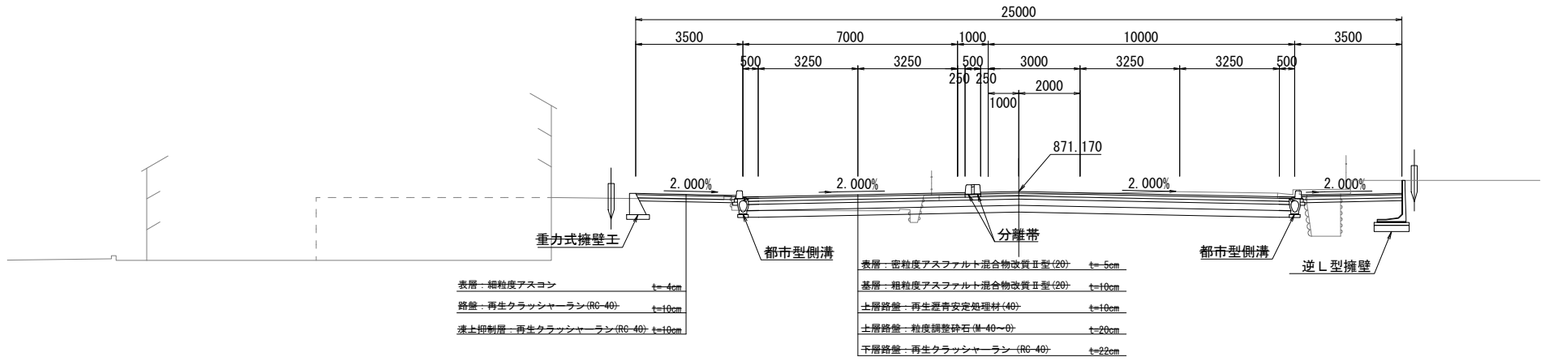
工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	新屋擁壁 縦断図		
縮尺	V=1/100 H=1/500	図面番号	73 の 37
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

新屋擁壁 標準横断図 S=1:100

設計条件

路　線　名	国道138号
道路規格	第4種第1級
設計速度	V=60km/h
交通量区分	N6(1000≦T＜3000)
設計期間	20年
疲労破壊輪数	14,000,000回/20年
信頼性	90%
設計CBR	4%

交　差　点　部
NO.88+00
GH=871.04
FH=871.170



（新屋擁壁工）

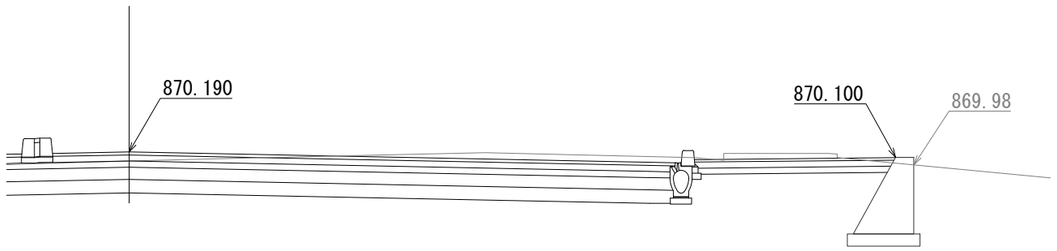
工　事　名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図　面　名	新屋擁壁 標準横断図		
縮　　尺	1/100	図面番号	73 の 38
年　月　日	令和　8 年　1 月　　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

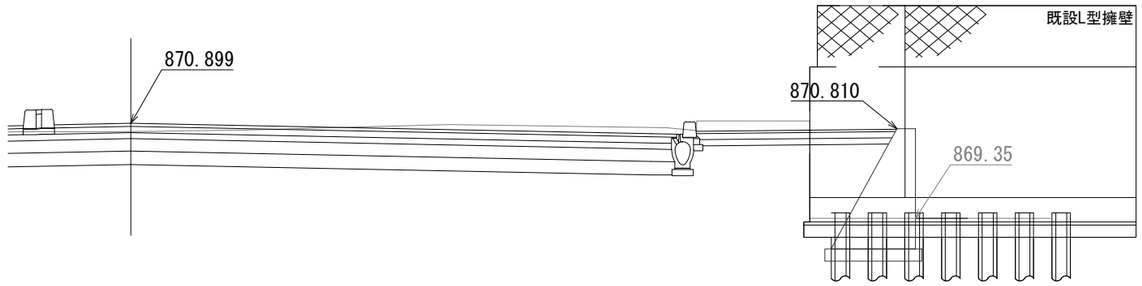
新屋擁壁 横断図　S=1:50

擁壁①
NO.87+0.00～NO.87+14.46　（右）

NO.87+0.00

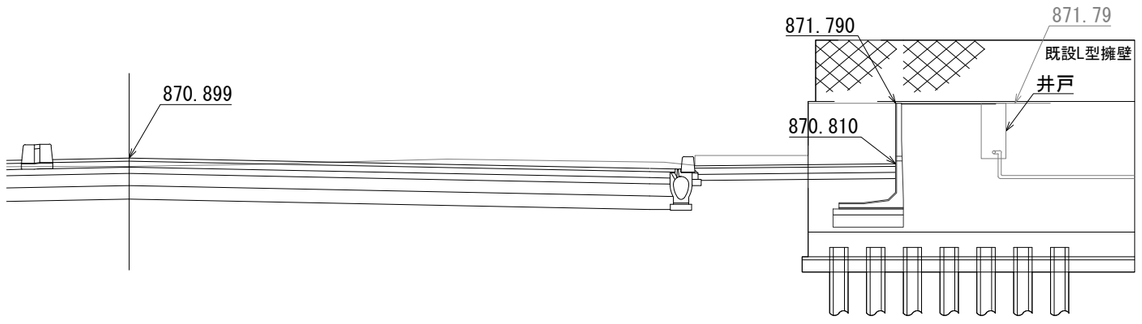


NO.87+14.46

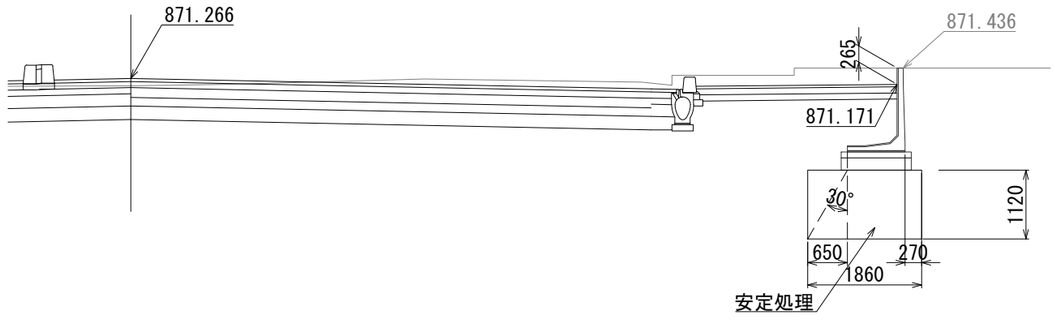


擁壁②
NO.87+14.46～NO.88+3.15　（右）

NO.87+14.46



NO.88+1.96



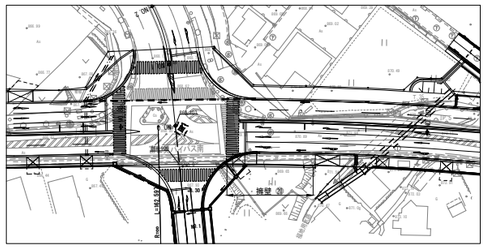
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（新屋擁壁工）

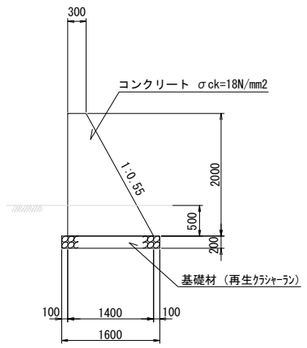
工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	新屋擁壁 横断図		
縮尺	1/50	図面番号	73 の 39
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

新屋擁壁 重力式擁壁一般図

位　置　図　S=1:1000

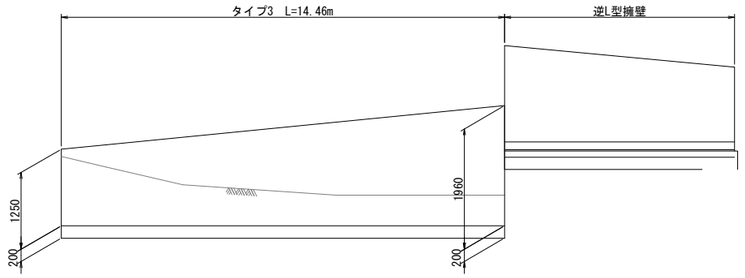


重力式擁壁
（標準設計；SGW69）



⑳　86+14.61～NO.88+3.15　（右）

V=1:50
H=1:100



重力式擁壁 材料表　　1式当り

名　称	規　格	単位	数 量	摘 要
基礎材	RC-40 t=20cm	－	有り	
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	17.70	
型枠		式	1.00	
目地材	樹脂発泡体t=20(30倍)	－	有り	
水抜きﾊﾟｲﾌﾟ	φ50	－	有り	
吸出し防止材	点在	－	有り	

（新屋擁壁工）

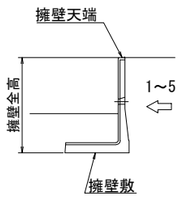
工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	新屋擁壁 重力式擁壁一般図		
縮　　尺	図 示	図面番号	73 の 40
年 月 日	令和　8 年　1 月　　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

新屋擁壁 逆L型擁壁一般図 S=1:30

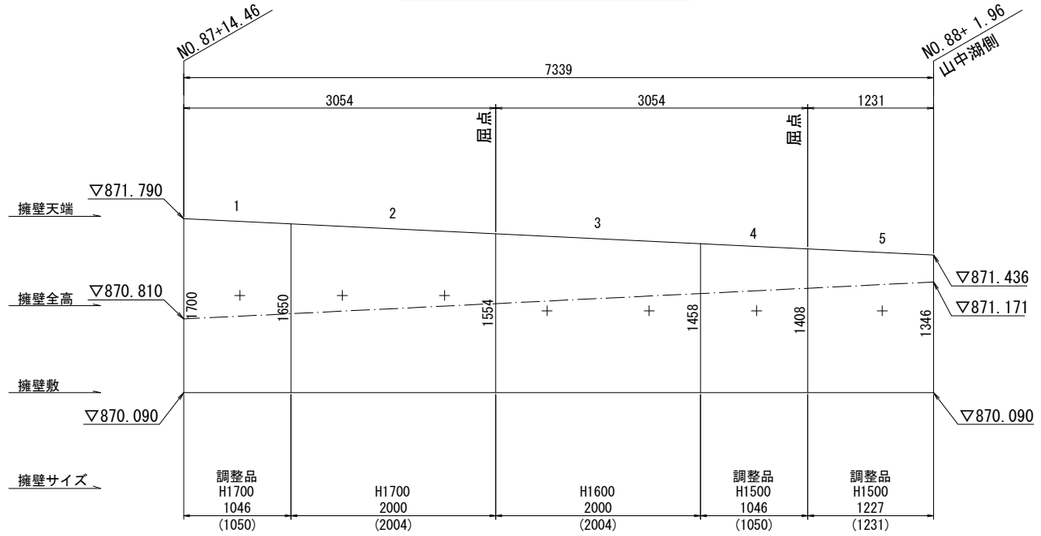
設 計 条 件

土圧公式	主働側	試行くさび法
	受働側	クーロン法
載荷重		q＝10kN/㎡
土のせん断抵抗角		φ＝30度
土の単位体積質量		γd＝19kN/?
滑動摩擦係数		μ＝0.6
鉄筋コンクリートの単位体積質量		γc＝24.5kN/?



逆L型擁壁展開図

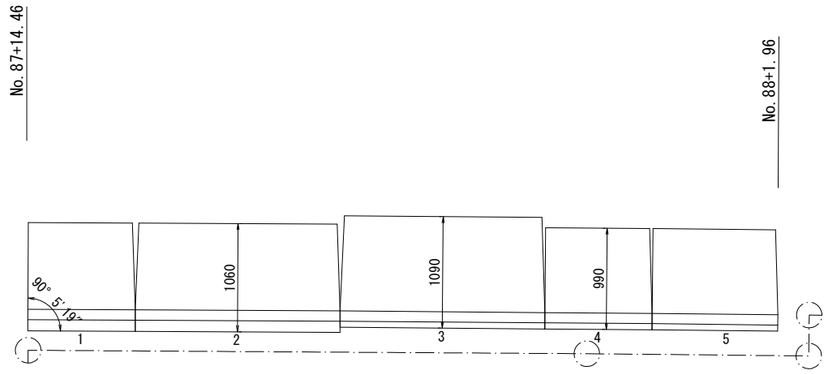
NO.87+14.46～NO.88+1.96 （右）



プレキャスト逆L型擁壁数量表　　天端スロープタイプ

製品番号	サイズ(mm)	規　格	数量	摘　要
4,5	1500	短　尺	2	L=1.046～1.227
3	1600	標準品	1	L=2.000
2	1700	標準品	1	L=2.000
1	1700	短　尺	1	L=1.046
計			5 本	

逆L型擁壁平面図

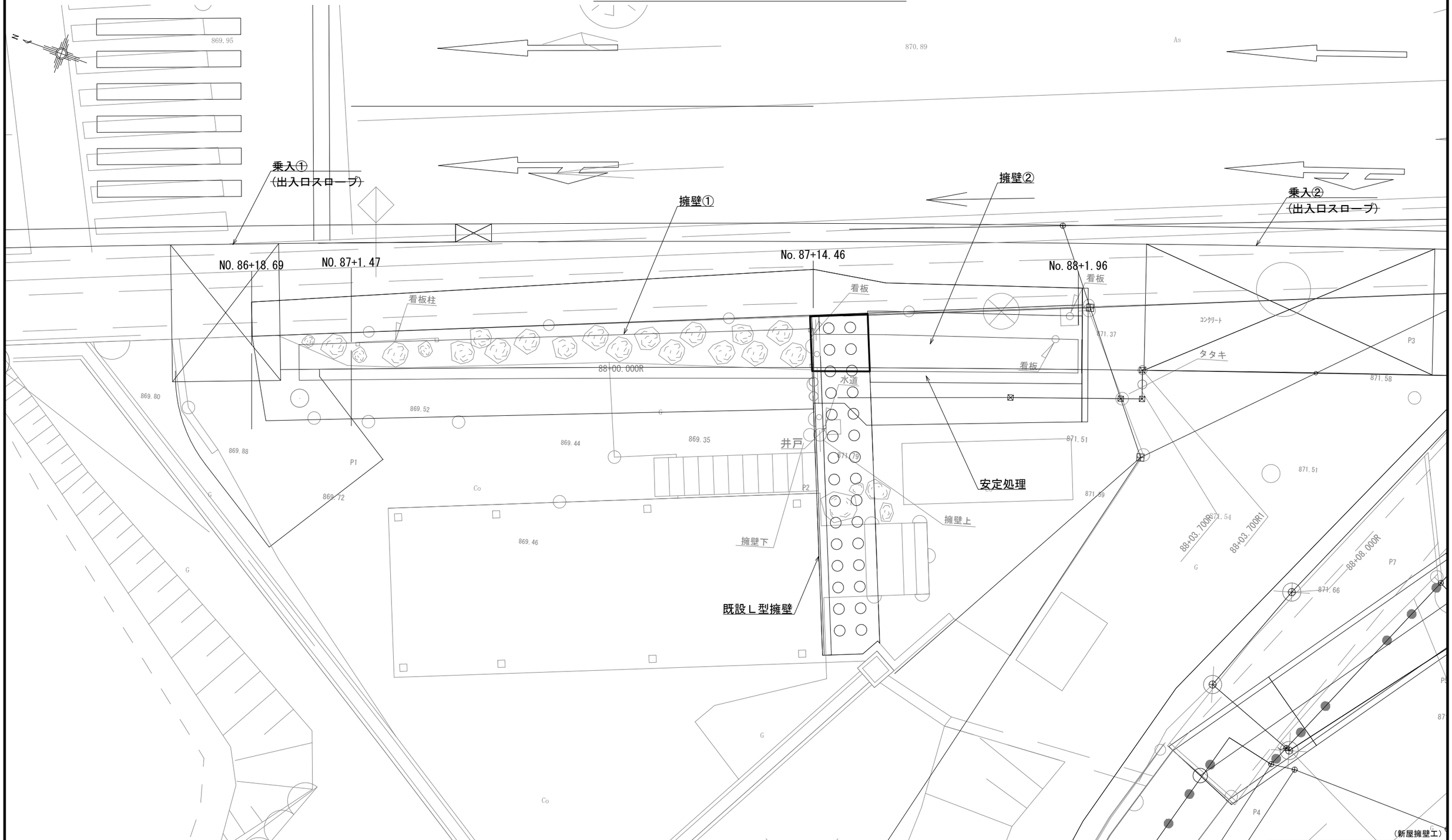


（新屋擁壁工）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	新屋擁壁工 逆L型擁壁展開図		
縮　尺	1/30	図面番号	73 の 41
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

新屋擁壁 詳細図（１）S=1:50



（新屋擁壁工）

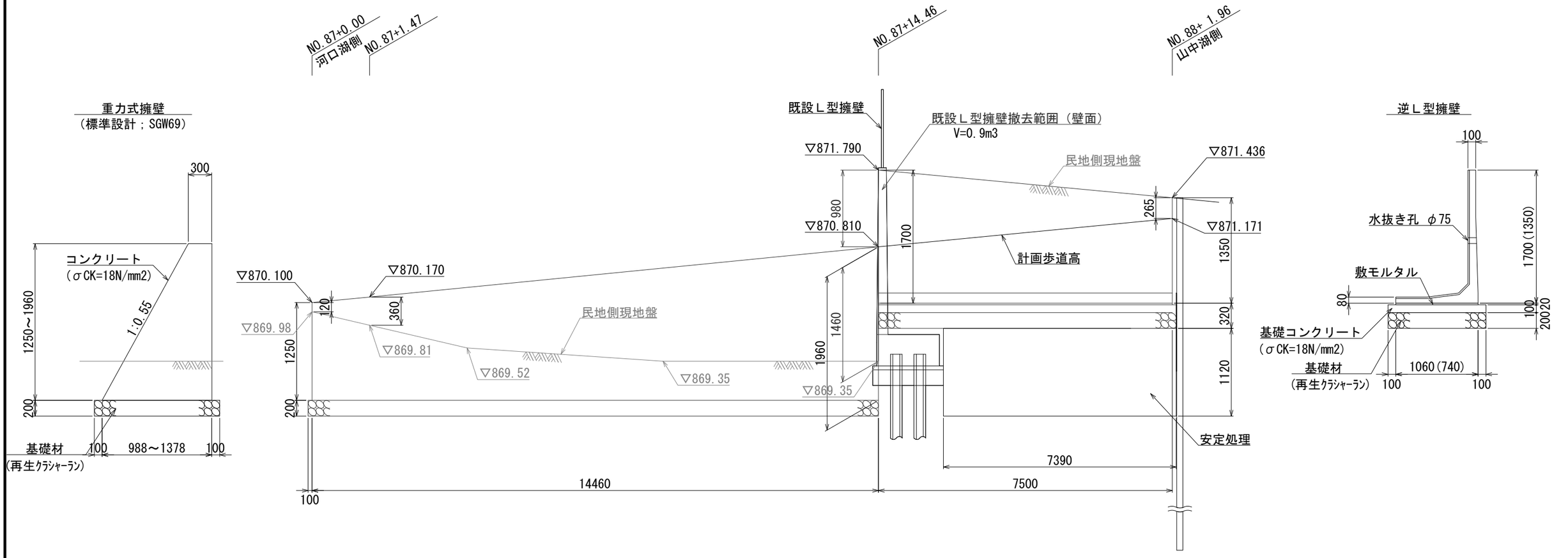
工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	新屋擁壁 詳細図（１）		
縮 尺	1/50	図面番号	73 の 42
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

新屋擁壁 詳細図（２） S=1/50

擁壁①
NO.87+0.00～NO.87+14.46 （右）

擁壁②
NO.87+14.46～NO.88+3.15 （右）

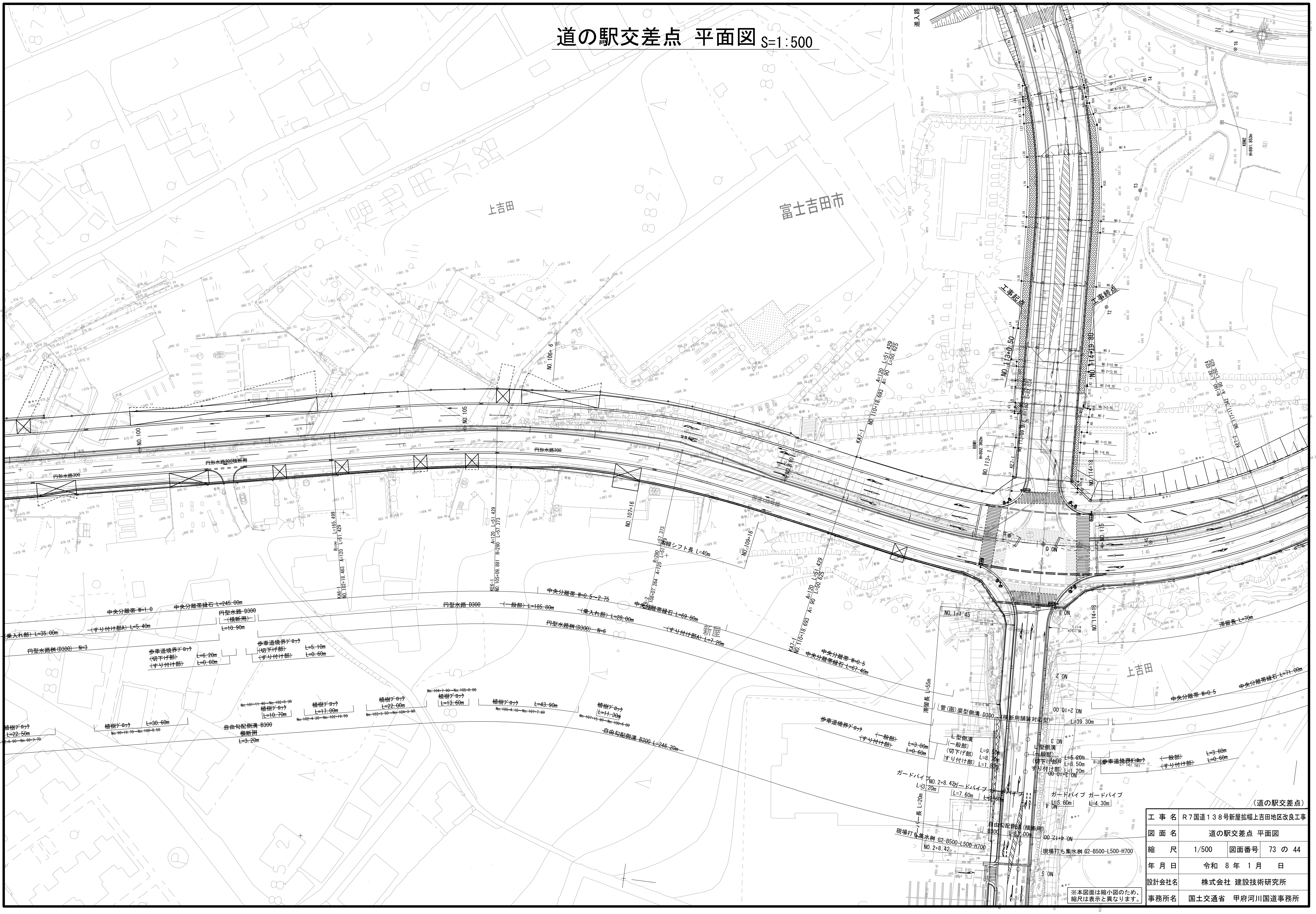


（新屋擁壁工）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	新屋擁壁 詳細図（２）		
縮 尺	1/50	図面番号	73 の 43
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

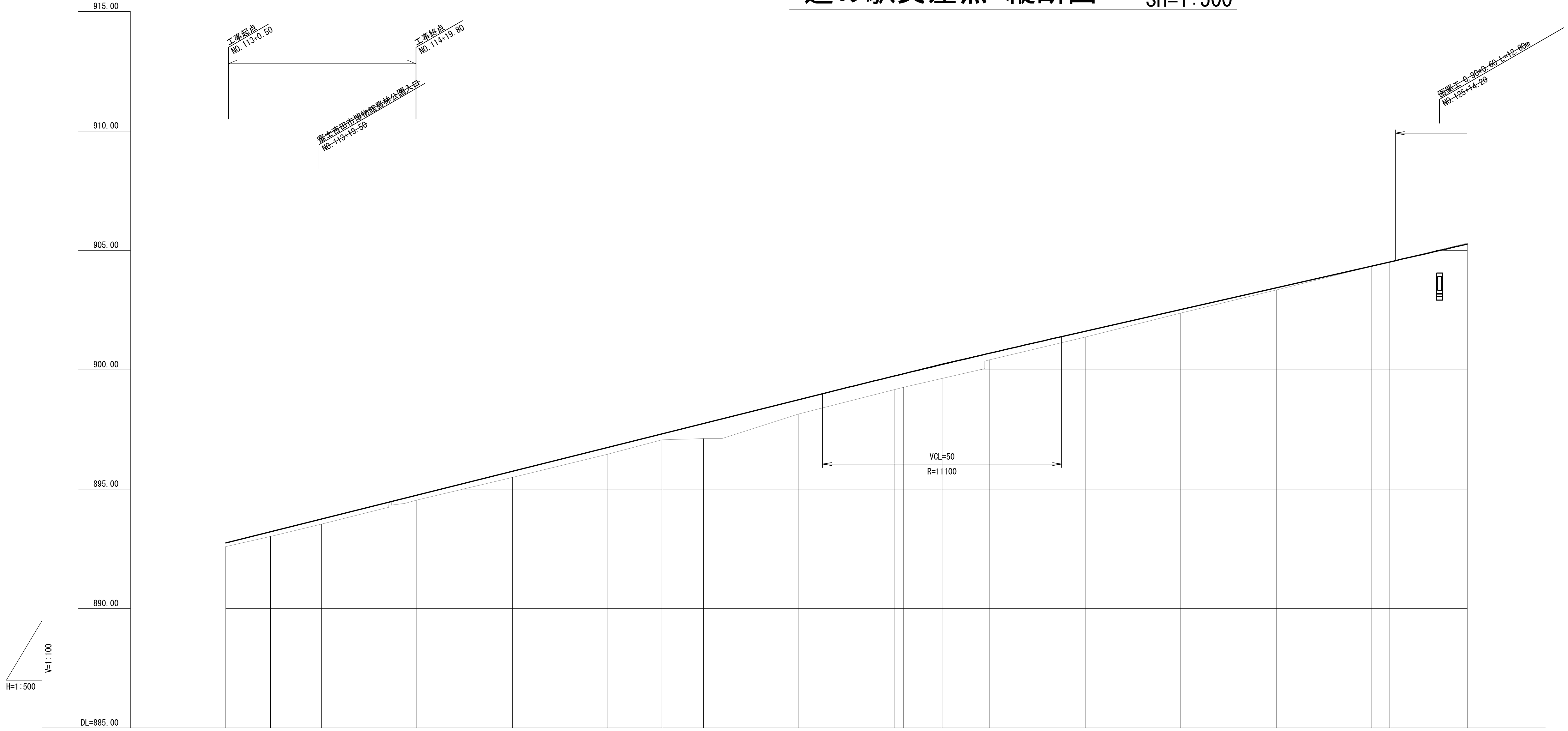
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

道の駅交差点 平面図 S=1:500



工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	道の駅交差点 平面図		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 44
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

道の駅交差点 縦断図 SV=1:100 SH=1:500



勾配	892.750	i=5.000% L=180.000	900.250	i=4.550% L=120.000	905.255

測点	NO.113	KE7-1	NO.114	NO.115	NO.116	NO.117	KE7-2	NO.118	NO.119	NO.120	KA7-2	+10	NO.121	NO.122	NO.123	NO.124	NO.125	KA8-1	NO.126
盛土	0.150	0.196	0.210	0.210	0.260	0.280	0.247	0.630	0.600	0.570	0.565	0.582	0.275	0.245	0.145	0.095	0.015		
切土																		0.012	0.045
計画高	892.750	893.216	893.750	894.750	895.750	896.750	897.317	897.750	898.750	899.740	899.835	900.222	900.695	901.615	902.525	903.435	904.345	904.518	905.265
地盤高	892.60	893.02	893.54	894.54	895.49	896.47	897.07	897.12	898.15	899.17	899.27	899.64	900.42	901.37	902.38	903.34	904.33	904.53	905.31
追加距離	2260.000	2269.318	2280.000	2300.000	2320.000	2340.000	2351.342	2360.000	2380.000	2400.000	2401.967	2410.000	2420.000	2440.000	2460.000	2480.000	2500.000	2503.797	2520.000
単距離	20.000	9.318	10.682	20.000	20.000	20.000	11.342	8.658	20.000	20.000	1.967	8.033	10.000	20.000	20.000	20.000	20.000	3.797	16.203

曲線方向: A=90 L=50.625 / R=160 L=82.024 / A=90 L=50.625 / R=∞ L=101.830 / A=150 L=56.250

片勾配すりつけ図: -3.0%+3.0% / -3.0%+3.0% / -2.0%+2.0% / -2.0% / -2.0% / -2.0%+2.0%

拡幅すりつけ図: 0.25 0.25 / 0.25 0.25

(道の駅交差点)

工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事
図面名	道の駅交差点 縦断図
縮尺	V=1/100 H=1/500 図面番号 73 の 45
年月日	令和 8 年 1 月 日
設計会社名	株式会社 建設技術研究所
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所

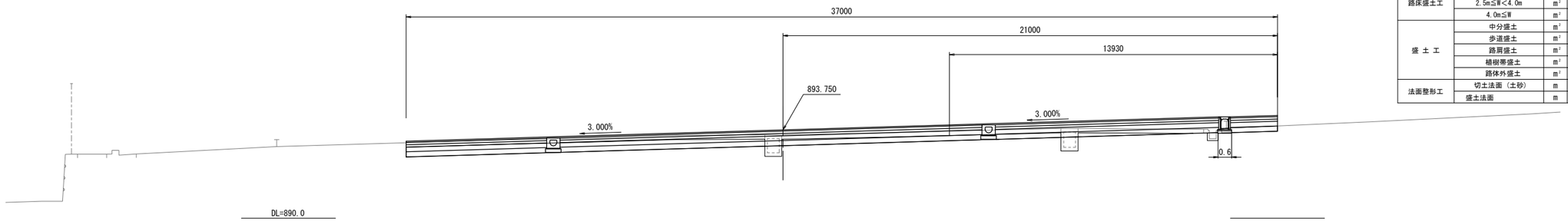
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

道の駅交差点 横断図 S=1:100

NO.114+00

GH=893.54

FH=893.750



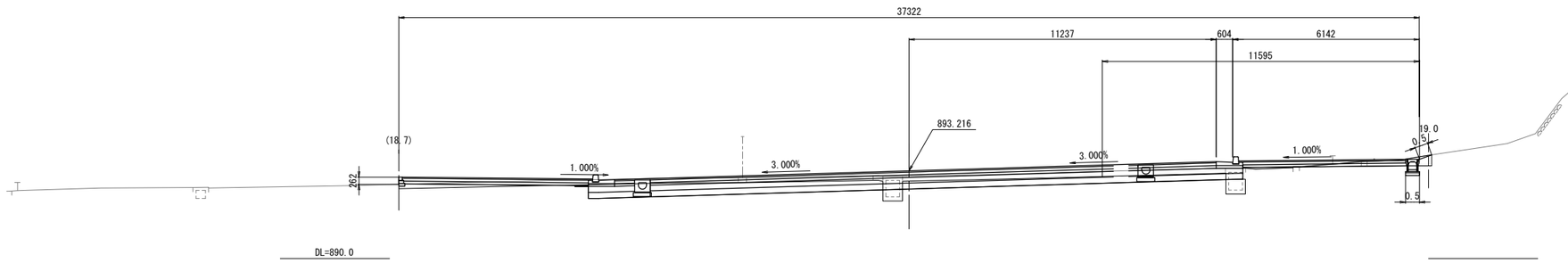
NO.114+0.000

項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削(土砂)	m³	1.0
	W<5.0m (土砂)	m³	0.9
路体盛土工	W<2.5m	m³	−
	2.5m≦W<4.0m	m³	−
	4.0m≦W	m³	−
路床盛土工	W<2.5m	m³	0.6
	2.5m≦W<4.0m	m³	−
	4.0m≦W	m³	−
盛 土 工	中分盛土	m³	−
	歩道盛土	m³	−
	路肩盛土	m³	−
	植樹帯盛土	m³	−
	路体外盛土	m³	−
法面整形工	切土法面 (土砂)	m	−
	盛土法面	m	−

KE.7-1 (NO.113+9.318)

GH=893.02

FH=893.216



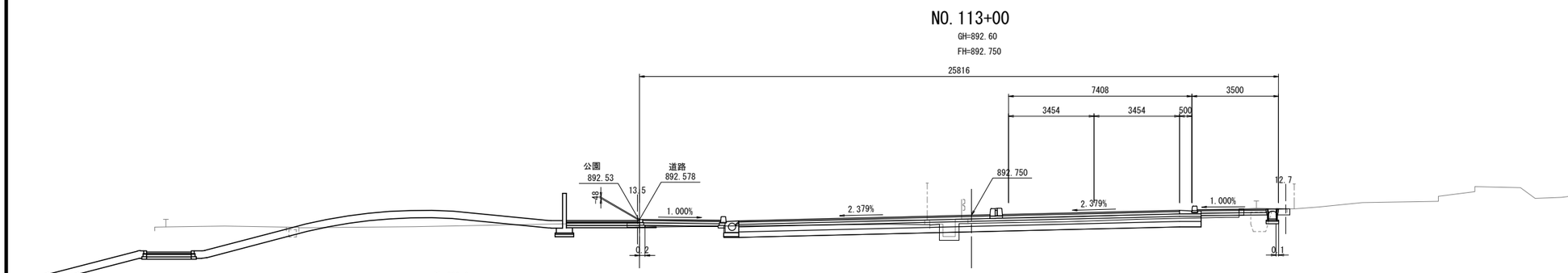
NO.113+9.318

項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削(土砂)	m³	1.1
	W<5.0m (土砂)	m³	0.8
路体盛土工	W<2.5m	m³	0.4
	2.5m≦W<4.0m	m³	−
	4.0m≦W	m³	−
路床盛土工	W<2.5m	m³	−
	2.5m≦W<4.0m	m³	−
	4.0m≦W	m³	−
盛 土 工	中分盛土	m³	−
	歩道盛土	m³	0.1
	路肩盛土	m³	−
	植樹帯盛土	m³	−
	路体外盛土	m³	−
法面整形工	切土法面 (土砂)	m	−
	盛土法面	m	−

NO.113+00

GH=892.60

FH=892.750



NO.113+0.000

項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削(土砂)	m³	0.7
	W<5.0m (土砂)	m³	−
路体盛土工	W<2.5m	m³	−
	2.5m≦W<4.0m	m³	−
	4.0m≦W	m³	−
路床盛土工	W<2.5m	m³	0.4
	2.5m≦W<4.0m	m³	−
	4.0m≦W	m³	−
盛 土 工	中分盛土	m³	−
	歩道盛土	m³	0.6
	路肩盛土	m³	−
	植樹帯盛土	m³	−
	路体外盛土	m³	−
法面整形工	切土法面 (土砂)	m	−
	盛土法面	m	−

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

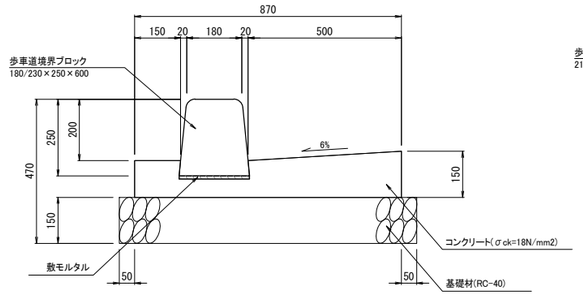
(道の駅交差点)

工 事 名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	道の駅交差点 横断図		
縮 尺	1/100	図面番号	73 の 46
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

道の駅交差点 小構造物詳細図（１） S=1:10

L型側溝

（一般部）

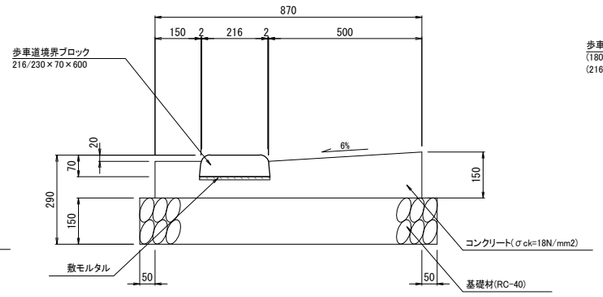


材料表

10m当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40, t=150	m2	9.7	
敷モルタル	1：3	式	1	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.984	
型枠		式	1	
歩車道境界ブロック	180/230×250×600	個	16.5	L=600

（切下げ部）

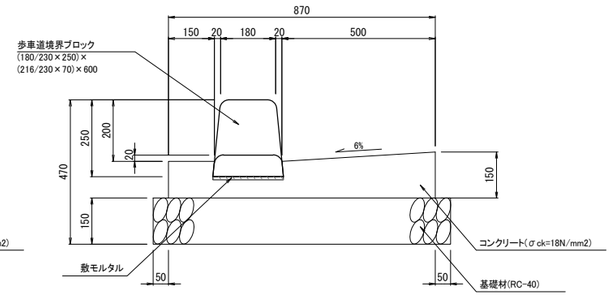


材料表

10m当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40, t=150	m2	9.7	
敷モルタル	1：3	式	1	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.984	
型枠		式	1	
歩車道境界ブロック	216/230×70×600	個	16.5	L=600

（すり付け部）



材料表

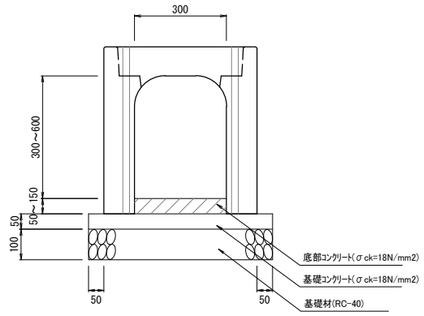
10m当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40, t=150	m2	9.7	
敷モルタル	1：3	式	1	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.984	
型枠		式	1	
歩車道境界ブロック	(180/230×250)× (216/230×70×600	個	16.5	L=600

自由勾配側溝

B300

（横断用）



材料表

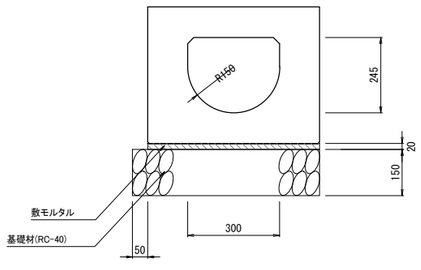
10m当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40, t=100	式	1	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	式	1	
底部コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.30	t=100
型枠		式	1	
可変側溝		個	5.0	L=2000
側溝用蓋	300用	枚	10.0	L=500

管(函)渠型側溝

（横断用-舗装対応型）

D300

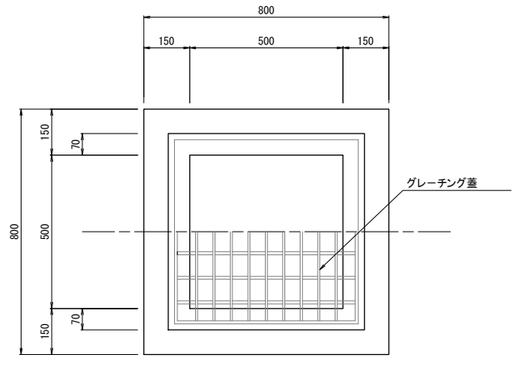


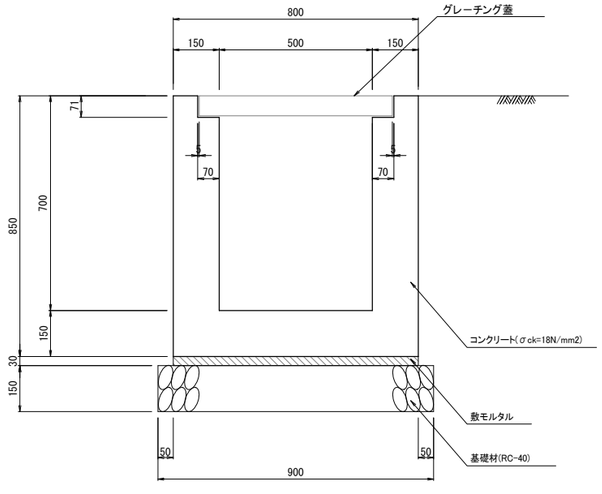
材料表

10m当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40, t=150	式	1	
敷モルタル	1：3	式	1	
円型水路		個	5.0	L=1995

集水桝G2型





集水桝 G2型 材料表

1箇所当り

種別	規格・寸法	単位	G2-B500-L500 -H700 (2)
基礎材	RC-40 t=150	m2	0.81
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.36
型枠		式	1
グレーチング蓋	T-25	枚	1.0

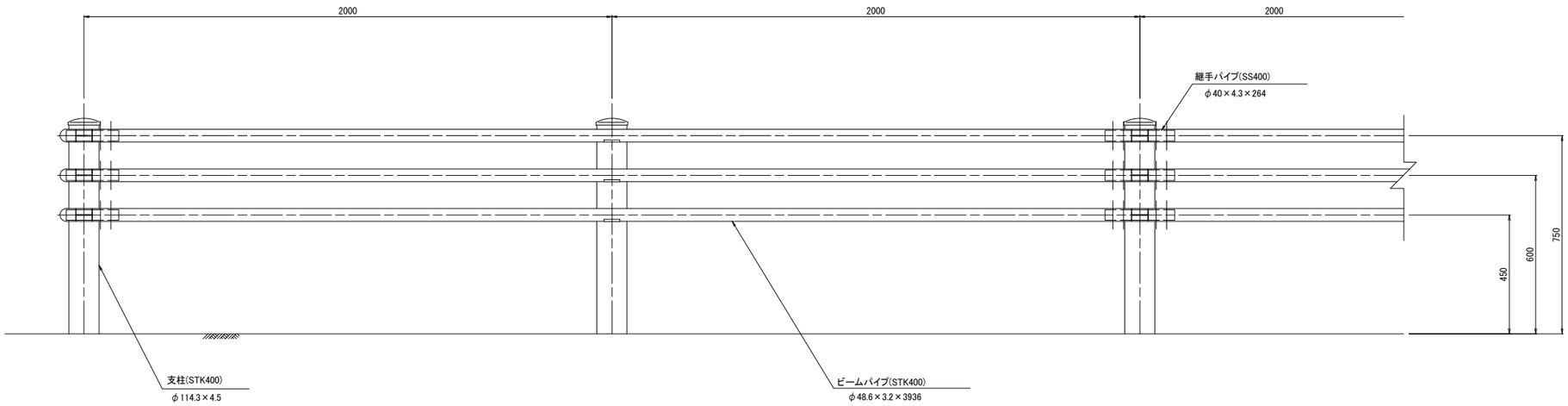
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

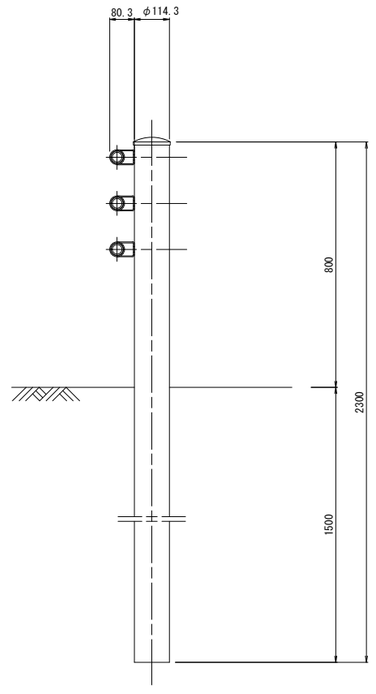
（道の駅交差点）

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	道の駅交差点 小構造物詳細図（１）		
縮尺	1/10	図面番号	73 の 47
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

道の駅交差点 小構造物詳細図（２） S=1:10

ガードパイプ Gp-Bp-2E





材 料 表

10m当り

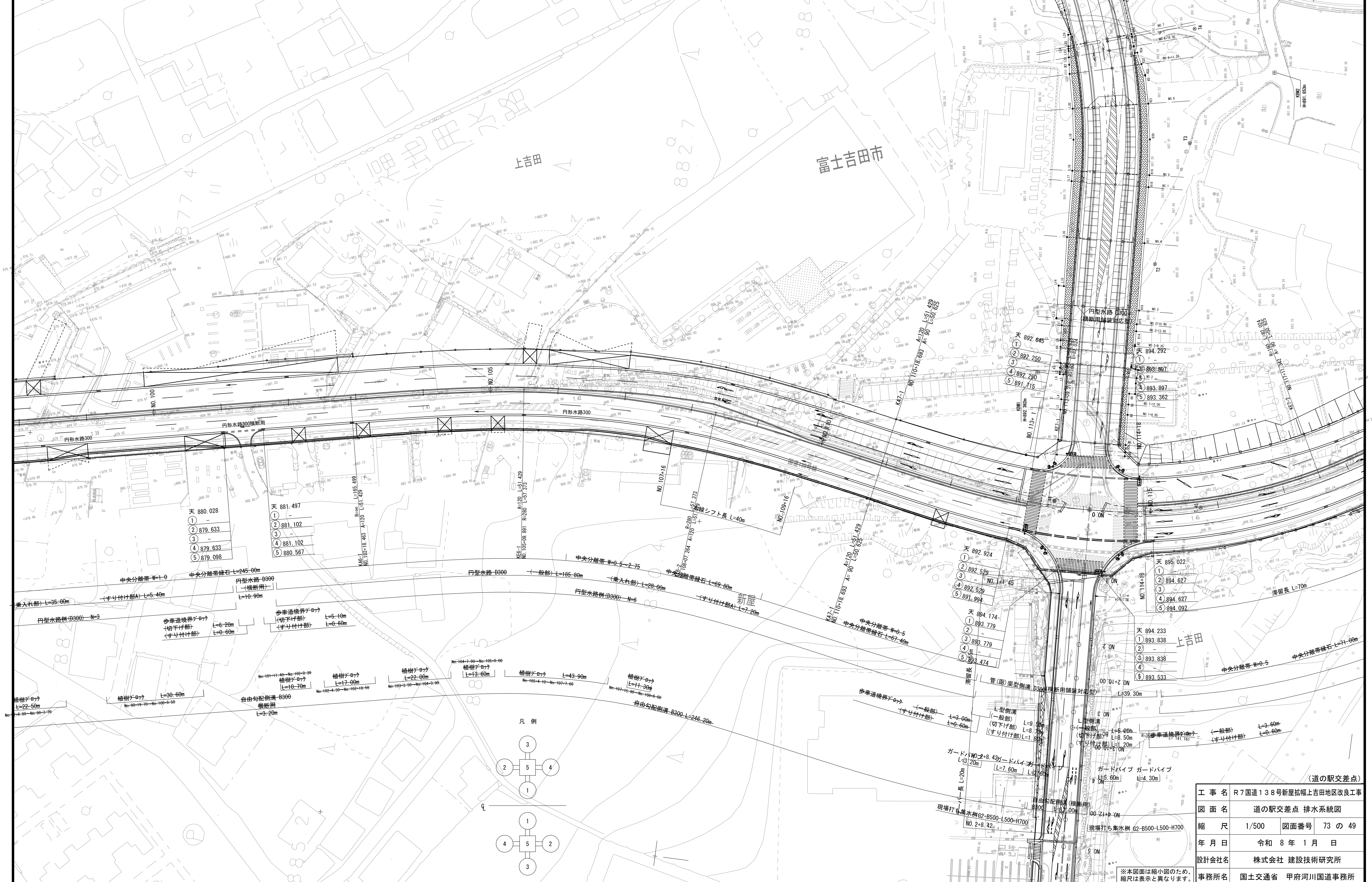
種　別	規格・寸法	単位	数　量	摘　要
ガードパイプ	Gp-Bp-2E	m	10.0	景観色

（道の駅交差点）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	道の駅交差点 小構造物詳細図（２）		
縮　尺	1/10	図面番号	73 の 48
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

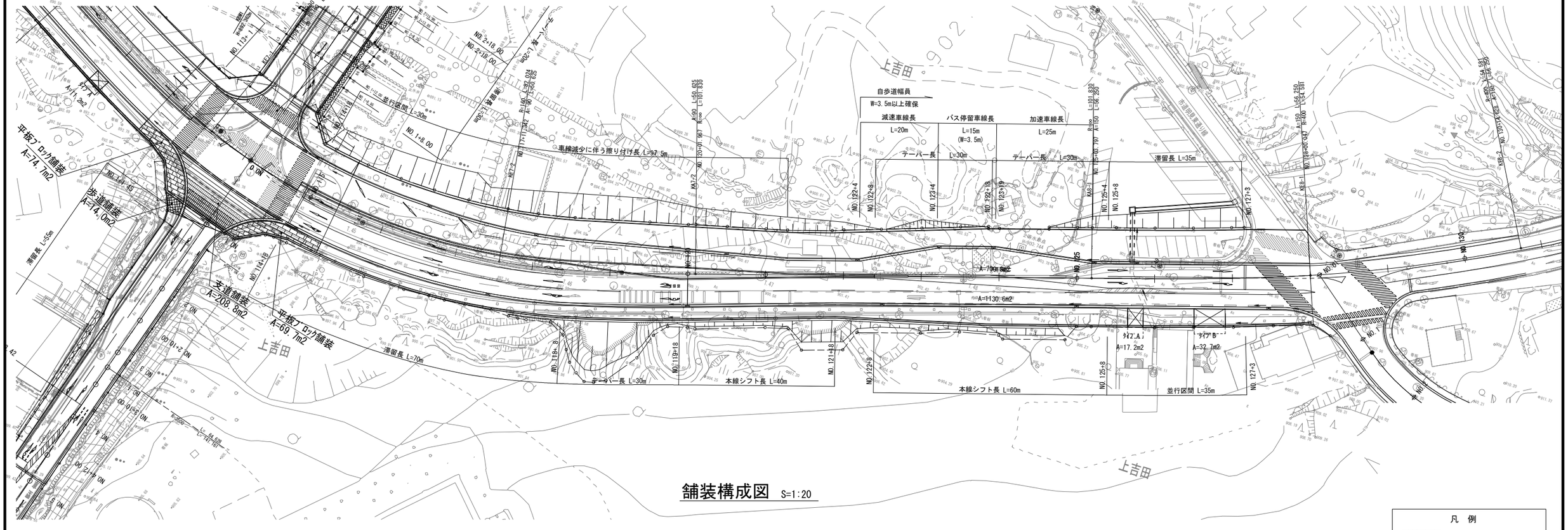
道の駅交差点 排水系統図 S=1:500



工 事 名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	道の駅交差点 排水系統図		
縮 尺	1/500	図面番号	73 の 49
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

道の駅交差点 舗装平面図

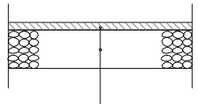
舗装平面図 S=1:500



舗装構成図 S=1:20

車道舗装

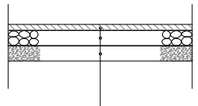
支道舗装



アスファルト舗装　支道舗装			
表　層 ：	密粒度アスファルト混合物(20)	t=	5cm
路　盤 ：	粒度調整砕石(M40)	t=	25cm

歩道舗装

一般部



透水性舗装　歩道舗装			
表　層 ：	透水性アスコン(13)	t=	4cm
路　盤 ：	再生クラッシャーラン(RC-40)	t=	10cm
路　盤 ：	フィルター層　　砂	t=	10cm

透水性平板ブロック舗装



透水性平板ブロック舗装　歩道舗装			
表　層 ：	透水性コンクリート平板ブロック	t=	6cm
	敷砂	t=	3cm
路　盤 ：	再生クラッシャーラン(RC-40)	t=	10cm
凍上抑制層：	再生クラッシャーラン(RC-40)	t=	10cm

凡　例

- 歩道舗装(一般部)
- 歩道舗装(平板ﾌﾞﾛｯｸ)
- 支道舗装

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（道の駅交差点）

工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	道の駅交差点 舗装平面図		
縮　尺	図示	図面番号	73 の 50
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

道の駅交差点 区画線平面図（１） S=1:500

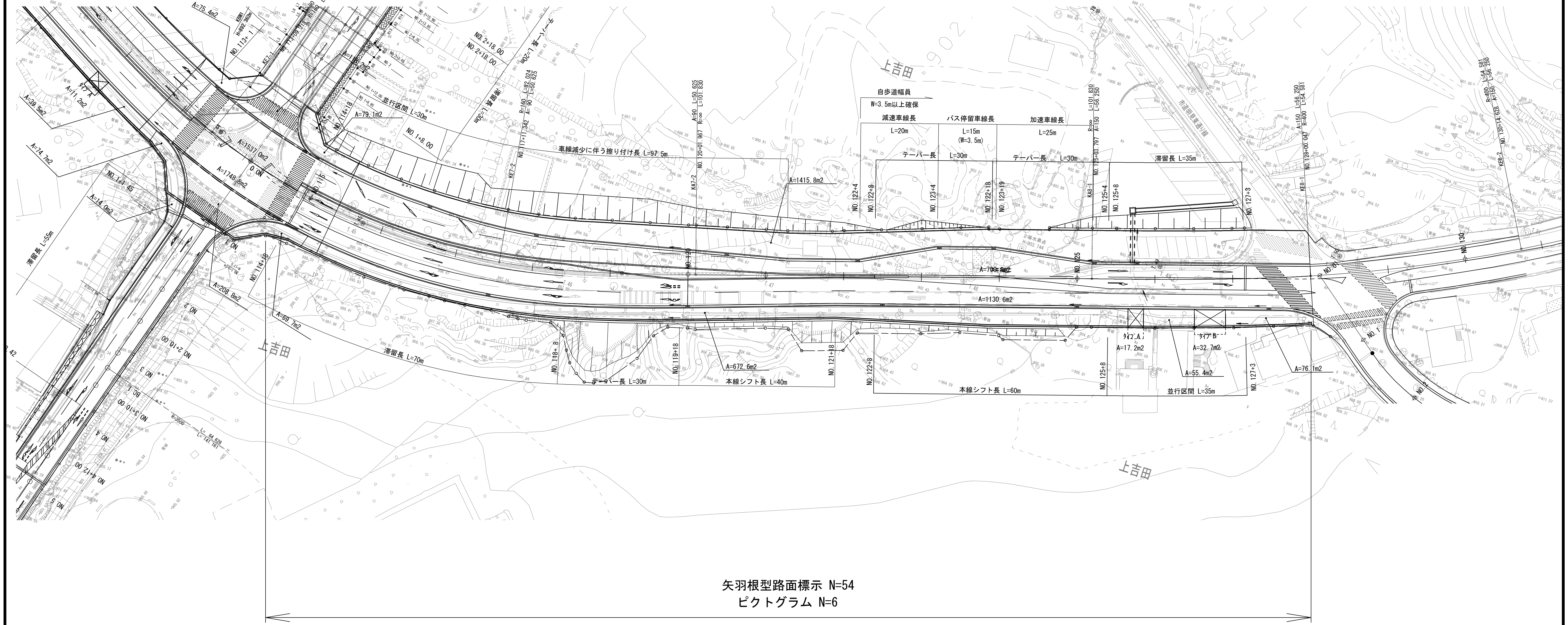


（道の駅交差点）

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	道の駅交差点 区画線平面図（１）		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 51
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

道の駅交差点 区画線平面図（２） S=1:500



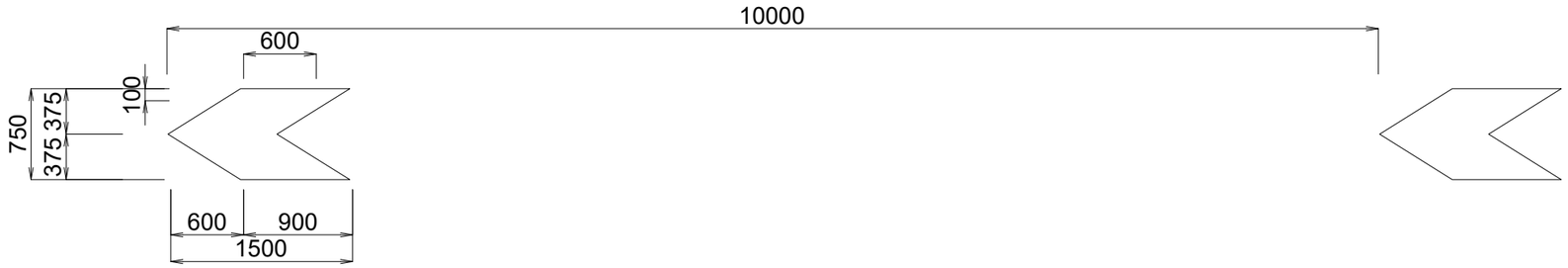
（道の駅交差点）

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	道の駅交差点 区画線平面図（２）		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 52
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

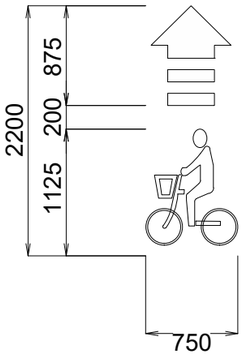
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

道の駅交差点 路面標示詳細図 S=1:25

矢羽根型路面表示(単路部 W=75cm)



ピクトグラム

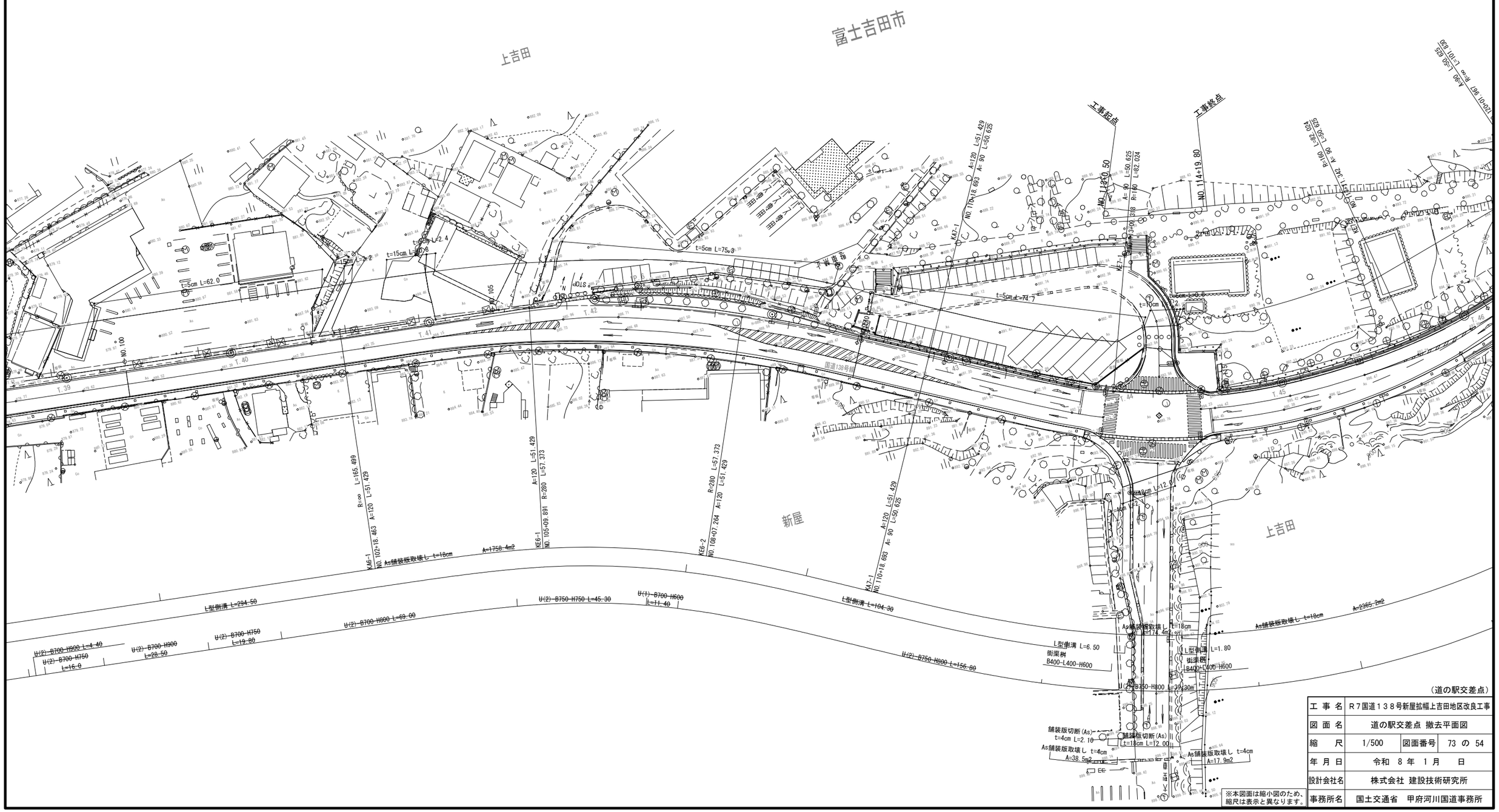


（道の駅交差点）

工 事 名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	道の駅交差点 路面標示詳細図		
縮 尺	1/25	図面番号	73 の 53
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

道の駅交差点 撤去平面図 S=1:500



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

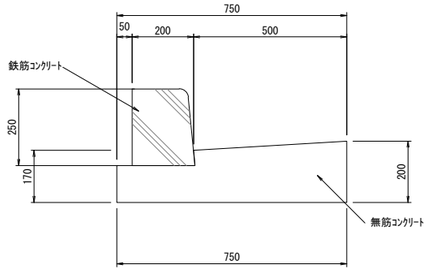
（道の駅交差点）

工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	道の駅交差点 撤去平面図		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 54
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

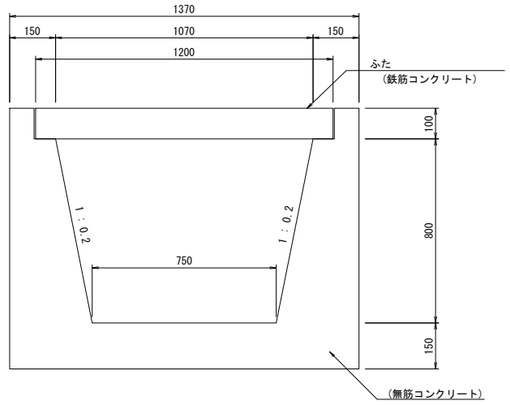
道の駅交差点 撤去詳細図 S=1:10

構造物取壊し

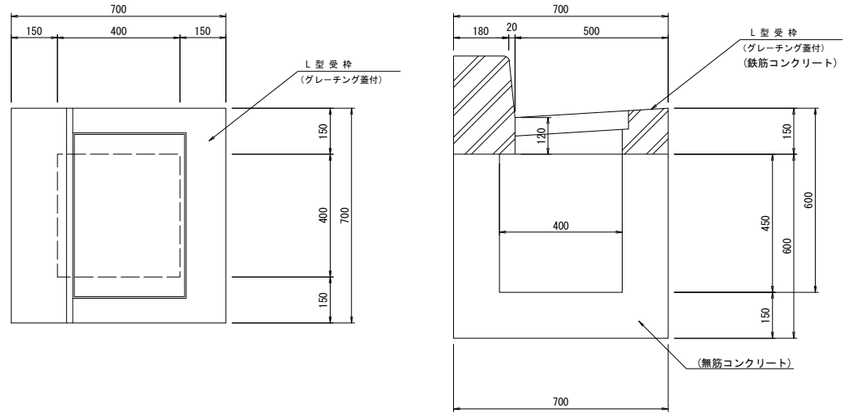
L型側溝



U(2)-B750-H800



街渠桝 B400-L400-H600



L型側溝 撤去数量表 10m当り

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	m3	1.22	
構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)	m3	0.48	

U（2）*B750-H800 撤去数量表 10m当り

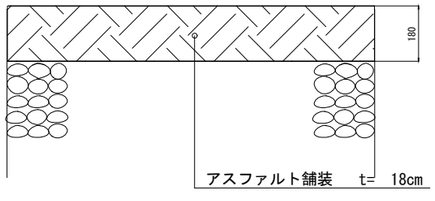
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	m3	5.90	
構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)	m3	1.20	

街渠桝 撤去数量表 1箇所当り

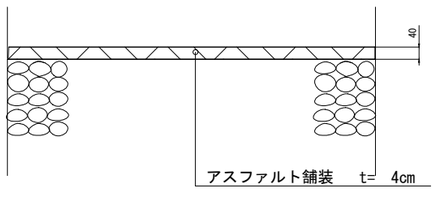
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
L型受け枠撤去		組	1.00	
構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	m3	0.07	

舗装版取壊し

車道舗装



歩道舗装



舗装版取壊し 数量表 100m2当り

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	t=18cm	m3	18.0	

舗装版取壊し 数量表 100m2当り

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	t=18cm	m3	18.0	

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（道の駅交差点）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	道の駅交差点 撤去詳細図		
縮 尺	1/10	図面番号	73 の 55
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

上宿交差点 平面図 S=1:500

工事起点

工事終点

NO.0+0.00

NO.1+9.61

NO.2+19.61

NO.3

NO.4

NO.5

NO.5+4.61

NO.6+19.61

NO.7+9.61

NO.8

NO.9

NO.10

NO.7+19.61

NO.7+40.000 R=60 L=42.000

NO.5+00.000 R=∞ L=42.000

国道139号線

国道138号線

富士宮

富士吉田市

上吉田六丁目

上吉田七丁目

上町

上吉田

浅間下

R=60m

R=180m

R=470m

テーパー長 L=45m

本線シフト長 L=80m

滞留長 L=30m

車線分離標
N=32基

プレキャストL型側溝 自由勾配側溝 B300×H400
B300-H300 L=5.40m 自由勾配側溝 L=27.40m

L型側溝(平坦部)
L=4.80m L=4.10m

円形水路用型桝 (D300)

仮設ガードレール L=8.3m

仮設ガードレール L=3.9m

仮設ガードレール L=22.7m

仮設ガードレール L=27.1m

仮設ガードレール L=11.0m

仮設ガードレール L=29.5m

単管バリケード L=8.3m

単管バリケード L=22.7m

単管バリケード L=27.1m

単管バリケード L=11.0m

単管バリケード L=30.7m

地先境界ﾌﾞﾛｯｸ L=6.0m

地先境界ﾌﾞﾛｯｸ L=6.50m

既存水路 H=800(R)
コンクリート充填 n=1

暗渠排水管(取付管) L=8.40m

現場打ち集水桝G2-B500-L500-H700(1)

現場打ち集水桝G2-B500-L500-H1300

プレキャストボックス 1100×500 L=14.00m

自由勾配側溝 B300×H900～1100, L=88.60m (H900-L28.6m,H1000-L34.0m,H1100-L26.0m)

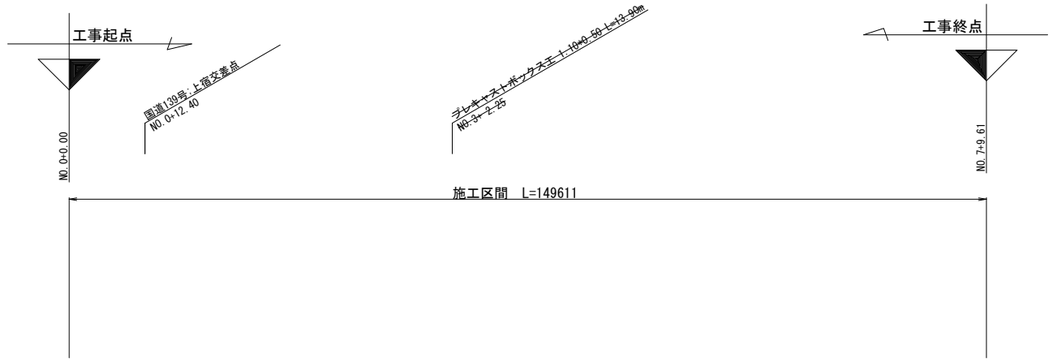
現場打ち集水桝G2-B800-L1300-H1200

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

(上宿交差点)

工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	上宿交差点 平面図		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 56
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

上宿交差点 縦断図 V=1:100 H=1:500



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（上宿交差点）

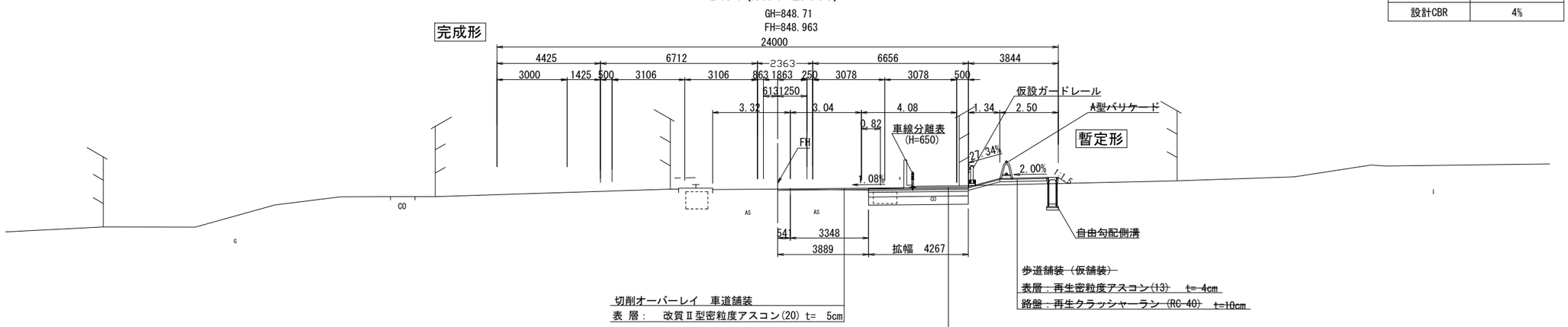
工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	上宿交差点 縦断図		
縮尺	H=1/100 H=1/500	図面番号	73 の 57
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

上宿交差点 標準横断図 S=1:100

設計条件

路　線　名	一般国道138号 新屋拡幅
道路規格	第4種第1級
設計速度	V=60km/h
交通量区分	N6(1000≦T＜3000)
設計CBR	4%

BC.1(NO.7+2.000)



切削オーバーレイ　車道舗装

表 層：	改質Ⅱ型密粒度アスコン(20)	t= 5cm

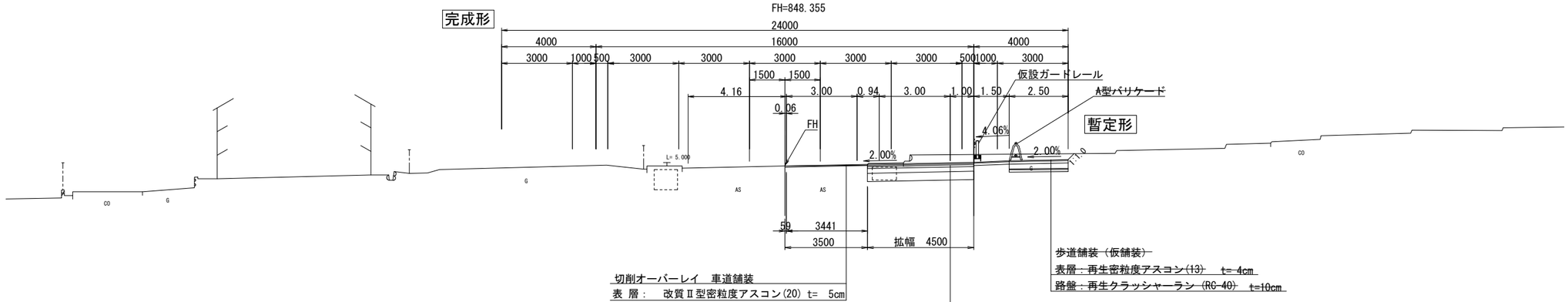
歩道舗装（仮舗装）

表層：再生密粒度アスコン(13)	t= 4cm
路盤：再生クラッシャーラン (RC-40)	t=10cm

アスファルト舗装　車道舗装

表 層：	改質Ⅱ型密粒度アスコン(20)	t= 5cm
基 層：	再生粗粒度アスコン(20)	t= 5cm
上層路盤：	再生瀝青安定処理材(40)	t= 8cm
上層路盤：	粒度調整砕石(M-40)	t= 20cm
下層路盤：	再生クラッシャーラン (RC-40)	t= 35cm

NO. 2+00



切削オーバーレイ　車道舗装

表 層：	改質Ⅱ型密粒度アスコン(20)	t= 5cm

歩道舗装（仮舗装）

表層：再生密粒度アスコン(13)	t= 4cm
路盤：再生クラッシャーラン (RC-40)	t=10cm

アスファルト舗装　車道舗装

表 層：	改質Ⅱ型密粒度アスコン(20)	t= 5cm
基 層：	再生粗粒度アスコン(20)	t= 5cm
上層路盤：	再生瀝青安定処理材(40)	t= 8cm
上層路盤：	粒度調整砕石(M-40)	t= 20cm
下層路盤：	再生クラッシャーラン (RC-40)	t= 35cm

（上宿交差点）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	上宿交差点 標準横断図		
縮　　尺	1/100	図面番号	73 の 58
年 月 日	令和 8 年 1 月　　日		
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

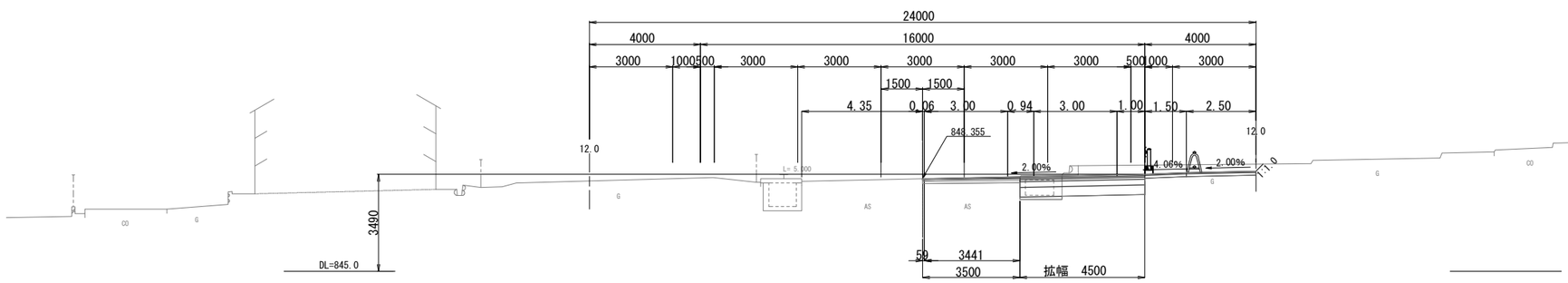
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

上宿交差点 横断図（１） S=1:100

NO. 2+00

GH=848.33

FH=848.355



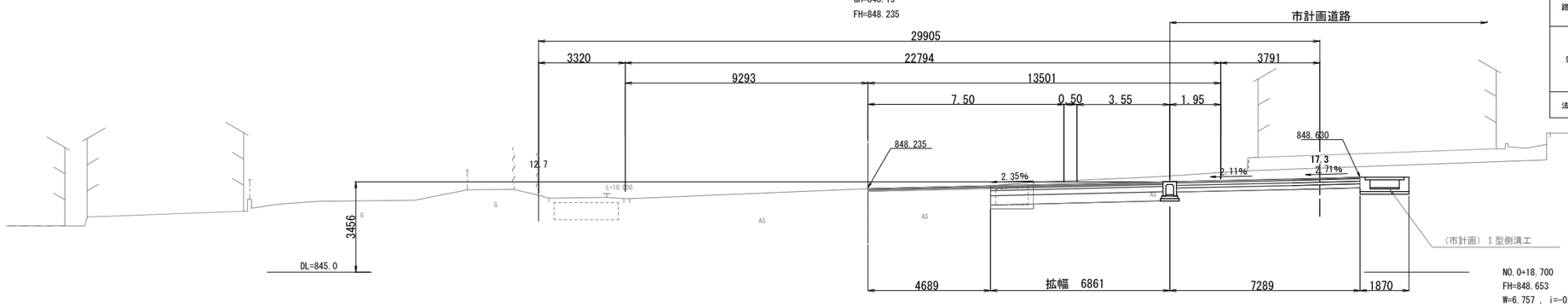
NO.2+0.000

項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削(土砂)	m²	2.2
	W<5.0m (土砂)	m²	–
路体盛土工	W<2.5m	m²	–
	2.5m≦W<4.0m	m²	–
	4.0m≦W	m²	–
路床盛土工	W<2.5m	m²	0.1
	2.5m≦W<4.0m	m²	–
	4.0m≦W	m²	–
盛 土 工	中分盛土	m²	–
	歩道盛土	m²	–
	路肩盛土	m²	–
	植樹帯盛土	m²	–
	路体外盛土	m²	–
法面整形工	切土法面（土砂）	m	–
	盛土法面	m	–

NO. 1+00

GH=848.19

FH=848.235



NO.0+18.700
FH=848.653
W=6.757 , i=-0.340%
FH=848.630

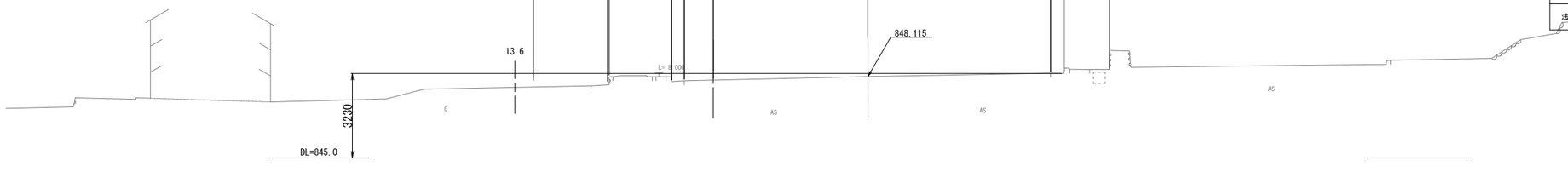
NO.1+0.000

項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削(土砂)	m²	4.5
	W<5.0m (土砂)	m²	–
路体盛土工	W<2.5m	m²	–
	2.5m≦W<4.0m	m²	–
	4.0m≦W	m²	–
路床盛土工	W<2.5m	m²	0.3
	2.5m≦W<4.0m	m²	–
	4.0m≦W	m²	–
盛 土 工	中分盛土	m²	–
	歩道盛土	m²	–
	路肩盛土	m²	–
	植樹帯盛土	m²	–
	路体外盛土	m²	–
法面整形工	切土法面（土砂）	m	–
	盛土法面	m	–

NO. 0+00

GH=848.11

FH=848.115



NO.0+0.000

項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削(土砂)	m²	–
	W<5.0m (土砂)	m²	–
路体盛土工	W<2.5m	m²	–
	2.5m≦W<4.0m	m²	–
	4.0m≦W	m²	–
路床盛土工	W<2.5m	m²	–
	2.5m≦W<4.0m	m²	–
	4.0m≦W	m²	–
盛 土 工	中分盛土	m²	–
	歩道盛土	m²	–
	路肩盛土	m²	–
	植樹帯盛土	m²	–
	路体外盛土	m²	–
法面整形工	切土法面（土砂）	m	–
	盛土法面	m	–

（上宿交差点）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	上宿交差点 横断図（１）		
縮 尺	1/100	図面番号	73 の 59
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

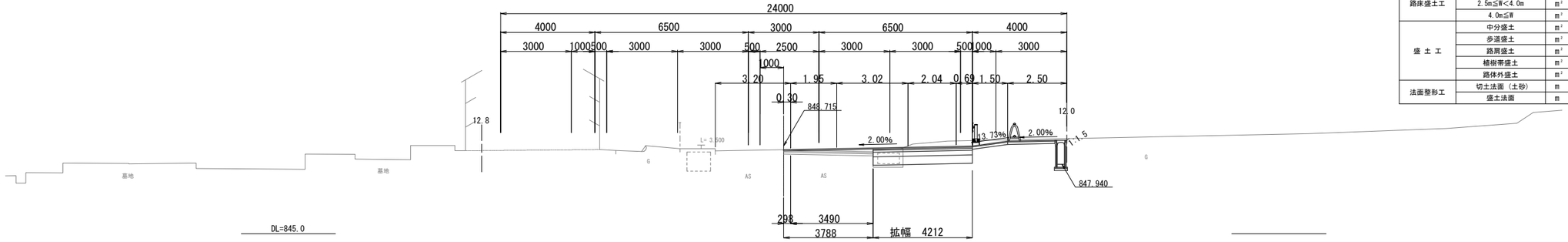
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

上宿交差点 横断図（２） S=1:100

NO. 5+00

GH=848.55

FH=848.715



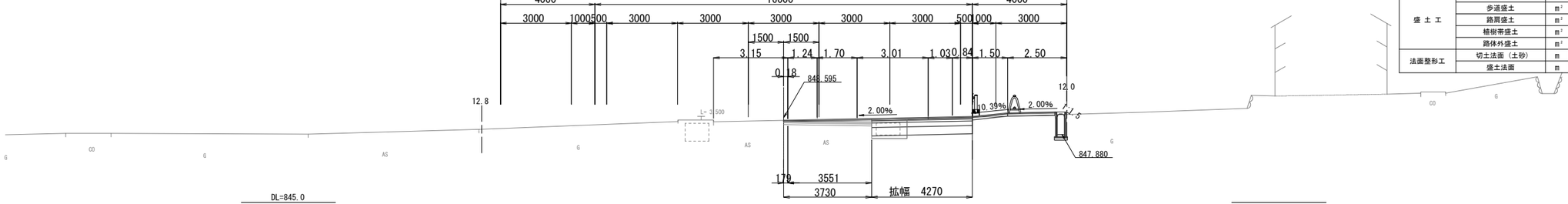
NO.5+0.000

項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削（土砂）	m²	2.1
	W<5.0m （土砂）	m²	－
路体盛土工	W<2.5m	m²	－
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
路床盛土工	W<2.5m	m²	0.1
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
盛 土 工	中分盛土	m²	－
	歩道盛土	m²	－
	路肩盛土	m²	－
	植樹帯盛土	m²	－
	路体外盛土	m²	－
法面整形工	切土法面（土砂）	m	－
	盛土法面	m	－

NO. 4+00

GH=848.48

FH=848.595



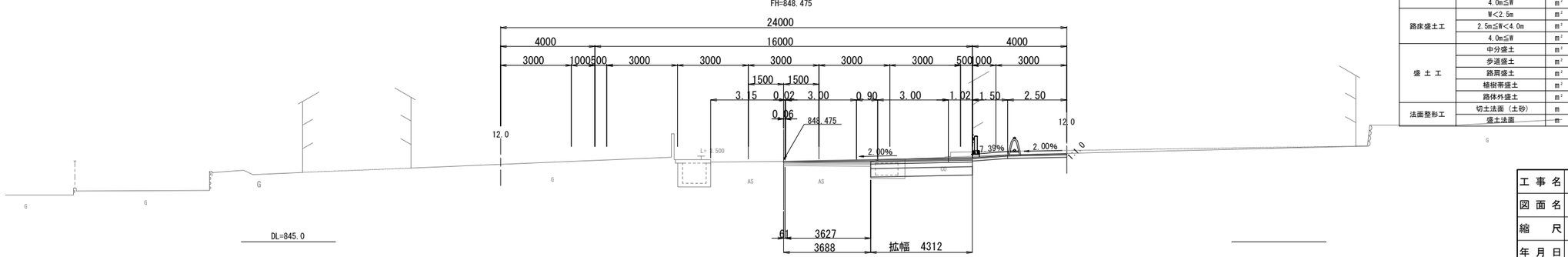
NO.4+0.000

項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削（土砂）	m²	2.0
	W<5.0m （土砂）	m²	－
路体盛土工	W<2.5m	m²	－
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
路床盛土工	W<2.5m	m²	0.2
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
盛 土 工	中分盛土	m²	－
	歩道盛土	m²	－
	路肩盛土	m²	－
	植樹帯盛土	m²	－
	路体外盛土	m²	－
法面整形工	切土法面（土砂）	m	－
	盛土法面	m	－

NO. 3+00

GH=848.40

FH=848.475



NO.3+0.000

項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削（土砂）	m²	2.2
	W<5.0m （土砂）	m²	－
路体盛土工	W<2.5m	m²	－
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
路床盛土工	W<2.5m	m²	0.1
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
盛 土 工	中分盛土	m²	－
	歩道盛土	m²	－
	路肩盛土	m²	－
	植樹帯盛土	m²	－
	路体外盛土	m²	－
法面整形工	切土法面（土砂）	m	－
	盛土法面	m	－

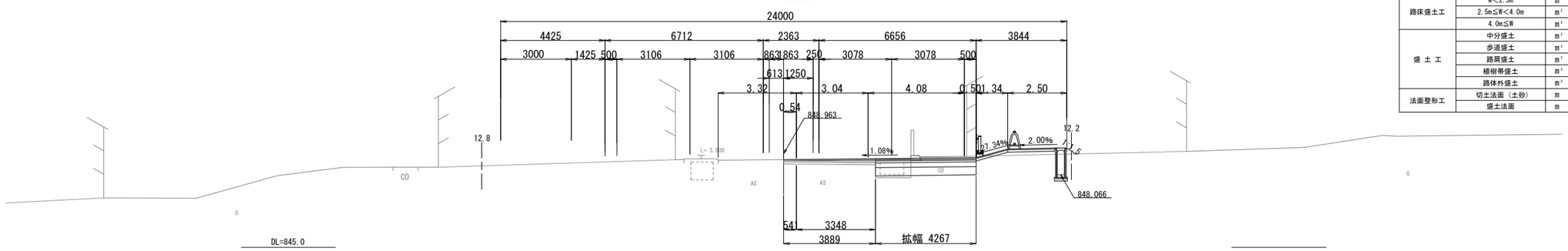
（上宿交差点）

工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	上宿交差点 横断図（２）		
縮 尺	1/100	図面番号	73 の 60
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

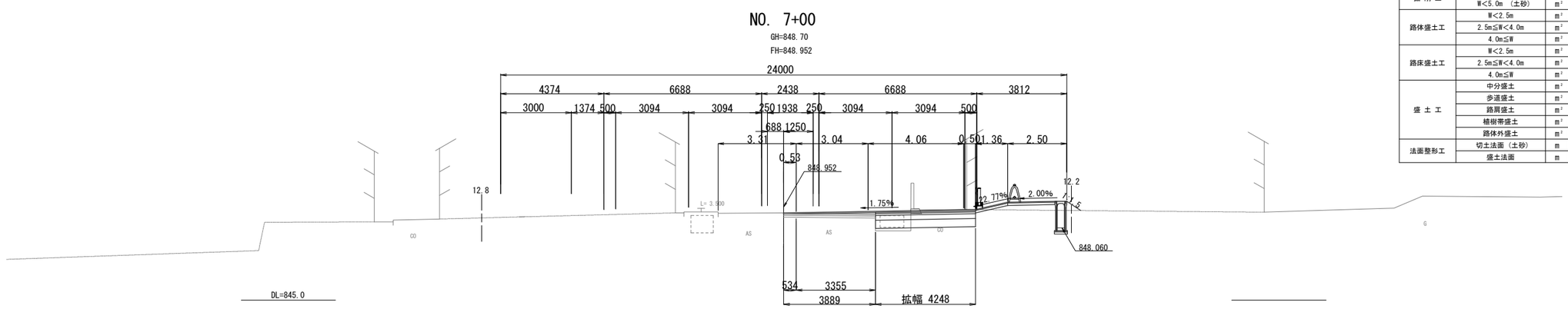
上宿交差点 横断図（３） S=1:100

BC.1 (NO.7+2.000)



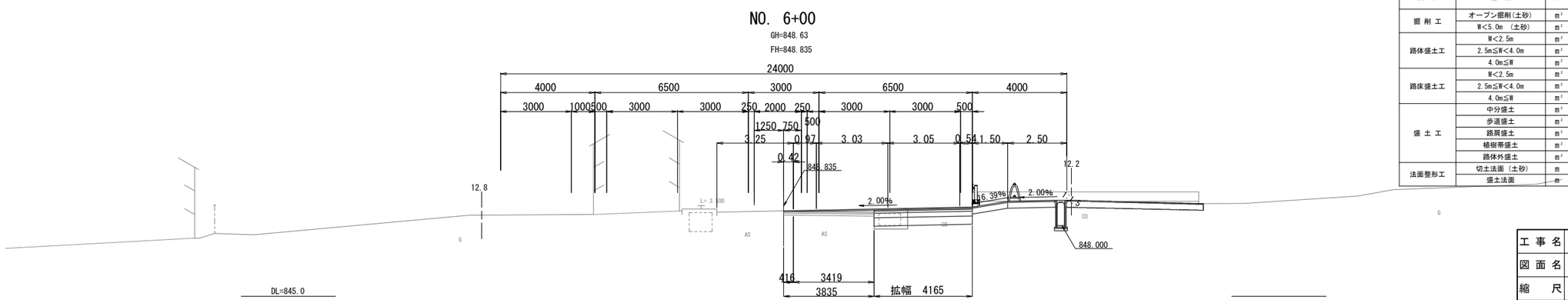
NO.7+2.000			
項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削（土砂）	m²	2.2
	W<5.0m （土砂）	m²	－
路体盛土工	W<2.5m	m²	－
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
路床盛土工	W<2.5m	m²	0.1
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
盛 土 工	中分盛土	m²	－
	歩道盛土	m²	－
	路肩盛土	m²	－
	植樹帯盛土	m²	－
	路体外盛土	m²	－
法面整形工	切土法面（土砂）	m	－
	盛土法面	m	－

NO. 7+00



NO.7+0.000			
項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削（土砂）	m²	2.1
	W<5.0m （土砂）	m²	－
路体盛土工	W<2.5m	m²	－
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
路床盛土工	W<2.5m	m²	0.2
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
盛 土 工	中分盛土	m²	－
	歩道盛土	m²	－
	路肩盛土	m²	－
	植樹帯盛土	m²	－
	路体外盛土	m²	－
法面整形工	切土法面（土砂）	m	－
	盛土法面	m	－

NO. 6+00



NO.6+0.000			
項 目	種 別	単位	数量
掘 削 工	オープン掘削（土砂）	m²	2.0
	W<5.0m （土砂）	m²	－
路体盛土工	W<2.5m	m²	－
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
路床盛土工	W<2.5m	m²	0.1
	2.5m≦W<4.0m	m²	－
	4.0m≦W	m²	－
盛 土 工	中分盛土	m²	－
	歩道盛土	m²	－
	路肩盛土	m²	－
	植樹帯盛土	m²	－
	路体外盛土	m²	－
法面整形工	切土法面（土砂）	m	－
	盛土法面	m	－

（上宿交差点）

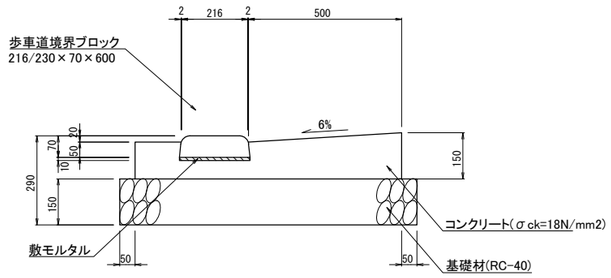
工 事 名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	上宿交差点 横断図（３）		
縮 尺	1/100	図面番号	73 の 61
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

上宿交差点 小構造物詳細図

L型側溝 S=1:10

（平坦部）

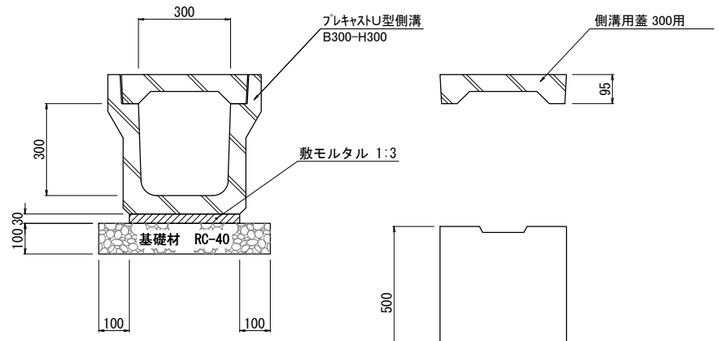


材料表 10m当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40, t=150	m2	9.70	
敷モルタル	1:3	式	1	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.984	
型枠		式	1	
歩車道境界ブロック	216/230×70×600	個	16.5	L=600

プレキャストU型側溝 S=1:10

B300-H300

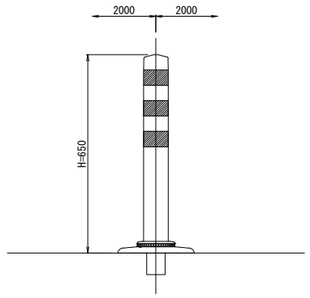


材料表 10m当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40, t=100	式	1	
敷モルタル	1:3	式	1	
プレキャストU型側溝	B300-H300	個	5.0	L=2000
側溝用蓋	B300	枚	20.0	L=500

車線分離標 S=1:20

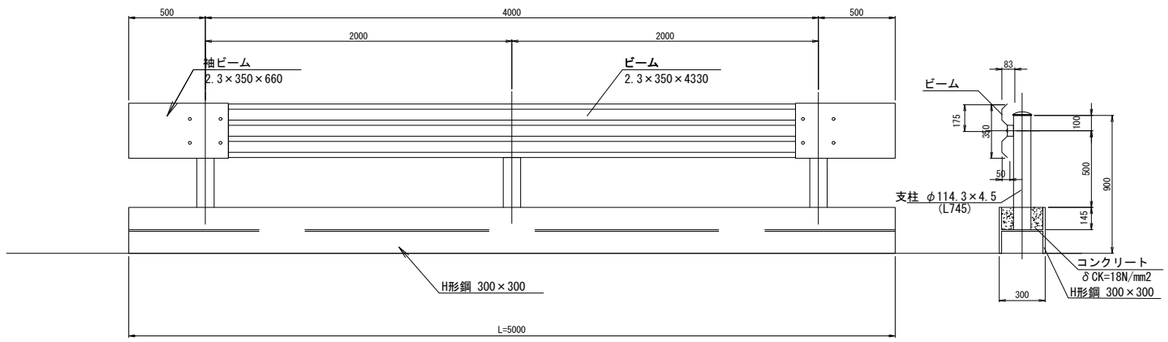
(H=650mm)



材料表 1基当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
車線分離標	H=650	基	1	

仮設ガードレール S=1:20



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
仮設ガードレール	L=5000/組	組	2.0	

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（上宿交差点）

工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	上宿交差点 小構造物詳細図		
縮尺	図示	図面番号	73 の 62
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

上宿交差点 排水系統図 S=1:500

工事起点

工事終点

NO.0+0.00

NO.1

NO.2

NO.3

NO.4

NO.5

NO.6

NO.7+9.19

NO.8

NO.9

NO.10

NO.1+9.61

NO.2+19.61

NO.5+4.61

NO.6+19.61

NO.7+42.000 R=80m L=119.913

NO.-5+00.000 R=∞ L=242.000

富士吉田市

上吉田七丁目

上吉田六丁目

上吉田

上町

浅間下

至 富士宮

国道139号線

国道138号線

R=60m

R=180m

R=470m

R=80m

滞留長 L=30m

テーパー長 L=45m

本線シフト長 L=80m

① 847.922
② 847.927
③ 847.922
⑤ 847.622

① 847.981
④ 847.831

① 847.698
② 847.830(自由勾配側溝)
③ 848.266
④ [illegible]
⑤ 847.535

① 848.096
② –
③ –
④ 848.096
⑤ 847.961

~~プレキャストL型側溝自由勾配用 B300-H400 L=7.40m~~
~~B300-H300 L=5.40m~~
~~円形水路用 B300 L=4.40m~~
~~円形水路皿型桝（D300）~~
~~L型側溝（平坦部）~~
~~L=4.80m L=4.40m~~

~~現場打ち集水桝G2 B500 L500 H700 (1)~~

~~既存水路 W=800(R)~~
~~コンクリート充填 n=1~~

~~暗渠排水管（取付管） L=8.40m~~

~~現場打ち集水桝G2 B500 L500 H1300~~

~~プレキャストボックス 1100×500 L=14.00m~~

~~自由勾配側溝 B300×H900～1100 L=88.60m (H900 L28.6m H1000 L34.0m H1100 L26.0m)~~

~~現場打ち集水桝G2 B800 L1300 H1200~~

3
2 5 4
1

1
4 5 2
3

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（上宿交差点）

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	上宿交差点 排水系統図		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 63
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

上宿交差点 舗装平面図　S=1:500

凡　例
- 車道舗装
- 切削オーバーレイ

工事起点
工事終点
NO.0+0.00
NO.7+9.61
NO.1
NO.2
NO.3
NO.4
NO.5
NO.6
NO.7
車道舗装
A=662.2m2
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ
A=487.1m2
A=2.5m2
NO.1+9.61
NO.2+19.61
NO.5+4.61
NO.7+19.61
テーパー長 L=45m
本線シフト長 L=80m
滞留長 L=30m
R=60m
R=180m
R=470m
BP=
NO.-5+00.000 R=∞ L=242.000
NO.7+02.000 R=∞ L=115.973
国道139号線
国道138号線
上吉田六丁目
上吉田七丁目
富士吉田市
上町
上吉田
浅間下
至 富士宮

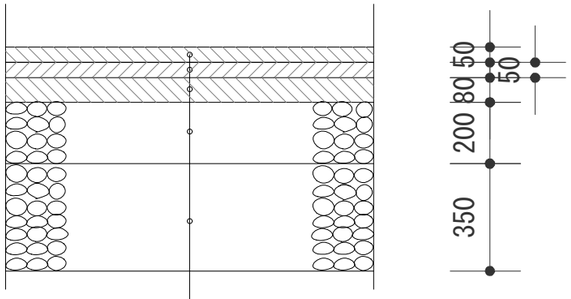
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（上宿交差点）

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	上宿交差点 舗装平面図		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 64
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

上宿交差点 舗装詳細図 S=1:20

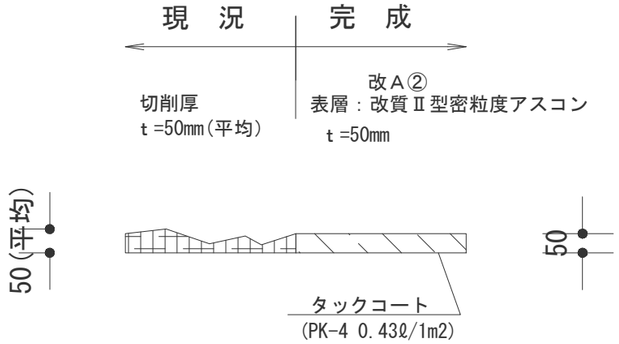
車道舗装構成図



アスファルト舗装　車道舗装

表 層:	改質Ⅱ型密粒度アスコン(20)	t= 5cm
基 層:	再生粗粒度アスコン(20)	t= 5cm
上層路盤：	再生瀝青安定処理材(40)	t= 8cm
上層路盤：	粒度調整砕石(M-40)	t= 20cm
下層路盤：	再生クラッシャーラン (RC-40)	t= 35cm

切削･オーバーレイ詳細図



（上宿交差点）

工 事 名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	上宿交差点 舗装詳細図		
縮 尺	1/20	図面番号	73 の 65
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

上宿交差点 区画線平面図 S=1:500

工事起点

工事終点

車線境界線　白色破線
W=15cm　L=24.0m（6m×4）

車線境界線　白色破線
W=15cm　L=6.0m（6m×1）

車線境界線　白色実線
W=15cm　L=24．0m

車線境界線　白色実線
W=15cm　L=24．0m

進行方向別矢印　右折 N=2
直進 N=2　左折 N=2

右折導流標示　白色破線
W=15cm　L=4.0m（0.5m×8）

停止線　白色実線
W=45cm　L=9.7m

横断歩道　白色実線
W=45cm　L=10.1m

横断歩道　ゼブラ
W=45cm　L=74.2m

1 ON

2 ON

C ON

NO.0+0.00

NO.1+60.000 R=∞ L=242.000

NO.2+42.000 R=∞ L=175.000

NO.7+02.000 R=∞ L=80.000

NO.7+49.61

NO.1+9.61

NO.2+19.61

NO.5+44.61

NO.6+19.61

NO.5

NO.10

上吉田六丁目

上吉田七丁目

上吉田

上町

浅間下

至 富士宮

国道139号線

上宿

滞留長　L=30m

テーパー長　L=45m

本線シフト長　L=80m

車道中央線　黄色実線　W=15cm　L=120.0m

導流帯外側線　白色実線　W=15cm　L=80.7m
導流帯　ゼブラ　W=45cm　L=60.0m

停止線　ゼブラ
W=45cm　L=7.7m

右折導流標示停止線
ゼブラ　W=45cm　L=3.5m

右折導流標示停止線
白色実線　W=45cm　L=5.0m

右折導流標示　白色破線
W=15cm　L=4.0m（0.5m×8）

右折導流標示　白色破線
W=15cm　L=5.0m（0.5m×10）

導流帯外側線　白色実線　W=15cm　L=131.0m
導流帯　白色実線　W=45cm　L=35.0m

車線境界線　白色実線
W=15cm　L=24.0m

車線境界線　白色破線
W=15cm　L=12.0m（6m×2）

進行方向別矢印　右折 N=1
直進 N=1　直進　左折 N=1

導流帯外側線　白色実線
W=15cm　L=2.5m

導流帯外側線　白色実線　W=15cm　L=4.3m
導流帯　ゼブラ　W=45cm　L=1.3m

導流帯外側線　白色実線　W=15cm　L=2.5m
導流帯　ゼブラ　W=45cm　L=1.3m

導流帯外側線　白色実線　W=15cm　L=25.9m
導流帯　ゼブラ　W=45cm　L=3.9m

横断歩道　白色実線
W=45cm　L=52.2m

導流帯外側線　白色実線　W=15cm　L=76.7m
導流帯　ゼブラ　W=45cm　L=22.0m

進行方向別矢印　右折 N=2
直進・左折 N=2

車道外側線　白色実線
W=15cm　L=19.8m

車線境界線　白色破線
W=15cm　L=12.0m（6m×2）

進行方向別矢印　右折予告 N=1
直進・左折予告 N=1

導流帯外側線　白色実線　W=15cm　L=155.4m
導流帯　ゼブラ　W=45cm　L=139.7m

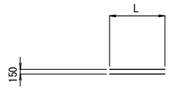
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（上宿交差点）

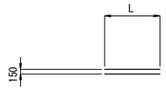
工事名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	上宿交差点 区画線平面図		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 66
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

上宿交差点 区画線詳細図 S=1:100

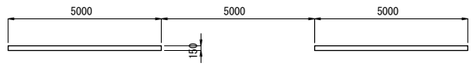
車線中央線（白・黄）



車道外側線・車線境界線（白）

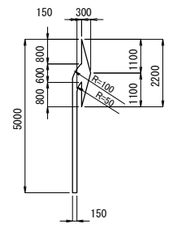


車線境界線（白・破線）



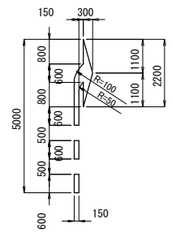
進行方向矢印

右 折



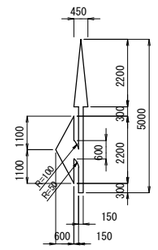
L=7.90m
（15cm所要材料換算長）

右折予告



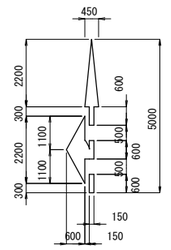
L=6.70m
（15cm所要材料換算長）

直進左折



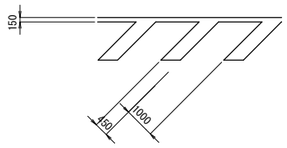
L=10.60m
（15cm所要材料換算長）

直進左折予告

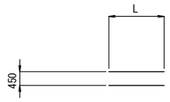


L=9.40m
（15cm所要材料換算長）

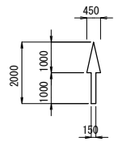
導流帯・導流帯外側線標準図（白）



停止線（白）

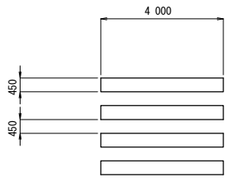


導流帯矢印



L=3.00m
（15cm所要材料換算長）

横断歩道（白）

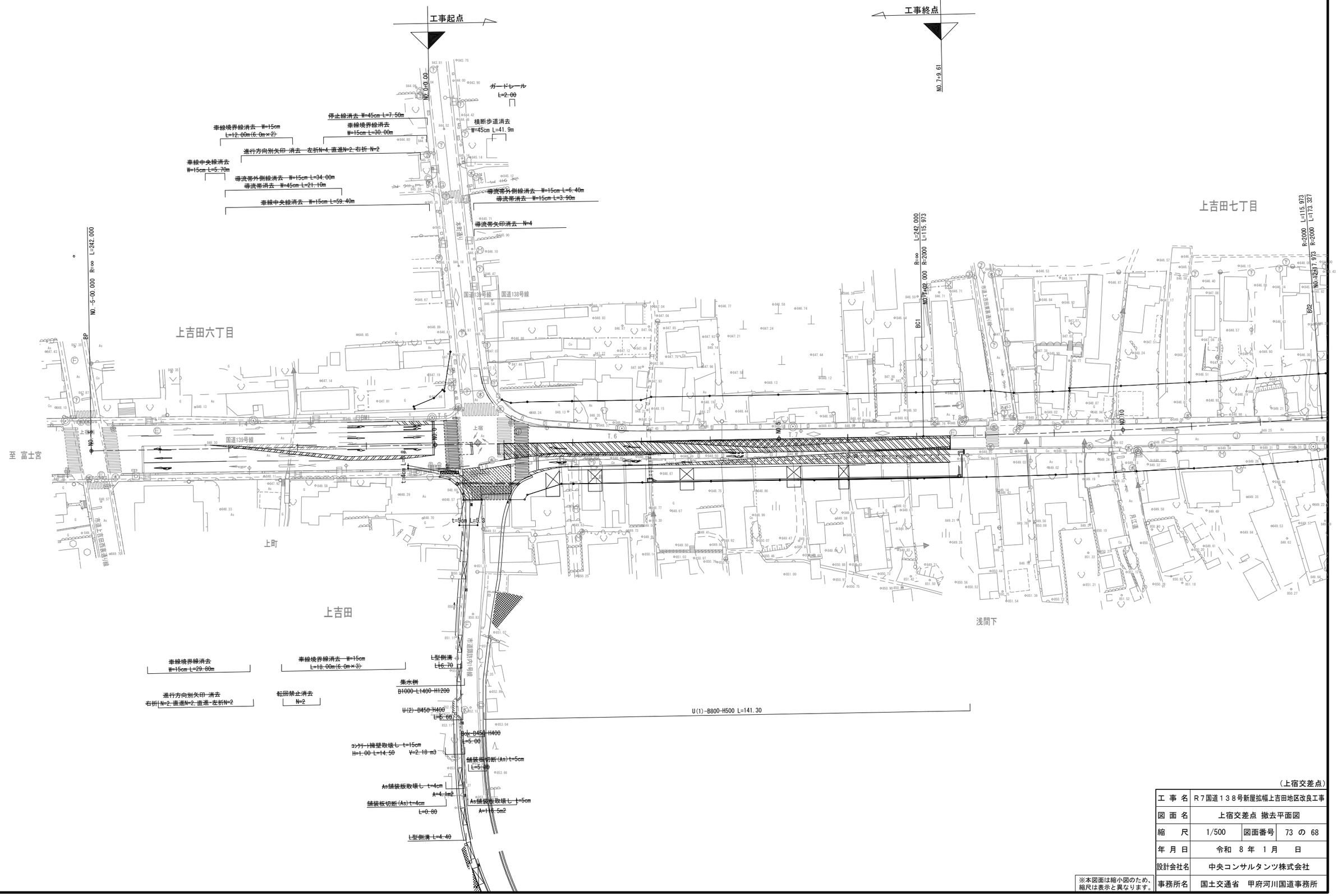


※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（上宿交差点）

工 事 名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	上宿交差点 区画線詳細図		
縮 尺	1/100	図面番号	73 の 67
年 月 日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

上宿交差点 撤去平面図 S=1:500



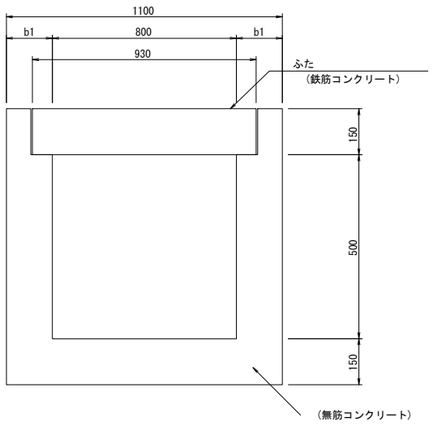
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

（上宿交差点）

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	上宿交差点 撤去平面図		
縮尺	1/500	図面番号	73 の 68
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

上宿交差点 撤去詳細図

U(1)-B800-H500



U（1） B800-H500 撤去数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数 量	摘 要
構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	m3	3.39	
構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)	m3	1.40	

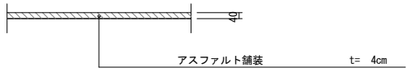
舗装版取壊し S=1:20

アスファルト舗装



ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 撤去数量表　　100m2当り

名　称	規　格	単位	数 量	摘 要
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	t=5cm	m3	5.00	



ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 撤去数量表　　100m2当り

名　称	規　格	単位	数 量	摘 要
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	t=4cm	m3	4.00	

（上宿交差点）

工 事 名	R7国道138号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図 面 名	上宿交差点 撤去詳細図		
縮　　尺	図 示	図面番号	73 の 69
年 月 日	令和 8 年 1 月　　日		
設計会社名	株式会社 東京建設コンサルタント		
事務所名	国土交通省　甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

数量総括表（１）

福地用水路

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
道路土工	掘削工	掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3	170	
	路体盛土工	路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3	260	
		路体(築堤)盛土	2.5m以上4.0m未満	m3	40	
		路体(築堤)盛土	4.0m以上	m3	250	
		土砂等運搬 現場内	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	80	
		土砂等運搬 擁壁工～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	20	
		土砂等運搬 道の駅交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	50	
		土砂等運搬 上宿交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	50	
		土砂等運搬 採取場～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	160	
	路床盛土工	路床盛土	2.5m未満	m3	290	
		路床盛土	4.0m以上	m3	320	
		土砂等運搬 上宿交差点～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	270	
		土砂等運搬 採取場～現場	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	390	
	法面整形工	法面整形(盛土部)	法面締固め無し 現場制約無	m2	140	
	残土処理工	土砂等運搬	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	190	
		残土等処分		m3	190	
舗装工	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 (市道)	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2	161	
		上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100mm	m2	161	
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm1.4m以上3.0m以下	m2	161	
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 (市道)	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2	130	
		上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100mm	m2	130	
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	130	
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 (国道)	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2	664	
		上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2	664	
		上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2	664	
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	664	
擁壁工	作業土工	床掘り	土砂	式	1	
		埋戻し	土砂	式	1	
	場所打擁壁工 (構造物単位)	重力式擁壁①	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉)	m3	13	
		重力式擁壁②	2m以上5m以下 18-8-40(高炉)	m3	62	

福地用水路

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工	作業土工	床掘り	土砂	式	1	
		埋戻し		式	1	
		基面整正		式	1	
	場所打函渠工	基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 敷厚 0.2m	m2	10	
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(高炉) 敷厚 10cm	m2	10	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	内空幅 2m 内空高さ 0.6m 24-12-25(20)(高炉) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	m3	10	
		鉄筋	SD345 D13	t	0.41	
		鉄筋	SD345 D16～25	t	0.76	
		鉄筋	機械式継ぎ手 D16×D16	箇所	28	
		鉄筋	機械式継ぎ手 D25×D25	箇所	10	
		型枠	一般型枠	式	1	
		支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	式	1	
		目地板	ｺﾞﾑ発泡体t=20	m2	3	
		ｼｰﾙ材		m	8	
		ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	D29×600	本	12	
	巻立工 2	基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 敷厚 0.2m	m2	8	
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25(高炉) 敷厚 10cm	m2	8	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	m3	4	
		鉄筋	SD345 D13	t	0.05	
		鉄筋	SD345 D16～25	t	0.23	
		型枠	一般型枠	式	1	
		目地板	ｺﾞﾑ発泡体t=20	m2	1	
	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 1.5m 内高 1.5m	m	10	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	内幅 2m 内高 0.6m	m	10	

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	数量総括表（１）		
縮尺	—	図面番号	73 の 70
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

数量総括表（２）

福地用水路

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
排水構造物工	作業土工	床掘り	土砂	式	1	
		埋戻し	土砂	式	1	
	側溝工	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL形側溝	幅 50cm 高さ 15cm 500A 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄL形(665×270×600)	m	2	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 300B	m	21	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	B1500×H2000×L2000mm	m	5	
		自由勾配側溝	B300×H400mm	m	2	
		自由勾配側溝	B300×H500mm	m	2	
		自由勾配側溝	B300×H600mm	m	2	
		自由勾配側溝	B300×H800mm	m	2	
		自由勾配側溝	B300×H1000mm	m	2	
		側溝蓋	自由勾配側溝蓋 300用	枚	10	
	管渠工	暗渠排水管 (取付管)	据付 直管 200～400mm	m	0.8	
		暗渠排水管 (清光院水路)	据付 直管 200～400mm 穴あけ加工	m	2	
	集水桝・ﾏﾝﾎｰﾙ工	現場打ち集水桝 1号集水桝	B500×L500×H500 現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
		現場打ち集水桝 2号集水桝	B500×L500×H1100 現場打材 18-8-40(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
		蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ） 500×500用	枚	2	
	地下排水工	地下排水	直管	m	19	
	場所打水路工	現場打水路①	内幅1500mm 内高2000mm 24-12-25(20)(高炉)	m	2	
		現場打水路②	内幅1500mm 内高2000mm 24-12-25(20)(高炉)	m	2	
		足場	安全ネット必要	式	1	
	付属施設工	ｽﾗｲﾄﾞｹﾞｰﾄ (清光院水路)		基	1	
		取水口ｽｸﾘｰﾝ (清光院水路)	W364×H380mm	基	1	
		足掛金物 (清光院水路)		本	5	
		場所打ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40（高炉）	m3	0.1	
	ｺﾝｸﾘｰﾄｼｰﾙ	張りｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25（20） （高炉） ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無 厚7cm	m2	3	
防護柵工	路側防護柵工	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	塗装品 Gr-C-2B 21m未満 曲線部補正無 景観色塗装	m	16	
	防止柵工	基礎ﾌﾞﾛｯｸ，鋼管基礎	基礎ブロック 180×180×450mm	基	6	
		基礎ﾌﾞﾛｯｸ，鋼管基礎	基礎ブロック 550×550×700mm	基	2	
		ﾌｪﾝｽ・支柱 (ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ)	支柱高 1.2m 支柱間隔 2.0m 景観色塗装	m	10	
		門扉	片開き 景観色塗装	基	1	
		転落(横断)防止柵	柵高 1.1m 土中建込 景観色塗装	m	3	
区画線工	区画線工 (夜間)	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	430	
		溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	20	
		溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	7	
		溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m	31	
		区画線消去	削取り式	m	938	
	区画線工	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	420	
		溶融式区画線	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	5	
		溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	14	
		溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m	31	

福地用水路

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
道路付属施設工	道路付属物工	場所打地覆		箇所	3	
構造物撤去工	防護柵撤去工	防護柵撤去(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ)		m	61	
	構造物取壊し工	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3	251	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	1	
		舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	式	1	
		舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	式	1	
		舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 5cm	m2	230	
		舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 18cm	m2	90	
	運搬処理工	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	251	
		殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	1	
		殻運搬 現場～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	12	
		殻運搬 現場～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	17	
		殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	251	
		殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	1	
		殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	28	
		現場発生品運搬 現場～赤池大橋下	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	t	1.18	
仮設工	作業土工	床掘り	土砂	式	1	
		埋戻し	土砂	式	1	
	水替工	ﾎﾟﾝﾌﾟ排水	120以上450(m3/h)未満 10m 常時排水 設置・撤去	式	1	
	仮水路工	ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型 管径800mm 据付・撤去	式	1	
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型 管径1000mm 据付・撤去	式	1	
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗﾝｼﾞ型 管径1200mm 据付	式	1	
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	幅1000×高850mm 撤去	式	1	
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	各種 φ500mm半割り管 据付	式	1	
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	各種 φ500mm半割り管 撤去	式	1	
		現場発生品運搬 現場～赤池大橋下	仮設材（ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ、ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ）	式	1	
		現場打ち集水桝 G2	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	式	1	
		蓋	集水桝蓋（鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ） 600×600用	式	1	
		土のう積	設置	式	1	
		土のう積	撤去	式	1	
	防護施設工	仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	H鋼基礎 設置	式	1	
		仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ】	H鋼基礎 撤去	式	1	
	交通管理工	交通誘導警備員	A・B	式	1	
		交通誘導警備員 (夜間)	A・B	式	1	

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	数量総括表（２）		
縮尺	—	図面番号	73 の 71
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

数量総括表（３）

新屋 擁壁工

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
地盤改良工	安定処理工	安定処理	1mを超え2m以下 固化材100m2あたり使用量 5.6t/100m2 ｾﾒﾝﾄ系固化材	m2	11	
擁壁工	作業土工	床掘り	土砂	式	1	
		埋戻し	土砂	式	1	
	場所打擁壁工 (構造物単位)	重力式擁壁	1mを超え2m未満 18-8-40(高炉)	m3	18	
	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	1.0mを超え2.0m以下	m	7	
構造物撤去工	構造物取壊し工	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	0.9	
	運搬処理工	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	0.9	
		殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	0.9	
仮設工	交通管理工	交通誘導警備員	A・B	式	1	

道の駅交差点

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
道路土工	掘削工	掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無 障害無 5,000m3未満	m3	70	
	路体盛土工	路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3	8	
	路床盛土工	路床盛土	2.5m未満	m3	20	
舗装工	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 (夜間)(支道舗装)	路盤(車道･路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 250mm	m2	209	
		表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	209	
	透水性舗装工 (夜間)(歩道一般部)	ﾌｨﾙﾀｰ層	砂 仕上り厚 100mm	m2	14	
		路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2	14	
		表層	透水性ｱｽｺﾝ 開粒度ｱｽｺﾝ(13) 2.4m以上 舗装厚 40mm	m2	14	
	ﾌﾞﾛｯｸ舗装工 (夜間)	凍上抑制層(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2	144	
		路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 100mm	m2	144	
		ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装	標準品 直線配置 厚6cm 砂(ｸｯｼｮﾝ用) 敷材厚 30mm 100m2以上	m2	144	
排水構造物工	作業土工	床掘り	土砂	式	1	
		埋戻し	土砂	式	1	
	側溝工	L形側溝	一般部 幅 50cm 高さ 20cm 18-8-25(高炉)	m	15	
		L形側溝	切下げ部 幅 50cm 高さ 2cm 18-8-25(高炉)	m	17	
		L形側溝	すり付け部 幅 50cm 高さ 20cm～2cm 18-8-25(高炉)	m	3	
		自由勾配側溝	B300×H400mm (横断用)	m	13	
		管(函)渠型側溝	円形水路 (横断用-舗装対応型) 幅 30cm	m	39	
		側溝蓋	自由勾配側溝(横断用)蓋 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 300用	枚	6	
	集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工	現場打ち集水桝 G2	B500×L500×H700 現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	2	
		蓋	集水桝蓋 (鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ) 500×500用	枚	2	

道の駅交差点

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
防護柵工	路側防護柵工	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	Gp-Bp-2E 塗装品 20m以上50m未満 曲線部補正無 景観色塗装	m	21	
区画線工	区画線工 (夜間)	溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	63	
	路面標示工 (夜間)	矢羽根型路面標示	高輝度反射貼付式 750×1500	箇所	54	
		ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾑ	溶融噴射式(自転車ﾏｰｸ+矢印)	箇所	6	
構造物撤去工	構造物取壊し工	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3	5	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	24	
		舗装版切断 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	式	1	
		舗装版切断 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	式	1	
		舗装版破砕 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 4cm	m2	56	
		舗装版破砕 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 18cm	m2	170	
	運搬処理工	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	5	
		殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	24	
		殻運搬 (夜間) 現場～出張所	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (15cm以下)	m3	2	
		殻運搬 (夜間) 現場～出張所	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (15cm超)	m3	31	
		殻運搬 富士吉田(出)～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	33	
		殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	5	
		殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	24	
		殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	33	
仮設工	交通管理工	交通誘導警備員	A・B	式	1	
		交通誘導警備員 (夜間)	A・B	式	1	

工事名	R７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	数量総括表（３）		
縮尺	—	図面番号	73 の 72
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

数量総括表（４）

上宿交差点

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
道路土工	掘削工	掘削	土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無 障害無 5,000m3未満	m3	340	
	路床盛土工	路床盛土	2.5m未満	m3	20	
舗装工	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工 (夜間)	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	7cm以下 一層 段差すりつけ無 改質As 密粒Ⅱ型 (20)	m2	487	
		殻運搬(路面切削) 現場～富士吉田(出)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (切削材)	m3	24	
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 (夜間)(車道)	下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 350mm	m2	665	
		上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 200mm	m2	665	
		上層路盤(車道・路肩部)	路盤材(各種) 再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2	665	
		基層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	665	
		表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 改質As 密粒Ⅱ型 (20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	665	
排水構造物工	作業土工	床掘り	土砂	式	1	
		埋戻し	土砂	式	1	
	側溝工	L形側溝	平坦部 幅 50cm 高さ ２ｃｍ 18-8-25(高炉)	m	9	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 B300×H300mm	m	5	
		側溝蓋	300 41.2×9.5×50	枚	10	
区画線工	区画線工 (夜間)	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 黄色	m	120	
		溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m	370	
		溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m	17	
		溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m	310	
		溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m	53	
		区画線消去	削取り式	m	126	
道路付属施設工	道路付属物工	車線分離標	H=650mm 可変式(穿孔式･1本脚) 30本以上	本	32	
構造物撤去工	構造物取壊し工	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3	48	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	20	
	運搬処理工	殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	48	
		殻運搬 現場～処分場	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	20	
		殻運搬 富士吉田(出)～処分場	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (切削殻)	m3	24	
		殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	48	
		殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	20	
		殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 (切削殻)	m3	24	
仮設工	防護施設工	仮設ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ		式	1	
	交通管理工	交通誘導警備員	A・B	式	1	
		交通誘導警備員 (夜間)	A・B	式	1	

工事名	Ｒ７国道１３８号新屋拡幅上吉田地区改良工事		
図面名	数量総括表（４）		
縮尺	—	図面番号	73 の 73
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		